高崎健康福祉大学

Takasaki University of Health and Welfare

2018

平成 30 年度

シラバス

健康福祉学部　医療情報学科

平成 30 年度　医療情報学科シラバス　目次

基礎教養ゼミ（教養基礎）……3
日本語表現法（教養基礎）……5
日本国憲法（教養基礎）……7
法学（教養基礎）……9
経済学（教養基礎）……11
社会学（教養基礎）……13
生涯健康論（教養基礎）……15
生涯学習概論（教養基礎）……18
生命と環境の科学（教養基礎）……20
国際関係論（教養基礎）……23
体育理論（教養基礎）……25
体育実技（教養基礎）……27
キャリア形成論（教養基礎）……31
哲学（人間理解）……33
倫理学（人間理解）……35
心理学（人間理解）……37
文学と人間（人間理解）……39
芸術論（人間理解）……41
ボランティア・市民活動論（人間理解）……43
人権論（人間理解）……45
人間関係論（人間理解）……47
ジェンダー論（人間理解）……49
共生の倫理（人間理解）……51
チーム医療アプローチ論（人間理解）……53
国際医療事情（人間理解）……55
Introduction to Healthcare Sciences（人間理解）……57
囲碁の世界（人間理解）……59
英語IA（リテラシー）……61
英語IB（リテラシー）……63
英語IC（リテラシー）……65
英語ⅡA（リテラシー）……67
英語ⅡB（リテラシー）……69
英語ⅡC（リテラシー）……71
英語IIIA（リテラシー）……73
英語IIIB（リテラシー）……75
英語IIIC（リテラシー）……77
英語IVA（リテラシー）……79
英語IVB（リテラシー）……81
英語IVC（リテラシー）……83
Integrated English Ⅰ（リテラシー）……85
Integrated English Ⅱ（リテラシー）……87
ドイツ語（リテラシー）……89
フランス語（リテラシー）……91
ポルトガル語（リテラシー）……93
中国語（リテラシー）……95
ハングル語（リテラシー）……97
コンピュータ入門Ⅰ（リテラシー）……99
コンピュータ入門Ⅱ（リテラシー）……101
コンピュータ実習I（リテラシー）……103
コンピュータ実習II（リテラシー）……105
世界の社会福祉発達史（専門教養科目）……107
国際保健医療論（専門教養科目）……109
世界の歴史と日本（専門教養科目）……111
人間行動学（専門教養科目）……113
健康運動実技（専門教養科目）……115
宗教と倫理（専門教養科目）……117
レクリエーション論（専門教養科目）……119
数学基礎Ⅰ（専門導入科目）……121
数学基礎Ⅱ（専門導入科目）……123
物理学基礎（専門導入科目）……125
生物学基礎（専門導入科目）……127
化学基礎（専門導入科目）……129
医療概論（医学英語Ⅰを含む）（専門導入科目）……131
情報セキュリティ（専門導入科目）……133
プログラミングⅠ（Cプログラミング基礎）（専門導入科目）……135
Webデザイン Ⅰ（専門導入科目）……137
情報システム概論（専門導入科目）……139
Early Exposure（専門導入科目）……141
人体構造・機能論（専門基幹科目）……143
臨床医学総論（専門基幹科目）……145
臨床医学各論Ⅰ（感染症・寄生虫、血液）（専門基幹科目）……147
臨床医学各論Ⅱ（新生物、代謝・内分泌）（専門基幹科目）……149
臨床医学各論Ⅲ（循環器・呼吸器）（専門基幹科目）……151
臨床医学各論Ⅳ（消化器・腎泌尿器、皮膚）（専門基幹科目）……153
臨床医学各論Ⅴ（周産期、筋骨格）（専門基幹科目）……155
臨床医学各論Ⅵ（精神・脳神経・感覚器、医学英語Ⅱ）（専門基幹科目）……157
保健医療情報学（専門基幹科目）……159
生体情報学Ⅰ（専門基幹科目）……161
診療情報演習Ⅰ（専門基幹科目）……163
診療情報演習II（専門基幹科目）……165
情報数学基礎（専門基幹科目）……167

H30 年度 医療情報学科 シラバス目次

情報システム各論(専門基幹科目).....169
ネットワークⅠ(専門基幹科目).....171
データベース概論(専門基幹科目).....173
プログラミングⅡ(Cプログラミング実用)(専門基幹科目).....175
プログラミングⅢ(Cプログラミング応用)(専門基幹科目).....177
プログラミングⅣ(Windowsプログラミング)(専門基幹科目).....179
情報演習Ⅰ(専門基幹科目).....181
情報演習Ⅱ(専門基幹科目).....183
Webデザイン Ⅱ(専門基幹科目).....185
情報処理演習Ⅰ(専門基幹科目).....187
アルゴリズムとデータ構造(専門基幹科目).....189
マルチメディアⅠ(専門基幹科目).....191
医療管理総論(専門展開科目).....193
医療管理各論Ⅰ(専門展開科目).....195
医療管理各論Ⅱ(専門展開科目).....197
医療管理各論Ⅲ(専門展開科目).....199
診療情報管理Ⅰ(専門展開科目).....201
診療情報管理Ⅱ(専門展開科目).....203
診療情報管理Ⅲ(専門展開科目).....205
医療統計学Ⅰ(専門展開科目).....207
医療統計学Ⅱ(専門基幹科目).....209
医療統計学演習(専門展開科目).....211
医療情報学各論(専門展開科目).....213
生体情報学Ⅱ(専門展開科目).....215
国際統計分類Ⅰ(専門展開科目).....217
国際統計分類Ⅱ(専門展開科目).....219
医療事務論Ⅰ(医療事務の基礎知識)(専門展開科目)221
医療事務論Ⅱ(点数計算とレセプトの書き方Ⅰ)(専門展開科目).....223
医療事務論Ⅲ(点数計算とレセプトの書き方Ⅱ)(専門展開科目).....225
医療事務論Ⅳ(点数計算とレセプトの書き方Ⅲ)(専門展開科目).....227
診療報酬請求事務論Ⅰ(専門展開科目).....229
診療報酬請求事務論Ⅱ(専門展開科目).....231
医療経済学(専門展開科目).....233
医療経営論(専門展開科目).....235
ソフトウェア工学(専門展開科目).....237
ネットワークⅡ(専門展開科目).....239
コンピュータアーキテクチャ(専門展開科目).....241
ディジタル信号処理(専門展開科目).....243
画像情報処理(専門展開科目).....245
電子情報工学基礎(専門展開科目).....247
情報処理演習II(専門展開科目).....249
情報処理演習Ⅲ(専門展開科目).....251
マルチメディアII(専門展開科目).....253
Webデザイン Ⅲ(専門展開科目).....255
Webプログラミング Ⅰ(専門展開科目).....257
Webプログラミング Ⅱ(専門展開科目).....259
オブジェクトプログラミング Ⅰ(専門展開科目).....261
オブジェクトプログラミング Ⅱ(専門展開科目).....263
病院実習(応用展開科目).....265
インターンシップ(応用展開科目).....266
Web制作演習(応用展開科目).....267
特別ゼミ(応用展開科目).....269
情報演習Ⅲ(応用展開科目).....270
情報演習Ⅳ(応用展開科目).....273
診療情報演習Ⅲ(応用展開科目).....275
診療情報演習Ⅳ(応用展開科目).....277
チーム医療アプローチ演習(応用展開科目).....279
SPI講座Ⅰ(非言語能力Ⅰ)(応用展開科目).....281
SPI講座Ⅱ(非言語能力Ⅱ)(応用展開科目).....283
SPI講座Ⅲ(言語能力Ⅰ)(応用展開科目).....285
SPI講座Ⅳ(言語能力Ⅱ)(応用展開科目).....287
医療情報ゼミ(応用展開科目).....289
医療情報学総合演習(応用展開科目).....290
卒業研究(卒業研究).....292
生涯学習社会と図書館(司書).....293
図書館概論(司書).....295
図書館制度・経営論(司書).....297
図書館情報技術論(司書).....299
図書館サービス概論(司書).....301
情報サービス論(司書).....303
児童サービス論(司書).....305
情報サービス演習(司書).....307
図書館情報資源概論(司書).....310
情報資源組織論(司書).....312
情報資源組織演習(司書).....314
図書館サービス特論(司書).....317
図書館情報資源特論(司書).....319

科目名	**基礎教養ゼミ（教養基礎）**	LAB001	講義
担当教員	町田修三、根岸恵子、小泉英明、武藤洋一		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位
講義目標	充実して実り多い大学生活を送るには、どうしたらいいのだろうか？大学で失敗しないためには、初年時に学生生活の送り方を修得しておくことが極めて大切である。本講義では大学生活のキーとなる、学習方法やレポート執筆等にかかる「学習スキル」、コミュニケーション能力をはじめとした「ソーシャルスキル」、読み書きや数的能力などの「アカデミックスキル」。学生にとって必要なこうしたスキルをしっかりと身につけていくことを、講義の目標としている。受講学生には、積極的に講義に参加する受講態度が求められる。		
到達目標	1.大学での学習生活を確立する。 2.基礎学力を確認し、自己学習の方向性をつかむ。 3.社会人に必要とされる言葉使い・文章表現を習得する。 4.総合適性検査（SPI）を意識し、対応するための基礎力を養成する。 5.キャリアデザインの構築を図るために、社会常識・マナー等を学び、自ら考え、自ら問える力を養う。		

学位授与方針との対応		
	✓	豊かな人間性と幅広い教養
		健康・医療および情報に関する知識・技能
		問題解決力
		コミュニケーションスキル
		生涯学習力

評価方法	参加度 50%、提出物 50%で総合的に評価する。総合評価 60%を合格とする。
課題に対するフィードバック	提出物・レポート・小テストを返却し、解説をする。基礎力テストや実力テスト後に解説や結果を知らせる。
使用教材	資料、プリント

1	講義内容	大学で何を学ぶか（意義と目的）		
	該当する到達目標	予習	事前にシラバスを読み、目標を確認し、大学生活をプランニングする。	1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法等を確認する。	1 時間
2	講義内容	書くためのスキル（ノート,レポート・論文の書き方）		
	該当する到達目標	予習	事前配布した資料に目を通しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートテ―キング、レポートの書き方をマスターする。	1 時間
3	講義内容	基礎力テスト（計算/言葉）		
	該当する到達目標	予習	言語・作文・計算や数式など基礎力を確認しておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	今までの学習を振り返り、復習する。	1 時間
4	講義内容	解くためのワークⅠ（計算）		
	該当する到達目標	予習	計算方法や文章題の復習をしておく。	1 時間
	1,2,4	復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
5	講義内容	考えるためのワークⅠ（言葉の多様性①GW）		
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
6	講義内容	コミュニケーションスキルⅠ（アクティブラーニング GW）		
	該当する到達目標	予習	事前配布した資料に目を通しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	レポートを書く。	1 時間
7	講義内容	考えるためのワークⅡ（言葉の多様性②）		
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
8	講義内容	解くためのワークⅡ（数的処理①）		

	該当する到達目標	予習	前回の問題を解いておく。	1 時間
	1,2,4	復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
9	講義内容	キャリアデザイン		
	該当する到達目標	予習	自らの人生設計について考えておく。	1 時間
	1,2,5	復習	レポート書き方を確認しておく。	1 時間
10	講義内容	考えるためのスキル Ⅰ（新聞を読み説く）		
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
11	講義内容	解くためのワークⅢ（数的処理②）		
	該当する到達目標	予習	前回の問題を解いておく。	1 時間
	1,2,4	復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
12	講義内容	考えるためのワークⅢ（自己紹介・他者紹介）		
	該当する到達目標	予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
	1,2,3,5	復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
13	講義内容	コミュニケーションスキル Ⅱ（プレゼンテーション GW）		
	該当する到達目標	予習	事前配布した資料に目を通しておく。	1 時間
	1,2,5	復習	興味あるトピックについて発表できるようにする。	1 時間
14	講義内容	実力テスト		
	該当する到達目標	予習	今まで学習した内容を復習しておく。	2 時間
	1,2,3,4	復習	試験の内容を振り返り、学習する。	1 時間
15	講義内容	考えるためのスキル Ⅱ（社会を正しく理解する）		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を振り返り、どう活用するかを考えておく。	1 時間
	1,2,3,5	復習	大学生活を有意義に過ごすための方策を考える。	1 時間
備考	オフィスアワー：学習支援センター（2 号館 2 階）は月~金（数的処理）、言語関係・レポート等は、木曜 3 時限より質問を受け付ける。 メールアドレス「machida@takasaki-.u.ac.jp」 研究室：1 号館 6 階 603 予習復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	日本語表現法(教養基礎)	LAB002	講義
担当教員	武藤 洋一		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	日本人の極端な日本語能力低下が問題視されている中で、「書きことば」における表現力を向上させるために、まず自分の「考え」をまとめ「書く」に至るプロセスを理解する。次に日本語の基礎知識の把握と生じやすい表現上のミスを具体的に認識し、「考え」をいかに「文章化」するかを修得する。同時に他者の「考え」を発言や文面から把握、その内容に対する自分の意見を構築、交換、指摘する機会を設け、学士力向上を図る。		
到達目標	1.自分の「考え」をまとめ、意思表示できる。 2.日本語の基礎知識を表現・文法・語彙の三側面から確認し、理解できる。 3.日本語表現の基本的ミスを確認し、理解できる。 4.文章の組み立て方を理解し、習得できる。 5.日本語表現的に正確な文章が書けるようにする。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	✓ コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	筆記試験(80%)・授業参加度(20%)によって、総合的に評価する。評価方法の基準については、講義時に通達する。		
課題に対するフィードバック	提出した文章の欠点・修正点を謙虚に捉え、新たな文章作成の場に生かし、文章力向上に挑戦する。		
使用教材	『文章表現テクニック』(教育弘報研究所)		

1	講義内容	「考え」をまとめるための 5 段階		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読み、自分なりの5段階法を考察しておく。	1 時間
	1,4	復習	実際に5段階法で文章を書き、文章構成の手法を振り返ってみる。	1 時間
2	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅰ 「公的」と「私的」		
	該当する到達目標	予習	「公的」「私的」の違いを把握し、教科書のテスト 1 を解いておく。	1 時間
	1,5	復習	作文と小論文の違いをノートにまとめ、理解してみる。	1 時間
3	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅱ 慣用句		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト2を解いておく。	1 時間
	2,3,5	復習	「慣用句」についての理解を深めてみる。	1 時間
4	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅲ ことわざ・故事成語		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト3を解いておく。	1 時間
	2,3,5	復習	「慣用句」～「故事成語」についてノートにまとめ、自分でも調べてみる。	1 時間
5	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅳ 四字熟語		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当部分を読み、テスト4を解いておく。	1 時間
	2,3,5	復習	「四字熟語」の見識を深めるために、日常的に使われている熟語を調べてみる。	1 時間
6	講義内容	日本語表現の基礎知識Ⅴ 比喩法		
	該当する到達目標	予習	比喩法の違いを把握しておく。	1 時間
	2,3,5	復習	比喩法を正確に識別できるか、試してみる。	1 時間
7	講義内容	表現のミスⅠ 主述関係		
	該当する到達目標	予習	主述関係のミスによる例文を考えておく。	1 時間
	2,3,5	復習	主述関係が正確に伝わる文章の条件を、ノートにまとめてみる。	1 時間
8	講義内容	日本語表現のミスⅡ 修飾語・被修飾語		

	該当する到達目標	予習	修飾語・被修飾語についての基本的知識を「文の成分」から学んでおく。	1 時間
	2,3,5	復習	修飾関係の乱れを生じさせない条件を、例文を用いてノートにまとめてみる。	1 時間
9	講義内容	日本語表現のミスⅢ　重複表現		
	該当する到達目標	予習	重複表現の例を調べておく。	1 時間
	2,3,5	復習	重複表現を故意に使用した駄洒落文を作ってみる。	1 時間
10	講義内容	日本語表現のミスⅣ　副詞の誤用		
	該当する到達目標	予習	陳述の副詞の誤用例を調べておく。	1 時間
	2,3,5	復習	社会の流れによって変わる「誤用」の要因を考えてみる。	1 時間
11	講義内容	日本語表現のミスⅤ　日本語表現の誤用		
	該当する到達目標	予習	日常的に使われている誤用を調べておく。	1 時間
	2,3,5	復習	オリジナルの誤用を作り出してみる。	1 時間
12	講義内容	文章の組み立て方Ⅰ　起承転結		
	該当する到達目標	予習	「起承転結」の意味を調べておく。	1 時間
	1,4,5	復習	「起承転結」を使用して400字程度の小論文を書いてみる。	1 時間
13	講義内容	文章の組み立て方Ⅱ　5WIH		
	該当する到達目標	予習	テキストを基に、5WIH の基本知識を習得しておく	1 時間
	1,4,5	復習	5W1H に従いながら文章構成を考え、100 字以内の文章を作ってみる。	1 時間
14	講義内容	文章の組み立て方Ⅲ　キーワード・キーセンテンス		
	該当する到達目標	予習	新聞の社説を利用し、キーワード・キーセンテンスを見つけておく。	1 時間
	1,4,5	復習	キーワード・キーセンテンスを選択する際の必要事項をノートにまとめてみる。	1 時間
15	講義内容	文章の組み立て方Ⅳ　字数制限		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で配布された課題文の要旨を字数制限に従いまとめておく。	1 時間
	1,4,5	復習	800 字の文章を 200 字に、200 字の文章を 400 字に変える訓練をしてみる。	1 時間
備考	オフィスアワーは後期・木3、4時限目。場所は2号館2階の学習支援センター。受講には履修登録が必要。予習、復習に必要な最低限の時間を表示しておく。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。※1 単位を修得には、演習時間 30 時間（実質 90 分×15 回）＋自習時間（15 時間）が必要。			

科目名	**日本国憲法(教養基礎)**	LAB003	講義
担当教員	金井 洋行		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	憲法の基本理念と日本国憲法に関する基礎的知識を習得することを第一義的な学習目標とする。第二に、社会人として要求される価値規範意識を、憲法学習を通して醸成することを目標とする。終局的に、身近な生活関係の中から人々の権利の保護や社会への参加の問題を探り出し、憲法上の課題の理解を深めることを目標とする。		
到達目標	1.日本国憲法を貫いている思考や仕組みと日本国憲法の歴史的背景を理解することができる。 2.憲法が解決すべき紛争について、その歴史的、社会的背景を認識することができる。 3.市民相互間の法的関係や公的部門のそれに対する機能の関連性を考察することができる。 4.政治の世界で起きている出来事について、具体的な憲法規定と結びつけることができる。 5.主要な学説について、その対立の背景と主張のねらいを認識することができる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決能力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(20%)、中間テスト(20%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは、概ね 3 回の知識テスト、定期試験は知識と思考力のテスト		
課題に対するフィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)		
使用教材	テーマ別レジュメ、概要・事例資料(テキスト:有斐閣新書『注釈憲法』) ＊テーマによってはDVDの視聴あり。		

1	講義内容	憲法とは何か？－憲法学習の意義と憲法の本質－		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明　233-243 頁	2 時間
	1	復習	予備知識アンケート	0.5 時間
2	講義内容	国家・国民・政府－憲法を構成する基本要素の内容－		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明　5-6 頁、138-140 頁	1 時間
	1	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
3	講義内容	日本国憲法の制定過程		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明　2-4 頁、資料;「日本国憲法の有効性」	1 時間
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
4	講義内容	日本国憲法の基本構造と特色		
	該当する到達目標	予習	資料;「日本国憲法の体系」熟読と疑問点の究明	1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
5	講義内容	国民主権と天皇制		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明　5-26 頁	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	平和主義と 9 条解釈の変遷		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明　27-33 頁	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	基本的人権の沿革と観念		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明　40-44 頁、232-234 頁	1 時間

	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	基本的人権規定の適用問題(範囲と限界)		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明　35-36 頁、40-45 頁	1 時間
	2,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	個人主義・自由主義・平等主義		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明　42-67 頁	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	日本国憲法上の諸権利の性格(消極的権利と積極的権利)		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明　68-87 頁	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	国会の地位と選挙の構造と機能		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明　109-121 頁、133-136 頁、145-149 頁	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	行政権の意義と内閣の組織・権限の特徴		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明　154-168 頁	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	司法権の意義と裁判のルール		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明　179-184 頁	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	権力分立と地方自治・分権		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明　111-120 頁、214-226 頁	1 時間
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	憲法改正と憲法保障		
	該当する到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明　227-243 頁	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
備考	講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的あるいは国際的に大きな政治の動きがあった場合には、その話題を飛び入り的に割り込ませることはある。日々の社会や政治の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりに考えておくことを期待する。 予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること。 出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。			

科目名	**法学(教養基礎)**	LAB004	講義
担当教員	金井 洋行		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	法の存在意義を人生の節目で生じる法律問題を通して理解することを基幹的目標とする。生活上生じる法律問題や法的処理事項の背景にある法社会学的意味を考える。法律関係は権利義務の変動の関係であるので、それぞれ権利義務とその変動要因にどのような種類があるかを知ることを目指す。法律関係の基本的システムを習得することによって、社会的生活者に要求される法規範意識を身につける。		
到達目標	1.法の存在意義や社会的機能の全体的な姿を理解することができる。 2.法制度の社会学的意義を理解することができる。 3.契約関係のシステムの意義と特色を理解することができる 4.家族関係の法律的処理の方法を理解することができる。 5.法的紛争処理の限界を知り円滑な生活関係を維持する手法を考察することができる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(20%)、中間テスト(20%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは、概ね 3 回の知識テスト、定期試験は知識と思考力のテストを実施する。		
課題に対するフィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)		
使用教材	テーマ別レジュメ、概要・事例資料(テキストに代替するプリント) *テーマによってはDVDの視聴あり。		

1	講義内容	法の意義と機能		
	該当する到達目標	予習	高校時の社会の教科書「法分野」の箇所を読んでおくこと	2 時間
	1,5	復習	予備知識アンケート	0.5 時間
2	講義内容	成人と法－人の年齢と能力の法的意味		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
3	講義内容	就職と法－採用の法的意味と選別の法的問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
4	講義内容	労働と法－労働契約の内容と労働条件の保護		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
5	講義内容	結婚と法－婚姻の要件と夫婦の法律関係		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	親子と法その 1－出生をめぐる法律問題と親子関係の形成		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	親子と法その 2－親権関係と扶養関係		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	教育と法－義務教育の意義と就学過程の法律問題		

	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	社会活動と法－団体の法律関係と団体生活の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	社会負担と法－租税等の国民負担と公共生活上の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	国際化と法－出入国管理の法律関係と渉外事件の処理		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	財産関係と法－取引の法律関係と契約締結上の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	犯罪と法－犯罪・刑罰の法的意味と科罰手続の法律問題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	争い事と法－紛争の法的処理方法と裁判の仕組み		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	老年期と法－介護・医療の法律問題と人の死の法的意味		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
備考	講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に大きな社会問題が発生した場合には、その話題あるいは関連する事項を飛び入り的に割り込ませることはある。日々の社会の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりにその背景や解決策を考えておくことを期待する。 予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること。 出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。			

科目名	**経済学(教養基礎)**	LAB005	講義
担当教員	町田 修三		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	経済に関する知識は一般社会や国際社会において極めて重要であるものの、多くの学生は十分な知識を持っていない。選挙権が与えられても経済知識なしで投票に行くのは危険である。この講義では身近なトピックを通して基礎的経済の知識を習得し、国内外の社会のメカニズムや流れを理解できるようになることを目的とする。レベルとしては、新聞やテレビのニュースがしっかりと理解できるようになることを想定している。また、医療分野を専攻する学生にとっては、医療の経済面からの考察も講義に取り入れるので参考にして理解を深めてほしい。		
到達目標	1. 日本の経済の現状を説明できる 2. 需要と供給、市場メカニズムについて理解を深め、概説できる 3. 景気やGDPについて理解を深め、概説できる 4. 国の予算や税金制度について説明できる 5. お金の流れや物価変動について説明できる 6. 経済政策について理解を深め、他者に説明できる 7. 為替レートの変動と貿易の実態について概説できる 8. 新聞やテレビのニュースが理解でき、他者に解説できる		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	学期末試験 80%、毎回の授業の最後に提出するコメントカード、その他の提出物(クイズ、小レポートなど) 20%		
課題に対するフィードバック	コメントカードに記載された質問事項、疑問点等に関しては、次回の講義で回答する。クイズについても次回の講義で解説する。小レポートにはコメントを付して返却する		
使用教材	必修テキストはない。推薦テキストは多数あるので、講義の中で必要に応じて紹介する。講義では毎回資料、データを配布する		

1	講義内容	イントロダクション(一部AL[アクティブラーニング]実施)		
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく	1 時間
	8	復習	ニュースに触れる習慣(新聞、テレビ、ネット)を開始する	1 時間
2	講義内容	日本経済の流れ(世界との比較のなかで)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
3	講義内容	経済政策の2大潮流—マーケット or ケインズ(一部AL実施)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
4	講義内容	需要と供給(需要曲線の意味)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
5	講義内容	市場メカニズムと価格(どうして水よりもダイヤモンドのほうが高いんだろう?)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
6	講義内容	価格の変動(どうして缶コーヒーやペットボトルのお茶は、どれも同じ値段なんだろう?)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間

	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
7	講義内容	国民所得Ⅰ（国の経済力はどう測るんだろう？GDPって何？）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
8	講義内容	国民所得Ⅱ（あなたが 1 万円使うとGDPはいくら増える？）（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
9	講義内容	財政（日本の借金は大丈夫？消費税は何%に？）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,4,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
10	講義内容	景気と失業（不景気で学生の就職はどうなる？）（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
11	講義内容	金融（日本銀行は何をするところ？）（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,5,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
12	講義内容	経済政策のしくみ（アベノミクスは何をした？）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,6,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
13	講義内容	為替レートのメカニズム（円高、円安ってどうして起こるの？）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,7,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
14	講義内容	世界と日本（日本の貿易は黒字？赤字？）（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,7,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
15	講義内容	まとめと確認のためのテスト		
	該当する到達目標	予習	これまで学習した事項について目を通し、理解を深めておく	3 時間
	1～8	復習	期末試験の出題意図、講義の理解度の再確認と今後の学習の方向性を考える	1.5 時間
備考	オフィスアワー：月曜日4限目、金曜日2限目　　研究室：1号館6階603 メールアドレス：machida@takasaki-u.ac.jp AL（アクティブラーニング）は、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョン、ペアワーク、グループワークなど 予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること			

A 科目名	**社会学(教養基礎)**	LAB006	講義
担当教員	安達 正嗣		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	社会学的なものの見方とは、どういうものか、社会学的にものを考えるときに使用する専門的概念には、どのようなものがあるのかなどといった社会学の基本の理解を目指す。使用教材を中心にしながら、日常の具体的な事例から解説することによって、基本的な社会学の考え方を身につける。		
到達目標	1.大学生として社会学の基本的な考え方を身につけることができる。 2.社会学を通じて、豊かな人間性と倫理観を身につけることができる。 3.日常の人間関係を理解することによって、コミュニケーション能力を身につけることができる。 4.社会の仕組みを理解して、現代社会における自分自身の立ち位置を知ることができる。 5.現代社会の社会問題を認識して、その解決を探る能力を身につけることができる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	平常点(毎回、提出してもらうアクションペーパーについては、第 1 回目の講義で説明します)50%、学期末試験 50%です。		
課題に対するフィードバック	各受講生の提出したアクションペーパーに書かれた質問、意見、要望などに対して、つぎの講義の前にリプライを実施する。場合によって、担当教員と受講生、あるいは受講生同士のディスカッションをおこなうことを通じて、社会学の理解を深める。		
使用教材	篠原清夫・栗田真樹編著『大学生のための社会学入門』晃洋書房。		

1	講義内容	オリエンテーション、第1章社会学とは何か(1～12 頁)について解説する。		
	該当する到達目標	予習	第1章を読んでおくこと。1頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第1章の内容を理解しておくこと。9頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
2	講義内容	第2章 社会を観察する方法(13～24 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第2章読んでおくこと。13 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	第2章の内容を理解すること。22 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
3	講義内容	第3章 社会で活きる「私」(25～35 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第3章を読んでおくこと。25 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	第3章の内容を理解すること。34 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
4	講義内容	第4章 変容する家族のかたち(36～47 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第4章を読んでおくこと。36 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	第4章の内容を理解すること。47 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
5	講義内容	第5章 性の多様なあり方を考える(48～59 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第5章を読んでおくこと。48 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3	復習	第5章の内容を理解すること。57 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
6	講義内容	第6章 「現実を生きる」ための社会学―労働・産業・消費―(60～72 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第6章を読んでおくこと。60 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第6章の内容を理解すること。70 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
7	講義内容	第7章 日本で進展する環境・災害社会学(73～86 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第7章を読んでおくこと。73 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第7章の内容を理解すること。84 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間

8	講義内容	第8章 社会学から医療を見つめる(87～97 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第8章を読んでおくこと。87 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第8章の内容を理解すること。96 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	第9章 社会学は教育とどう向き合うのか(98～109 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第9章を読んでおくこと。98 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第9章の内容を理解すること。108 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	第 10 章 逸脱行動と社会問題(110～121 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第 10 章を読んでおくこと。110 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 10 章の内容を理解すること。119 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	第 11 章 「格差」の社会学(122～134 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第 11 章を読んでおくこと。122 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 11 章の内容を理解すること。132 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	第 12 章 生活空間としての地域社会(135～149 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第 12 章を読んでおくこと。135 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 12 章の内容を理解すること。144 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	第 13 章 グローバル社会とエスニシティ(150～162 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第 13 章を読んでおくこと。150 頁の予習課題を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 13 章の内容を理解すること。162 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
14	講義内容	第 14 章 宗教から社会を捉える(163～176 頁)を解説する。		
	該当する到達目標	予習	第 14 章を読んでおくこと。163 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 14 章の内容を理解すること。173 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	全講義を振り返り、社会学の考え方についてまとめる。		
	該当する到達目標	予習	教科書とノートを読み直して、全講義の理解の確認をしておくこと。	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	全講義の内容と概念について、再確認をしておくこと。	3 時間
備考	各受講生が、毎回の講義内容を自分自身の身近な具体的な状況のなかで理解することによって、社会学の考え方を深めることができるので、そうした観点から意欲的に講義に臨んでほしい。 オフィスアワー:火曜日5限・水曜日3限			

科目名	**生涯健康論(教養基礎)**			LAB007	講義
担当教員	鈴木 忠				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	生涯を幸せで豊かに過ごすための基本は健康である。日本人は世界有数の長寿を誇っているが、自立して生活を送る健康寿命は、平均寿命より約 10 年も短い。本講義では、健康寿命の延伸のための生涯にわたる健康増進法について理解し、人々の健康寿命延伸に健康支援チームの一員として参加できる基礎能力を身に着けることを目的としている。				
到達目標	1.健康の定義と集団の健康評価指標を理解する。 2.個体の健康を維持するため生体の調節機構について理解する。 3.環境・生活習慣の変容と疾病発症の関連について理解する。 4.健康寿命延伸にむけた取り組みについて理解する。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	授業参加度(課題に対する回答等)およびレポート:60 点、期末試験:40 点で総合 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートに対しコメントする。				
使用教材	テキストは使用せず、配布資料及び視聴覚資料を使用する 参考書として、厚生統計協会刊の「国民衛生の動向」を利用する				

1	講義内容	健康の定義と健康評価指標 WHO の提唱した健康の定義を知る。集団の健康評価の指標として最もよく使われるのが平均寿命であるが、寿命には、<平均寿命>、<平均余命>、<健康寿命>、<最長寿命>などの呼び方があり、これから重要なのは、健康寿命であることを理解する。		
	該当する到達目標 1	予習	「国民衛生の動向」より健康評価諸指標の年代推移を把握する。	1.5 時間
		復習	健康の定義と健康評価指標の理解を深める。	1.0 時間
2	講義内容	健康を維持するための構造と働き 健康を維持するための主たる生理機構は、<物質代謝>である。物質代謝に関わる体の構造とその働きについて理解する。		
	該当する到達目標 2	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する	1.5 時間
		復習	物質代謝を理解し関わる体の構造とその働きについて理解を深める。	1.0 時間
3	講義内容	恒常性維持システムの役割と相互作用 物質代謝に関連する構造がバランスよく正常に機能するように統括する恒常性維持(<ホメオスタシス>)システムは、脳神経系、内分泌系及び免疫系で構成される。その働きと相互作用について理解する。		
	該当する到達目標 2	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生体の恒常性(<ホメオスタシス>)維持機構について理解する。	1.0 時間
4	講義内容	食物と健康 物質代謝のスタートは食物からの栄養摂取である。食物には健康に欠かすことのできないエネルギー源<栄養素>だけでなく、生体調節機能を有する成分が含まれることを理解し、食生活が健康維持に密接に関連することを学習する。		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	食物の代謝過程を理解するとともに、食生活と健康との関連を学習する。	1.0 時間
5	講義内容	運動と健康		

		運動には、健康維持のための恒常性維持システムを正常に働かせるための運動と筋力を鍛えるための運動がある。ここでは、恒常性維持のための運動とその役割及び自立生活を支え、健康寿命を延ばすための筋力を鍛える運動について理解する。		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	健康維持における運動の生理学的意義と健康寿命延伸に向けた運動について理解する。	1.0 時間
6	講義内容	ストレスと生活環境 現代の社会・生活環境は個体にとって多くのストレスを生む。ストレスが、恒常性維持システムのバランスに悪影響を及ぼし、健康を害するメカニズムを理解し、ストレスを解消するための心のケアが健康維持にいかに重要であるかを理解する。		
	該当する到達目標 2,3	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	ストレスが、健康を害するメカニズムを理解し、その対策について理解する。	1.0 時間
7	講義内容	喫煙による健康障害 たばこが、発がん性だけでなく、血液循環障害や一酸化炭素中毒などの＜喫煙と健康障害＞のメカニズムについて理解する。＜受動喫煙の影響＞についても考える。		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	喫煙とその健康障害及び健康障害の機序を理解する	1.0 時間
8	講義内容	21 世紀における国民健康づくり運動(健康日本 21) 2000 年より、健康寿命の延伸を目指す健康づくり運動がスタートした。①食物・栄養、②運動及び③心の安静を<健康維持の 3 本柱>とし、これまでの早期発見・早期治療による二次予防及び確実な診断と治療・リハビリによる三次予防に対して、病気の発生そのものを防ぐ一次予防を重視する<予防医学>のスタートである。		
	該当する到達目標 1,3,4	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	21 世紀における国民健康づくりと取り組みを理解する。	1.0 時間
9	講義内容	特定健康診断の重要性及びメタボリックシンドローム 特定健康診断の結果の値を、発病予防のための健康管理の指標とできることを理解する。さらに、<定期健康診断>によって、疾患の早期発見あるいは疾患前状態を発見することで、二次予防にも繋がることを理解する。また、<内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）>の怖さを理解し、その予防法について考える。		
	該当する到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	メタボリックシンドロームの病態・対策を理解する	1.0 時間
10	講義内容	生活習慣病の危険因子としての糖尿病 <糖尿病>には、I 型と II 型があり、 第 12 回で学習する冠状動脈や脳動脈における血液循環障害発生の危険因子となるのみならず、微小血管循環障害による腎障害、視力障害及び神経障害という<三大合併症>を引き起こす。人工透析が必要となる腎不全及び失明の原因の第 1 位は糖尿病である。危険因子としての糖尿病とその予防法について理解する。		
	該当する到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生活習慣病の危険因子としての糖尿病 を理解する	1.0 時間
11	講義内容	生活習慣病(心疾患・脳卒中)と発症を予防する生活習慣 死亡原因の 2 位及び 3 位の<心疾患(狭心症・心筋梗塞症)>及び<脳卒中>は、<血液循環障害> による。これらの疾患の本態を知り、生活習慣との関係を理解し、その予防のための生活習慣を考える。		
	該当する到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生活習慣病(心疾患・脳卒中)の病態と発症と生活習慣との関連を理解する。	1.0 時間
12	講義内容	ロコモティブシンドローム 脳卒中と運動器障害は介護の主要原因となっている。骨粗鬆症・サルコペニア・運動器不安定を特徴と		

		するロコモティブシンドローム対策が健康寿命の延伸に重要である。 ロコモティブシンドロームの早期診断と予防の重要性について理解する。		
	該当する到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	加齢に伴う運動器障害を理解し、早期診断と予防の重要性について理解する	1.0 時間
13	講義内容	生活習慣病(がん)と発症を予防するための生活習慣 日本人の死亡原因の 1 位はがん、2 位は心疾患、3 位は脳卒中であり、いずれも生活習慣に起因する。ここでは、がんという疾患を理解し、がんを発症する生活習慣＜(がん発症危険因子)＞を知る。また、＜がん予防のための生活習慣＞及び早期発見・早期治療のための＜がん検診＞の重要性について理解する。		
	該当する到達目標 3,4	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生活習慣と発がんとの関係を理解し、がん対策基本計画などその対策について学習する。	1.0 時間
14	講義内容	微生物感染症と感染・発症予防 日本人の死亡原因の第 4 位は肺炎と呼ばれる微生物感染症である。各種保健医療施設においては、入所(入院)者の<院内感染症>発症予防は、最重要課題である。輸血などの医療行為が微生物感染症の発生要因<(医原性感染症)>となる場合があること、感染症発生の予防法について理解する。		
	該当する到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	最近の感染症の動向を理解しその対策について学習する。	1.0 時間
15	講義内容	地域における健康支援チーム構成員とその役割:まとめ これまでは、健康管理は個人が自分自身の責任で行うとされてきたが、地域における集団での支えあいに重点を置くとされた。地域における健康支援には、本人、家族を中心に、医療専門職者、診療情報管理士、管理栄養士、福祉専門職者、その他多数の職種者からなる<健康支援チームによるチーム医療>が必要である。どのような職種がどのような役割を果たしてチームを構成して健康を支えようとしているのかを理解する。		
	該当する到達目標 4	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	地域包括ケアシステムを理解し、地域における健康づくりチームの構成員としての各人の役割を理解する。	1.0 時間
備考	オフィスアワー:月曜日 12:30～13:30　15:30～16:30　研究室　4 号館 2 階学部長室 メールアドレス　suzuki-t@takasaki-u.ac.jp 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	生涯学習概論(教養基礎)		LAB008	講義
担当教員	小西 尚之			
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	我々の多くは「学校教育」を中心に「教育」を受けてきたが、人間が学ぶ場は学校だけではない。本授業では、「教育」ではなく「学習」の視点から、公民館・博物館・図書館等の社会教育施設における学習など、「生涯学習」について学ぶ。授業の進め方としては、各テーマについての説明を聞くだけではなく、話し合い活動を通じて課題に取り組むことによって理解を深めていく。			
到達目標	1.「生涯学習」や「生涯学習社会」の理念について理解している。 2.社会教育施設等における学びの概要・特徴について理解している。 3.他者と協力しながら課題に積極的に取り組むことができる。			
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		
		健康・医療および情報に関する知識・技能		
		問題解決力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	小テストに約 20%、レポート・発表に約 50%、日常点(授業への参加、授業態度、課題への取り組み、討論、授業に対する貢献度等)に約 30%を配分して総合評価する。			
課題に対するフィードバック	試験前後に出題の意図等を説明する。			
使用教材	授業担当者の作成資料による。			

1	講義内容	オリエンテーション		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んでおく。	1.5 時間
	1	復習	資料を読んで、授業の概要を確認し、生涯学習を学ぶ意味を理解する。	1.5 時間
2	講義内容	「学習」とは何か		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
3	講義内容	今なぜ「生涯学習」がクローズアップされるのか		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
4	講義内容	人は発達段階に応じて何を学ぶか		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	就職すると人はどのような学習をするのか		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	公民館とは何か		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	図書館とは何か		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	博物館とは何か		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間

	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	美術館とは何か		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	青年の家・少年自然の家とは何か		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	グループ発表①		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	グループ発表②		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	グループ発表③		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	グループ発表④		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	グループ発表⑤		
	該当する到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜 5 限、金曜 2 限 メールアドレス: konishi@takasaki-u.ac.jp 研究室: 8 号館 4 階 409 研究室 履修上の注意: 学校教育の最終段階である大学で学ぶ皆さんにとって、今後の人生で重要となる「生涯学習」について学ぶ意義は大きいと思います。ただし、少人数や全体での話し合い活動に加え、フィールドワーク（生涯学習施設への訪問）、その成果の発表など多様な学習活動を重視するため、他者と協力しながら積極的に「学ぼう」という意欲が無い人には不向きです。			

科目名	生命と環境の科学(教養基礎)	LAB009	講義
担当教員	奥 浩之		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	毎回、生命科学と環境科学の一つのトピックスについて、現状と問題・将来の課題など、高校までに学んだ知識をもとに、わかりやすく順を追って説明してゆく。具体的な事項を取り上げることで、漠然とした生命と環境についてのイメージを一新してもらうことを目的としている。生命分子の構造学習を行うので、各自で利用できるパソコンのあることが望ましい。(パソコンは持参する必要はなく、自宅で使用できればよい。)		
到達目標	1.地球環境について元素、物質循環、気候変動の観点から説明できる。 2.生命を構成する分子(核酸、タンパク質)について、分子構造、反応機構、応用の観点から説明できる。 3.私たちの生活に関連して、食品、バイオマス、医薬品や医療機器、のトピックスについて説明できる。 4.グローバルな視点から、新しい感染症、ワクチン開発、などのトピックスについて説明できる。 5.様々な文献や資料を参照し、レポート形式または要約・箇条書きの形式でまとめられるようになる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	レポート課題 50%、授業参加度 50%		
課題に対するフィードバック	提出されたレポート課題に対しては、コメントを付けて返却または講義時間内に課題の解説を行うことで受講学生へフィードバックする。		
使用教材	使用しない(講義にて用いるスライドを配布予定)		

1	講義内容	生命と環境ー地球における化学進化と生命における元素の役割		
	該当する到達目標 1,5	予習	元素周期表(http://stw.mext.go.jp/series.html)を読んでみよう。	1 時間
		復習	(1)人体を構成する元素の存在比 (2)主要元素・微量-超微量元素の具体的な元素名 (3)様々な元素の生体または医薬品における役割	1.5 時間
2	講義内容	生命と環境ー地球における元素の循環		
	該当する到達目標 1,5	予習	ヒトの活動による、水需要の増大、化石燃料の大量燃焼、窒素肥料の大量使用と地球環境への影響について調べてみよう。	1 時間
		復習	(1)大気・土壌における物質循環 (2)水循環、窒素循環、炭素循環、硫黄循環、リン循環の特徴 (3)人類の活動による物質循環への影響	1.5 時間
3	講義内容	生命と環境ー温室効果ガスによる地球温暖化		
	該当する到達目標 1,5	予習	温室効果ガスとは?温室効果は何故起こるか?調べてみよう。	1 時間
		復習	(1)地球上での物質循環は気候変動と密接に関連する (大気を暖める要因と冷やす要因) (物質循環の詳細な研究による、地球環境変化の予測) (2)IPCC 第5次報告書(2014 年)におけるRCPシナリオ (気候モデルによって予測された 21 世紀末の世界の気温) (世界全体のCO_2累積排出量と気温上昇量は比例する) (3)国連気候変動枠組条約 (日本における温室効果ガス削減目標)	1.5 時間
4	講義内容	生命と生体分子・・・DNA 二重らせんとX線構造解析		
	該当する到達目標	予習	ワトソンとクリックによるDNA二重らせんモデル	1 時間

	2,5		(1)当時用いられた分子モデル(ロンドン・サイエンスミュージアム) http://www.sciencemuseum.org.uk/broughttolife/objects/display?id=6145 (2)1953 年の論文 http://www.nature.com/nature/dna50/watsoncrick.pdf (3)DNA構造について(英文なので、最初は図を見るのがよい) 特に Figure 5 を見て、3 種類の二重らせん構造があることに注目しよう http://www.nature.com/scitable/topicpage/discovery-of-dna-structure-and-function-watson-397	
		復習	(1)DNAの分子構造はX線回折法によって求められる (2)ブラッグの回折条件式 (3)DNA繊維写真のX型パターン	1.5 時間
5	講義内容	生命と生体分子・・・タンパク質の構造解析における2つの方法		
	該当する到達目標 2,5	予習	(1)タンパク質を構成する 20 種類のアミノ酸とは? (2)アミノ酸の"光学活性"とは?	1 時間
		復習	(1)アミノ酸 20 種類の分子構造 (2)X線回折測定によるタンパク質の3次元構造解析 (3)NMR測定によるタンパク質の3次元構造解析	1.5 時間
6	講義内容	生命と生体分子・・・タンパク質の構造と機能		
	該当する到達目標 2,5	予習	(1)膜タンパク質とは? (2)アイスクリームの成分について。 (3)低脂肪アイスクリームの成分がわかったら調べてみよう。	1 時間
		復習	(1)swiss-pdb によってカリウムチャンネルの分子構造を見てみよう (2)低脂肪アイスクリームにおける不凍タンパク質の機能について	1.5 時間
7	講義内容	生命と生体分子・・・さまざまなタンパク質		
	該当する到達目標 2,5	予習	(1)70S リボソームにおけるタンパク質合成 (2)電子伝達系におけるATP合成 (3)ビタミンB12の役割 (4)マメ科植物における根粒菌とは?	1 時間
		復習	(1)70S リボソームと tRNA の分子構造(PDB ID: 4v4j)(PDB ID: 2tra) (2)F1-ATPase プロトン濃度勾配によるATP合成 (3)カルモデュリンの分子構造変化(PDB ID: 3cln)(PDB entry 2bbm)	1.5 時間
8	講義内容	生命と生体分子・・・酵素・タンパク質の反応機構		
	該当する到達目標 2,5	予習	(1)セリンプロテアーゼによるタンパク質の加水分解機構 (2)加水分解酵素の活性中心における触媒反応を行うアミノ酸残基について (3)光合成における二酸化炭素固定反応について	1 時間
		復習	(1)酵素の活性中心におけるさまざまな金属イオンとその役割について (2)光合成における RuBisCO(二酸化炭素と水とリブロース 1,5 ビスリン酸から二分子の3-ホスホグリセリン酸を得る反応を触媒する)の反応機構について。	1.5 時間
9	講義内容	生命と生体分子・・・ヘム蛋白(Mb、Hb、Cyt c、CYP450)		
	該当する到達目標 2,5	予習	(1)ヘムタンパク質とは? (2)ミオグロビンとヘモグロビンの違いは? (3)CYP3A4 とは?	1 時間
		復習	(1)ミオグロビン (PDB ID, 1A6M) (2)チトクローム c (PDB ID, 2B4Z)	1.5 時間

			(3)チトクローム P450 (PDB ID, 1W0E) (4)医薬品の代謝における CYP3A4 の影響について	
10	講義内容	ヒトの活動と環境: 食品の安全確保(加工食品の成分)		
	該当する到達目標 3,5	予習	(1)アクリルアミドの分子構造、用途、注意点	1 時間
		復習	(1)行政(農水省)では加工食品の安全確保についてどのような活動をおこなわれているか？	1.5 時間
11	講義内容	ヒトの活動と環境: バイオマスとバイオリファイナリー		
	該当する到達目標 3,5	予習	(1)バイオマスとは？ (2)バイオエタノールとは？	1 時間
		復習	(1)バイオリファイナリーとは？ (2)バイオガソリンの成分は？ (3)バイオマスプラスチックの具体的な事例は？	1.5 時間
12	講義内容	ヒトの活動と環境: 外科手術用の接着剤		
	該当する到達目標 3,5	予習	(1)ポリウレタンの分子構造とは？ (2)ポリウレタンはどのような原料から作られるか？	1 時間
		復習	(1)ウレタンプレポリマーによる血管の吻合メカニズム (2)血管の吻合における瞬間接着剤の欠点は？ (3)血管の吻合におけるウレタンプレポリマーの優れている点は？	1.5 時間
13	講義内容	生命と環境・・・インフルエンザワクチンの成分		
	該当する到達目標 4,5	予習	(1)ワクチンによる予防免疫のしくみ	1 時間
		復習	(1)様々なインフルエンザワクチンについて	1.5 時間
14	講義内容	生命と環境・・・グローバル化と感染症(ジカ熱、デング熱など)		
	該当する到達目標 4,5	予習	(1)蚊によって媒介される感染症とは？ (2)グローバル化におけるヒトの移動や経済活動の活発化について	1 時間
		復習	(1)グローバル化と感染症の拡大はどのように関係するか？ (2)ワクチンの開発例について	1.5 時間
15	講義内容	生命と環境 ・・・ 食べると甘い香りが発散するお菓子について		
	該当する到達目標 4,5	予習	(1)ワインやコーヒーの香りを分析する装置について調べてみよう(ヘッドスペース装置の付いたガスクロトグラフィー/質量分析計) (2)ヒトにおける薬物代謝のしくみ	1 時間
		復習	(1)ヒトの体の匂いに関与する成分はどのようにして分析されたか？ (2)お菓子を食べてから、体表面から香気成分が発散するまでの経路は？ (ヒトにおける薬物代謝から説明してみよう。)	1.5 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 質問には、授業開始前もしくは終了後に教室等で応じます。			

科目名	**国際関係論(教養基礎)**			LAB010	講義
担当教員	片桐 庸夫				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	アメリカのトランプ大統領の誕生、北朝鮮の核開発、イスラエルによるエルサレム首都化などにより増々混迷の度を増す今日の世界の基本構造について理解すること。				
到達目標	1. 現代世界の理解 2. 今日の世界の基本構造の理解 3. 国家間の対立要因の理解 4. 国家間の相互理解の理解 5. 自由主義イデオロギーと社会主義的イデオロギーの理解 6. 現代の戦争の理解 7. 国家の安全保障の理解 8. 核の下の平和の理解 9. 国際秩序概念の理解 10. 国際テロ、難民、民族や宗教対立発生要因の理解 11. 第二次世界大戦後の米軍による日本占領の理解 12. 日本の原型の形成の理解 13. 戦後日本外交の理解 14. 日本に突き付けられた国際貢献問題の理解				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	講義中に行う 3 回程度の試験(60%)と授業に臨む態度(20%)、授業参加度(20%)等により総合評価する。				
課題に対するフィードバック	試験を行った場合には、翌週に採点結果を返却する。その際には、一人一人に論文やレポート用の分の構成、文体、文の修正、誤字脱字等について指導を行う。				
使用教材	教科書を用いず、プリントを配布する。				

1	講義内容	授業展開の方法、出席の取り方、試験の方法、成績評価の方法等についてガイダンスを行う。		
	該当する到達目標	予習	必要なし。	0 時間
		復習	必要なし。	0 時間
2	講義内容	今日の世界の混迷した状況やトランプ氏当選の背景等について概観する。		
	該当する到達目標 1,3,7,8,10	予習	1 週間分の新聞の 1,2 面の記事に目を通しておくこと。	1 時間
		復習	ノートテイキングした部分の加筆、整理と新聞記事の内容を付加すること。	1 時間
3	講義内容	「冷戦の特異性」の意味と大規模な戦争後に起こりやすい戦勝同盟国間の対立を理解する。		
	該当する到達目標 1,2,3,9	予習	プリントのウイーン会議の項を読んでおくこと。	1 時間
		復習	細谷雄一『国際秩序』中公新書の p.115-120、p.282 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
4	講義内容	戦勝同盟国間の対立の典型的事例であるウイーン会議について理解する。		
	該当する到達目標 2,4,7	予習	プリントのウイーン会議の項を読んでおくこと。	1 時間
		復習	『国際秩序』の p.121-124 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
5	講義内容	国際コミュニケーションにとって大切な共通の価値観の意味について理解する。		
	該当する到達目標 3,4,5	予習	プリントの共通の価値観の項を読んでおくこと。	1 時間
		復習	『国際秩序』の p.128-130 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間

6	講義内容	ウイーン会議とは反対に共通の価値観の欠如していた米ソ間の体制間対立ついて理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの米ソ間の体制間対立の項を読んでおくこと。	1 時間
	2,3,4,5,8	復習	『国際秩序』の p.230-241 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
7	講義内容	米ソ間のイデオロギー対立について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントのイデオロギー対立の項を読んでおくこと。	1 時間
	3,5,7	復習	『国際秩序』の p.237-241 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
8	講義内容	米ソ両国間の安全保障観の相違と戦争の性格の変化について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの安全保障観の相違と戦争の性格の変化の項を読んでおくこと。	1 時間
	6,7,8	復習	戦争の性格の変化についてのDVDを観て、同変化をノートにまとめること	1 時間
9	講義内容	冷戦の定義、それに基づく形で冷戦の起源と終焉について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの冷戦の定義と冷戦の起源と終焉についての項を読んでおくこと。	1 時間
	2,6,7,8	復習	永井陽之助『冷戦の起源』中央公論社の p.6-10 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
10	講義内容	究極の兵器がもたらした核の下の平和について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの核の下の平和についての項を読んでおくこと。	1 時間
	1,6,7,8	復習	『国際政治』の p.253-255 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
11	講義内容	冷戦の逆説である長い平和について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントのガディスの逆説についての項を読んでおくこと。	1 時間
	1,7,8,9	復習	『国際政治』の p.256-260 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
12	講義内容	冷戦終焉と終焉後の世界の不安定性の理由について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの国際秩序維持勢力と国際秩序の喪失の項を読んでおくこと。	1 時間
	2,7,9	復習	『国際政治』p.281-285 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
13	講義内容	冷戦後の初の戦争-湾岸戦争の意義、テロ・民族対立・宗教対立・難民発生の理由を理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの湾岸戦争、国際秩序なき時代についての項を読んでおくこと。	1 時間
	6,7,10	復習	『文明の衝突と 21 世紀の日本』集英社新書の p.21-36 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
14	講義内容	終戦、米国の対日占領政策、天皇制存置、SF 講和、日米安保について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの終戦から SF 講和に至る項を読んでおくこと。	1 時間
	7,11,12	復習	小此木・赤木共編『冷戦期の国際政治』慶応大学出版会 p.288-306 を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
15	講義内容	『「戦後」の克服』の意味、現代の日本外交の課題について理解する。		
	該当する到達目標	予習	プリントの「戦後」の克服、国際貢献問題等の項を読んでおくこと。	1 時間
	1,10,13,14	復習	講義中に配布する新聞の切抜き記事を読み、内容をノートにまとめること。	1 時間
備考	オフィスアワーは、 前期の木曜日、昼休み時間に講師室に設ける。質問等があったら、随時来てほしい。 予習、復習に必要な最低限の時間を表示しておくので、最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。「復習」に挙げられている本が参考文献も兼ねています。利用してください。予習復習の結果、不明の点がありましたら質問して下さい。			

科目名	**体育理論(教養基礎)**			LAB011	講義
担当教員	大家 千枝子				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	現代社会における運動・スポーツの意義を理解し、生涯にわたり健康・体力づくりを実践するために必要な基礎知識を学ぶ。自らの健康・体力の現状を把握し、健康・体力づくりに適した身体活動について、その効果や実践方法を知り、実際の生活に活用する能力を養う。				
到達目標	1.現代社会における運動・スポーツの意義を理解し、具体的に述べることができる。 2.自身の健康・体力の状況とともにわが国の健康・体力の現状を把握し、問題点をあげることができる。 3.自主的・継続的に健康の保持増進を図るためのアイディアを探り、方法を創造することができる。 4.教養を広げるための課題に積極的に取り組み、履修者同士でコミュニケーションをとることができる。 5.人間が創造した運動(文化)の意味を考え、運動への認識を深めることができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	授業への取り組み実践点 30%、毎回のコメントシート 30%、レポート 40%				
課題に対するフィードバック	自分以外の履修者による課題(体力テストの結果など)や感想、評価を知ることが学生相互の刺激になるため、C-learning を使って瞬時にフィードバックする。場合によっては、プリントアウトして配布、PPT で映写するなどの方法でフィードバックする。また授業期間中における紙媒体の提出課題は、適宜返却を予定している。ただし最終課題は返却する予定はないので、開示を希望するものは本人が直接申し出ること。				
使用教材	プリント適宜配布。参考文献適宜紹介。				

1	講義内容	ガイダンス、大学での学び・健康とは・上達の秘訣を考える		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。	0.5 時間
	1,2,5	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。	0.5 時間
2	講義内容	からだのしくみ(器官・神経・骨格・筋肉)		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。	0.5 時間
	1,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
3	講義内容	からだのしくみ(筋収縮、筋力トレーニング)		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。	0.5 時間
	1,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
4	講義内容	A 組:体力を知る(新体力テスト)・B 組:図書館利用術(図書館コラボ企画)		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。	0.5 時間
	2,4	復習	C-learning に測定結果と必要事項を入力する。	0.5 時間
5	講義内容	A 組:図書館利用術(図書館コラボ企画)・B 組:体力を知る(新体力テスト)		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。	0.5 時間
	2,4	復習	C-learning に測定結果と必要事項を入力する。	0.5 時間
6	講義内容	体力を評価する(体力とは)		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。課題を仕上げる。	0.5 時間
	1,2	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
7	講義内容	運動・スポーツの実施状況、体力、体格(BMI)について		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。	0.5 時間
	1,2	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
8	講義内容	体組成、体脂肪の測定方法、エネルギー消費量の算出方法、内臓脂肪について		

	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。フィットネスルームで体組成を測定しておく。	0.5 時間
	1,2	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
9	講義内容	アクティブガイド、運動の種類、継続するための仕組みづくり、問題解決のための作戦を立てる		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。	0.5 時間
	1,2,3	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
10	講義内容	問題解決のための作戦づくり・グループワーク		
	該当する到達目標	予習	問題解決のための作戦を仕上げる。	0.5 時間
	2,3,4	復習	グループで決定した作戦内容を C-learning に回答する。	0.5 時間
11	講義内容	学生主体授業・教養を広げるための活動		
	該当する到達目標	予習	課題を必ず仕上げて、学生主体授業に備える。	0.5 時間
	2,3,4	復習	出来上がったリストから本を選び、後期期間中に読む。	0.5 時間
12	講義内容	食と運動と健康について考える（その１　視聴覚教材使用）		
	該当する到達目標	予習	課題を仕上げて、C-learning に回答する。	0.5 時間
	1,3	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
13	講義内容	食と運動と健康について考える（その2）		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。	0.5 時間
	1,3	復習	課題を仕上げて、期日までに提出する。	0.5 時間
14	講義内容	健康づくり運動の基礎知識		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。	0.5 時間
	1,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
15	講義内容	トレーニングの原理・原則、まとめ		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。最終課題を仕上げる。	0.5 時間
	1,5	復習	目標達成度の確認。今後どのように運動・スポーツを取り入れるか検討する。	0.5 時間
備考	オフィスアワー・・・火曜日 12:00～14:30、1 号館（健康福祉学部）、3 階 302 研究室、3 階エレベータ前にポスト有。 受講上の注意・・・①積極的に C-learning を活用するため、スマホ所有やネット環境が整っていることが望ましい（※整っていない場合は大学 PC 室などを利用してください）。			

科目名	**体育実技(教養基礎)**		LAB012	演習
担当教員	佐藤 孝之			
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位	
講義目標	余暇時間の増大や高齢化が進むなかで、生涯にわたってスポーツに親しむことは、活力に満ちた社会の形成や個々人の心身の健全な発達に必要不可欠である。本講義では、人との交流を深めながら生涯スポーツへの自己の取り組み方について学ぶ。			
到達目標	1.各スポーツ種目の歴史、ルール、マナーを理解・実践できる。 2.安全に効率よく練習およびゲーム運営における自分の役割を思考し、行動できる。 3.種目特性によって異なる身体感覚について関心をもつことができる。 4.積極的に取り組み、参加者と十分なコミュニケーションを築くことができる。また施設、器具を大切に扱うことができる。 5.基本スキルを獲得することができる。また相手の力量に合わせ、楽しみながらゲームができる。			
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		
		健康・医療および情報に関する知識・技能		
		問題解決力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	授業参加度 50%、レポート 25%、授業記録 25%			
課題に対するフィードバック	授業時間内に行う。			
使用教材	授業内において適宜配布する。			

1	講義内容	イントロダクション・ストレッチとレジスタンストレーニング		
	該当する到達目標 1,2,4	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2 知っているストレッチ方法にチャレンジしてみること。	0.5 時間
		復習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を送るために普段の生活を見直すこと。 2 授業内で行ったストレッチやレジスタンストレーニングを積極的に行うこと。	0.5 時間
2	講義内容	男女混成での団体スポーツのための準備		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2 チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
		復習	チーム内で話し合いの場を持ち，それぞれの長所，短所を明らかにすること	0.5 時間
3	講義内容	男女混成での団体スポーツ(バドミントン・模擬ゲーム)		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2 明らかになった長所，短所について，大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながら確認すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
		復習	チーム内で話し合いの場を持ち，勝つためのゲームおよび楽しむためのゲームの進め方を探ること	0.5 時間
4	講義内容	男女混成での団体スポーツ(バドミントン・リーグ戦)		
	該当する到達目標	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心が	0.5 時間

	2,3,4,5		けること。 2 話し合った内容を実現するために大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながらチェックすること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	
		復習	1 チーム内で話し合いの場を持ち，リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと. 2 次講義からのチーム内で話し合い，コミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
5	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ドッジボール・チーム練習)		
	2,3,4,5	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2 チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
		復習	チーム内で話し合いの場を持ち，それぞれの長所，短所を明らかにすること	0.5 時間
6	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ドッジボール・模擬ゲーム)		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2 明らかになった長所，短所について，大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながら確認すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
		復習	チーム内で話し合いの場を持ち，勝つためのゲームおよび楽しむためのゲームの進め方を探ること	0.5 時間
7	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ドッジボール・リーグ戦)		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2 話し合った内容を実現するために大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながらチェックすること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
		復習	1 チーム内で話し合いの場を持ち，リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと. 2 次講義からのチーム内で話し合い，コミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
8	講義内容	男女混成での団体スポーツ(ソフトバレーボール・チーム練習)		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2 チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
		復習	チーム内で話し合いの場を持ち，それぞれの長所，短所を明らかにすること	0.5 時間
9	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ソフトバレーボール・模擬ゲーム)		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2 課外時間に大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用し、授業の予習・復習を行うこと。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
		復習	チーム内で話し合いの場を持ち，それぞれの長所，短所を明らかにすること	0.5 時間
10	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ソフトバレーボール・リーグ戦)		
	該当する到達目標	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心が	0.5 時間

	2,3,4,5		けること。 2 大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	
		復習	1 チーム内で話し合いの場を持ち，リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと. 2 次講義のチーム内で話し合い，コミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
11	講義内容	ミニ運動会		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2 大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
		復習	今回のチーム内でお互いに感想を話し合い，コミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
12	講義内容	男女別チームによるチームスポーツ(バスケットボール・チーム練習)		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2 チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
		復習	チーム内で話し合いの場を持ち，それぞれの長所，短所を明らかにすること	0.5 時間
13	講義内容	男女別チームによるチームスポーツ(バスケットボール・模擬ゲーム)		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2 明らかになった長所，短所について，大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながら確認すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
		復習	チーム内で話し合いの場を持ち，勝つためのゲームおよび楽しむためのゲームの進め方を探ること	0.5 時間
14	講義内容	男女別チームによるチームスポーツ(バスケットボール・リーグ戦)		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2 大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	0.5 時間
		復習	1 チーム内で話し合いの場を持ち，リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと.	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2 大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。	0.5 時間
		復習	科目内で知り合った学生と話し合いの場を持ち，大学体育施設等を積極的に利用すること	0.5 時間

備考	1 運動が得意な参加者は、運動が苦手な参加者の練習にも協力してください。 2 質問には授業開始前もしくは終了後に相談に応じます。 受講上の注意 1 運動にふさわしいジャージおよびシューズ（屋内外別、スパイク禁止）を着用の上、参加すること（ジーパンなどの普段着での受講は不可）。 2 ケガを未然に防ぐために、時計、指輪、ブレスレット、ネックレス、ピアス等の貴金属類はすべて外し，髪が肩にかかる学生は髪を纏めて参加すること。 3 実技授業を進める上で配慮を必要とする学生は初回授業までに授業担当者まで申し出ること。 4 貴重品の管理は各自で行うこと。 5 授業で実施するスポーツ種目の器具は大学が用意しますが、個人で所有する器具がある場合は積極的に持参してください。 6 天候により施設変更する場合があります。教務課掲示板で確認してください。

科目名	キャリア形成論(教養基礎)			LAB013	講義
担当教員	小泉 英明				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	社会の仕組みはもとより、経済、雇用など私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変わり、仕事の質や内容が大きく変化しています。本講座では、大学生が社会(企業・組織)から求められている「能力」について理解を深め、社会ですぐに役立つ人材となることを目指します。授業では SGD(スモール・グループ・ディスカッション)を通じてお互いを高め合い、コミュニケーション能力・思考力・問題解決能力を醸成するとともに、様々なケーススタディによって社会・職場適応力を習得します。さらに、本学卒業後、社会人として適切なスタートを切ることができるよう、“自身”の強化プラン策定と目標管理を行いながら、将来のキャリア形成につながる基礎を固めます。				
到達目標	1.社会の出来事を理解し、社会に通用する就業観、勤労観を学ぶ。 2.自己の成長に向けて、自己を正しく理解するとともに、自己効力感を養う。 3.社会人基礎力を理解し、社会適応力を身につける。 4.読む・聞く・書く・話す力の基本を身につけ、コミュニケーション能力を高める。 5.論理を組み合わせる手法を学び、論理的思考力を高める。 6.アイデアの出し方を学び、創造的思考力を高める。 7.気づく力を身につけ、問題発見能力を高める。 8.問題解決のスキルと手法を学び、問題解決能力を高める。 9.自己変革のために必要な自身の問題点を探る。 10.自律型人材に向けての目標管理ができる。 11.社会における人間関係を学び、社会適応力を高める				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	最終レポート 60%、授業後の提出課題 30%、授業参加度・授業態度 10% それぞれの評価基準については初回授業で説明します。総合評価 60%以上を合格とします。				
課題に対するフィードバック	授業後の提出課題については、随時コメントをつけてフィードバックします。 最終レポートの後に、出題テーマの意図を掲示によって示します。				
使用教材	講義内容を随時プリントして配布します。				

1	講義内容	ガイダンス／キャリア形成に必要なこと		
	該当する到達目標	予習	新聞、テレビなどのニュースから、社会の出来事を理解して臨む	1 時間
	1	復習	社会が求めていること、キャリア形成に必要なコアコンピタンスを理解する。	1 時間
2	講義内容	先行きの予測が困難な時代／社会が求める人材		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 2 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	1,3	復習	キャリア形成に必要な「社会人基礎力」について理解を深める。	1 時間
3	講義内容	自己の理解		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 3 回講義プリントを読む。自己理解シートに記入する。	1 時間
	2	復習	自己理解と、自己効力感を理解する。自分のパーソナリティを確認する。	1 時間
4	講義内容	コミュニケーション力		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 4 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,4	復習	チェックシートによって自身のコミュニケーション力を客観的につかむ。	1 時間
5	講義内容	実践コミュニケーション力		

	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 5 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,4	復習	ディスカッションを振り返り、自身のストロング・ウィークポイントを知る。	1 時間
6	講義内容	気づく力		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 6 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,7	復習	事例研究課題に取り組む。気づく力が問題解決の入り口であることを理解する。	1 時間
7	講義内容	考える力Ⅰ（ロジカルシンキング・クリティカルシンキング）		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 7 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,5	復習	事例研究によって論理的思考を理解する。（課題→第 9 回の BS で使用）	1 時間
8	講義内容	考える力Ⅱ（クリエイティブシンキング）		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 8 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,6,7,8	復習	事例研究によって創造的思考の重要性を理解する。アイデア発想演習。	1 時間
9	講義内容	創造力を伸ばす（BS 演習ほか）		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 9 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,6,7,8,9	復習	ブレーンストーミングをはじめ、創造力を伸ばす技法の理解を深める。	1 時間
10	講義内容	問題解決能力Ⅰ（問題点を探る・WHY ツリー）		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 10 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,7,8,9	復習	自身が抱える問題の「問題点」を WHY ツリーで探る。（課題→提出）	1 時間
11	講義内容	働く意味／「仕事力」と「就業力」		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 11 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	1,3	復習	「仕事観」「就業観」を理解し、レポートを書く。（課題→提出）	1 時間
12	講義内容	問題解決能力Ⅱ（問題解決の手法・HOW ツリー／目標設定・キャリアマニフェスト）		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 12 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,8,9,10	復習	自身の課題を解決するため、目標設定と計画立案を行う。（課題→提出）	1 時間
13	講義内容	社会における人間関係		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 13 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,11	復習	人との接し方と、よりよい人間関係を築く方法を理解する。	1 時間
14	講義内容	自己の確立（内面のコントロール）		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 14 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,10	復習	将来のキャリア形成に向けて、自己を確立することの重要性を理解する。	1 時間
15	講義内容	ストレスマネジメント		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する第 15 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1 時間
	3,11	復習	ストレス対処法を理解し、ストレスに対する耐性力に高める。	1 時間
備考	オフィスアワー：木曜日（12～17 時） 事前に配布するプリントをもとに予習して授業に臨んでください。配布プリントはファイリングし、毎回持参してください。授業は積み上げ方式で進めていくので、授業後は必ず復習してください。新聞やテレビなどのニュースには常に関心を持ち、社会の出来事を理解し授業に臨んでください。 〔健康福祉学部の学生に求められる基本的な資質〕 ①人の役に立つという心構え ②生活者本位の視点 ③コミュニケーション能力 ④チームワーキングへの参画 ⑤自己研鑽			

科目名	**哲学(人間理解)**			LAH001	講義
担当教員	大石 桂子				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	「他者とどう関わっていけばよいか」「絶対に正しいことはあるのか」、「病気や弱さとは何か」。普段は漠然と理解しているように感じることに、改めて疑問を持ち考えるのが哲学である。本講義では身近な題材をもとに医療・福祉・健康分野に関わる者として考えておきたいトピックを取り上げる。哲学者たちの議論や、統計からみえる社会情勢などを手引きとして、論理的に考えていくための基礎力を身につける。				
到達目標	1. 人と人、人と社会の関係、平等性、自由と責任などについて、多様な視点から説明できる。 2. 共生の意義や、弱者の排除が社会にもたらす影響を説明できる。 3. 各テーマについて、自分の意見をもつことができる。 4. 課題やグループワークを通して、自分の考えを他者に伝わりやすく表現できる。 5. 自分と異なる他者の考えを受け止め、そこから新たな発見ができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	定期試験(60%), 講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	提出された課題の内容にコメントを付けて、授業中に紹介する。				
使用教材	講義中にプリントを配布する。				

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容をよく読み、講義の目標や取り扱う内容を理解する。	1 時間
	1	復習	「哲学」の目標、学ぶ意義について理解する。	1 時間
2	講義内容	自分と他者(1)「人に認められたい」のは本能?——ヘーゲル		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3	復習	ヘーゲルのいう「承認への欲求」を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	自分と他者(2)「本当の自分」とは何か——キルケゴール		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3	復習	キルケゴールの「大衆と実存」の違いを理解する。	1.5 時間
4	講義内容	自分と他者(3)人と人の関係性——ブーバー、サルトル		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3	復習	第 2 回から第 4 回までの内容を整理する。	1.5 時間
5	講義内容	ディスカッション——これからの自分に大切なこと		
	該当する到達目標	予習	第 2 回から第 4 回までの内容について、自分の考えをまとめる。	1 時間
	1,3,4,5	復習	自分にとって大切なことを改めて熟考し、課題を仕上げる。	1.5 時間
6	講義内容	平等と共生(1)誰もが信じられる正しさはあるか——ロールズ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	「機会の平等」と「結果の平等」を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	平等と共生(2)環境は人の心にどう影響するのか		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3,4	復習	「無知のヴェール」について理解する。平等について課題を仕上げる。	2 時間

8	講義内容	自由・正しい自己決定のために――カント		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3	復習	「自律」の意義について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	心と身体(1)「私」を形づくるのは心か身体か――ニーチェ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	身体がものの見方や価値観に影響する例を考える。	1.5 時間
10	講義内容	心と身体(2)人間の中心は脳なのか		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	脳死の問題について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	エンハンスメント(1)変化する「病」の定義		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	エンハンスメントや「医療化」について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	エンハンスメント(2)「弱さ」を否定する社会――ハーバーマス、サンデル		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,3	復習	弱さを排除した場合の社会的影響について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	ディスカッション――医療技術と自己決定		
	該当する到達目標	予習	個人の欲求でどこまで医療技術を利用してよいか、自分の考えをまとめる。	1.5 時間
	2,3,4,5	復習	エンハンスメントについての自分の考えをまとめる。	1.5 時間
14	講義内容	責任(1)責任の範囲はどこまで？――アリストテレスほか		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3	復習	責任が問われる基準について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	責任(2)「何もしなかった」ことに責任はあるのか――ヤスパース		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,3,4,	復習	講義中にあげた事例について、自分の考えを課題にまとめる。	1.5 時間
備考	本講義では知識の修得だけでなく、みずから考えることを重視するので、課題など積極的に取り組んで下さい。 オフィスアワー：水曜日の 2 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。 メールアドレス「oishi@takasaki-u.ac.jp」 研究室：1 号館 6 階 601 予習・復習については試験前の学習で補完すること。			

科目名	**倫理学(人間理解)**			LAH002	講義
担当教員	出雲 春明				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	現代の医療をめぐる問題をとりあげ、それぞれのトピックを通じて、倫理学の諸理論、人々の多様な価値観について学ぶ。				
到達目標	1.医療に関連する倫理的諸問題について正確な知識を習得する。 2.自分の考えを表現することができる。 3.自分と対立する考えについても理解を深める。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	授業への参加とその態度(20%)、小テスト・期末レポート(80%)から評価する。				
課題に対するフィードバック	講義中、課題を出し、自分の考えをまとめて提出してもらう場合がある。有意義な意見に関しては講義中に紹介する。				
使用教材	講義中に資料を配布する。				

1	講義内容	ガイダンス―生命倫理学について		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み講義の目的を理解する。	1 時間
	1	復習	生命倫理学の成立事情について、技術の発展と人間観の変化から理解する。	1.5 時間
2	講義内容	不妊治療(1)人工授精		
	該当する到達目標	予習	人工授精の定義を確認し、書籍、報道から関連情報を取得しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	人工授精の特徴とそこで生じる倫理的問題について理解する。	1.5 時間
3	講義内容	不妊治療(2)体外受精、代理母		
	該当する到達目標	予習	体外受精と人工授精の違い、代理母がなぜ求められるかを確認しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	人工授精、体外受精、代理母の特徴とその倫理的問題について理解する。	1.5 時間
4	講義内容	遺伝子操作(1)ヒトゲノム計画		
	該当する到達目標	予習	ヒトゲノム計画とは何かを調べておく。	1 時間
	1,2	復習	遺伝情報が現在社会においてどのように利用されようとしているか理解する。	1.5 時間
5	講義内容	遺伝子操作(2)遺伝子診断技術と優生思想		
	該当する到達目標	予習	遺伝子診断技術と優生思想について調べておく。	1 時間
	1,2,3	復習	実際の事件などを手がかりに優生思想について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	人工妊娠中絶:パーソン論		
	該当する到達目標	予習	日本における人工妊娠中絶の法的規定について調べておく。	1 時間
	1,2,3	復習	人工妊娠中絶をめぐる現在の状況、議論について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	遺伝子操作(3)クローン技術		
	該当する到達目標	予習	クローン技術に対する現段階のイメージとその是非についてまとめてみる。	1 時間
	1	復習	映画などで描かれるクローンと実際のクローンを比較して考えてみる。	1.5 時間
8	講義内容	遺伝子操作(4)幹細胞研究と将来世代のための倫理		
	該当する到達目標	予習	クローン技術に関して確認し、再生医療との関わりについて調べてみる。	1 時間
	1, 2	復習	ES 細胞、iPS 細胞ならびに今後期待されるその役割について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	終末期医療(1)告知をめぐる問題		
	該当する到達目標	予習	告知をすべきか、すべきでないかその理由と共に考えをまとめてみる。	1 時間

	1,2,3	復習	予習での自分の意見と比較しつつ、告知をめぐる状況と議論について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	終末期医療(2)インフォームド・コンセント		
	該当する到達目標	予習	インフォームド･コンセントが求められた歴史的なきっかけを調べておく。	1 時間
	1,2	復習	患者を主役とする医療という考え方について確認しておく。	1.5 時間
11	講義内容	終末期医療(3)安楽死とホスピスケア		
	該当する到達目標	予習	安楽死に対する現段階のイメージ、その是非についてまとめてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	安楽死の区分について理解し、自分の意見をまとめてみる。	1.5 時間
12	講義内容	臓器移植(1)生体臓器移植		
	該当する到達目標	予習	日本での生体臓器移植の位置づけについて調べてみる。	1 時間
	1,2	復習	生体臓器移植の特徴とその倫理的問題について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	臓器移植(2)死後移植と臓器移植法改正		
	該当する到達目標	予習	日本における昨今の死後移植の位置づけについて調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	改正臓器移植法について理解し、自分の意見をまとめてみる。	1.5 時間
14	講義内容	エンハンスメント:薬剤の使用をめぐる問題		
	該当する到達目標	予習	エンハンスメントの定義を調べておく。	1 時間
	1,2,3	復習	ドーピングなどの薬剤による強化をめぐる問題について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	総括―福祉に携わる者として		
	該当する到達目標	予習	企業による不祥事の隠蔽事件について調べ、自分の考えをまとめてみる。	1 時間
	1,2	復習	資料に提示されたケースをもとに自らがいかに行動すべきか考える。	1.5 時間
備考	なるべく平易な表現を用いて講義を行う。講義前にシラバスを確認し、当該テーマについて自分がどのようなイメージを持っているのかについて、講義後はそれがどのように変わったのかについて確認しておくこと。配付された資料に基づいて必ず復習しておくこと。講義中、一つの問題をめぐって様々な、そしてしばしば対立する見解が示される。自分ならどの立場をとるか、対立する相手に対してどのように反論するか、常に考えながら講義に臨んでほしい。予習、復習に必要な最低限の時間を表示しておくので、最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 **参考文献**:加藤尚武『脳死・クローン・遺伝子治療―バイオ・エシックスの練習問題』、PHP 新書、1999 年。 小林亜津子『はじめて学ぶ生命倫理―「いのち」は誰が決めるのか』、筑摩書房、2011 年。 **オフィスアワー**:質問などがある者は、授業の前後、非常勤講師控え室で対応する。			

科目名	心理学(人間理解)			LAH003	講義
担当教員	角野 善司				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	人間の心理的諸機能に関する理論・研究について学び、支援に必要な基礎的知識の習得を目指す。 こころのしくみに関して心理的諸機能を概観し、心の発達や健康について理解したうえで、心理的支援の方法と実際を学ぶ。				
到達目標	1.心理学理論による人の理解とその技法の基礎について説明できる。 2.人の成長・発達と心理との関係について説明できる。 3.日常生活と心の健康との関係について説明できる。 4.心理的支援の方法と実際について説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	毎回の宿題 30%(復習課題 15%、予習課題 15%)、学期末テスト 70%(知識問題 50%、論述問題 20%)。 宿題の得点が一定水準に達しなければ、学期末テストの得点に関わらず、単位を付与しない。				
課題に対するフィードバック	宿題は毎回授業時に、学期末テストは事後に講評解説の機会を設ける。				
使用教材	加藤伸司ほか「心理学理論と心理的支援[第2版]」ミネルヴァ書房 2014 年 2,800 円+税				

1	講義内容	こころのしくみの理解(1):心理学における主要な理論		
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
2	講義内容	こころのしくみの理解(2):心と脳/情動・情緒		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
3	講義内容	こころのしくみの理解(3):欲求・動機づけと行動		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
4	講義内容	こころのしくみの理解(4):感覚・知覚・認知		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
5	講義内容	こころのしくみの理解(5):学習・記憶・思考/知能・創造性		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
6	講義内容	こころのしくみの理解(6):人格・性格/自己概念・自己実現		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
7	講義内容	こころのしくみの理解(7):集団		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
8	講義内容	こころのしくみの理解(8):適応/人と環境		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間

	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
9	講義内容	人の成長・発達と心理:発達の概念		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
10	講義内容	日常生活と心の健康:ストレスとストレッサ		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
11	講義内容	心理的支援の方法と実際(1):心理検査の概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
12	講義内容	心理的支援の方法と実際(2):カウンセリングの概念と範囲		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
13	講義内容	心理的支援の方法と実際(3):カウンセリングとソーシャルワークとの関係		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
14	講義内容	心理的支援の方法と実際(4):心理療法の概要と実際		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
備考	・宿題の提出は、C-learning による。 ・オフィスアワー(後期):月曜 3・4 限　　研究室:8 号館 4 階 405 室 ・メールアドレス:zsumino@takasaki-u.ac.jp			

科目名	文学と人間（人間理解）	LAH004	講義
担当教員	斎藤 順二		
学年.開講期	1 年 前期	必選.単位数	選択 2 単位
講義目標	現代人の基礎教養として、日本の名作文学を朗読CDで味わうことで、文章表現による心のコミュニケーションを図ることができる。		
到達目標	1.視聴覚教材を活用して「文学と人間」への洞察を深めることができる。 2.歴史の諸相における人間と人間生活の理解に役立てることができる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康.医療および情報に関する知識.技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	まとめのレポートを 100 点満点で採点し、それに授業参加度を加味して総合評価する。		
課題に対するフィードバック	共通課題「授業で学んだ近代文学の名作の中から、人間と人間生活の理解に役立つと思われる 10 作品を選び、それぞれ 80～90 字で論評しなさい」を採点し、その結果を講評する。		
使用教材	小田切進『日本の名作』（中央公論新社）定価（本体 720＋税）		

1	講義内容	二葉亭四迷『浮雲』.森鴎外『舞姫』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
2	講義内容	森鴎外『高瀬舟』.『雁』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
3	講義内容	幸田露伴『五重塔』.樋口一葉『たけくらべ』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
4	講義内容	尾崎紅葉『金色夜叉』.徳富蘆花『不如帰』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
5	講義内容	泉鏡花『高野聖』.島崎藤村『破戒』『夜明け前』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
6	講義内容	夏目漱石『坊っちゃん』『こころ』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
7	講義内容	伊藤左千夫『野菊の墓』.田山花袋『田舎教師』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
8	講義内容	芥川龍之介『羅生門』『鼻』『地獄変』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
9	講義内容	有島武郎『或る女』.武者小路実篤『友情』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間

10	講義内容	川端康成『伊豆の踊子』.小林多喜二『蟹工船』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
11	講義内容	林芙美子『放浪記』.尾崎士郎『人生劇場』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
12	講義内容	谷崎潤一郎『春琴抄』『細雪』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
13	講義内容	志賀直哉『暗夜行路』.太宰治『人間失格』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
14	講義内容	壷井栄『二十四の瞳』.井上靖『天平の甍』		
	該当する到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
15	講義内容	学習の整理と展望（まとめのレポート）		
	該当する到達目標	予習	これまでに学んだ近代文学の名作の中から 10 作品に絞り込む。	1 時間
	1,2	復習	知的好奇心から問題意識を持ち、さらに読書の幅を広げる。	1.5 時間
備考	授業では、視聴覚教材を活用して作品の梗概を理解させ、人物相関図の板書とテキストの読解から、作品鑑賞を深める。これをきっかけにして、さらに各自が近代文学に興味関心を抱いて原作を読み、発展させた読書につなげることが望ましい。予習.復習については、レポート作成等で補完すること。また、質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じる。			

科目名	**芸術論(人間理解)**	LAH005	講義
担当教員	石原 綱成		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	芸術を学ぶことで、豊かな人間性と教養を身につける。また、他文化の芸術を深く理解することは、これから国際化が進む現代にあっては必須の教養となる。また、自国の芸術や文化を学ぶことで、多様な社会・背景を理解し対応する能力が身につけることができる。また、これらの学問に真摯に取り組むことによって、より豊かな人間性を涵養できる。		
到達目標	1.芸術に対してより専門的な知識をみにつけることができる。 2.芸術を学ぶことで、豊かな人間性と教養を身につけることができる。 3.自国の文化を深く理解することで、他国の文化を受け入れることができる。 4.歴史・文化に精通することで、多様な社会・背景を理解し対応する能力が身につく 5.学生として自律的・意欲的に学習する力を身に着けることができる		
学位授与方針との対応	✓ 1.豊かな人間性と教養		
	2.専門的知識		
	3.問題発見・解決力		
	4.多様な社会・背景を理解し対応する能力		
	5.自律的・意欲的に学習する力		
評価方法	筆記試験にて評価する。		
課題に対するフィードバック	講義形式をとるが、一方的な講義にならぬよう、受講生の意見、学習状況は逐一確かめる。		
使用教材	教科書は使用せず、逐次プリントを配布する。また、授業においてはパワーポイントを使用する。		

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を理解し授業の目標を理解する。	1.5 時間
		復習	授業内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法を確認する。	1.5 時間
2	講義内容	芸術とは何か―芸術のイメージの調査―		
	該当する到達目標	予習	芸術における各自のイメージを箇条書きできるようにしておく。	1.5 時間
	1,2	復習	配布したプリントをもとに芸術のジャンルを理解する。	1.5 時間
3	講義内容	芸術史概説		
	該当する到達目標	予習	芸術史の流れを体系的に理解しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	芸術史の区分についてそれぞれの特色を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	視覚芸術について		
	該当する到達目標	予習	視覚芸術の特色を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	視覚芸術と人間の「主体」との関係を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	宗教と芸術－キリスト教美術の起源―		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに宗教美術の特色を理解する。	1.5 時間
	1,2,4	復習	キリスト教の教理・教義を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	宗教と芸術－ロマネスク美術―		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにロマネスク建築の構造を理解する。	1.5 時間
	1,2,5	復習	宗教美術の抽象性とはなにかを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	宗教と芸術－ゴシック美術―		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにゴシック建築の構造を理解する。	1.5 時間
	1,2,5	復習	宗教美術の具象性とはなにかを理解する。	1.5 時間
8	講義内容	ルネサンス美術―古典古代の芸術―		

	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにギリシャ・ローマ神話を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,5	復習	神話の世界がいかに図像化されたかの経緯を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ルネサンス美術―遠近法の思想―		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに遠近法とは何かを理解する。	1.5 時間
	1,2,5	復習	遠近法と人間の「主体」への意識を考える。	1.5 時間
10	講義内容	ルネサンス美術―イデア論をめぐって―		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにプラトンとアリストテレスの相違を理解する。	1.5 時間
	1,2,5	復習	イデア論の違いが視覚芸術にいかに現れるかを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	ルネサンス美術―図像解釈学と美術―		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとにパノフスキーの学説を理解する。	1.5 時間
	1,2,5	復習	パノフスキーの学説をもとに図像を解釈してみる。	1.5 時間
12	講義内容	仏教美術史概説―仏像彫刻の様式―		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに仏教美術史を理解する。	1.5 時間
	1,2,5	復習	各時代の仏像彫刻の特徴を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	仏教美術―仏教の世界観と仏像―		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントをもとに仏教美術史を理解する。	1.5 時間
	1,2,5	復習	日本人の宗教心を考える。	1.5 時間
14	講義内容	精神史としての芸術ー心とかたちー		
	該当する到達目標	予習	これまで配布したプリントをもとに精神と形象の関係を総合的に理解する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	精神史としての芸術史とは何か理解する。	1.5 時間
15	講義内容	芸術と人間性 ―ヒューマニズムとは何かー		
	該当する到達目標	予習	芸術と人間について総合的に考察する。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	人間性とは何か、多様な社会・背景を理解しながら総合的に考察する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：火曜日の 3 限、4 限質問はメールで受け付ける。 メールアドレス ishihara@takasaki-u.ac.jp 研究室：8 号館 5 階 501			

科目名	ボランティア・市民活動論(人間理解)	LAH006	講義
担当教員	金井 敏		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	ボランティア・市民活動は，手助けを求めている個人や団体に対して自主的に貢献する活動です。身近な地域や福祉，環境，情報，国際協力まで幅広く取り組まれ，今日の社会に不可欠な存在です。この講義では，具体的なボランティア・市民活動の考え方や実践方法を学び，学生が自ら実践する力を養成します。		
到達目標	1.ボランティア・市民活動の対象者のニーズを学び，ボランティア・市民活動の意義を説明できる。 2.ボランティア・市民活動の多くの実践例を学ぶことにより，活動の実際の展開を説明できる。 3.ボランティア・市民活動支援センターを活用して，自身の関心に即した活動に参加する。 4.参加したボランティア・市民活動の実践を振り返り，成果や課題，次のチャレンジについて考察できる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	成績評価 ①学期末レポートによる評価(60%)。なお，追再試は実施しません。 ②ボランティア活動に参加して作成する実践レポートによる評価(20%)。 ③授業のリアクションペーパー(主にゲストスピーカーの5回)による評価(20%)。 その他の評価 ①授業開講数の2／3以上を出席することにより，成績の評価対象とします。 ②忌引きや実習，就職活動などによる欠席は，届け出(要添付書類)を提出すれば出席扱いとします。なお，15 分以上の遅刻は欠席とみなします。 ③ボランティア実践の時間(1回当たり4時間×4回＝16時間相当)も本時の講義時間に含めます。		
課題に対するフィードバック	実践や授業内容などに関する質問や意見については，授業のなかで取りあげるなど随時，学生にフィードバックします。		
使用教材	テキストは使用しない。レジュメ・関係資料は授業にて配布する。		

1	講義内容	ボランティア・市民活動～新しい世界への誘い ボランティア・市民活動支援センター(VSC)の活用方法，授業の進め方を確認する。		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容をよく読んで，現時点でのボランティアの理解を把握する。	1.5 時間
	1,3	復習	講義内容，学位授与方針，成績評価方法，VSC 利用方法などを確認する。	1.5 時間
2	講義内容	ボランティアの力を活かす仕組み～ボランティアセンターの役割		
	該当する到達目標	予習	自分の地元市町村のボランティアセンターの組織や活動内容を調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	ボランティアセンターの活用方法を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	子どもの明日と子育てをサポートするボランティア活動		
	該当する到達目標	予習	児童を対象としたボランティア活動を調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	児童を対象としたボランティアの意義や活動上の注意事項などを理解する。	1.5 時間
4	講義内容	被災地に届け，災害支援ボランティア活動		
	該当する到達目標	予習	我が国における災害ボランティア活動について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	被災地におけるボランティア活動の内容や活動上の注意事項などを理解する。	1.5 時間
5	講義内容	人々はどのようにボランティアに取り組んできたか～欧米と日本の歴史		
	該当する到達目標	予習	世界の国々でボランティア活動がどのように取り組まれているか調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	欧米と日本のボランティア活動の歴史の違いや長所を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	障害者スポーツ・レクリエーションをサポートするボランティア活動		

	該当する到達目標	予習	障害者を対象としたスポーツやレクリエーションについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	障害者との接し方や支援の内容や方法を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	ボランティアとNPO～学生でも創れるNPO法人		
	該当する到達目標	予習	NPO 法人の概要について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	NPO 法人の活動内容や設立の要件，ボランティアとの違いなどを理解する。	1.5 時間
8	講義内容	地域ささえあいのボランティア ～ふれあい・いきいきサロン～		
	該当する到達目標	予習	地域で取り組まれているふれあい･いきいきサロンについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	高齢者の介護予防や健康，子育て家庭を住民で支える活動について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	身近な動物とボランティアの良い関係		
	該当する到達目標	予習	動物を対象としたボランティア活動について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	動物に対するボランティア活動の実際や人間との共生について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	小中高校の福祉教育・ボランティア学習はこれでいいか		
	該当する到達目標	予習	小中高校で取り組まれている福祉実践について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	小中高校における福祉教育のあり方や自身の関わり方について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	心と命をつなぐボランティア活動～いのちの電話の実践から考える		
	該当する到達目標	予習	心の悩みや自殺予防に取り組むボランティア活動を調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	いのちの電話の役割と学生でもできる活動について考察する。	1.5 時間
12	講義内容	国際貢献・多文化共生とボランティア活動		
	該当する到達目標	予習	海外で活躍するボランティア活動について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	国際貢献や多文化共生のボランティア活動のあり方を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	分かちあう寄付の文化で花咲く貢献社会～赤い羽根共同募金		
	該当する到達目標	予習	赤い羽根共同募金の概要や寄付の実際について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	赤い羽根共同募金のあり方や寄付の文化とは何かを理解する。	1.5 時間
14	講義内容	行政に協力するボランティア ～民生委員・児童委員の活躍～		
	該当する到達目標	予習	行政に協力するボランティアについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	民生委員･児童委員の活動を理解し，自分の地域の民生委員を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ～新しい支え合いと20年後の自分の生き方		
	該当する到達目標	予習	さまざまなボランティア活動を通じて理解した人々の生活のしづらさや今後の課題について考える。	1.5 時間
	1,3,4	復習	ボランティア活動の講義と実際の実践活動を踏まえて，ボランティア活動のあり方や自身の将来の役割について考察する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：水曜日4時限・木曜日1時限で相談に応じます。研究室：1号館3階310研究室 質問･意見はメールでも対応します。 ボランティア・市民活動支援センター（VSC，9号館1階）も活用してください。活動を始める前には必ず，ボランティア活動保険に加入すること。そのほかボランティアの相談に何でも応じます。 VSC直通TEL：027-352-1108，VSCメールアドレス：vsc@takasaki-u.ac.jp			

科目名	**人権論(人間理解)**	LAH007	講義
担当教員	金井 洋行		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	人権の観念について、他の観念－人道、倫理、文化規範、宗教的信念、条理原則等－との比較を通して分析し、人間の本性(human nature)との関係を理解する。日本国憲法に規定する「国民の権利」の内容を知り、その効力にどのような制約や限界があるかについて認識する。身近な生活体験から感得した権利侵害や不条理の発生について、人権の観点から考察する姿勢を身につける。		
到達目標	1.人権について特にヨーロッパの歴史的発展を背景に人道等の他の価値観との比較で観念できる。 2.人権の様々な観念から憲法の人権規定の適用関係を認識できる。 3.個々の人権の性格を、内面的と外面的、精神的と経済的、消極的と積極的、等の区分で理解できる。 4.人権の擁護がどのような考え方と仕組みによって行われるのかについて、憲法規定を通して認識できる。 5.人権に関する主要な争点について裁判所、特に最高裁判所の考え方を整理できる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(20%)、中間テスト(20%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは、概ね 3 回の知識テスト、定期試験は知識と思考力のテスト		
課題に対するフィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)		
使用教材	テーマ別レジュメ、基礎知識資料(テキストに代替するプリント)　＊テーマによってDVDの視聴あり		

1	講義内容	人権の観念と内容		
	該当する到達目標	予習	前期の「日本国憲法」において履修した基本的人権の項目の教材を再チェック	2 時間
	1	復習	予備知識アンケート	0.5 時間
2	講義内容	人権の享有主体と人権規定の適用関係		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
3	講義内容	人権の制約と限界		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
4	講義内容	幸福追求権の意義と具体化		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
5	講義内容	法の下の平等－平等権と平等原則－		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	人間の内心の価値と保護		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	自由と自由主義		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	表現の自由とその抑制		

	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	経済活動の自由と財産権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	人身の自由と刑事手続の保障		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	政治活動の自由と参政権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	生存権の意義と福祉国家の諸権利		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	教育を受ける権利と学習権		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	人権の国際化		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	人権の現状と今後の課題		
	該当する到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と当回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
備考	講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的にあるいは国際的に大きな人権をめぐる事象があった場合には、その話題を飛び入り的に割り込ませることはある。日常の身の回りに起こる権利侵害や条理違反に目を向け、人権擁護の観点から自分なりに考えておくことを期待する。 出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	**人間関係論(人間理解)**	LAH008	講義
担当教員	宮内 洋		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	「人間関係論」とはホーソン実験によって得られた発見をもとに、経営組織の諸状況が人間関係によって規定され、その間の因果関係を体系化した理論である。当然のことながら、これらのことを講じるが、本科目が全学部全学科共通教養科目であるということも鑑みて、人間関係の心理学的・社会学的側面についても焦点を当てる。また、人間関係の発達的側面についても講じる。		
到達目標	1.人間関係論に関する基礎的な知識を有している。 2.日常生活における人間関係に関する心理学的な基礎的知識を有している。 3.日常生活における人間関係に関する社会学的な基礎的知識を有している。 4.日常生活における人間関係に関する教育学的な基礎的知識を有している。		

学位授与方針との対応		
	✓	豊かな人間性と幅広い教養
		健康・医療および情報に関する知識・技能
		問題解決力
		コミュニケーションスキル
		生涯学習力

評価方法	全講義終了後に実施される定期試験(85%)と、講義期間中に課せられる課題(10%)、講義に臨む態度・参加する姿勢(5%)によって、総合的に判断する。
課題に対するフィードバック	講義終了時に感想シートを配付し、そこで書かれた質問等には次回に回答するように努める。
使用教材	教科書は指定しない。必要に応じて、資料を配付する。また、より知りたい・学びたい人のために、参考文献や映画やマンガ等の種々の作品を、講義の中で適宜紹介する。 参考書・参考資料等 ・宮内洋『体験と経験のフィールドワーク』 北大路書房 ・宮内洋・好井裕明 編著『〈当事者〉をめぐる社会学―調査での出会いを通して』北大路書房

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	なし	0 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
2	講義内容	初対面の人間関係		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
3	講義内容	他者との距離		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
4	講義内容	表層的な人間関係		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
5	講義内容	人間関係の深まり		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
6	講義内容	青年期の人間関係		

	該当する到達目標 1,2,3	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
7	講義内容	2者間のジレンマ		
	該当する到達目標 1,2	予習	なし	0 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
8	講義内容	社会的ジレンマ		
	該当する到達目標 1,2	予習	ジレンマについて客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
9	講義内容	「人間関係論」の成立		
	該当する到達目標 1	予習	経営学について調べておく。	2 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
10	講義内容	職場と人間関係		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
11	講義内容	恋愛関係論(1):恋と愛の違い		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
12	講義内容	恋愛関係論(2):恋愛の心理学		
	該当する到達目標 1,2	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
13	講義内容	恋愛関係論(3):現代日本社会における恋愛		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
14	講義内容	恐ろしい人間関係		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	自らのこれまでの体験を想起し、それらを客観的に考察できるように準備しておくこと。	1 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	これまでの講義内容の理解を深めておく。	6 時間
		復習	各自で復習をし、授業内容の正しい理解に努めること。	1 時間
備考	質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。 講義を妨害する者の受講は基本的に認めない。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	ジェンダー論(人間理解)	LAH009	講義
担当教員	前田 由美子		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	人間の性とはどういう意味をもつのか。それによって形成されている秩序と、それゆえに起こるさまざまな葛藤を真摯にみつめ、性を制度設計に組み込む社会の問題を解き明かす。その上で、それらをどのように解決して行ったら良いのかを深く思索する。そうすることによってより豊かで包容力のある社会を創造する力を備え、行動する人になり、新しい自分や社会を発見することになるであろう。		
到達目標	1.自分自身の内部にある「性」のとらえ方を見つめ直す。 2.内面化している固定的な性のイメージや制度に対する固定観念に気づく。 3.他者や社会への豊かなまなざしを持てる。 4.豊かな社会創造への力を身につける。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	レポートを 4 日間それぞれに提出(1 日につき 25%相当)。合計で評価する。 総合評価 60%以上で合格とする。		
課題に対するフィードバック	レポートを返却し、コメント解説を行う。		
使用教材	授業用プリント、文献資料等を随時配布する。必要に応じてメディア教材を使用する。		

1	講義内容	講義全体の説明		
	該当する到達目標	予習	性別についての自分の考え方を見つめておく。	1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価法などを確認する。	1.5時間
2	講義内容	ジェンダーと言う概念		
	該当する到達目標	予習	文献資料に目を通す。	1 時間
	1	復習	ジェンダー概念について理解する。	1.5 時間
3	講義内容	生き物としての性とその多様性		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2	復習	性の多様性を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	セクシュアリティ・性的指向		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3	復習	セクシュアリティの多様性について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	性役割と性規範		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2	復習	身の回りの性役割や性規範について気づく。	1.5 時間
6	講義内容	ジェンダー・アイデンティティ		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3	復習	ジェンダー・アイデンティティについて理解する。	1.5 時間
7	講義内容	性別と経済		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3	復習	経済と性別のつながりを理解する。	1.5 時間
8	講義内容	女性とこども		

	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	女性と子どものつながりへの偏重を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	男性と子ども		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	男性と子どものつながりの困難を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	労働と性別		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	労働と性別のつながりの問題を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	労働と性別とそれぞれの暮らし		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	ワーク・ライフ・バランスを理解し、問題解決法を考える。	1.5 時間
12	講義内容	男性のかかえる問題		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	男性をとりまく問題を理解し、女性の問題との関連を考える。	1.5 時間
13	講義内容	セクシュアル・ハラスメント		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	問題の本質を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	ドメスティック・バイオレンス		
	該当する到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	社会問題として理解する。	1.5 時間
15	講義内容	性別と社会の問題		
	該当する到達目標	予習	全ての文献のつながりを理解する。	1 時間
	3,4	復習	問題の確認と解決法を考える。	1.5 時間
備考	仕事の選択、恋愛、卒業後の人生設計において、この授業で学ぶ知識は大きな影響をもたらすはずである。自身のために、社会を創るために是非学んでほしい。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じます。			

科目名	**共生の倫理(人間理解)**	LAH010	講義
担当教員	大石 桂子		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	現代では多様な価値観・文化をもった人々が、性別や年齢、職業や病気・障がいの有無などを超えて「共生」することが求められている。差別や排除をのりこえ、共生を実現するためどのような取り組みができるのか、基礎的な理論と方法の知識を習得することを目標にする。		
到達目標	1. 現代社会での共生の意義について理解し、説明できる。 2. 共生の歴史について理解し、説明できる。 3. 共生を支える社会学、倫理学また教育や臨床的なアプローチを理解し、説明できる。 4. 共生の具体的なあり方や事例について理解し、説明できる。 5. 各テーマについて自分の考えをもつことができる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	定期試験(60%), 講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	提出課題の内容にコメントを添えて、講義中に紹介する。		
使用教材	講義中にプリントを配布する。		

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容に目を通し、到達目標などを確認する。	1 時間
		復習	講義の目的や学ぶ意義を理解する。	1.5 時間
2	講義内容	共生とは何か、共生に関わる社会意識		
	該当する到達目標	予習	共生の定義を調べる。	1.5 時間
	1	復習	なぜ共生が必要とされるのか理解する。	1.5 時間
3	講義内容	多文化社会と価値の多様化		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,5	復習	価値の多様化の社会的な影響について、事例を考え課題を作成する。	1.5 時間
4	講義内容	分断と隔離の歴史		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,5	復習	近代以降に障がい者などの隔離が進んだ背景を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	優生思想		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	2,5	復習	20 世紀初頭～現在の優生思想について、問題点を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	共生の歴史:ノーマライゼーションからエンパワーメントへ		
	該当する到達目標	予習	ノーマライゼーションの定義を調べる。	1 時間
	2,4,5	復習	ノーマライゼーションの意義と、他の概念へ置き換わった背景を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	公共空間のユニバーサルデザイン		
	該当する到達目標	予習	ユニバーサルデザインの定義を調べる。	1 時間
	4,5	復習	ユニバーサルデザインの意義を理解し、身近な実例を考える。	1.5 時間
8	講義内容	共生をめざして(1) 社会学からのアプローチ		

	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	世代間保障について理解し、課題を作成する。	2 時間
9	講義内容	共生をめざして(2) 倫理学からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	共感の道徳的な役割を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	共生をめざして(3) 教育学からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	学校教育での共生の取り組みを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	共生をめざして(4) 非行臨床からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	矯正教育の意義と成果について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	共生をめざして(5) 認知症ケアの臨床からのアプローチ		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	介護での QOL 向上やコミュニケーション改善の取り組みを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	「排除型社会」がもたらすリスク		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,5	復習	価値多様化の時代の「自己」のあり方、共済、相互扶助の意義を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	事例研究: 多民族、多文化の共生		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	4,5	復習	講義の内容をふまえ、課題を作成する。	2 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでのノート・資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	共生の意義、方法について理解し、自分の考えをまとめる。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日の 3 時限、金曜日の 2 時限。質問はメールでも受け付けます。 メールアドレス「oishi@takasaki-u.ac.jp」 研究室: 1 号館 6 階 601 予習・復習については試験前の学習で補完すること。			

科目名	チーム医療アプローチ論（人間理解）	LAH011	講義
担当教員	竹内真理、木村憲洋、原田欣宏、土井信幸、小笠原映子、鈴木忠、篠原智行、松田直		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位
講義目標	福祉・医療系の専門職育成を担う大学として、チーム医療を推進する上で各学科の学生が各専門職の役割・活動を理解する。		
到達目標	1.チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について理解できる。 2.各専門職の役割と活動について理解できる。 3.チーム医療における専門職の連携を促進するための課題について考察できる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	✓ 健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	授業参加への積極性 40%、レポート 60%		
課題に対するフィードバック	・他学科の学生が参加していることから講義中に双方向型講義を行い、学生の考えや意見を導入しながら講義を展開する。 ・課題レポートを読んで感じた点や補足すべき点について文章化し、次回の授業時に受講生に配布する。		
使用教材	講義のスライドを随時プリントして配布する。		

1	講義内容	チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について		
	該当する到達目標 1	予習	チーム医療とはどのようなものなのか、学習する。	1.5 時間
		復習	21 世紀の医療では、なぜ多職種協働のチーム医療が必須であるか理解する。	1.5 時間
2	講義内容	チーム医療における看護師・保健師の役割と活動		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	最近の多職種連携に関連する書籍、雑誌等を読んでおく。	1.5 時間
		復習	看護師と多職種の役割との違い、連携について講義内容なら復習しておく。	1.5 時間
3	講義内容	チーム医療における理学療法士の役割と活動		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	リハビリテーションチームを構成する各職種について調べる。	1.5 時間
		復習	チームの中でその役割を果たすために、なすべきことを確認する。	1.5 時間
4	講義内容	チーム医療における薬剤師の役割と活動		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	チーム医療における薬剤師の役割と活動についてインターネット等の電子媒体を用いて調査する。	1 時間
		復習	講義受講後のレポート作成。チーム医療における薬剤師の役割について、地域包括ケアシステムの観点から整理すること。	2 時間
5	講義内容	チーム医療における管理栄養士の役割と活動		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	事前に学習した他のコメディカルの役割と活動について復習し授業に臨む	1.5 時間
		復習	管理栄養士と他のコメディカルのチーム医療と、チーム内での役割や活動について考察する	1.5 時間
6	講義内容	チーム医療における社会福祉士の役割と活動		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	①高齢化社会の現状を調べる ②地域医療の進展を調べる ③ 社会福祉専門職の職場を調べる。	1.5 時間
		復習	①疾患と障害の関連を理解し、地域で自立した生活支援に必要なチーム医療のあり方を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	チーム医療における保育士・幼稚園教諭・小学校教諭、特別支援学校教諭の役割と活動		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	乳幼児期・学齢期に罹患しやすい病気の概要や主要な障害について予習をすること。	1.5 時間

		復習	保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭と各種医療職との連携のあり方について復習をすること。	1.5 時間
8	講義内容	チーム医療における診療情報士の役割と活動		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士と病院事務について調べてみる。	0.5 時間
	1,2,3	復習	診療情報管理士と病院事務について得た知識を整理する。	0.5 時間
備考	予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。 【キーワード】専門職、チーム医療、チームアプローチ 【オフィスアワー】 木村(情報):月曜日 1 時限(1 号館 610 研究室) 原田(福祉):火 2 限、金 3 限(1 号館 506 研究室) 竹内(栄養):木曜 2-4 時限(1 号館 308 研究室)質問等はメールでも受け付けます. mtakeuchi@takasaki-u.ac.jp 小笠原(看護):月曜日 3 限(4 号館 505 研究室) 鈴木(理学):月曜日 12:30～13:30、15:30～16:30(4 号館 2 階学部長室) 篠原(理学):月曜日 5 限 . 随時メールで問い合わせを受けます. 土井(薬学):12:00～13:00(7 号館 319 研究室)doi-n@takasaki-u.ac.jp 松田(子ども):火曜日 3 限、木曜日 2 限(9 号館 301 研究室)メールアドレス:matsuda-t@takasaki-u.ac.jp			

科目名	**国際医療事情(人間理解)**	LAH012	講義
担当教員	クリストファー・ターン、町田修三		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	学生の国際化促進とグローバル人材の養成を目的として設置された科目である. 特に本学学生は医療系を専攻する者が多いため, 海外の医療に関する様々な事項を経験的に学ぶことに重点を置いている. 具体的な内容としては, 海外諸国の健康・医療教育, 健康・医療の実態, 医療制度, 病医院や医師・コメディカル等の供給体制, 病医院や医療施設の世界比較等について学ぶ. 国際化を促進するため, 学生には英語で日本の文化や医療の説明をしたり, 医療に関する基礎的なディスカッションをしたりすることを取り入れる. また本講義では, 学生が実際に海外に赴き実体験として国際医療事情を見聞することを強く推奨する.		
到達目標	1. 諸外国の医療教育を理解し, 日本との違いを説明できる 2. 諸外国の医療の実態を理解し, 日本との違いを説明できる 3. 諸外国の医療制度を理解し, 日本との違いを説明できる 4. 諸外国の病医院について学び, 日本との違いを説明できる 5. 日本の医療教育や医療事情について, 英語で解説ができる		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	最終レポート(50%), 提出物(20%), 発表, 討論など授業参加度(30%) 海外研修参加者は, 事前・事後研修および発表のパフォーマンス(30%), 研修レポート(30%), 研修中のパフォーマンス(40%)		
課題に対するフィードバック	レポートや提出物については, コメントを付して返却する. 発表や討論等のパフォーマンスについては, その都度コメントやアドバイスを伝える		
使用教材	特に指定はない. 各自自分のリサーチ目的に沿った文献, 教材を探すこと		

1	講義内容	イントロダクション		
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し, 講義の概要や目標を理解しておく	1 時間
		復習	自分の興味のある国の医療事情リサーチを開始する	1.5 時間
2	講義内容	医療の国際化とは		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の復習, 特に世界で進行中の医療の国際化についてしっかりと理解する	1.5 時間
3	講義内容	日本の医療教育, 医療制度, 医療事情 (一部 AL 実施)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
4	講義内容	日本の医療教育, 医療制度, 医療事情を英語で説明してみよう		
	該当する到達目標 5	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく, 特に専門用語を覚えておく	1 時間
		復習	講義内容の復習, 特に専門用語(英語)を覚える	1.5 時間
5	講義内容	先進国(アメリカ, イギリス, ドイツ)の医療教育		
	該当する到達目標 1	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
6	講義内容	先進国の医療事情Ⅰ (一部 AL 実施)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間

7	講義内容	先進国の医療事情Ⅱ （一部 AL 実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
8	講義内容	先進国の病院		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
9	講義内容	その他の先進国（北欧，カナダ，オーストラリアなど）の医療事情Ⅰ （一部 AL 実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
10	講義内容	その他の先進国の医療事情Ⅱ （一部 AL 実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
11	講義内容	中進国（台湾，シンガポール，中国など），途上国（ベトナム，インドネシア，タイなど）の医療教育		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
12	講義内容	中進国，途上国の医療事情Ⅰ （一部 AL 実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5 時間
13	講義内容	中進国，途上国の医療事情Ⅱ （一部 AL 実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5 時間
14	講義内容	学生プレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5 時間
15	講義内容	学生プレゼンテーションとまとめ		
	該当する到達目標	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5 時間
備考	オフィスアワー：月曜日 4 限目，金曜日 2 限目　　研究室：1 号館 6 階603 メールアドレス：machida@takasaki-u.ac.jp AL（アクティブラーニング）は，ペアワーク，グループワーク，ディスカッション，クローズドクエスチョン，オープンクエスチョンなど			

科目名	Introduction to Healthcare Sciences（人間理解）	LAH013	講義
担当教員	小澤瀞司、町田修三、クリストファー・ターン、下川哲昭、今井純、長谷川恵子		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	学生の国際化推進とグローバル人材の育成を目的に設置された講義科目であり，授業は原則英語で行う．日本では医療分野の国際化はまだ遅れているが，世界的には急速に拡大しつつある．本講義では，国際的な医療人養成のため，世界共通語である英語を用いて，医療に関する基礎的な事項を易しく解説していく．複数の教員がオムニバス形式で担当するが，学生の理解度を確認しながら平易な英語で解説するので，受講に際して特に高度な英語力は要求しない．英語による授業を学生がしっかりと理解し，医療コミュニケーション能力を高めることで，医療教育の国際化を先取りするような講義へと発展させることを目指す．		
到達目標	1. 医療に関する基礎的な内容に関して，英語での説明を理解できる 2. 理解した内容について，第三者に説明できる 3. 医療に関するトピックに関して，英語での基礎的なプレゼンテーションやディスカッションができる 4. 医療に関するトピックについて，外国の学生と話をすることができる		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	担当各教員による評価を総合して決定する．各教員は，毎回の授業参加度（20%程度）や講義終了時に課す提出物または小レポート（80%程度）により，それぞれの持ち点に応じて学生を評価する		
課題に対するフィードバック	提出物や小レポートには，コメントを付して返却する		
使用教材	各教員が作成した資料やデータを用いて講義する		

1	講義内容	Introduction of the course （町田）		
	該当する到達目標 1	予習	シラバスを熟読し，講義の概要や目標を理解しておく	1 時間
		復習	講義内容の復習，特に専門用語（英語）を覚える	1 時間
2	講義内容	Medical globalization and Japan's healthcare system （町田）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語（英語）を予習しておき，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
3	講義内容	Healthcare system of foreign countries （町田）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語（英語）を予習しておき，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
4	講義内容	U.S. healthcare in the media Ⅰ （長谷川）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語（英語）を予習しておき，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
5	講義内容	U.S. healthcare in the media Ⅱ （長谷川）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語（英語）を予習しておき，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
6	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English Ⅰ （小澤）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語（英語）を予習してお	1.5 時間

	1,2,3,4		き，授業に参加する準備をしておく	
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
7	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English Ⅱ （小澤）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語（英語）を予習しておき，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
8	講義内容	Immunity and diseases Ⅰ （今井）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語（英語）を予習しておき，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
9	講義内容	Immunity and diseases Ⅱ （今井）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語（英語）を予習しておき，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
10	講義内容	Immunity and diseases Ⅲ （今井）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語（英語）を予習しておき，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
11	講義内容	Genes and cancer：basic understanding of the disease Ⅰ （下川）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語（英語）を予習しておき，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
12	講義内容	Genes and cancer：basic understanding of the disease Ⅱ （下川）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語（英語）を予習しておき，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
13	講義内容	Mental Health （ターン）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語（英語）を予習しておき，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
14	講義内容	Mental health and social skills （ターン）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語（英語）を予習しておき，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
15	講義内容	Summary and concluding remarks （ターン）		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料，データに目を通す．特に専門用語（英語）を予習しておき，授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
		復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
備考	英語を使用する授業であるので，予習用に授業で用いる教材・資料・データ等をあらかじめ配布する．授業にはこれらの資料を十分に下調べしたうえで臨むことが特に重要である． オフィスアワー（町田）：月曜日4限目、金曜日2限目　研究室：1号館6階603			

科目名	囲碁の世界(人間理解)	LAH014	講義
担当教員	三谷 哲也		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	近年、囲碁は脳を活性化し考える力を養うということで注目されている。囲碁を学ぶことで「考える力」と「集中力」を磨き、「先を読む力」を身につける。また、日本の伝統文化である囲碁を体得することで、言葉と世代を超えたコミュニケーション力を身につけ、国際交流のコミュニケーション力を高める。		
到達目標	1.全く囲碁を知らない状態から囲碁の世界を知り、19路盤で最後まで打てるようになる。 2.いくつかのパターンの囲碁の心得を覚え、囲碁の考え方を身につける。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	✓ コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	毎回の授業貢献度、技術の習熟度を総合的に判断する(60%) 試験(20%)×2 回		
課題に対するフィードバック	試験後に解説を行う。		
使用教材	光文社新書「東大教養囲碁講座」		

1	講義内容	囲碁の歴史と基本ルール		
	該当する到達目標	予習	教科書第1章1～3に目を通し講義の目的を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	囲碁の基本的なルールを理解する。	1.5 時間
2	講義内容	ルールの復習(1)		
	該当する到達目標	予習	教科書第2章1－1～1－3に目を通し基本ルールを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	囲碁の5つの基本ルールを理解する。	1.5 時間
3	講義内容	ルールの復習(2)		
	該当する到達目標	予習	教科書第2章1－4～1—5に目を通し基本ルールを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	打てない場所、打てる場所を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(1)		
	該当する到達目標	予習	教科書第P97に目を通し、囲碁の打ち方のポイントを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	基本的な3つの心得を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(2)		
	該当する到達目標	予習	教科書第3章2に目を通し、石の取り方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	取れている石、シチョウを理解する。	1.5 時間
6	講義内容	問題演習		
	該当する到達目標	予習	教科書第2章1～2に目を通し基本的な考え方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	地の数え方、石のつながりを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	技術の解説(1)		
	該当する到達目標	予習	教科書 P188～199に目を通し終盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の終盤の考え方を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	技術の解説(2)		
	該当する到達目標	予習	教科書P173～188に目を通し中盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の中盤の考え方を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	技術の解説(3)		
	該当する到達目標	予習	教科書P158～172に目を通し序盤の考え方を確認する。	1.5 時間

	1,2	復習	19路盤の序盤の考え方を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	9子局の解説・連碁(対局)		
	該当する到達目標	予習	教科書第5章1に目を通し9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	技術の解説(4)		
	該当する到達目標	予習	教科書P207～220に目を通し決め打ち碁のポイントを理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	隅の死活を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	技術の解説(5)とペア碁		
	該当する到達目標	予習	教科書第4章に目を通し、19路盤の考え方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	問題演習		
	該当する到達目標	予習	教科書第2章4に目を通し、石の追い方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	石の取り方、死活、終局の仕方を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	技術の解説(6)		
	該当する到達目標	予習	教科書P259～267に目を通し、総合的な石の取り方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の序盤～中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	代表者対局 まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書第5章1～2に目を通し、9子局の攻め方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
備考	囲碁の道具の片づけについても授業の一環である。スチューデントアシスタント(SA)の方がいても、積極的に片づけに関わること。オフィスアワーは授業の前後 15 分ずつであるが、状況により次回の授業で対応となる場合がある。			

科目名	英語IA(リテラシー)	LAL001	講義
担当教員	クリストファー・ターン		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位
講義目標	英語をコミュニケーションの道具としてとらえ、英語によるコミュニケーション能力基礎の確立を目指す。この目的のために、まずジェスチャーや one word English、one phrase English から始めて、便利かつ最低限必要な英語表現を繰り返し練習する。複雑な文法や話法を無視してこうした練習を繰り返すことで、気楽に感じたことをそのまま口に出すくせをつけさせたい。授業は主に教員が自ら用意した教材を用いて行うが、ゲーム、ペアワーク、写真、ビデオ、音楽等を多く利用して、学生が積極的に授業に参加できるような雰囲気をつくっていきたい。発表の機会が増えると思う。学生の習熟度に応じ、講義のレベルを調整していく。		
到達目標	1. 英語によるコミュニケーション能力の基礎を確立する。 2. 英語による口語表現に親しむ。 3. 英語によるプレゼンテーションを行う。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。		
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。		
使用教材	特に定めない。		

1	講義内容	イントロダクション:講義の解説・自己紹介		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を確認しておく	1.5 時間
	1, 2	復習	口語表現の復習	1.5 時間
2	講義内容	自己紹介してみよう		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
3	講義内容	サバイバル・イングリッシュ ① Where do you get the bus? 道案内等		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
4	講義内容	サバイバル・イングリッシュ ② Could you repeat that? 予約等		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
5	講義内容	便利な one phrase English ① How is your family?		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
6	講義内容	便利な one phrase English ② Where do you live?		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
7	講義内容	英語の話し方・意思の伝え方		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
8	講義内容	英語と日本語の違い		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間

	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
9	講義内容	外国について知ろう		
	該当する到達目標	予習	外国について調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
10	講義内容	外国や日本について知ろう		
	該当する到達目標	予習	外国と日本の比較点をまとめる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
11	講義内容	外国や日本について話そう		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
12	講義内容	英語だけで1時間過ごしてみよう(Q＆A)		
	該当する到達目標	予習	質問内容を考えてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
13	講義内容	英語だけで1時間過ごしてみよう(何かを説明する)		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
14	講義内容	大学生活についてのスモール・トーク		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
15	講義内容	英語でプレゼンテーションに挑戦しよう		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
備考	オフィスアワー:火曜日 3 限、金曜日 3 限 メールアドレス:tarn@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 3 階 315 研究室			

科目名	英語IB(リテラシー)			LAL001	講義
担当教員	岡田和子				
学年・開講期	1年　前期	必選・単位数	必修 1単位		
講義目標	大学生に必要とされる基礎的な英語運用能力のうち、とりわけリーディング・スキル獲得のための講義を行う。				
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	平常点 50%(授業への参加度、単語試験、提出物など)、定期試験 50%を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点後返却する。				
使用教材	毎回プリントで配布する。				

1	講義内容	初めの一歩		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、本文を暗記する	1.5 時間
2	講義内容	体と内臓		
	該当する到達目標	予習	前回の練習問題を解き、今回のテキストを読んでおく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、本文を暗記する	1.5 時間
3	講義内容	新患受付		
	該当する到達目標	予習	前回の練習問題を解き、今回のテキストを読んでおく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、本文を暗記する	1.5 時間
4	講義内容	診察申込書		
	該当する到達目標	予習	前回の練習問題を解き、今回のテキストを読んでおく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、本文を暗記する	1.5 時間
5	講義内容	個人情報		
	該当する到達目標	予習	前回の練習問題を解き、今回のテキストを読んでおく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、本文を暗記する	1.5 時間
6	講義内容	入院受付		
	該当する到達目標	予習	前回の練習問題を解き、今回のテキストを読んでおく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、本文を暗記する	1.5 時間
7	講義内容	再診受付		
	該当する到達目標	予習	前回の練習問題を解き、今回のテキストを読んでおく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、本文を暗記する	1.5 時間
8	講義内容	次の一歩その前に		
	該当する到達目標	予習	前回の練習問題を解き、今回のテキストを読んでおく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、本文を暗記する	1.5 時間
9	講義内容	症状と病名		
	該当する到達目標	予習	前回の練習問題を解き、今回のテキストを読んでおく	1.5 時間

	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、本文を暗記する	1.5 時間
10	講義内容	医療用語(略語)		
	該当する到達目標	予習	前回の練習問題を解き、今回のテキストを読んでおく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、本文を暗記する	1.5 時間
11	講義内容	病院へのアクセス		
	該当する到達目標	予習	前回の練習問題を解き、今回のテキストを読んでおく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、本文を暗記する	1.5 時間
12	講義内容	案内		
	該当する到達目標	予習	前回の練習問題を解き、今回のテキストを読んでおく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、本文を暗記する	1.5 時間
13	講義内容	会計		
	該当する到達目標	予習	前回の練習問題を解き、今回のテキストを読んでおく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、本文を暗記する	1.5 時間
14	講義内容	薬局		
	該当する到達目標	予習	前回の練習問題を解き、今回のテキストを読んでおく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	専門用語と表現をまとめ、本文を暗記する	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	テキスト全体をもう一度読み直す	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	暗記の復習をする	1.5 時間
備考	オフィス・アワー: 火・水・木曜の 4 限まで 1 号館 1 階の講師室			

科目名	英語IC(リテラシー)	LAL001	講義
担当教員	岩田道子		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位
講義目標	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。		
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。		
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。		
使用教材	Linda Lee & Erik Gundersen, *Select Readings Pre-Intermediate*, Oxford University Press, 2011. 2,500 円		

1	講義内容	イントロダクション:テキストについて、学習の仕方について		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を確認しておく	1.5 時間
	1, 2	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
2	講義内容	Chapter 1 The Youngsters Behind YouTube 前半		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
3	講義内容	Chapter 1 The Youngsters Behind YouTube 後半		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
4	講義内容	Chapter 2 When to Use Female Nouns 前半		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
5	講義内容	Chapter 2 When to Use Female Nouns 後半		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
6	講義内容	Chapter 3 Your Negative Attitude Can Hurt Your Career 前半		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
7	講義内容	Chapter 3 Your Negative Attitude Can Hurt Your Career 後半		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
8	講義内容	Chapter 4 The Colorful World of Synesthesia 前半		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間

9	講義内容	Chapter 4 The Colorful World of Synesthesia 後半		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
10	講義内容	Chapter 5 What is Creative Thinking? 前半		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
11	講義内容	Chapter 5 What is Creative Thinking? 後半		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
12	講義内容	Chapter 6 Listen Up 前半		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
13	講義内容	Chapter 6 Listen Up 後半		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
14	講義内容	Chapter 7 Student won't give up their French Fries 前半		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
15	講義内容	Chapter 7 Student won't give up their French Fries 後半		
	該当する到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
備考	授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。			

科目名	英語ⅡA(リテラシー)	LAL002	講義
担当教員	中村 博生		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位
講義目標	大学生に必要とされる基礎的なリーディング・スキル獲得のための講義を行う。		
到達目標	1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	授業参加度(10%)と小テスト／課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。		
使用教材	特に定めない。		

1	講義内容	Introduction		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を把握する	1.5 時間
	1, 2	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
2	講義内容	Chapter 1 Olympic Cites ①		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
3	講義内容	Chapter 1 Olympic Cites ②		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
4	講義内容	Chapter 2 Internet Communities ①		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
5	講義内容	Chapter 2 Internet Communities ②		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
6	講義内容	Chapter 3 Console Gaming ①		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
7	講義内容	Chapter 3 Console Gaming ②		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
8	講義内容	Chapter 4 Teleworking ①		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
9	講義内容	Chapter 4 Teleworking ②		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間

10	講義内容	Chapter 5 Graffiti ①		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
11	講義内容	Chapter 5 Graffiti ②		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
12	講義内容	Chapter 6 E-books ①		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
13	講義内容	Chapter 6 E-books ②		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
14	講義内容	Chapter 7 Multiculturlism ①		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
15	講義内容	Chapter 7 Multiculturlism ②		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
備考	オフィスアワー：水曜日の 1 限と木曜日の 5 限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス：nakamura-h@takasaki-u.ac.jp 研究室：9 号館 301 号室			

科目名	英語ⅡB(リテラシー)	LAL002	講義
担当教員	嶋田 和成		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位
講義目標	平易な英語によって書かれた、厳選されたトピックを読むことで、現代社会についての議論を英文で理解するとともに、大学生に必須の語彙力を身につける。また、テキストにしたがって、簡単な問題を解きながら、自らの考えを英語で表現する方法についても学ぶ。		
到達目標	1. 基本的な語彙を修得する。 2. 大学生基礎レベル(CEFR Level B1)のリーディング・スキルを身につける。 3. 基本的な英語表現力を身につける。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	授業への参加度、発表、課題(50%)、期末試験(50%)で総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	課題はコメントをつけて返却する。		
使用教材	J. C. Richards & S. Eckstut-Didier. (2012). *Strategic Reading 1* (2nd ed.). Cambridge University Press. 2,570 円		

1	講義内容	ガイダンス・Reading Strategies とは		
	該当する到達目標	予習	教科書のまえがき、シラバスの内容を読んで、授業の目標などを理解する。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Warm-up 用の配布プリントの内容を理解する。	1.5 時間
2	講義内容	Culture (Thinking Beyond the Text)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
3	講義内容	Money (Identifying Main Ideas and Supporting Details)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1, 2. 3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
4	講義内容	Sports (Understanding the Order of Events)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
5	講義内容	Music (Distinguishing Fact from Opinion)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
6	講義内容	Animals (Recognizing Purpose)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
7	講義内容	Travel (Recognizing Point of View)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容	第 2 回～第 7 回のまとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を再度読み、内容を要約する。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の英文の内容を使って、パラグラフ単位の英文を書く。	1.5 時間

9	講義内容	The Internet (Making Inferences)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
10	講義内容	Friends (Applying Information from the Text)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	Gifts (Paraphrasing)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
12	講義内容	Emotions (Organizing Information into an Outline)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	Food (Recognizing Cause and Effect)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
14	講義内容	Sleep and Dreams (Summarizing)		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を読み、不明な単語・表現を調べる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の英文の内容を理解する。また、英文の内容把握問題を解く。	1.5 時間
15	講義内容	第 9 回～第 14 回のまとめ、復習		
	該当する到達目標	予習	教科書の指定された英文を再度読み、内容を要約する。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	教科書の英文の内容を使って、パラグラフ単位の英文を書く。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 木曜日 3 限、金曜日 5 限 メールアドレス: shimada-k@takasaki-u.ac.jp 研究室: 9 号館 303 研究室 授業外学習においては、オンラインの授業支援システム CaLabo Bridge を使用する。			

科目名	英語ⅡC(リテラシー)	LAL002	講義
担当教員	松田 幸子		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位
講義目標	大学生に必要とされる基本的なコミュニケーション能力を身に付ける。		
到達目標	1. 英語によるコミュニケーション能力の基礎を確立する。 2. 自分の考え・気持ちを平易な英語で表現できるようになる。 3. 医療現場などにおいても活用できる、基礎的な英語運用能力を身に付ける。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	授業への参加度、発表、課題(50%)、期末試験(50%)で総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。		
使用教材	森田和子他『発信型シンプル・イングリッシュ』(三修社)		

1	講義内容	イントロダクション:講義の解説・自己紹介		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を確認しておく	1.5 時間
	1, 2	復習	口語表現の復習	1.5 時間
2	講義内容	Lesson 1 This is my everyday life.		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
3	講義内容	Lesson 2 Do you keep a diary?		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
4	講義内容	Lesson 3 These are my family photos.		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
5	講義内容	Lesson 4 Where are you from?		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
6	講義内容	Lesson 5 We love our town, Sakura-Yokocho.		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
7	講義内容	Lesson 6 I'm so busy this month!		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
8	講義内容	Review Test		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
9	講義内容	Lesson 7 Are you enjoying the Autumn Festival?		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間

10	講義内容	Lesson 8 How was the job interview?		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
11	講義内容	Lesson 9 What does he look like?		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
12	講義内容	Lesson 10 Can you come to our Christmas Concert?		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
13	講義内容	Lesson 11 Santa Claus is coming.		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
14	講義内容	Lesson 12 Let's take a trip.		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
15	講義内容	Review Test		
	該当する到達目標	予習	試験対策	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
備考	オフィスアワー：木曜 1 限・金曜 2 限 メールアドレス：matsuda-y@takasaki-u.ac.jp 研究室：9 号館 3 階 304 研究室			

科目名	英語IIIA(リテラシー)	LAL003	講義
担当教員	山田・ヘイ・美由紀		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。		
到達目標	1. 英語の歌やゲームに親しみ、異文化に対する理解を深める。 2. 基礎的な英語表現を理解する。 3. 英語による日常的なコミュニケーション能力を獲得する。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	授業参加度(10%)と小テスト／課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。		
使用教材	特に定めない。		

1	講義内容	Introduction, rules, Greetings review		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を把握する	1.5 時間
	1, 2	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
2	講義内容	TV Reporter pair work unit 1		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
3	講義内容	TV Reporter pair work unit 2		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
4	講義内容	be 動詞		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
5	講義内容	Greetings unit 1		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
6	講義内容	Greetings unit 2		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
7	講義内容	He, She, It		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
8	講義内容	過去形		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
9	講義内容	Songs and Poems		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間

10	講義内容	“My Town” Listening unit		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
11	講義内容	“ing” Form		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
12	講義内容	Body Parts Unit		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
13	講義内容	Body Parts Songs		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
14	講義内容	Opposite unit and Games		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
15	講義内容	“Words Game” Team Contest		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
備考	授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます			

科目名	英語IIIB(リテラシー)	LAL003	講義
担当教員	柳澤 順一		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。		
到達目標	1. グローバル化する社会で必要とされる異文化理解を深め、国際感覚を身につける。 2. 基礎的な日常的実用英語表現を習得する。 3. これからの国際社会において必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキルを向上させる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。		
課題に対するフィードバック	レポートは評価またはショートコメントを付した後返却する(学期末課題については返却しないことがある)。 期末試験は採点後、得点を通知する(非常勤のため事務局経由での通知)。		
使用教材	*Viva! San Francisco*, Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell, Macmillan Language House (1998), 2,000 円		

1	講義内容	Introduction (1), Introductory DVD-Watching		
	該当する到達目標	予習	特になし	0 時間
	1, 2, 3	復習	プリント練習問題の解法	2.0 時間
2	講義内容	Introduction (2), 英検 CAT の利用法		
	該当する到達目標	予習	特になし	0 時間
	1, 2, 3	復習	英検 CAT の当該パートにアクセス	2.0 時間
3	講義内容	Chapter 1 Where Do I Get the Bus?		
	該当する到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
4	講義内容	Chapter 2 Do You Have a Reservation Ma'am?		
	該当する到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
5	講義内容	Chapter 3 Could You Repeat That?		
	該当する到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
6	講義内容	Chapter 4 I'll Take the Wrangler Convertible		
	該当する到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
7	講義内容	Chapter 5 Would You Like Soup or Salad?		
	該当する到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
8	講義内容	Review of Chapters 1-5; Additional DVD-Watching (1)		
	該当する到達目標	予習	Chapter 1-5 の重要語句の暗唱	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	練習問題プリントの解法、Communication Focus 1-5 の表現を整理	1.5 時間
9	講義内容	Additional DVD-Watching (2)		
	該当する到達目標	予習	特になし	0 時間

	1, 2, 3	復習	練習問題プリントの解法	2.0 時間
10	講義内容	Chapter 6 Where's the Fitting Room?		
	該当する到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
11	講義内容	Chapter 7 Would You Mind Taking My Picture?		
	該当する到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
12	講義内容	Chapter 8 Good to See You!		
	該当する到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
13	講義内容	Chapter 9 I Enjoyed My Stay		
	該当する到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成	1.5 時間
14	講義内容	Chapter 10 Aisle Seat, Please		
	該当する到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成、 英検 CAT ポートフォリオ作成	1.5 時間
15	講義内容	Review of Chapters 6-10; Chapter 11 You Are One of the Family Now		
	該当する到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読、Chapter 6-10 の重要語句を暗唱	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Face the Camera サマリー作成、 Communication Focus 6-10 の表現を整理	1.5 時間
備考	授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます			

科目名	英語IIIC(リテラシー)	LAL003	講義
担当教員	岡田和子		
学年・開講期	2 年　前期	必選・単位数	必修 1 単位
講義目標	健康にまつわる語彙を身につけ、中級レベルのリーディング・スキルを身につける。		
到達目標	1. 健康にまつわる英文を読みながら必要となる語彙を身につける 2. 健康・食生活・医療についての自らの考えを、英語で表現する方法を学ぶ。 3. リーディング・リスニング等総合的な英語運用能力を身につける		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	平常点 50%(授業への参加度、単語試験、提出物など)、定期試験 50%を総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	レポートは添削・コメントを付した後返却する。 期末試験は採点後返却する。		
使用教材	R. Hickling & 磯達夫 著,『On Your Way! 異文化体験で学ぶ大学英語の基礎』(金星堂), 2012 年, 2,000 円		

1	講義内容	Los Angeles (1)		
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間
2	講義内容	Los Angeles (2)		
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間
3	講義内容	Doggy Bags (1)		
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間
4	講義内容	Doggy Bags (2)		
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間
5	講義内容	Dog People vs Cat People (1)		
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間
6	講義内容	Dog People vs Cat People (2)		
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間
7	講義内容	Little Tokyo (1)		
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間
8	講義内容	Little Tokyo (2)		
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間
9	講義内容	Working College Students (1)		
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間

	1, 2, 3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間
10	講義内容	Working College Students (2)		
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間
11	講義内容	A Sad Time for Ueno Zoo (1)		
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間
12	講義内容	A Sad Time for Ueno Zoo (2)		
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間
13	講義内容	Universal Studios Japan (1)		
	該当する到達目標	予習	本文を訳してくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	本文の書き取りをする	1.5 時間
14	講義内容	Universal Studios Japan (2)		
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間
15	講義内容	全体的まとめ		
	該当する到達目標	予習	単語と表現、及び文法の確認	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	本文の暗記をする	1.5 時間
備考	オフィス・アワー火・水・木曜の 4 限まで 1 号館 1 階の講師室			

科目名	英語IVA(リテラシー)	LAL004	講義
担当教員	川島 寛子		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。		
到達目標	1. グローバル化する社会で必要とされる異文化理解を深め、国際感覚を身につける。 2. 基礎的な日常的実用英語表現を習得する。 3. これからの国際社会において必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキルを向上させる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	課題遂行度(40%)、試験(60%)を基本に、授業への参加度、授業態度も考慮し総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	発表課題については優れた点、改善点の両面から具体的にアドバイスする.		
使用教材	Viva! San Francisco: Video Approach to Survival English (大八木廣人, Timothy Kiggell Macmillan Languagehouse)、1998 年、2,000 円		

1	講義内容	イントロダクション・CALL 教室でのマナー及び機器の使い方		
	該当する到達目標	予習	テキストに一通り目を通し、どんな学習内容かを理解してくる。	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	英語の自己紹介をより詳しい内容に改善し発表の練習をしてくる。	1.5 時間
2	講義内容	Chapter 1: Where Do I Get the Bus?		
	該当する到達目標	予習	Chapter 1 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 1 の音読、内容理解	1.5 時間
3	講義内容	Chapter 2: Do You Have a Reservation, Ma'am?		
	該当する到達目標	予習	Chapter 2 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 2 の音読、内容理解	1.5 時間
4	講義内容	Chapter 3: Could You Repeat That?		
	該当する到達目標	予習	Chapter 3 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 3 の音読、内容理解	1.5 時間
5	講義内容	Chapter 1, 2, 3 の復習。 Chapter 2 の会話のペア発表		
	該当する到達目標	予習	Chapter 2 の会話をペアで発表できるよう動作も工夫して暗唱する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	暗唱した会話を筆写する	1.5 時間
6	講義内容	Chapter 4: I'll Take the Wrangler Convertible		
	該当する到達目標	予習	Chapter 4 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 4 の音読、内容理解	1.5 時間
7	講義内容	Chapter 5: Would You Like Soup or Salad?		
	該当する到達目標	予習	Chapter 5 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 5 の音読、内容理解	1.5 時間
8	講義内容	Chapter 6: Where's the Fitting Room?		
	該当する到達目標	予習	Chapter 6 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 6 の音読、内容理解	1.5 時間
9	講義内容	Chapter 4, 5, 6 の復習。 Chapter 5 の会話のペア発表		
	該当する到達目標	予習	Chapter 5 の会話をペアで発表できるよう動作も工夫して暗唱する	1.5 時間

	1, 2, 3	復習	暗唱した会話を筆写する	1.5 時間
10	講義内容	Chapter 7: Would You Mind Taking My Picture?		
	該当する到達目標	予習	Chapter 7 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 7 の音読、内容理解	1.5 時間
11	講義内容	Chapter 8: Good to See You!		
	該当する到達目標	予習	Chapter 8 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 8 の音読、内容理解	1.5 時間
12	講義内容	Chapter 7, 8 の復習。 Chapter 8 の会話のペア発表		
	該当する到達目標	予習	Chapter 8 の会話をペアで発表できるよう動作も工夫して暗唱する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	暗唱した海輪を筆写する	1.5 時間
13	講義内容	Chapter 9: I Enjoyed My Stay		
	該当する到達目標	予習	Chapter 9 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 9 の音読、内容理解	1.5 時間
14	講義内容	Chapter 10: Aisle Seat, Please		
	該当する到達目標	予習	Chapter 10 に目を通し、未知の単語の意味を調べる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	Chapter 10 の音読、内容理解	1.5 時間
15	講義内容	Chapter 9, 10 の復習。 Chapter 9 の会話のペア発表		
	該当する到達目標	予習	Chapter 8 の会話をペアで発表できるよう動作も工夫して暗唱する	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	暗唱した会話を筆写する	1.5 時間
備考	授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます			

科目名	英語IVB(リテラシー)	LAL004	講義
担当教員	山田・ヘイ・美由紀		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位
講義目標	大学生に必要とされるリスニング・スキル、コミュニケーション・スキル獲得のための講義を行う。		
到達目標	1. 英語の歌やゲームに親しみ、異文化に対する理解を深める。 2. 基礎的な英語表現を理解する。 3. 英語による日常的なコミュニケーション能力を獲得する。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	授業参加度(10%)と小テスト／課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。		
使用教材	特に定めない。		

1	講義内容	Introduction, rules, Greetings review		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を把握する	1.5 時間
	1, 2	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
2	講義内容	TV Reporter pair work unit 1		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
3	講義内容	TV Reporter pair work unit 2		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
4	講義内容	be 動詞		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
5	講義内容	Greetings unit 1		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
6	講義内容	Greetings unit 2		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
7	講義内容	He, She, It		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
8	講義内容	過去形		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
9	講義内容	Songs and Poems		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間

10	講義内容	“My Town” Listening unit		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
11	講義内容	“ing” Form		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
12	講義内容	Body Parts Unit		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
13	講義内容	Body Parts Songs		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
14	講義内容	Opposite unit and Games		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
15	講義内容	“Words Game” Team Contest		
	該当する到達目標	予習	アクティビティの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出単語・表現の復習	1.5 時間
備考				

科目名	英語IVC(リテラシー)	LAL004	講義
担当教員	クリストファー・ターン		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位
講義目標	英語をコミュニケーションの道具としてとらえ、英語によるコミュニケーション能力基礎の確立を目指す。この目的のために、まずジェスチャーや one word English、one phrase English から始めて、便利かつ最低限必要な英語表現を繰り返し練習する。複雑な文法や話法を無視してこうした練習を繰り返すことで、気楽に感じたことをそのまま口に出すくせをつけさせたい。授業は主に教員が自ら用意した教材を用いて行うが、ゲーム、ペアワーク、写真、ビデオ、音楽等を多く利用して、学生が積極的に授業に参加できるような雰囲気をつくっていきたい。発表の機会が増えると思う。学生の習熟度に応じ、講義のレベルを調整していく。		
到達目標	1. 英語によるコミュニケーション能力の基礎を確立する。 2. 英語による口語表現に親しむ。 3. 英語によるプレゼンテーションを行う。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(授業への参加度、発言、発表課題など)の総合評価とする。		
課題に対するフィードバック	レポートにはコメント・添削の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。		
使用教材	特に定めない。		

1	講義内容	イントロダクション:講義の解説・自己紹介		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を確認しておく	1.5 時間
	1, 2	復習	口語表現の復習	1.5 時間
2	講義内容	自己紹介してみよう		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
3	講義内容	サバイバル・イングリッシュ ① Where do I get the bus? 道案内等		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
4	講義内容	サバイバル・イングリッシュ ② Could you repeat that? 予約等		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
5	講義内容	便利な one phrase English ① How is your family?		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
6	講義内容	便利な one phrase English ② Where do you live?		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
7	講義内容	英語の話し方・意思の伝え方		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
8	講義内容	英語と日本語の違い		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間

	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
9	講義内容	外国について知ろう		
	該当する到達目標	予習	外国について調べてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
10	講義内容	外国や日本について知ろう		
	該当する到達目標	予習	外国と日本の比較点をまとめる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
11	講義内容	外国や日本について話そう		
	該当する到達目標	予習	スピーチの準備・練習	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
12	講義内容	英語だけで1時間過ごしてみよう(Q & A)		
	該当する到達目標	予習	質問内容を考えてくる	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
13	講義内容	英語だけで1時間過ごしてみよう(何かを説明する)		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
14	講義内容	大学生活についてのスモール・トーク		
	該当する到達目標	予習	ブレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
15	講義内容	英語でプレゼンテーションにチャレンジにしてみよう		
	該当する到達目標	予習	ブレゼンテーションの準備	1.5 時間
	1, 2, 3	復習	新出表現の復習・発音の確認	1.5 時間
備考	オフィスアワー:火曜日 3 限、金曜日 3 限 メールアドレス:tarn@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 3 階 315 研究室			

科目名	Integrated English I（リテラシー）	LAL005	講義
担当教員	クリストファー・ターン		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位
講義目標	本講義では、海外英語研修参加希望者を対象とする。英語による日常英会話レベルのコミュニケーション能力を獲得することを講義目標とする。		
到達目標	1.コミュニケーションの基礎知識を学ぶ 2.海外での様々な場面を想定した英会話の練習をする 3.プレゼンテーションの実践練習を行う また、海外英語研修にむけた事前準備や説明も行う。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	✓ コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	授業内パフォーマンス 90%、提出物 10%		
課題に対するフィードバック	レポートにコメントをつけて返却する。個人面接を行う。		
使用教材	開講時に指示する。		

1	講義内容	What is communication?		
	該当する到達目標	予習	なし	0 時間
	1	復習	授業内容についての要約を書く。	1.5 時間
2	講義内容	Cognitive Psychology: Get to know yourself		
	該当する到達目標	予習	自分自身について書く。	1.5 時間
	1	復習	自分のインターナルコミュニケーションスキルについて書く。	1.5 時間
3	講義内容	Social skills.		
	該当する到達目標	予習	社会心理学について事前調べを行う。	1.5 時間
	1	復習	改善すべき自分の社会的スキルについて書く。	1.5 時間
4	講義内容	The power of imagination and innovation		
	該当する到達目標	予習	行きたい国、行きたい理由をあげる。	1.5 時間
	2	復習	その国について調べる。	1.5 時間
5	講義内容	learning to control a conversation		
	該当する到達目標	予習	言葉が理解できない状況でどのようなコミュニケーションが有効かを考える。	1.5 時間
	2	復習	ホストファミリーとの会話例を考える。	1.5 時間
6	講義内容	Listening strategies		
	該当する到達目標	予習	訪問国の英語発音について調べる。	1.5 時間
	2	復習	訪問国の短編映画やアニメを見る。	1.5 時間
7	講義内容	Basic English: Self introduction and first steps for communication in English		
	該当する到達目標	予習	自己紹介文を書く。	1.5 時間
	3	復習	自己紹介文を仕上げる。	1.5 時間
8	講義内容	Create your own English database		
	該当する到達目標	予習	ノートの準備をする。	1.5 時間
	3	復習	English Database を作成する。	1.5 時間
9	講義内容	Meet a foreigner		
	該当する到達目標	予習	外国人ゲストとの会話を考える。	1.5 時間

	2	復習	外国人ゲストとの会話から、スピーキングの課題を見つける。	1.5 時間
10	講義内容	Speech basics: Talking to an audience		
	該当する到達目標	予習	相手に伝わるプレゼンテーションについて調べる。	1.5 時間
	3	復習	大学紹介についてのパワーポイントプレゼンテーションを作成する。	1.5 時間
11	講義内容	Presentation 1(power point)		
	該当する到達目標	予習	自分の学科(専門)についてのプレゼンテーションを準備する。	1.5 時間
	3	復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする。	1.5 時間
12	講義内容	Presentation 2(power point)		
	該当する到達目標	予習	テーマ―についてプレゼンテーションの準備をする。	1.5 時間
	3	復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする。	1.5 時間
13	講義内容	Make your own textbook 1		
	該当する到達目標	予習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する。	1.5 時間
	2	復習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する。	1.5 時間
14	講義内容	Do group work to improve your textbook		
	該当する到達目標	予習	グループ毎に各自のテキストブックについて話し合い改善する	1.5 時間
	2	復習	想定した研修やホームステイについてレポートを書く。	1.5 時間
15	講義内容	Conclusion		
	該当する到達目標	予習	1～14 回の授業の復習をする	1.5 時間
	1,2,3	復習	全講義を通して学んだことについてレポートを書く。	1.5 時間
備考	オフィスアワー: 火曜日 3 限、金曜日 3 限 予習復習時間については各自補完すること。			

科目名	Integrated English Ⅱ（リテラシー）	LAL006	講義
担当教員	英語担当教員		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位
講義目標	実践問題演習を通して、TOEIC テストの全貌と特徴、傾向と対策をおさえるとともに、スコアアップのための受験のストラテジーも習得する。		
到達目標	1.TOEIC の形式と内容を理解できる。 2.語彙力が身につく。 3.文法事項を理解できる。 4.音読トレーニングで英語の音の聞き取りに慣れる。 5.英文読解力が身につく。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	語彙テスト（50%）、ミニ模擬テスト（50%）で「評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	前回の授業で学習した語彙を、毎回テストする。 課題（文法プリント）の解説をする。		
使用教材	TOEIC テスト学習スタートブック JMook18（J リサーチ出版） JCBN978-4-86392-270-9- C9482		

1	講義内容	Introduction （TOEIC テストの概略説明と学習法）		
	該当する到達目標 1	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。	1 時間
		復習	講義内容を理解し、TOEIC テストの概要と学習法を確認する。	1.5 時間
2	講義内容	Part 1 文法：品詞		
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 1 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
		復習	Part 1 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
3	講義内容	Part 2 文法：名詞を修飾する言葉		
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 2 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
		復習	Part 2 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
4	講義内容	Part 3 文法：動詞の形		
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 3 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
		復習	Part 3 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
5	講義内容	Part 4 文法：時制と仮定法		
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 4 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
		復習	Part 4 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
6	講義内容	Part 5 文法：代名詞		
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 5 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
		復習	Part 5 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
7	講義内容	Part 6 文法：接続詞		
	該当する到達目標 2, 3, 4	予習	Part 6 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
		復習	Part 6 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
8	講義内容	Part 7		

	該当する到達目標	予習	Part 7 の語彙の意味を調べる。	1 時間
	2, 4, 5	復習	Part 7 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
9	講義内容	Part 1, 2　文法：分詞		
	該当する到達目標	予習	Part 1, 2 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 1, 2 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
10	講義内容	Part 3, 4　文法：関係詞		
	該当する到達目標	予習	Part 3, 4 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 3, 4 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
11	講義内容	Part 5,6　文法：比較		
	該当する到達目標	予習	Part 5, 6 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 5, 6 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
12	講義内容	Part 7　文法：語法		
	該当する到達目標	予習	Part 7 の語彙の意味を調べる。文法プリントをする。	1 時間
	2, 3, 4	復習	Part 7 で学習した語彙を覚える。問題文を音読する。	1.5 時間
13	講義内容	ミニ模擬テスト（リスニング）		
	該当する到達目標	予習	Part 1-4 のリスニング問題を練習する。	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	リスニング問題の確認をする。	1.5 時間
14	講義内容	ミニ模擬テスト（リーディング）		
	該当する到達目標	予習	Part 5-7 のリーディング問題を練習する。	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	リーディング問題の確認をする。	1.5 時間
15	講義内容	模擬テストの解答と解説		
	該当する到達目標	予習	リスニング問題、リーディング問題を練習する。	1 時間
	1, 2, 3, 4, 5	復習	解説を聞いて理解し、間違えたところを確認する。	1.5 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じます。			

科目名	ドイツ語(リテラシー)			LAL007	講義
担当教員	出雲 春明				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	初習者がドイツ語に親しみ、講義終了後も学習を持続していくための足がかりを築く。				
到達目標	1.ドイツ語を正確に発音し、聞き取ることができる。 2.初級文法を用いて基本的な会話を行い、読み書きすることができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	授業への参加とその態度(20%)、小テスト・期末テスト(80%)で評価する。				
課題に対するフィードバック	授業の進行に応じて、練習問題を課し、採点して返却する。				
使用教材	羽根田知子・熊谷知実『ネコと学ぶドイツ語』、三修社(¥2,400)。なお、必要に応じて別途資料を配付する。				

1	講義内容	ガイダンス―日常のなかのドイツ語と、ドイツ語のアルファベット―		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み講義内容を理解する。テキスト Lektion1 に目を通しておく。	1 時間
	1	復習	アルファベットの読みを声に出して練習する。	1.5 時間
2	講義内容	Lektion1 母音の発音、ドイツ語の挨拶 (1)		
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 1, 8.)を読み、付属の CD の対応する箇所を聞いておくこと。	1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。	1.5 時間
3	講義内容	Lektion1 子音の発音 (1)、ドイツ語の挨拶 (2)		
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 1-2, 8.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。	1.5 時間
4	講義内容	Lektion1 子音の発音 (2)、ドイツ語の数字 (1)		
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 2, 14.)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。	1.5 時間
5	講義内容	Lektion1 特殊な発音、ドイツ語の数字 (2)		
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 1-2, 8.)の対応箇所、配付資料を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。	1.5 時間
6	講義内容	Lektion2 一般動詞の特徴とその人称変化 (1)、ドイツ語の時刻表現		
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 4-5, 14.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	テキスト(p.4.) を用いて人称変化の練習をしておくこと。	1.5 時間
7	講義内容	Lektion2 ドイツ語の一般動詞の特徴とその人称変化 (2)		
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 5-6.)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	テキストに出てくる動詞を用いて人称変化の練習をしておくこと。	1.5 時間
8	講義内容	Lektion2 ドイツ語の平叙文、疑問文、否定文、命令文 (1)		
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 4-6.)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	テキストに出てくる語句を用いて、ドイツ語での作文を練習しておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	Lektion2 ドイツ語の平叙文、疑問文、否定文、命令文 (2)、ドイツ語での自己紹介		
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 7.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	作文の練習だけでなく、CD の音声を参照しながら、正しい発音か確認しておく。	1.5 時間
10	講義内容	Lektion3 sein 動詞の特徴とその人称変化 (1)		

	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 9-10, 12.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	sein 動詞の変化を確認しておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	Lektion3 sein 動詞の特徴とその人称変化 (2)		
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 9, 13.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	sein 動詞の使い方をテキストの語句を用いて練習しておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	Lektion3 haben の特徴とその人称変化 (1)		
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 9, 11.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	haben の変化を確認、練習しておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	Lektion3 haben の特徴とその人称変化 (2)		
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 9, 13.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	haben の使い方をテキストの語句を用いて練習しておくこと。	1.5 時間
14	講義内容	Lektion4 ドイツ語の名詞には性別がある (1)		
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 15-16.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	ドイツ語の名詞には男性、女性、中性名詞の区別があることを理解すること。	1.5 時間
15	講義内容	Lektion4 ドイツ語の名詞には性別がある (2)		
	該当する到達目標	予習	テキスト(p. 16-17.) を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	それぞれの名詞の性別について確認しておく。	1.5 時間
備考	予習としてはシラバスを参考にテキストの該当部分に目を通しておくこと。余裕があれば単語の意味を調べておくとよい。語学は積み重ねが大切なので一つ一つの事項をきちんと復習しておくこと。特に、発音に関してはテキスト付属の CD を用いて確認し、おろそかにしないこと。予習、復習に必要な最低限の時間を表示しておくので、最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワー:質問などがある者は、授業の前後、非常勤講師控え室で対応する。			

科目名	フランス語(リテラシー)			LAL008	講義
担当教員	カディオンボ・アナスタシア				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	フランス語に興味を持ってもらう				
到達目標	1.基本の読み書きができる 2.初級文法を用いて基本的な会話を行い、フランス語検定 5 級合格レベルに到達する				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	筆記試験 80%、宿題 20%				
課題に対するフィードバック	宿題を返却する。				
使用教材	「ゼロからは始める書き込み式フランス語 BOOK」成美堂出版				

1	講義内容	アルファベットとつづり字記号、発音		
	該当する到達目標	予習	テキストやシラバスを読んでおく	1.5 時間
	1	復習	テキストを読んでくる	1.5 時間
2	講義内容	リエゾンとアンシュヌマン		
	該当する到達目標	予習	テキストの単語を辞書で女性名詞か男性名詞か調べてくる	1.5 時間
	1	復習	テキストを読んでくる、宿題を出すのでやってくる	1.5 時間
3	講義内容	名詞(性)と冠詞、数字		
	該当する到達目標	予習	テキスト上のそれぞれの名詞に対して、冠詞を書いてくる	1.5 時間
	1	復習	宿題を出すのでやってくる	1.5 時間
4	講義内容	母音の発音		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる、テキスト付属のCDを聴いてくる	1.5 時間
	1	復習	発音練習をしてくる	1.5 時間
5	講義内容	子音の発音		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる、テキスト付属のCDを聴いてくる	1.5 時間
	1	復習	発音練習をしてくる	1.5 時間
6	講義内容	あいさつ表現		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる、テキスト付属のCDを聴いてくる	1.5 時間
	2	復習	発音練習をしてくる	1.5 時間
7	講義内容	依頼の表現		
	該当する到達目標	予習	自分の依頼表現を使う場面を考えてくる	1.5 時間
	2	復習	発音練習をしてくる	1.5 時間
8	講義内容	Be 動詞(ê tre)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる	1.5 時間
	2	復習	宿題を出すのでやってくる	1.5 時間
9	講義内容	Have(avoir)動詞		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる	1.5 時間
	2	復習	全員の自己紹介文を覚えてくる。練習をしてくる	1.5 時間
10	講義内容	第 1 群規則動詞(-er 動詞)		

	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる	1.5 時間
	2	復習	自分の好きなものと嫌いなものをフランス語で書いてくる	1.5 時間
11	講義内容	否定文		
	該当する到達目標	予習	第8～10回授業の復習をしてくる	1.5 時間
	2	復習	自分で否定文を作成し、書いてくる。発音練習をする	1.5 時間
12	講義内容	時刻・年齢の表現		
	該当する到達目標	予習	第3回授業の復習をしてくる	1.5 時間
	2	復習	時刻をフランス語で書いてくる	1.5 時間
13	講義内容	第 2 群規則動詞(-ir 動詞)		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる	1.5 時間
	2	復習	自分のスケジュールをフランス語でかいてくる	1.5 時間
14	講義内容	形容詞①		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる	1.5 時間
	2	復習	宿題を出すのでやってくる	1.5 時間
15	講義内容	形容詞②		
	該当する到達目標	予習	テキストを読んでくる	1.5 時間
	2	復習	第1～15回授業の復習をしてくる	1.5 時間
備考	毎回の復習を必ずしてくること。 コミュニケーションを目的にした授業のため、積極的に会話に参加してほしい。 質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じます。			

科目名	ポルトガル語(リテラシー)	LAL009	講義
担当教員	伊勢島 セリア明美		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	ポルトガル語の基礎文法を習得することを目標とします。又、ブラジルの文化にも触れたいと思います。		
到達目標	1.初歩レベルの日常会話 2.異文化理解		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	小テスト(50%)及びミニ会話の発表(50%)で100%評価。 総合評価60%以上を合格とします。		
課題に対するフィードバック	会話の発表前に内容を確認し、必要に応じて補足の説明を行います。		
使用教材	教材プリントを配布します。		

1	講義内容	ガイダンス。アルファベット、挨拶、基本構文。		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。	1 時間
	1, 2	復習	会話の発表に向けて、挨拶と自己紹介ができるようにする。	1.5 時間
2	講義内容	否定文、疑問文、動詞 ser、前置詞 de。		
	該当する到達目標	予習	動詞 ser の活用形を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	疑問文の作り方と答えかたを確認する。	1.5 時間
3	講義内容	家族や親族の呼び方、所有形容詞。		
	該当する到達目標	予習	所有形容詞の単数形及び家族の呼び方を覚える。	1 時間
	1	復習	家族の紹介とそれぞれの職業が言えるようにする。	1.5 時間
4	講義内容	形状を表す形容詞①、形容詞の変化。		
	該当する到達目標	予習	形容詞①を覚える。	1 時間
	1	復習	形容詞を使った文型を確認する。	1.5 時間
5	講義内容	数詞①、名詞の性と数、動詞 ter。		
	該当する到達目標	予習	動詞 ter の活用形及び数詞(1～10)を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	年齢を表す表現を確認する。	1.5 時間
6	講義内容	比較の表現、形容詞②、定冠詞。		
	該当する到達目標	予習	形容詞②を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	日本とブラジルを比較する表現を確認する。	1.5 時間
7	講義内容	動詞 gostar、動詞 preferir		
	該当する到達目標	予習	動詞 gostar の活用形を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	自分の好みを表現できるようにする。	1.5 時間
8	講義内容	不定冠詞、動詞 querer		
	該当する到達目標	予習	動詞 querer の活用形を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	願望を表現できるようにする。	1.5 時間
9	講義内容	動詞 estar、前置詞 em		
	該当する到達目標	予習	動詞 estar の活用形を覚える。	1 時間
	1	復習	存在を表す表現を確認する。	1.5 時間

10	講義内容	動詞 ir、前置詞 a、前置詞 de		
	該当する到達目標	予習	動詞 ir の活用形を覚える。	1 時間
	1	復習	行き先を伝える表現を確認する。	1.5 時間
11	講義内容	数詞②、-ar 動詞		
	該当する到達目標	予習	-ar 動詞の活用の語尾変化を覚える。	1 時間
	1	復習	時間を表現できるようにする。	1.5 時間
12	講義内容	時の表現①、-er 動詞、前置詞 com		
	該当する到達目標	予習	-er 動詞の活用の語尾変化を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	日課を伝える表現を確認する。	1.5 時間
13	講義内容	曜日、-ir 動詞、前置詞 em		
	該当する到達目標	予習	曜日の言い方を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	曜日の言い方と使いかたを確認する。	1.5 時間
14	講義内容	時の表現②、月の名前、規則動詞の完全過去形		
	該当する到達目標	予習	規則動詞の完全過去形の変化を覚える。	1 時間
	1, 2	復習	過去の事柄を伝える表現を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	時の表現③、規則動詞の未来形。小テスト。		
	該当する到達目標	予習	規則動詞の未来形の変化を確認する。	1 時間
	1	復習	小テストの解答例を確認する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー:	授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。		
	参考文献 :	ニューエクスプレス ブラジル ポルトガル語　香川正子著　白水社		
		初級 ブラジル ポルトガル語　深沢暁著　東洋書店		
	メッセージ:	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。		
		第２又は第３外国語を話す楽しさを味わえて頂ければ嬉しく思います。		

科目名	中国語(リテラシー)	LAL010	講義
担当教員	渡邊 賢		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	中国語を学ぶ上で不可欠である発音とその表記と、また最も基礎的な語彙と構文とを身に付け、簡単なコミュニケーションができる語学力の養成を目指す。同時に中国文化の全般に関する興味を喚起したい。		
到達目標	1.中国の地理、風俗および言語とその多様性を理解する。 2.中国語音を表記する音声記号を習得する。 3.中国語音を表記する音声記号を正確に発音する能力を育成する。 4.中国語音を聞いて、弁別する聴力を育成する。 5.日常会話に不自由しない程度の語彙と語法とを習得する。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	毎回の小試験 20%、発音中間試験 30%、学期末筆記試験 50%により評価する。 総合評価 60%以上を合格とみなす。		
課題に対するフィードバック	毎回の小試験は採点の上、返却する。各自、未熟な点をよく自覚し克服されたい。		
使用教材	教科書『大学一年生のための合格る中国語』小幡敏行著(朝日出版社) ISBN97-4-255-45224-1C1087		

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標 1	予習	シラバス内容、教科書第 8 頁「中国語について」を読み、講義目標や中国語の特性などについて理解する。	1 時間
		復習	不要	0 時間
2	講義内容	発音の基礎Ⅰ:ピンイン字母、単母音、四声などを学習する。		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	不要	0 時間
		復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。	1 時間
3	講義内容	発音の基礎Ⅱ:複合母音、「声(子音)」の唇音・舌先音・舌根音などを学習する。		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	不要	0 時間
		復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。	1 時間
4	講義内容	発音の基礎Ⅲ:鼻母音、「声(子音)」の舌面音・捲舌音・舌歯音などを学習する。		
	該当する到達目標 2,3,4	予習	不要	0 時間
		復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。	1 時間
5	講義内容	教科書第 1 課、名前の聞き方・答え方、人称代名詞などの学習。		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 1 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
6	講義内容	教科書第 2 課、指示代名詞、「是」を用いた判断文などの学習。		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 2 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
7	講義内容	教科書第 3 課、形容詞述語文や数量表現などの学習。		
	該当する到達目標 2,3,4,5	予習	教科書第 3 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
		復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間

8	講義内容	教科書第 4 課、存在文や構造助詞「的」などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第 2 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
9	講義内容	教科書第 5 課、介詞構造や方位詞などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
10	講義内容	教科書第 6 課、連動文や能願動詞などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第 6 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
11	講義内容	教科書第 7 課、数量補語や動態助詞の「了」と語気詞の「了」などの学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第 7 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
12	講義内容	教科書第 8 課、動態助詞「過」や程度補語などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第 8 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
13	講義内容	教科書第 9 課、能願動詞「会」「能」「可以」などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第 9 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
14	講義内容	教科書第 10 課、方向補語や結果補語などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
15	講義内容	教科書第 11 課、主述述語文や比較表現などについての学習。		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
備考	机に向かって学習するには及ばない。通学時などわずかな余暇を利用して、10 分程度で構わぬので、必ず毎日、口や舌を動かして毎回の授業の内容を消化することが望ましい。また習慣的学習を身に着けたい。毎回の積み重ねが肝要。後刻、自力でマスターしようとしてもほとんど不可能と心得よ。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じます。			

科目名	ハングル語(リテラシー)	LAL011	講義
担当教員	徐 明煥		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	はじめて韓国語をまなぶ学生を対象とする。表音文字であるハングルの表記を覚え、単語や文章を正確に発音する練習をする。会話の練習を通して簡単な挨拶や自己紹介、身の回りのものについて覚える。		
到達目標	1.韓国語の文字であるハングルの正確な読み書きができる。 2.基本文型を身に付けさせて簡単な日常会話ができる。 3.基本的な韓国語の 4 技能の「開く」「話す」「読む」「書く」能力を向上させる。 4.初級レベルの韓国語運用能力を身につける。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	宿題 30%、小テスト 20%、中間・期末試験 50%		
課題に対するフィードバック	宿題にはコメントを付けて返却する。 小テストを毎回返却し解説する。		
使用教材	李淑炫(2011)『チェミナ韓国語―自然に身につく会話と文法 韓国語初級テキスト』白帝社 ISBN-13:978-4891748593		

1	講義内容	授業概要、ハングルについて、第1課:母音		
	該当する到達目標	予習	テキストを用意し、12 頁～14 頁を読んでくる。韓国語のノートを用意する。	1 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
2	講義内容	第2課:子音(平音と有声音)		
	該当する到達目標	予習	22 頁～25 頁を読んでくる。	1 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
3	講義内容	第2課:子音(激音と濃音)		
	該当する到達目標	予習	26 頁～31 頁を読んでくる。	1 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
4	講義内容	第3課:パッチム、パッチム 7 つの代表音		
	該当する到達目標	予習	32 頁～37 頁を読んでくる。	1 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
5	講義内容	第4課:二重母音、名前を書く、まとめ		
	該当する到達目標	予習	38 頁～43 頁を読んでくる。	1 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
6	講義内容	第5課:発音の変化、発音の基本、パッチム音の変化		
	該当する到達目標	予習	46 頁～54 頁を読んでくる。	1 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
7	講義内容	第6課:主題を表す助詞「～は」、体言について、指定詞の丁寧な表現 I		
	該当する到達目標	予習	56 頁～63 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
8	講義内容	第7課:指示代名詞(これ・それ・あれ)、「～ではありません」		
	該当する到達目標	予習	64 頁～71 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間

9	講義内容	第8課:主語を表す助詞「～が」、「～と」、「いる/ある、ない/いない」について、まとめ		
	該当する到達目標	予習	72 頁～81 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	第9課:場所や位置を表す表現、数詞Ⅰ		
	該当する到達目標	予習	82 頁～91 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	第10課:用言の丁寧形Ⅰ(改まった表現)、用言の否定形		
	該当する到達目標	予習	92 頁～97 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	第10課:羅列の表現、場所を表す助詞、目的格を表す助詞、まとめ		
	該当する到達目標	予習	97 頁～101 頁を読んでくる。まとめ	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	第6課～10課、総合まとめ		
	該当する到達目標	予習	第 6 課から第 10 課まで読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	今まで勉強した内容をもう一度、確認して理解しておく。	1.5 時間
14	講義内容	第11課:指定詞(丁寧な表現Ⅱ)逆接を表す表現数詞Ⅱや時間の言い方		
	該当する到達目標	予習	102 頁～105 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	第11課:数詞Ⅱや時間の言い方		
	該当する到達目標	予習	106 頁～111 頁を読んでくる。	1 時間
	1, 2, 3, 4	復習	数詞Ⅰと数詞Ⅱの使い分けや読み方を理解する。	1.5 時間
備考	質問等がある場合は intgvseo21jp@gmail.com までに連絡すること。 メールを送る際は「件名」に「高崎健康福祉大学ハングル語:名前」を必ず記入すること。 毎回小テストを行う。 必ず予習・復習を行うこと。予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	コンピュータ入門Ⅰ（リテラシー）	LAL012	講義
担当教員	坂本 孝		
学年・開講期	1年 前期	必選・単位数	必修 2単位
講義目標	IT社会においてコンピュータを真に活用するためには、ただ単にコンピュータの操作ができるだけでなく、その背景となる技術を理解することが必要不可欠である。「コンピュータ入門」の前編である本講義では、情報活用に関する基礎知識を習得し、コンピュータ内でのデータの扱いや構成装置の機能等について学ぶ。		
到達目標	1 情報関連資格の内容と意義について理解できる。 2 コンピュータのハードウェアの仕組みを説明できる。 3 コンピュータのソフトウェアの役割を説明できる。 4 コンピュータ内部で情報がどのように記憶・処理されているかを説明できる。 5 現代社会におけるコンピュータの利用分野とその役割を説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
		問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	毎回の確認テスト(80%)、検定結果(20%)により評価する。		
課題に対するフィードバック	毎回の確認テストは採点して翌週返却し、解説する。		
使用教材	自作のプリント		

1	講義内容	講義概要と情報関連資格について		
	該当する到達目標	予習	不要	0時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、様々な資格について調べる。	3時間
2	講義内容	コンピュータの歴史と種類		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1時間
	2,3	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2時間
3	講義内容	コンピュータの基礎知識		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1時間
	2,3	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2時間
4	講義内容	情報社会とコンピュータ		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1時間
	2,5	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2時間
5	講義内容	コンピュータの構成と性能		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2時間
6	講義内容	基数変換 ① n進数のしくみ		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2時間
7	講義内容	基数変換 ② 2進数、8進数、16進数の相互変換		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2時間
8	講義内容	文字データの表現		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2時間

9	講義内容	記憶装置 ① 主記憶装置と補助記憶装置の分類		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
10	講義内容	記憶装置 ② ハードディスクの仕組み		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
11	講義内容	J検対策		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
12	講義内容	入出力装置		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
13	講義内容	入出力インターフェース		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
14	講義内容	論理演算		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	講義での説明内容をまとめる。	2 時間
備考	毎回授業の最初に、前回授業内容の確認テストを実施する。 J検情報活用試験に対応。 オフィスアワー：月曜 5 限、金曜 5 限 メールアドレス：sakamoto@takasaki-u.ac.jp			

科目名	コンピュータ入門Ⅱ（リテラシー）	LAL013	講義
担当教員	坂本 孝		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位
講義目標	IT社会においてコンピュータを真に活用するためには、ただ単にコンピュータの操作ができるだけでなく、その背景となる技術を理解することが必要不可欠である。「コンピュータ入門」の後編である本講義では、ネットワークとセキュリティを中心とした基本知識について学ぶ。		
到達目標	1 コンピュータ内部での演算の仕組みやファイルの扱いについて説明できる。 2 ネットワークの基本用語について説明できる。 3 IP アドレスの設定について理解し、自分で適切な設定できる。 4 セキュリティ対策の基本用語について説明できる。 5 システムの性能についての計算ができる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
		問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	毎回の確認テスト(80%)、検定結果(20%)により評価する。		
課題に対するフィードバック	毎回の確認テストは採点して翌週返却し、解説する。		
使用教材	自作のプリント		

1	講義内容	補数		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
2	講義内容	負の数		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
3	講義内容	演算のしくみ		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
4	講義内容	ファイルシステム		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
5	講義内容	ファイル形式		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
6	講義内容	ネットワーク ① 基本用語		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
7	講義内容	ネットワーク ② プロトコル、サーバ		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2,3	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
8	講義内容	IP アドレスとサブネットマスク ① ネットワーク設定の基本		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間

	2,3	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
9	講義内容	IP アドレスとサブネットマスク ② ネットワーク設定の詳細		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2,3	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
10	講義内容	コンピュータ犯罪とセキュリティ対策		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
11	講義内容	J検対策		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
12	講義内容	バックアップ		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
13	講義内容	RAID システム		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
14	講義内容	小数の表現		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	1,5	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
15	講義内容	システムの性能		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	5	復習	講義での説明内容をまとめる。	2 時間
備考	毎回授業の最初に、前回授業内容の確認テストを実施する。 J検情報活用試験に対応。 オフィスアワー：月曜 5 限、金曜 5 限 メールアドレス：sakamoto@takasaki-u.ac.jp			

科目名	コンピュータ実習I(リテラシー)			LAL014	演習
担当教員	田村 拓郎				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	パソコンはいまや文房具であり、それを使いこなすことはこれからの社会を生き抜く基礎力である。本実習は文書作成･表計算･プレゼンテーションの各ソフトウェアを使用する確かな基礎力を習得する。				
到達目標	1.PC を自己の目的に合わせて使用することができる。 2.文書作成ではマイクロソフトの Word を使用してレポート等の作成が、自力でできる。 3.表計算作成ではマイクロソフトの Excel を使用して、データの整理や集計、グラフ作成ができる。 4.プレゼンテーションでは PowerPoint を使用して、プレゼンテーションの作成と実施ができる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	課題の提出状況(40%)、提出された課題成果物の出来栄え(50%)、発表の実施評価(10%)を総合的に評価する。				
課題に対するフィードバック	課題の出来によっては、問題点を指摘し再提出を求める。				
使用教材	30 時間でマスターOffice2010 実教出版				

1	講義内容	オリエンテーション、PC ログイン方法、e メールの使い方		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
	1	復習	授業時間外 PC の利用、e メールマナー	0.5 時間
2	講義内容	Windows 操作の基本、文字の入力 、Word 文書作成の基本操作・文字の修飾		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	0.5 時間
3	講義内容	Word 書式の設定、図表の挿入、Word 文書を用いたプレゼンテーション実施		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	0.5 時間
4	講義内容	Word 課題文書の作成、編集、印刷		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
5	講義内容	Excel 基本操作 データ入力の基礎、基本操作、基本的なﾜｰｸｼｰﾄ編集		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	0.5 時間
6	講義内容	Excel 基本操作 関数、罫線、セル書式の指定		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
7	講義内容	Excel 基本操作グラフ作成		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
8	講義内容	Excel 基本操作 関数(条件判定、順位づけ)		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間

9	講義内容	Excel 基本操作 関数を利用した検索		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
10	講義内容	Excel 基本操作 Excel の便利な機能		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	0.5 時間
11	講義内容	PowerPoint スライド作成の基本操作		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	4	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	0.5 時間
12	講義内容	PowerPoint 図形の描画		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	4	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
13	講義内容	PowerPoint プレゼンテーション効果の活用、アニメーションの設定		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	4	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
14	講義内容	PowerPoint 課題プレゼンテーション資料作成		
	該当する到達目標	予習	発表予定の資料について準備をしておくこと	1.5 時間
	1,2,4	復習	発表資料の作成を行うこと。	3 時間
15	講義内容	PowerPoint 課題プレゼンテーション実施		
	該当する到達目標	予習	発表練習をしておくこと。	0.5 時間
	1,4	復習	不要	0 時間
備考	毎回演習課題を出すため、授業時間外に PC 室を積極的に利用すること。自宅の PC を用いて仕上げて来ても良い。オフィスアワー: 月曜日 4 限、金曜日 3 限			

科目名	コンピュータ実習II(リテラシー)			LAL015	演習
担当教員	田村 拓郎				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位		
講義目標	Excel はあらゆるビジネスシーンにおいてもっとも活用されている表計算ソフトである。本講義は、そのExcel を活用して効果的に実務を行うためのさらに高度な技術、知識を習得することを目的とする				
到達目標	1.Excel 表計算処理技能認定試験 2 級に合格する。 2.Excel 表計算処理技能認定試験 1 級に合格する。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	課題提出状況(20%)、試験結果(60%)、学習姿勢(20%)で評価する。				
課題に対するフィードバック	提出後講義にて解答、解説を行なう。				
使用教材	Excel 表計算処理技能認定試験 1･2 級問題集 サーティファイ ソフトウェア活用能力認定委員会				

1	講義内容	講義全体のガイダンス、作業環境、基本操作		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	0.5 時間
2	講義内容	ユーザ定義書式		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	1	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	0.5 時間
3	講義内容	数学関数、日時関数		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
4	講義内容	データベース関数		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
5	講義内容	ピボットテーブル		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
6	講義内容	マクロ機能		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
7	講義内容	ゴールシーク機能		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	1	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
8	講義内容	2 級模擬問題		
	該当する到達目標	予習	これまでに学習したことを復習しておくこと。	1 時間
	1	復習	不要	0 時間
9	講義内容	Excel の環境の設定と変更		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	0.5 時間

10	講義内容	ユーザ定義応用		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	0.5 時間
11	講義内容	統計		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
12	講義内容	ソルバー機能		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
13	講義内容	データテーブル機能		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
14	講義内容	データ分析		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
15	講義内容	1 級模擬問題		
	該当する到達目標	予習	これまでに学習したことを復習しておくこと。	1 時間
	2	復習	試験に向けてこれまでの復習をしておくこと。	2 時間
備考	毎回演習課題を出すため、授業時間外に PC 室を積極的に利用すること。自宅の PC を用いて仕上げて来ても良い。オフィスアワー: 月曜日 4 限、金曜日 3 限			

科目名	世界の社会福祉発達史(専門教養科目)	LSH001	講義
担当教員	戸澤 由美恵		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	今日、様々な人が社会福祉を必要としている。社会福祉が、その国の中でどのように発展してきたのか、各国の歴史的経緯を踏まえて、現状を理解する。		
到達目標	1.視聴覚教材や配布資料等を参考に、その国の歴史や文化、人々の生活のイメージがもてる 2.歴史的文化的背景を踏まえた、その国の社会福祉制度の発達を理解できる 3.各国の人々の生活と社会福祉の現状を知り、自国や自身の生活との共通点・相違点等を考えることができる		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	1.期末試験で 80%。 2.提出物(授業時間内に実施するミニレポートやリアクションペーパー)等で 20% 3.試験は自筆ノートのみ持ち込み可とする。自筆ノートの作り方は、初回のオリエンテーションで説明する。 4.自筆ノートの条件を満たしていないものは、持ち込みを不可とする。 5.再試験は、試験のみで 100 点とし、60 点以上を可とする。		
課題に対するフィードバック	各国につき 1 回、ミニレポートの記載を実施する。必要に応じて、全体への追加説明やコメント等を行う。		
使用教材	教科書は指定しない。 授業時に資料を配布する。該当する国の学習回が終わるまで資料を持参すること。 その他、参考文献等を随時紹介する。		

1	講義内容	オリエンテーション		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで、授業内容や講義の目標などを理解する	0.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容、到達目標、評価方法などを確認し、全体像を把握する	1 時間
2	講義内容	アジアの社会福祉―マレーシア① マレーシアの歴史や文化をイメージする		
	該当する到達目標	予習	インターネットや世界史(高校)の教科書・資料を調べ、マレーシアを知る	1 時間
	1	復習	配布資料や映像を元に、マレーシアの新たな側面を確認しノートを整理する	1 時間
3	講義内容	アジアの社会福祉―マレーシア② マレーシアの社会福祉の考え方を理解する		
	該当する到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する	1 時間
	1,2	復習	配布資料全てを読み、歴史的文化的背景をふまえたマレーシアの社会福祉観を知る	1 時間
4	講義内容	アジアの社会福祉―マレーシア③ マレーシアの福祉の現状を知る		
	該当する到達目標	予習	配布資料をノートに整理し、マレーシアの社会福祉観を理解する	1 時間
	2,3	復習	マレーシアの社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1 時間
5	講義内容	西欧の社会福祉―英国① 英国の歴史や文化をイメージする		
	該当する到達目標	予習	インターネットや世界史(高校)の教科書・資料を調べ、英国を知る	1 時間
	1	復習	配布資料や映像を元に、英国の新たな側面を確認・整理する	1 時間
6	講義内容	西欧の社会福祉―英国② 英国の社会福祉の考え方を理解する		
	該当する到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する	1 時間
	1,2	復習	配布資料全てを読み、歴史的文化的背景をふまえた英国の社会福祉観を知る	1 時間
7	講義内容	西欧の社会福祉―英国③ 英国の福祉の現状を知る		
	該当する到達目標	予習	配布資料をノートに整理し、英国の社会福祉観を理解する	1 時間

	2,3	復習	英国の社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1 時間
8	講義内容	前半のまとめ		
	該当する到達目標	予習	マレーシア・英国のノート作成を通し、不明な点を確認しておく	1.5 時間
	1,2,3	復習	二国の特徴を理解し、自分なりの感想や意見をもつ	1.5 時間
9	講義内容	北米の社会福祉―アメリカ合衆国① アメリカ合衆国の歴史や文化をイメージする		
	該当する到達目標	予習	インターネットや世界史(高校)の教科書・資料を調べ、アメリカ合衆国を知る	1 時間
	1	復習	配布資料や映像を元に、アメリカ合衆国の新たな側面を確認・整理する	1 時間
10	講義内容	北米の社会福祉―アメリカ合衆国② アメリカ合衆国の福祉の考え方を理解する		
	該当する到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する	1 時間
	1,2	復習	配布資料全てを読み、歴史的文化的背景をふまえたアメリカ合衆国の社会福祉観を知る	1 時間
11	講義内容	北米の社会福祉―アメリカ合衆国③ アメリカ合衆国の福祉の現状を知る		
	該当する到達目標	予習	配布資料をノートに整理し、アメリカ合衆国の社会福祉観を理解する	1 時間
	2,3	復習	アメリカ合衆国の社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1 時間
12	講義内容	北欧の社会福祉―スウェーデン① スウェーデンの歴史や文化をイメージする		
	該当する到達目標	予習	インターネットや世界史(高校)の教科書・資料を調べ、スウェーデンを知る	1 時間
	1	復習	配布資料や映像を元に、スウェーデンの新たな一面を確認・整理する	1 時間
13	講義内容	北欧の社会福祉―スウェーデン② スウェーデンの福祉の考え方を理解する		
	該当する到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する	1 時間
	1,2	復習	配布資料全てを読み、歴史的文化的背景をふまえたスウェーデンの社会福祉観を知る	1 時間
14	講義内容	北欧の社会福祉―スウェーデン③ スウェーデンの福祉の現状を知る		
	該当する到達目標	予習	配布資料をノートに整理し、スウェーデンの社会福祉観を理解する	1 時間
	2,3	復習	スウェーデンの社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	アメリカ合衆国・スウェーデンのノート整理を通し、不明な点を確認しておく	1.5 時間
	1,2,3	復習	二国の特徴を理解し、自分なりの感想や意見をもつ。四カ国の学びを元に、日本の社会福祉について自分なりの意見をもつ	1.5 時間
備考	予習は、日頃から新聞を読み、ニュースや映画を見るなどして海外情勢や文化などに興味を持つようにしましょう。 復習は、配布資料や紹介された文献・映画等を視聴し、試験前にも行い、不足時間を補うようにしましょう。 不明な点、疑問点、連絡事項がある場合は、まずはメールで連絡し、訪室してください。 オフィスアワー:水曜2限			

科目名	**国際保健医療論(専門教養科目)**	LSH002	講義
担当教員	望月経子、李孟蓉		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	世界における健康格差の実態を知り、医療従事者として世界平和・全人類の繁栄と福祉を願いつつ国際協力の必要性と意義を理解し、国際保健医療の活動の場を地球的視野で認識できる。また保健医療分野での国際協力の理論と実際を学びながら、国際協力に必要な知識や方法を習得できる。		
到達目標	1. 国際保健医療協力の概念を理解する。 2. 保健医療分野での国際協力の必要性と意義を理解する。 3. 世界の健康問題がわかり、それらに対する国際的戦略および課題を理解する。 4. 異文化を理解し、異文化適応のプロセスを理解する。 5. 国際保健医療協力の実践手法を理解する。 6. 在留外国人への健康支援を考察する。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	レポート課題 70%、授業参加度 30%		
課題に対するフィードバック	レポートはコメントを付けて返却する。 レポートの中でみられた疑問や課題を授業の中で再確認する。		
使用教材	配布資料		

1	講義内容	国際保健医療協力の概念		
	該当する到達目標	予習	国際保健医療協力に関する新聞・雑誌などの記事を読む。	1.5 時間
	1	復習	国際協力の定義、世界や国内の国際協力の歴史を理解する。	1 時間
2	講義内容	保健医療関連の国際機関の取り組みと日本の国際協力		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	WHO、UNICF、UN、UNFPA の活動を理解する。ODA の活動を理解する。	1 時間
3	講義内容	世界の保健医療事情		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	世界で起きている健康問題と支援の必要性を理解する。	1 時間
4	講義内容	世界における健康の格差		
	該当する到達目標	予習	世界で生じている健康格差について情報を集め、その原因を考える。	1.5 時間
	1,2,3	復習	健康格差の実態とその原因を理解する。	1 時間
5	講義内容	発展途上国における疾病構造		
	該当する到達目標	予習	日本における疾病構造について学ぶ。	1.5 時間
	1,2,3	復習	発展途上国の保健医療課題とその原因を理解する。	1 時間
6	講義内容	事例検討		
	該当する到達目標	予習	健康格差と保健医療課題につきその関係性を整理する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	事例検討で学んだ健康格差と保健医療課題の関係性やその支援を理解する。	1 時間
7	講義内容	国際協力でのアセスメント①「地理・社会・教育」		
	該当する到達目標	予習	サンライズモデルについて学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	サンライズモデルを用いた「地理・社会・教育」のアセスメントの実際を理解する。	1 時間
8	講義内容	国際協力でのアセスメント②「文化・宗教」		

	該当する到達目標	予習	サンライズモデルについて学習する。	1.5 時間
	3,4	復習	サンライズモデルを用いた「文化・宗教」のアセスメントの実際を理解する。	1 時間
9	講義内容	国際保健医療協力における世界の潮流		
	該当する到達目標	予習	世界で行われてる国際保健医療協力を調べる。	1.5 時間
	3,4,5	復習	国際協力として行われている支援について、目的、活動内容を理解する。	1 時間
10	講義内容	プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション		
	該当する到達目標	予習	「ヘルスプロモーション」 和田雅史 (著),聖学院大学出版会の第 1～2 章を読む。	1.5 時間
	1,2,3	復習	世界の歴史の中でのプライマリーヘルスケアとヘルスプロモーションの変遷と基本理念を理解する。	1 時間
11	講義内容	グローバルヘルスの展望と課題		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	今起きている世界的な健康問題とその解決に向けて何が必要なのか、またミレミアム開発目標を整理する。	1 時間
12	講義内容	問題解決手法:Project Cycle Management		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する Project Cycle Management の資料に目を通す。	1.5 時間
	4,5	復習	Project Cycle Management の手法を用いて紙面上で活動が展開できる。	1 時間
13	講義内容	国際協力の実際(対象国での協働)		
	該当する到達目標	予習	世界で行われている国際協力を調べる。(ODA)	1.5 時間
	4,5	復習	国際協力の実際(開始までのステップ、支援手法、評価)を理解する。	1 時間
14	講義内容	在留外国人と多文化共生		
	該当する到達目標	予習	群馬県内の在留外国人について調べる。(人口、居住地域、生活など)	1.5 時間
	6	復習	在留外国人が抱えている健康問題と支援を理解する。	1 時間
15	講義内容	異文化コミュニケーション		
	該当する到達目標	予習	事前に配布する講義資料に目を通す。	1.5 時間
	4,5,6	復習	異文化の中で行われるコミュニケーションの実際とその課題を理解する。	1 時間
備考	オフィースアワー:水曜日の 3 限、質問はメールでも対応する。 メールアドレス:mochizuki@taakasaki-u.ac.jp 研究室:3 号館 2 階 209 講義の中でグループワークなどを取り入れていきます。積極的に参加し自分の意見を述べること。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	世界の歴史と日本(専門教養科目)	LSH003	講義
担当教員	山本 麻子		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	多様化し複雑になっている現代社会において仕事をしたり人間関係を築いていくためには、異なる価値観の存在を認識し異文化への理解を深めることは重要だ。本講座では、イギリスの場合をケーススタディとし特定のテーマについて、どのような背景・原因があったか、どのような過程をたどり、どのような結果に至り、どのように現代に影響しているかを考察する。必要に応じてイギリス以外の国々にも言及したり日本の諸側面と比較する。		
到達目標	1.テーマについての知識を深め、理解を深めることができる。 2.先人たちの努力や業績を認識することができる。 3.日本の該当する箇所と比較考察することができる。 4.毎回の授業を通して、物事を多角的に考え、日常の生活に応用することのできる能力を発展させられる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	レポートが 50 パーセント程度、予習、復習の実践・授業中の態度等々が 50 パーセント程度。		
課題に対するフィードバック	予習復習を含め質問等には、できる限りフィードバックを与える		
使用教材	特定な教材は使用しないが、必要に応じて資料を配布する。		

1	講義内容	ガイダンス:授業の進め方のイントロ、「歴史とは何か」について		
	該当する到達目標	予習	講座選択の理由、「歴史とは何か」について数項目を書いてくる	1 時間
	1,2,3	復習	授業で扱った例について質問、コメントを考えてくる	1.5 時間
2	講義内容	イギリスの最近の話題から		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
3	講義内容	イギリスの教育1:多文化環境での学校;実践例		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
4	講義内容	イギリスの教育2: 学習の方法、内容等での日英の比較を含める		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
5	講義内容	産業革命1: 背景と経過		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
6	講義内容	産業革命2: 影響と問題		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
7	講義内容	女性の地位1:婦人参政権運動の背景と経過		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
8	講義内容	女性の地位2:経過の続きと結果等々		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間

	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
9	講義内容	英語の歴史1：英語の歴史は英国の歴史（前半）		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
10	講義内容	英語の歴史2：英語の歴史は英国の歴史（続き）		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
11	講義内容	シェイクスピアの時代の前後1：スペインの無敵艦隊（背景）		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
12	講義内容	これまでの復習等、レポートの書き方等		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,4	復習	レポートの題材、構成を書く	1.5 時間
13	講義内容	シェイクスピアの時代の前後2：シェイクスピアについて、背景、グローブ座、その周辺等々		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
14	講義内容	マグナカルタ等について：意義と背景、影響		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	1,2,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを書く	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間
	2,3,4	復習	とくになし	0 時間
備考	質問等は授業開始前もしくは終了後に教室で応じます。予習、復習に必要な最低限の時間を表示しておくので、最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。			

科目名	人間行動学(専門教養科目)	LSH004	講義
担当教員	上原 徹・服部 卓		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	学生が、行動科学の基礎と応用を学ぶことで、臨床や対人支援の場面におけるクライアントの行動や、支援者である自らの行動との相互作用を理解することができる。		
到達目標	1.医療などの対人支援における基本的姿勢を身につける 2.ケアを受ける人の心理や行動を理解できる 3.適切な対人的交流のための知識と技術が説明できる 4.他職種と機能的に連携する視点を持てる 5.行動科学や心理学の初級知識を解説できる		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	レポートを 80%とし、授業中の態度を 20%程度参考にして総合評価する。授業態度(静粛さ、不必要な私語、真摯な姿勢など)に問題がある場合は、個別に厳しく減点する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	福村出版「行動科学への招待〔改訂版〕 現代心理学のアプローチ」を教科書として用いるので必携。DVD 教材を用いた授業も加える。		

1	講義内容	青年期の心理と性格		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	0.5 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
2	講義内容	対人行動		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,2	復習	ノートを読むこと。	1 時間
3	講義内容	集 団		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	2,3,4	復習	ノートを読むこと。	1 時間
4	講義内容	異文化と自己		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
5	講義内容	ヒューマンファクター――労働の心理学		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
6	講義内容	きずなの発達		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
7	講義内容	自己の形成と発達		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。	1 時間
8	講義内容	医療における人間関係		

	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
	1,2,3	復習	ノートを読むこと。	1時間
9	講義内容	健 康		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
	1,2,5	復習	ノートを読むこと。	1時間
10	講義内容	学習と学習支援		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1時間
11	講義内容	知 覚		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1時間
12	講義内容	記 憶		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1時間
13	講義内容	思 考		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	1時間
14	講義内容	疲労・メンタルヘルスと現代の職場		
	該当する到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
	4,5	復習	ノートを読むこと。	1時間
15	講義内容	音楽と脳・まとめ		
	該当する到達目標	予習	ノートを読むこと。	1時間
	1,2,3,4,5	復習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1時間
備考	複数の学科学生が多人数で聴講し、非常勤講師もお迎えするので、静粛に臨むこと。授業中の不必要な私語や不謹慎な態度は、厳に慎むこと(成績評価に影響する)。予習 ・復習については、試験前後の学習で補完すること。オフィスアワーや連絡先は、主任講師の上原がオリエンテーション時に案内する。			

科目名	**健康運動実技(専門教養科目)**			LSH005	講義
担当教員	大家 千枝子				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	健康の保持増進のための運動の実践力育成と体力の向上を図る。そして生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質と能力を身につけるための入り口・一助となることを目標とする。				
到達目標	1.運動に対する欲求や運動が好きであることを感じることができる。 2.運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。 3.公正・協力・責任・参画・勇気などに対する意欲をもつことができる。 4.仲間や教員と積極的にコミュニケーションを図ることができる。 5.健康・安全を確保して、スポーツライフを継続するための工夫や仕組みを創造することができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	授業ごとの取り組みの評価点 65%、レポート 20%、記録(提出物・コメント)15%				
課題に対するフィードバック	毎回の授業後に授業記録カードの提出を求める。授業記録カードに付したコメントやスタンプは必ずチェックすること。また最終日には、授業で学んだことの整理・確認テスト・目標到達度の確認(ルーブリックにて自己評価)を行う。				
使用教材	プリント適宜配布。参考文献適宜紹介。				

1	講義内容	ガイダンス・履修者からの需要調査		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで講義目標などを理解する。要配慮の場合は事前に申し出る。	0.5 時間
	3,4,5	復習	到達目標、学位記授与方針、成績評価方法などを確認する。	0.5 時間
2	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
3	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
4	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
5	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
6	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
7	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
8	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間

	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
9	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
10	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
11	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
12	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
13	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
14	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当する到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。	0.5 時間
15	講義内容			
	該当する到達目標	予習	これまで授業で学んだこと、自身の授業態度を振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	目標達成度の確認。今後どのように運動・スポーツを継続できるか検討する。	0.5 時間
備考	オフィスアワー・・・火曜日 12:00～14:30、1 号館(健康福祉学部)3 階、302 研究室 3 階エレベータ前にポスト有。 ●履修者数によって選択種目が変動します。到達目標の達成に向けて柔軟に対応できることが履修条件です。 受講上の注意 1 運動に適したスポーツウエア(ジャージ、T シャツなど)とシューズ(屋内外別)を着用すること(ジーンズや普段着での受講は不可)。また怪我防止の観点から、時計、指輪ブレスレット、ネックレス、ピアスなどの貴金属類は身につけていないこと。2 原則として見学は認めません。また実技授業をすすめるうえで配慮を必要とする学生は初回のガイダンス当日までに担当教員へ申し出ること。3 貴重品の管理は各自で行うこと。 4 授業で使用する用具は基本的に大学側で用意しますが、個人所有の用具は積極的に持参してください。 5 施設変更することがあります。教務課掲示板やポータルサイトで確認してください。			

科目名	宗教と倫理（専門教養科目）	LSH006	講義
担当教員	出雲 春明		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	東西の代表的な宗教・倫理思想に触れることで、世の多様な価値観への理解を養うことを目的とする。また、それによって自己の在り方に対する客観的・批判的な視座を養う。		
到達目標	1.講義で取り扱った諸宗教・倫理思想の基本について説明することができる。 2.そして、それを自己理解、他者理解に役立てることができる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	授業への参加と小レポート（30%）、期末レポート（70%）から評価する。		
課題に対するフィードバック	毎回、授業終了時に意見や質問などを提出してもらう（小レポート）。質問に関しては次回授業時に解説の時間を設ける。有意義な意見に関しても紹介の時間を設ける。		
使用教材	講義中に資料を配布する。		

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標、到達目標、評価方法などについて確認しておく。	1 時間
	1	復習	これからの講義内容の大枠について確認しておく。	1.5 時間
2	講義内容	『聖書』の思想：一神教の系譜		
	該当する到達目標	予習	一神教（ユダヤ教、キリスト教、イスラム教）それぞれの関係について調べておく。	1 時間
	1, 2	復習	ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、それぞれの特徴について確認しておく。	1.5 時間
3	講義内容	善人とは何か―『旧約聖書』（『ヨブ記』）より（1）「契約」について		
	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』の概略について調べておく。	1 時間
	1, 2	復習	「旧約」、「新約」とは何か、「応報主義」とは何か理解する。	1.5 時間
4	講義内容	善人とは何か―『ヨブ記』より（2）生誕の災い		
	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』のプロローグを読んでおく。	1 時間
	1, 2	復習	ヨブ記、ギリシア神話、仏教などにおけるペシミスティックな人間観を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	善人とは何か―『ヨブ記』より（3）自己の在り方を省みる		
	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』の登場人物の関係性について考えておく。	1 時間
	1, 2	復習	自己と他者の間にある鏡像的な相互関係について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	善人とは何か―『ヨブ記』より（4）現代の事例から考える		
	該当する到達目標	予習	ヨブと彼の友人たちの議論を確認しておく。	1 時間
	1, 2	復習	自己批判の欠如がもたらす事態について歴史的事件を通じて理解する。	1.5 時間
7	講義内容	善人とは何か―『ヨブ記』より（5）「懺悔」ということ		
	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』エピローグを読んでおく。	1 時間
	1, 2	復習	聖書の思想における「懺悔」の位置づけについて理解する。	1.5 時間
8	講義内容	旧約から新約へ：イエスの教え		
	該当する到達目標	予習	『ヨブ記』をめぐる議論について確認しておく。	1 時間
	1, 2	復習	イエスの教えが登場してくる背景とその意義について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	悪人とは何か―『歎異抄』より（1）『歎異抄』について		
	該当する到達目標	予習	『歎異抄』とはどんな書か調べておく。	1 時間
	1	復習	『歎異抄』第三条の特異性について理解する。	1.5 時間

10	講義内容	悪人とは何か―『歎異抄』より(2)罪の意識		
	該当する到達目標	予習	『歎異抄』第三条に関する様々な見解を確認しておく。	1 時間
	1	復習	親鸞の内面を支配していた深い罪の意識を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	悪人とは何か―『歎異抄』より(3)浄土思想の展開(1)		
	該当する到達目標	予習	親鸞の師である法然が登場してきた時代背景について調べておく。	1 時間
	1, 2	復習	当時の人々の心に去来していた思いについて理解する。	1.5 時間
12	講義内容	悪人とは何か―『歎異抄』より(4)浄土思想の展開(2)		
	該当する到達目標	予習	親鸞の生涯について調べておく。	1 時間
	1, 2	復習	親鸞の罪の意識の由来について理解し、自らに引きつけて考える。	1.5 時間
13	講義内容	悪人とは何か―『歎異抄』より(5)「悪人正機説」		
	該当する到達目標	予習	これまでの議論について確認しておく。	1 時間
	1, 2	復習	『歎異抄』第三条の悪人正機説の意味を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	悪人とは何か―『歎異抄』より(6)悪の不可避性とそれゆえの無力		
	該当する到達目標	予習	親鸞における悪について自らに引きつけて考えておく。	1 時間
	1, 2	復習	我々が気づかず捕らわれている自己中心的な考え方について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	総括―東西の宗教		
	該当する到達目標	予習	聖書の思想と浄土思想の核心部分について確認しておく。	1 時間
	1, 2	復習	東西の宗教、倫理思想の共通点について理解する。	1.5 時間
備考	なるべく平易な表現を用いて講義を行う。シラバスを参考にして、講義中に取り扱う書物や人物についてあらかじめ調べておくことが望ましい。また、配付された資料を読むなど復習は必ず行うこと。「宗教」は「非日常的なもの」として敬遠されることも多い。しかし、だからこそ、そこで語られる教えや物語は、しばしば漠然と過ごされている私たちの日常を省みる絶好の機会を提供してくれる。自分が普段、どのような判断や行動をしているか常に考えつつ、講義に臨んでほしい。予習、復習に必要な最低限の時間を表示しておくので、単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 **参考図書**:関根正雄(訳)『旧約聖書 ヨブ記』、岩波文庫、1971 年。 金子大栄『歎異抄』、岩波文庫、改版、1981 年。 **オフィスアワー**:質問などがある者は、授業の前後、非常勤講師控え室で対応する。			

科目名	レクリエーション論(専門教養科目)	LSH007	演習
担当教員	大家 千枝子		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	人びとの「心を元気にする」ための手助けができるレクリエーション支援の強み(専門性)を理解する。支援の目的とそれを達成するための方法の裏付けとなる人の心の仕組みを学ぶ。(※履修者が教員から一方的にレクリエーション支援を受けて楽しむ授業ではない。)		
到達目標	1.レクリエーション支援の目的と手段を理解している。 2.レクリエーション活動の楽しさが心を元気にすることを理解している。 3.コミュニケーションの促進がレクリエーション支援の基盤であると理解している。 4.授業の性質やグループ内での個人の役割を理解し、行動することができる。 5.必要な資料や情報を収集して意見をまとめ、期日を守って提出できる(C-learning での回答を含む)。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	グループワークでの活発な議論・活動への貢献度 30%、授業での課題 35%、レポート 35% (※ 履修期間中、学内外のレク支援に自ら関わった場合は所定用紙提出で「課題」点に加点。)		
課題に対するフィードバック	自分以外の履修者による課題や感想、評価を知ることが学生相互の刺激になるため、C-learning やコメントシートを使ってフィードバックする。また授業期間中における紙媒体の提出課題は、適宜返却を予定している。ただし最終課題は返却する予定はないので、開示を希望するものは本人が直接申し出ること。		
使用教材	「楽しさをとおした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」、公益財団法人日本レクリエーション協会、1,800 円+税 ISBN978-4-931180-95-6		

1	講義内容	ガイダンス、さまざまな現場でのレク支援について理解を深める(視聴覚教材使用)		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。	1.5 時間
2	講義内容	レクリエーション概論(レクリエーションの主旨と手段を理解する)		
	該当する到達目標	予習	テキスト第1章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。	1.5 時間
3	講義内容	楽しさと心の元気づくりの理論(楽しさをとおした心の元気づくりを理解する)		
	該当する到達目標	予習	テキスト第2章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。	1.5 時間
4	講義内容	楽しさと心の元気づくりの理論(楽しさをとおした心の元気づくりを理解する)		
	該当する到達目標	予習	テキスト第2章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。	1.5 時間
5	講義内容	レクリエーション支援の理論 (コミュニケーションと信頼関係づくりの理論)		
	該当する到達目標	予習	テキスト第3章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
6	講義内容	レクリエーション支援の理論 (良好な集団づくりの理論)		
	該当する到達目標	予習	テキスト第3章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
7	講義内容	レクリエーション支援の理論 (自主的、主体的に楽しむ力を高める理論)		
	該当する到達目標	予習	テキスト第3章に目をとおす。	1.5 時間

	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
8	講義内容	レクリエーション支援の方法 （ホスピタリティの体験的理解 その1）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
9	講義内容	レクリエーション支援の方法 （ホスピタリティの体験的理解 その2）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
10	講義内容	レクリエーション支援の方法 （アイスブレーキング・モデルの体験）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
11	講義内容	レクリエーション支援の方法 （アイスブレーキングのプログラムを体験する）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
12	講義内容	レクリエーション支援の方法 （ハードル設定の習得）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
13	講義内容	レクリエーション支援の方法 （アレンジ方法の習得）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
14	講義内容	レクリエーション支援の方法 （CSS プロセスの習得）		
	該当する到達目標	予習	テキスト第4章に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
15	講義内容	安全管理の方法		
	該当する到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー・・・火曜日 12:00～14:30、1 号館（健康福祉学部）、3F、302 研究室、3Fエレベータ前ポスト有。 受講上の注意・・・①積極的に C-learning を活用するため、スマホ所有やネット環境が整っていることが望ましい（※整っていない場合は大学 PC 室などを利用してください）。			

科目名	**数学基礎Ⅰ（専門導入科目）**		HII101	講義
担当教員	東福寺 幾夫			
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位	
講義目標	大学での学習に必要な数学の基礎を習得し、以下の範囲の基礎的問題が解けるようになる。			
到達目標	1.式に示された計算の手順を論理的に分析・理解し、正しく数の計算・式の計算ができる。 2.式の展開や因数分解ができ、各種の一次方程式・二次方程式を解くことができる。 3.一次式・二次式・円・楕円・双曲線のグラフの概形が描ける。 4.三角比と弧度法を理解し、三角関数のグラフの概形が描け、公式の説明ができる。 5.指数法則・対数法則を理解し指数・対数の計算ができ、指数関数・対数関数のグラフの概形が描ける。			
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		
		健康・医療および情報に関する知識・技能		
		問題解決力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	授業への参加と貢献 10%、授業毎のドリル 20%、期末試験 70%で評価し、60 点以上を合格とする。			
課題に対するフィードバック	毎回の授業の冒頭で前回授業の振り返りを行う。 また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。			
使用教材	「大学新入生のための数学入門増補版」石村園子著・共立出版 ISBN4-320-01769-2			

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	教科書のまえがき、シラバスを読む。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	プリントの課題を解く。	1 時間
2	講義内容	数と式の計算 1 整数、分数、小数、繁分数、平方根、複素数		
	該当する到達目標	予習	教科書の 1 章 p. 2～3、6～7 を読む。	1 時間
	1	復習	教科書 14 章の練習問題 1.1、1.2、1.5、1.6 の A を解く。	1.5 時間
3	講義内容	数と式の計算 2 展開公式、因数分解、分数式の計算、部分分数の計算、無理式の計算		
	該当する到達目標	予習	教科書の 1 章 p. 4～5、8～10 を読む。	1 時間
	2	復習	教科書 14 章の練習問題 1.3、1.4、1.7～1.9 の A を解く。	1.5 時間
4	講義内容	数と式の計算 3 方程式、連立一次方程式、代数方程式		
	該当する到達目標	予習	教科書の 1 章 P. 11～12 を読む。	1 時間
	2	復習	教科書 14 章の練習問題 1.10、1.11 の A を解く。	1.5 時間
5	講義内容	数と式の計算 1 練習問題を解き、解法を確認する。		
	該当する到達目標	予習	教科書の 14 章の練習問題 1.1～1.11 の B を解く。	1 時間
	1, 2	復習	教科書の 14 章の練習問題 1.1～1.11 の C を解く。	1.5 時間
6	講義内容	関数とグラフ 1 関数、直線、放物線		
	該当する到達目標	予習	教科書の 2 章 p.14～18 を読む。	1 時間
	2	復習	教科書の 14 章の練習問題 2.1～2.3 の A を解く。	1.5 時間
7	講義内容	関数とグラフ 2 円、楕円、双曲線		
	該当する到達目標	予習	教科書の 2 章 p.19～21 を読む。	1 時間
	3	復習	教科書の 14 章の練習問題 2.4、2.5 の A を解く。	1.5 時間
8	講義内容	関数とグラフ 3 不等式		
	該当する到達目標	予習	教科書の 2 章 p.22～24 を読む。	1 時間
	3	復習	教科書の 14 章の練習問題 2.6、2.7 の A を解く。	1.5 時間
9	講義内容	関数とグラフ 4 練習問題を解き、解法を確認する。		

	該当する到達目標	予習	教科書の 14 章の練習問題 2.1～2.7 の B を解く。	1.5 時間
	3	復習	教科書の 14 章の練習問題 2.1～2.7 の C を解く。	1.5 時間
10	講義内容	三角関数 1　三角比、ラジアン単位と一般角、三角関数		
	該当する到達目標	予習	教科書の 3 章 P.26～34 を読む。	1 時間
	4	復習	教科書の 14 章の練習問題 3.1～3.5、3.7 の A を解く。	1.5 時間
11	講義内容	三角関数 2　三角関数、三角関数のグラフ、三角関数の公式		
	該当する到達目標	予習	教科書の 3 章の p.35～39 を読む。	1 時間
	4	復習	教科書の 14 章の練習問題 3.1～3.5、3.7 の B を解く。	1.5 時間
12	講義内容	三角関数 3　三角関数の基本を確認する。		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読む。	1 時間
	5	復習	プリントの課題を解く。	1 時間
13	講義内容	指数関数・対数関数 1　指数と指数法則、指数関数とグラフ、特別な関数 $y = e^x$		
	該当する到達目標	予習	教科書の 4 章 p.42～49 を読む。	1 時間
	5	復習	教科書の 14 章の練習問題 4.1～4.3 の A を解く。	1.5 時間
14	講義内容	指数関数・対数関数 2　対数と対数法則、常用対数と自然対数、対数関数とグラフ		
	該当する到達目標	予習	教科書の 5 章 p.52～58 を読む。	1 時間
	5	復習	教科書の 14 章の練習問題 5.1～5.4 の A を解く。	1.5 時間
15	講義内容	指数関数・対数関数 3		
	該当する到達目標	予習	教科書の 14 章の練習問題 4.1～4.3、5.1～5.4 の B を解く。	1.5 時間
	5	復習	教科書の 14 章の練習問題 4.1～4.3、5.1～5.4 の C を解く。	1.5 時間
備考	最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワー：月曜日の4時限と水曜日3時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「tofukuji@takasaki-u.ac.jp」 研究室：1号館6階605			

科目名	**数学基礎Ⅱ（専門導入科目）**			HII102	講義
担当教員	東福寺 幾夫				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	大学での学習に必要な数学の基礎を習得し、上記範囲の基礎的問題が解けるようになる。				
到達目標	1.独立変数の変動に対応した関数値の変動について理解でき、極限値の収束・発散が説明できる。 2.ある区間における関数の平均変化率を計算できる。 3.平均変化率の極限値としての微分係数の演算式が理解でき、接線の方程式を求めることができる。 4.不定積分、原始関数の意味が説明できる、2 次式までの不定積分ができる。 5.定積分が計算でき、複数の曲線が囲む領域の面積を計算できる。 6.集合の概念を理解し、集合の演算や要素の個数の問題を解くことができる。 7.順列、組み合わせや二項定理を説明できる。 8.確率と期待値の説明ができる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	授業への参加と貢献 10%、授業毎のドリル 20%、期末試験 70%で評価し、60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	毎回の授業の冒頭で前回授業の振り返りを行う。 また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。				
使用教材	「大学新入生のための数学入門増補版」石村園子著・共立出版 ISBN4-320-01769-2				

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読む	1 時間
	1	復習	プリントの課題を解く。	1.5 時間
2	講義内容	関数の極限		
	該当する到達目標	予習	教科書の 6 章 p.60～65 を読む。	1 時間
	1	復習	プ教科書 14 章の練習問題 6.1～6.2 の B,C を解く。	1.5 時間
3	講義内容	関数の極限 極限公式		
	該当する到達目標	予習	教科書の 6 章 p.66～68 を読む。	1 時間
	1	復習	教科書 14 章の練習問題 6.3 を解く。	1.5 時間
4	講義内容	微分係数		
	該当する到達目標	予習	教科書の 7 章 p. 70～72 を読む。	1 時間
	2,3	復習	教科書 14 章の練習問題 7.1～7.2 を解く。	1.5 時間
5	講義内容	導関数、微分計算		
	該当する到達目標	予習	教科書の 7 章 p.73～75 を読む。	1 時間
	2,3	復習	教科書 14 章の練習問題 7.3～7.5 の A,B を解く。	1.5 時間
6	講義内容	接線の方程式、関数の増減とグラフ		
	該当する到達目標	予習	教科書の 7 章 p.76～82 を読む。	1 時間
	3	復習	教科書 14 章の練習問題 7.6～7.8 の A を解く。	1.5 時間
7	講義内容	不定積分、定積分		
	該当する到達目標	予習	教科書の 8 章 p.84～87 を読む。	1 時間
	4,5	復習	教科書の 14 章の練習問題 8.1～8.2 の A,B を解く。	1.5 時間
8	講義内容	面積		

	該当する到達目標	予習	教科書の 8 章 p. 88～92 を読む。	1 時間
	5	復習	教科書の 14 章の練習問題 8.3～8.4 の A,B を解く。	1.5 時間
9	講義内容	集合 1 集合と要素、数の集合、部分集合、包含関係、ベン図		
	該当する到達目標	予習	教科書の 12 章 p.120～122 を読む。	1 時間
	6	復習	教科書の 14 章の練習問題 12.1、12.2 を解く。	1.5 時間
10	講義内容	集合 2 集合の演算、要素の個数		
	該当する到達目標	予習	教科書の 12 章 p.123～124 を読む。	1 時間
	6	復習	教科書の 14 章の練習問題 12.3、12.4 を解く。	1.5 時間
11	講義内容	順列と組合せ		
	該当する到達目標	予習	教科書の 13 章 p.126,127 を読む。	1 時間
	7	復習	教科書の 14 章の練習問題 13.1、13.2 を解く。	1.5 時間
12	講義内容	二項定理		
	該当する到達目標	予習	教科書の 13 章 p.128、p.129 を読む。	1 時間
	7	復習	教科書の 14 章の練習問題 13.3 を解く。	1.5 時間
13	講義内容	確率 1		
	該当する到達目標	予習	教科書の 13 章 p.130～p. 131 を読む。	1 時間
	8	復習	教科書の 14 章の練習問題 13.4、13.5 を解く。	1.5 時間
14	講義内容	確率 2		
	該当する到達目標	予習	教科書の 13 章 p.132～p. 133 を読む。	1 時間
	8	復習	教科書の 14 章の練習問題 13.6 を解く。	1.5 時間
15	講義内容	期待値		
	該当する到達目標	予習	教科書の 13 章 p.134 を読む。	1 時間
	8	復習	教科書の 14 章の練習問題 13.7 を解く。	1.5 時間
備考	最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワー：月曜日の4時限と水曜日3時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「tofukuji@takasaki-u.ac.jp」 研究室：1号館6階605			

科目名	物理学基礎(専門導入科目)		HII103	講義
担当教員	髙橋 大志			
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位	
講義目標	物理学の基礎は健康・医療分野で用いられる各種計測機器の原理と深い関わりがある。本講義では、学生が健康・医療との関係を意識しながら高校レベルの物理を理解できるようにする。			
到達目標	1.物体の運動とエネルギーについて概念を理解できる。 2.光、音、熱、電気などの性質や現象を説明できる。 3.健康・医療との関係について理解できる。			
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		
		健康・医療および情報に関する知識・技能		
		問題解決力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	中間および期末試験の総合結果で評価し、60%以上を合格とする。			
課題に対するフィードバック	中間および期末試験は記述式なので、採点後評価のポイントを解説する。			
使用教材	「大学新入生のための物理入門(廣岡 秀明著、共立出版)」を使用する			

1	講義内容	導入・力のつり合い		
	該当する到達目標	予習	教科書 p1-6 を読む。	1 時間
	1	復習	教科書 p6-8 の演習問題を解く。	1.5 時間
2	講義内容	力とモーメント、圧力		
	該当する到達目標	予習	教科書 p9-16 を読む。	1 時間
	1	復習	教科書 p17-18 の演習問題を解く。	1.5 時間
3	講義内容	物体の運動		
	該当する到達目標	予習	教科書 p19-25 を読む。	1 時間
	1	復習	教科書 p26-27 の演習問題を解く。	1.5 時間
4	講義内容	運動の法則		
	該当する到達目標	予習	教科書 p28-36 を読む。	1 時間
	1	復習	教科書 p37 の演習問題を解く	1.5 時間
5	講義内容	仕事量と仕事率		
	該当する到達目標	予習	教科書 p64-70 を読む。	1 時間
	1	復習	教科書 p70-71 の演習問題を解く。	1.5 時間
6	講義内容	エネルギー		
	該当する到達目標	予習	教科書 p72-80 を読む。	1 時間
	1	復習	教科書 p80-81 の演習問題を解く。	1.5 時間
7	講義内容	熱と温度		
	該当する到達目標	予習	教科書 p92-99 を読む。	1 時間
	2	復習	教科書 p99-100 の演習問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容	中間まとめ		
	該当する到達目標	予習	7 回目までの講義内容を確認する。	1 時間
	1-2	復習	7 回目までの講義のポイントを整理する。	1.5 時間
9	講義内容	音波、ドップラー効果		
	該当する到達目標	予習	教科書 p131-137、p139-143 を読む。	1 時間

	2	復習	教科書 p137-138、p143-144 の演習問題を解く。	1.5 時間
10	講義内容	光とレンズの性質		
	該当する到達目標	予習	教科書 p145-150、p158-163 を読む。	1 時間
	2	復習	教科書 p150、p163-164 の演習問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	電流と磁場 1		
	該当する到達目標	予習	教科書 p176-184 を読む。	1 時間
	1,2	復習	教科書 p184-185 の演習問題を解く。	1.5 時間
12	講義内容	電気回路		
	該当する到達目標	予習	教科書 p186-195 を読む。	1 時間
	1,2	復習	教科書 p196-197 の演習問題を解く。	1.5 時間
13	講義内容	健康・医療と物理現象 I		
	該当する到達目標	予習	光、音等を用いた生体計測装置を調べる。	1 時間
	1,3	復習	光、音等を用いた生体計測装置を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	健康・医療と物理現象Ⅱ		
	該当する到達目標	予習	磁場、放射線を利用した生体計測装置を調べる。	1 時間
	1,3	復習	磁場、放射線を利用した生体計測装置を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	全体まとめ		
	該当する到達目標	予習	講義全体で実施した内容を確認する。	1 時間
	1,3	復習	講義全体を通して重要なポイントを整理する。	1.5 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 質問はメールでも受け付ける。			

科目名	生物学基礎(専門導入科目)			HII104	講義
担当教員	坂井 隆浩				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	生物学の基本的な知識を修得するために「細胞の機能」「多細胞生物のからだ」「タンパク質・糖・脂質」「遺伝」「遺伝情報とその発現」「エネルギー代謝と物質代謝」「生体内の情報伝達」「免疫」などについて学習する。				
到達目標	1.細胞の構造や機能について説明できる。 2.動物のからだの構造や組織や器官の働きについて説明できる。 3.生命活動を支える分子の構造や役割について説明できる。 4.遺伝子の構造と機能について説明できる。 5.生命活動に必要なエネルギーの産生について説明できる。 6.生体内の情報伝達機構について説明できる。 7.免疫のしくみについて説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	定期試験の成績により評価する。評価基準の詳細は初回講義時に説明する。				
課題に対するフィードバック	定期試験後に、解答を掲示すると同時に、指定した期間内に必要に応じて個別にフィードバックをおこなう。講義で実施した練習問題については、講義の中で解説する。				
使用教材	教科書: 「ZERO からの生命科学」(南山堂)、 他に随時プリントを配布する。				

1	講義内容	細胞の構造と機能 ①細胞の多様性		
	該当する到達目標	予習	細胞の多様性について、教科書 5 頁～10 頁を読んでおく。	1 時間
	1	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
2	講義内容	細胞の構造と機能 ②細胞の基本構造とそのはたらき		
		予習	細胞の構造とはたらきについて、教科書 10 頁～25 頁を読んでおく。	1 時間
	1	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
3	講義内容	動物の組織と器官		
	該当する到達目標	予習	動物のからだの構造について、教科書 27 頁～38 頁を読んでおく。	1 時間
	2	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
4	講義内容	からだを作る物質 ①タンパク質		
	該当する到達目標	予習	タンパク質について、教科書 54 頁～68 頁を読んでおく。	1 時間
	3	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
5	講義内容	からだを作る物質 ②糖質		
	該当する到達目標	予習	糖質について、教科書 68 頁～71 頁を読んでおく。	1 時間
	3	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
6	講義内容	からだを作る物質 ③脂質		
	該当する到達目標	予習	脂質について、教科書 71 頁～77 頁を読んでおく。	1 時間
	3	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
7	講義内容	体内における物質代謝 ①消化と吸収		
	該当する到達目標	予習	消化と吸収について、教科書 79 頁～87 頁を読んでおく。	1 時間

	4	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
8	講義内容	体内における物質代謝 ②物質の代謝		
	該当する到達目標	予習	糖質、タンパク質、脂質の代謝について、教科書 87 頁～100 頁を読んでおく。	1 時間
	4	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
9	講義内容	メンデル遺伝		
	該当する到達目標	予習	メンデルの法則について、教科書 101 頁～108 頁を読んでおく。	1 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
10	講義内容	DNA の構造と複製		
	該当する到達目標	予習	DNA の構造と複製について、教科書 109 頁～118 頁を読んでおく。	1 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
11	講義内容	遺伝子の発現とその調節		
	該当する到達目標	予習	転写や翻訳について、教科書 119 頁～131 頁を読んでおく。	1 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
12	講義内容	DNA 損傷と修復		
	該当する到達目標	予習	DNA 損傷と修復について、教科書 131 頁～137 頁を読んでおく。	1 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
13	講義内容	遺伝子の操作		
	該当する到達目標	予習	遺伝子の操作について、教科書 137 頁～146 頁を読んでおく。	1 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
14	講義内容	恒常性の維持 内分泌系と神経系		
	該当する到達目標	予習	恒常性について、教科書 147 頁～156 頁を読んでおく。	1 時間
	6	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
15	講義内容	生体の防御 免疫系		
	該当する到達目標	予習	免疫について、教科書 163 頁～171 頁を読んでおく。	1 時間
	7	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1 時間
備考	オフィスアワー: 金曜 2 限 （7 号館 316 研究室・坂井）。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	**化学基礎(専門導入科目)**			HII105	講義
担当教員	西村 淳				
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	受講生が化学の領域の思考法を獲得することを目指した講義である。言い換えれば、どのような物質が現在の社会を支えるものとして利用されていて、なぜそれが利用できるのか、を考える素地を与えることを目標としている。科学(化学)を深く理解することを目指す他の講義への導入を目的としている。				
到達目標	1.化学の基礎的事項の概略が説明できる。 2.物質の利用が、原子・分子のどのような性質によるものかを概略説明できる。 3.実際に世の中で役立っている物質に興味が持てる。 4.化学の現状と将来の概略が説明できる。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	授業参加度及び貢献度(毎回の小テストを回収することで評価する。50 点満点)。 試験(期末に試験を行う。教科書とノートは持ち込み可、但し配布資料以外のゼロックスコピーを貼ったものは不可。50 点満点)。 総合評価 60 点以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	授業中の質問は随時可能である。質問はメール(jfgaorh.jun@gmail.com)でも受け付ける。個人的な質問には、オフイスアワー(授業のある水曜日 15:00–16:00)を利用できる。				
使用教材	教科書としてアトキンス著、渡辺訳「化学、美しい原理と恵み」(丸善出版株式会社、2014、価格 1,080 円)を用いる。参考書は、西村ら著「有機合成化学入門」(丸善出版株式会社)などの他、適宜紹介する。 講義形式で授業を進める。LCD を用いてパワーポイントで講義する。ノートを取ることは必須である。				

1	講義内容	ガイダンス:教師自己紹介、授業の到達目標およびテーマ、キーワード、授業についての注意		
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目的などを理解する。	1 時間
		復習	ノートで書き取った内容を整理する。	1 時間
2	講義内容	化学の起源・対象・成り立ち、物質の出現、化学史		
	該当する到達目標	予習	教科書のまえがき、第一章を読む。	1 時間
	1	復習	ノートを教科書によって補完する。	1 時間
3	講義内容	化学の原理①——原子と分子、周期表		
	該当する到達目標	予習	教科書の第二章を読む。	1 時間
	1	復習	原子と分子、周期表について、ノートを教科書によって補完する。	1 時間
4	講義内容	化学の原理①——原子と分子、結合、量子化学		
	該当する到達目標	予習	教科書の第二章を読む。	1 時間
	1	復習	結合や量子化学についてノートを教科書によって補完する。	1 時間
5	講義内容	化学の原理②——原子と分子、熱力学		
	該当する到達目標	予習	教科書の第三章を読む。	1 時間
	1	復習	熱力学の法則について、ノートを教科書によって補完する。	1 時間
6	講義内容	化学の原理②——原子と分子、発熱反応、吸熱反応		
	該当する到達目標	予習	教科書の第三章を読む。	1 時間
	1	復習	発熱反応や吸熱反応について、ノートを教科書によって補完する。	1 時間
7	講義内容	化学反応、四つの基本的な反応		
	該当する到達目標	予習	教科書の第四章を読む。	1 時間

	1	復習	四つの基本的な化学反応について、ノートを教科書によって補完する。	1 時間
8	講義内容	化学反応、有機分子の反応と電子雲		
	該当する到達目標	予習	教科書の第四章を読む。	1 時間
	1,2	復習	有機分子の反応と電子雲について、ノートを教科書によって補完する。	1 時間
9	講義内容	化学の道具、秤りとる		
	該当する到達目標	予習	教科書の第五章を読む。	1 時間
	1	復習	秤りとることについて、ノートを教科書によって補完する。	1 時間
10	講義内容	化学の道具、原子の並びをつかむ		
	該当する到達目標	予習	教科書の第五章を読む。	1 時間
	1	復習	原子の並びについて、ノートを教科書によって補完する。	1 時間
11	講義内容	化学の恵み、水を安全にする化学		
	該当する到達目標	予習	教科書の第六章を読む。	1 時間
	2,3	復習	化学の恵みについて、ノートを教科書によって補完する。	1 時間
12	講義内容	化学の恵み、土と空気		
	該当する到達目標	予習	教科書の第六章を読む。	1 時間
	2,3	復習	化学の恵みについて、ノートを教科書によって補完する。	1 時間
13	講義内容	化学の恵み、医薬		
	該当する到達目標	予習	教科書の第六章を読む。	1 時間
	2,3	復習	医薬について、ノートを教科書によって補完する。	1 時間
14	講義内容	化学の未来、ナノの世界		
	該当する到達目標	予習	教科書の第七章を読む。	1 時間
	2,3	復習	ナノの世界について、ノートを教科書によって補完する。	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書を再読し、ノートの補完をする。	2時間
		復習	全体のまとめをノートに記す。	1 時間
備考	授業中の私語は厳禁であるが、授業時間中の小テスト解答中は周りの受講生と相談することを許している。 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	医療概論(医学英語Ⅰを含む)(専門導入科目)	HII106	講義
担当教員	小澤 瀞司		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位
講義目標	医学の体系、医学の歴史、医学倫理、医療制度など医学・医療に関する包括的な知識を習得する。また、英語による医学用語の表現法を理解する。		
到達目標	1.医学の体系、医学の歴史について概要を説明できる。 2.医療と社会の関わり、医療の倫理、医療制度を理解する。 3.医学英語に関して、英語で表記された基本的な医学用語を日本語に訳すことができる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	✓ 健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	期末試験 80%、講義時間中に実施するミニテスト等 20%として、合計 60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	期末試験については、実施直後に出題の意図、配点、問題に対する模範解答を解説する。ミニテストについては、採点し、講評する。		
使用教材	①診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版・日本病院会 ②診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅱ(基礎・医学用語編)」第8版・日本病院会		

1	講義内容	医学の体系(基礎医学、臨床医学、予防医学)、および社会と医療		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト①の 3-6 ページに目を通す。	0.5 時間
		復習	基礎医学、臨床医学、予防医学の役割、それぞれの分野の学問体系を理解する。また、医療と社会の関わりについての重要事項を理解する。	1 時間
2	講義内容	医学の歴史 (1)ギリシャ、ローマ、中世の医学		
	該当する到達目標 1	予習	テキスト①の 6-9 ページに目を通す。	0.5 時間
		復習	ギリシャ、ローマ、中世の有名な医学者の名前と業績を覚える。	1 時間
3	講義内容	医学の歴史 (2)近代の医学(ルネッサンスから18世紀まで)		
	該当する到達目標 1	予習	テキスト①の 9-10 ページに目を通す。	0.5 時間
		復習	ルネッサンスから18世紀までの有名な医学者の名前と業績を覚える。	1 時間
4	講義内容	医学の歴史 (3)19世紀の医学		
	該当する到達目標 1	予習	テキスト①の 11-12 ページに目を通す。	0.5 時間
		復習	19世紀の有名な医学者の名前と業績を覚える。	1 時間
5	講義内容	医学の歴史 (4)20世紀の医学		
	該当する到達目標 1	予習	テキスト①の 12-13 ページに目を通す。	0.5 時間
		復習	20世紀の有名な医学者の名前と業績を覚える。	1 時間
6	講義内容	医学の歴史 (5)現代の医学(治療医学および検査・診断学の進歩)		
	該当する到達目標 1	予習	テキスト①の 14-18 ページに目を通す。	0.5 時間
		復習	現代までに大きな発展を遂げた診断法、検査法、治療法の概略を理解する。	1 時間
7	講義内容	医学の歴史 (6)わが国の医学の歴史と現代の医療の特徴		
	該当する到達目標 1,2	予習	テキスト①の 18-26 ページに目を通す。	0.5 時間
		復習	わが国の医学の歴史について、特に明治期以降の発展を理解する。また、現代の医療の特徴であるチーム医療や EBM について理解する。	1 時間
8	講義内容	医の倫理		
	該当する到達目標	予習	テキスト①の 27-40 ページに目を通す。	1時間

	1,2	復習	医療倫理規範、倫理綱領、脳死と臓器移植、インフォームド・コンセント、個人情報の保護について理解する。	1 時間
9	講義内容	社会保障制度と医療制度		
	該当する到達目標	予習	テキスト①の 42-50 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	国民総医療費の現状、医療保険制度について理解する。	1 時間
10	講義内容	医療法と医療計画		
	該当する到達目標	予習	テキスト①の 51-54 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	医療法、わが国の医療供給体制、地域保健、予防医学について理解する。	1 時間
11	講義内容	医学英語Ⅰ （1）造語の基本		
	該当する到達目標	予習	テキスト②の 1-2 ページを精読する。	0.5 時間
	3	復習	医学用語の構成を理解する。	1 時間
12	講義内容	医学英語Ⅰ （2）語根、接頭語、接尾語		
	該当する到達目標	予習	テキスト②の 2-9 ページに目を通す。	0.5 時間
	3	復習	基本となる語根、接頭語、接尾語を理解して、覚える。	1 時間
13	講義内容	医学英語Ⅰ （3）感染症と腫瘍に関する医学用語		
	該当する到達目標	予習	テキスト②の 10 ページを精読する。	0.5 時間
	3	復習	感染症と腫瘍に関する医学用語を理解して、覚える。	1 時間
14	講義内容	医学英語Ⅰ （4）器官系の解剖生理、疾患症状、検査に関する英語表現		
	該当する到達目標	予習	テキスト②の 11-12 ページに目を通す。	0.5 時間
	3	復習	循環器系の解剖生理、症状、検査に関連する医学用語を理解して、覚える。	1 時間
15	講義内容	まとめ、重要事項の解説		
	該当する到達目標	予習	テキスト、講義のノート、配布されたプリント等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点については理解を深める。	3 時間
	1,2,3	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1 時間
備考	オフィスアワー：水曜日の3時限と4時限 メールアドレス「sozawa@takasaki-u.ac.jp」 研究室：1号館6階606 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	情報セキュリティ(専門導入科目)	HII107	講義
担当教員	中村 賢治		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	Iot 時代の到来と共に、情報システムのオンライン化は必然となった。社会の様々なパーツがオンライン化される中で、それらを結ぶネットワークのセキュリティは重要である。本講では情報セキュリティの基本的な知識から運用方法について学ぶ。		
到達目標	1.セキュリティ技術の基礎に関する知識を取得する 2.サイバー攻撃と対策方法に関する知識を取得する 3.暗号化に関する知識を取得する 4.セキュリティマネジメントに関する知識を取得する		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	✓ 健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	レポート 100 点で評価する		
課題に対するフィードバック	レポートは複数回に分けて実施をする。 レポートはコメントを付けて返却する。		
使用教材	情報処理安全確保支援士 合格教本 (技術評論社) ISBN-10: 477419316X 最新版を使用する。		

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	教科書の目次とシラバスを熟読し、理解する	1.5 時間
		復習	講義の概要、目的、評価方法を理解する。	1.5 時間
2	講義内容	情報セキュリティとリスク		
	該当する到達目標	予習	テキスト 1 章を予習してくる	1.5 時間
	1	復習	テキスト 1 章の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
3	講義内容	脆弱性と脅威		
	該当する到達目標	予習	テキスト 1 章を予習してくる	1.5 時間
	1	復習	テキスト 1 章の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
4	講義内容	リスクマネジメント		
	該当する到達目標	予習	テキスト 1 章を予習してくる	1.5 時間
	1	復習	テキスト 1 章の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
5	講義内容	リスクマネジメントと脅威		
	該当する到達目標	予習	テキスト 1 章を予習してくる	1.5 時間
	1	復習	テキスト 1 章の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
6	講義内容	不正アクセスとサイバー攻撃		
	該当する到達目標	予習	テキスト 2 章を予習してくる	1.5 時間
	2	復習	テキスト 2 章の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
7	講義内容	盗聴となりすまし		
	該当する到達目標	予習	テキスト 2 章を予習してくる	1.5 時間
	2	復習	テキスト 2 章の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
8	講義内容	WEB サイトへの攻撃		

	該当する到達目標	予習	テキスト 2 章を予習してくる	1.5 時間
	2	復習	テキスト 2 章の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
9	講義内容	ソーシャルエンジニアリング		
	該当する到達目標	予習	テキスト 2 章を予習してくる	1.5 時間
	2	復習	テキスト 2 章の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
10	講義内容	セキュリティ技術		
	該当する到達目標	予習	テキスト 3 章を予習してくる	1.5 時間
	3	復習	テキスト 3 章の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
11	講義内容	セキュアシステム		
	該当する到達目標	予習	テキスト 3 章を予習してくる	1.5 時間
	3	復習	テキスト 3 章の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
12	講義内容	暗号化技術		
	該当する到達目標	予習	テキスト 4 章を予習してくる	1.5 時間
	3	復習	テキスト 4 章の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
13	講義内容	認証システム		
	該当する到達目標	予習	テキスト 4 章を予習してくる	1.5 時間
	3	復習	テキスト 4 章の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
14	講義内容	セキュリティマネジメント		
	該当する到達目標	予習	テキスト 5 章を予習してくる	1.5 時間
	4	復習	テキスト 5 章の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
15	講義内容	セキュアプログラミング		
	該当する到達目標	予習	テキスト 6 章を予習してくる	1.5 時間
	4	復習	テキスト 6 章の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
備考	担当教員は医療情報学科の中村です。 オフィスアワーは水曜 2 限、木曜 2 限です。 連絡先:nakamura-k@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 612 研究室			

科目名	プログラミング Ⅰ（Cプログラミング基礎）（専門導入科目）	HII108	演習
担当教員	坂本 孝		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位
講義目標	プログラミング言語として C 言語を用い、基本的なプログラミング技法を習得することを目的とする。毎回5～10 題程度の小課題に取り組み、ステップアップ学習方式で多くの課題をこなすことにより、プログラミングにおける様々な手法を身につける。		
到達目標	1 プログラミングに必要な PC 環境と操作方法について理解できる。 2 入力した数値に演算を施して適切な結果を出力することができる。 3 条件によって処理を振り分けて適切な結果を出力することができる。 4 繰り返し処理を行って適切な結果を出力することができる。 5 複数の数値を処理して合計値・平均値・最大値・最小値・公倍数・公約数等を求めることができる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	✓ 健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	課題提出状況(60%)、試験(20%)、学習姿勢(20%)により評価する。		
課題に対するフィードバック	課題の解答例を提示し、解説する。		
使用教材	自作のプリント		

1	講義内容	プログラミング環境と基本操作		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	0 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	3 時間
2	講義内容	文字列の表示		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
3	講義内容	変数の表示と演算		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
4	講義内容	キーボードからの数値入力		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
5	講義内容	条件分岐処理 ① if 文		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
6	講義内容	条件分岐処理 ② if 文のネスティング		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
7	講義内容	反復処理 ① while 文		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	講義内容	反復処理 ② while 文を使った一覧表出力		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間

	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	講義内容	合計計算		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	講義内容	最大値･最小値		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	講義内容	まとめ問題と復習		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	講義内容	前回までの内容に関する確認テスト		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	講義内容	反復処理 ① for 文		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	講義内容	反復処理 ② for 文を使った応用		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	講義内容	特別課題とりくみ		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定期日までに提出する。	2 時間
備考	毎回課題を出題するので、次回授業までに仕上げて提出する。 基本情報技術者試験に対応。 オフィスアワー：月曜 5 限、金曜 5 限 メールアドレス：sakamoto@takasaki-u.ac.jp			

科目名	Webデザイン I（専門導入科目）		HII109	演習
担当教員	長澤 亨、田村 拓郎			
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位	
講義目標	ネットワークで情報を発信する場合には、ホームページに関する知識が必要であり、きめ細やかなサイトを作成に基礎となる HTML4.01 の知識を修得する。 特に HTML のタグの利用方法、CSS の記述方法を学習して、基本的な Web サイトを作成できる能力を身につける。			
到達目標	1.HTML と CSS について説明できる。 2.HTM の記述方法、一般定義を記述できる。 3.HTML の仕切り、文字修飾、イメージ、作表、リンクを記述できる。 4.CSS の記述方法、スタイル関連の HTML タグを記述できる。 5.CSS によるテキスト、フォント、背景、ボックス、配置、疑似クラス、ID を記述できる。			
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		
		問題解決能力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	定期試験 50%、課題提出 40%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。			
課題に対するフィードバック	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。			
使用教材	教科書「よくわかるマスターWeb クリエーター能力認定試験 HTML4.01 対応初級 ISBN978-4-8651-034-1C3055 演習教材は随時プリントして配布またはネット配信する。			

1	講義内容	ガイダンス、Web クリエータ能力試験の概要		
	該当する到達目標	予習	教科書のはじめにから 15 ページまで、シラバスを一読しておくこと	1 時間
	1,2	復習	自分の PC に CD-ROM から作業ファイルをインストールする	1 時間
2	講義内容	HTML の基本、Step1 HTML と CSS の切り分け、Step2 HTML の記述方法		
	該当する到達目標	予習	Chapter1 の Step1HTML と CSS の切り分け、Step2 を事前学習しておくこと	1 時間
	1,2	復習	Step2 を復習	1 時間
3	講義内容	HTML の記述、Step1 一般定義		
	該当する到達目標	予習	Step1 を読んでおく	1 時間
	1,2,3	復習	Step1 の課題を完成する	1.5 時間
4	講義内容	HTML の記述、Step2 仕切り		
	該当する到達目標	予習	Step2 を読んでおく	1 時間
	1,2,3	復習	Step2 の課題を完成する	1.5 時間
5	講義内容	HTML の記述、Step3 文字就職		
	該当する到達目標	予習	Step3 を読んでおく	1 時間
	1,2,3	復習	Step3 の課題を完成する	1.5 時間
6	講義内容	HTML の記述、Step4 イメージ/マルチメディア		
	該当する到達目標	予習	Step4 を読んでおく	1 時間
	1,2,3	復習	Step4 の課題を完成する	1.5 時間
7	講義内容	HTML の記述、Step5 リスト		
	該当する到達目標	予習	Step5 を読んでおく	1 時間
	1,2,3	復習	Step5 の課題を完成する	1.5 時間

8	講義内容	HTML の記述、Step6 作表		
	該当する到達目標	予習	Step6 を読んでおく	1 時間
	1,2,3	復習	Step6 の課題を完成する	1.5 時間
9	講義内容	HTML の記述、Step7 リンク		
	該当する到達目標	予習	Step7 を読んでおく	1 時間
	1,2,3	復習	Step7 の課題を完成する	1.5 時間
10	講義内容	CSS の基本、Step1 CSS の記述方法		
	該当する到達目標	予習	CSS の Step1 を読んでおく	1 時間
	1,4,5	復習	CSS の Step1 の課題を完成する	1.5 時間
11	講義内容	CSS の記述、Step1 スタイル関連の HTML タグ		
	該当する到達目標	予習	CSS の Step1 を読んでおく	1 時間
	1,4,5	復習	CSS の Step1 の課題を完成する	1.5 時間
12	講義内容	CSS の記述、Step2 テキスト		
	該当する到達目標	予習	CSS の Step2 を読んでおく	1 時間
	1,4,5	復習	CSS の Step2 の課題を完成する	1.5 時間
13	講義内容	CSS の記述、Step3 フォント、背景		
	該当する到達目標	予習	CSS の Step3 を読んでおく	1 時間
	1,4,5	復習	CSS の Step3 の課題を完成する	1.5 時間
14	講義内容	CSS の記述、Step4 ボックス		
	該当する到達目標	予習	CSS の Step4 を読んでおく	1 時間
	1,4,5	復習	CSS の Step4 の課題を完成する	1.5 時間
15	講義内容	CSS の記述、Step5 配置、疑似クラス、ID		
	該当する到達目標	予習	CSS の Step5 を読んでおく	1 時間
	1,4,5	復習	CSS の Step5 の課題を完成する	1.5 時間
備考	オフィスアワー：月曜日の 1 時限、3 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス：nagasawa@takasaki-u.ac.jp 研究室：1 号館 6 階 608 予習復習の不足分は、試験前の学習で補うこと。			

科目名	情報システム概論(専門導入科目)	HII110	講義
担当教員	中村 賢治		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位
講義目標	IT 化の進む社会において、情報システムは欠くことのできない存在である。企業内にも無数の情報システムが存在し、それらを結ぶ大規模な情報システムも存在する。これらの基本的な知識を取得する。また、情報システムを通して情報技術と社会の結びつきを学ぶ。		
到達目標	1.企業と法務に関する基本的な知識を取得する 2.経営戦略、システム戦略に関する基本的な知識を取得する 3.開発技術からマネジメントに関する基本的な知識を取得する 4.コンピュータシステムに関する基本的な知識を取得する		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	✓ 健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	期末試験 70 点と授業毎の小テスト 30 点で評価する。		
課題に対するフィードバック	小テストは授業毎にコメントをつけて返却する。 期末試験は解答を渡すので、自己採点と見直しをする		
使用教材	IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集 (FOM 出版) ISBN-10: 4865102396 最新版を使用する。		

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	教科書の目次とシラバスを熟読し、理解する	1 時間
		復習	講義の概要、目的、評価方法を理解する。	1.5 時間
2	講義内容	企業活動		
	該当する到達目標	予習	テキスト 1-1 を予習してくる	1.5 時間
	1	復習	テキスト 1-1 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
3	講義内容	法務		
	該当する到達目標	予習	テキスト 1-2 を予習してくる	1.5 時間
	1	復習	テキスト 1-2 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
4	講義内容	法務と企業活動		
	該当する到達目標	予習	テキスト 1-2 を予習してくる	1.5 時間
	1	復習	テキスト 1-3 の章末問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
5	講義内容	経営戦略		
	該当する到達目標	予習	テキスト 2-1 を予習してくる	1.5 時間
	2	復習	テキスト 2-1 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
6	講義内容	技術戦略		
	該当する到達目標	予習	テキスト 2-2 を予習してくる	1.5 時間
	2	復習	テキスト 2-2 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
7	講義内容	システム戦略		
	該当する到達目標	予習	テキスト 3-1 を予習してくる	1.5 時間
	2	復習	テキスト 3-1 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
8	講義内容	システム企画		

	該当する到達目標	予習	テキスト 3-2 を予習してくる	1.5 時間
	2	復習	テキスト 3-2 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
9	講義内容	開発技術		
	該当する到達目標	予習	テキスト 4-1,2 を予習してくる	1.5 時間
	3	復習	テキスト 4-1,2 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
10	講義内容	プロジェクトマネジメント		
	該当する到達目標	予習	テキスト 5-1 を予習してくる	1.5 時間
	3	復習	テキスト 5-1 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
11	講義内容	サービスマネジメント		
	該当する到達目標	予習	テキスト 6-1 を予習してくる	1.5 時間
	3	復習	テキスト 6-1 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
12	講義内容	内部統制とシステム監査		
	該当する到達目標	予習	テキスト 6-2 を予習してくる	1.5 時間
	3	復習	テキスト 6-2 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
13	講義内容	コンピュータシステム		
	該当する到達目標	予習	テキスト 8-1 を予習してくる	1.5 時間
	4	復習	テキスト 8-1 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
14	講義内容	オンラインシステム		
	該当する到達目標	予習	テキスト 8-2 を予習してくる	1.5 時間
	4	復習	テキスト 8-2 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
15	講義内容	期末試験		
	該当する到達目標	予習	今期のプリントと使用したテキストを理解する	2 時間
		復習	自己採点を行い、間違えた問題を再演習する	2 時間
備考	担当教員は医療情報学科の中村です。 オフィスアワーは水曜 2 限、木曜 2 限です。 連絡先:nakamura-k@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 612 研究室			

科目名	Early Exposure（専門導入科目）			HII111	講義
担当教員	医療情報学科全教員				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	社会人として必要とされる基礎知識やマナーなどを身につけるとともに、将来の進路を考えるための礎を築く。また、接遇や礼儀作法、一般常識、表現方法、報告書作成などの病院実習やインターンシップに必要な知識と技能を身につける。				
到達目標	1.一般常識を身につけている。 2.コミュニケーション能力を身につけている。 3.社会人としてのマナーを身につけている。 4.論理的な思考能力を身につけている。				
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決能力			
	✓	コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%、レポート 30%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付けて返却する。定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
使用教材	講義資料を随時プリントして配布する。				

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読しておく。	1 時間
		復習	特になし	0 時間
2	講義内容	社会人としての一般常識と礼儀作法		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
3	講義内容	医療事務管理士の業務内容、資格取得に必要な知識と技術		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
4	講義内容	PG・SE の業務内容、資格取得に必要な知識と技術		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
5	講義内容	一般事務職の仕事、必要な知識と技術		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
6	講義内容	手紙、電子メールの基本的なマナー		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
7	講義内容	診療情報管理士の業務内容、資格取得に必要な知識と技術		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
8	講義内容	報告書作成およびプレゼンテーションスキル		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間

9	講義内容	電話応対とコミュニケーションスキル		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
10	講義内容	院内コミュニケーション、患者接遇、チーム医療		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
11	講義内容	医療機関の概要、医療保険制度、病院経営		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
12	講義内容	医療機関におけるコンピュータの活用、病院内情報システム		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
13	講義内容	論理的な思考能力を磨く①		
	該当する到達目標	予習	非言語能力の資料を熟読する。	1 時間
	1,4	復習	講義内容を熟読し、演習問題を解く。	1.5 時間
14	講義内容	論理的な思考能力を磨く②		
	該当する到達目標	予習	統一テーマによるアドバイザ毎のゼミ。	1 時間
	1,4	復習	ゼミ毎に分かれ自己将来像などをこれまでの講義を踏まえてディスカッションする。	1.5 時間
15	講義内容	統一テーマによるアドバイザ毎のゼミ		
	該当する到達目標	予習	ゼミ毎に分かれ前回の議論をまとめレポートを作成する。	1 時間
	1,2,3,4	復習		0 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	人体構造・機能論（専門基幹科目）	HIB201	講義
担当教員	小澤 瀞司		
学年・開講期	1 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位
講義目標	人体の構造と機能について基礎となる知識を習得する。また、それらの基礎的知識に基づき病気の起こるメカニズムの概要を理解する。		
到達目標	1.人体を構成する細胞・組織・器官および器官系の構造と機能を理解する。 2.上記の知識に基づき、それらの異常がどのような病気をもたらすかを推論できる。 本科目の内容を十分に理解しておくことは、臨床医学総論、および臨床医学各論Ⅰ－Ⅵを学ぶための準備として不可欠である。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
		問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	期末試験 80%、授業への参加度・貢献度（授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること）20%とし、合計 60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	期末試験については、実施直後に出題の意図、配点、問題に対する模範解答を解説する。		
使用教材	1.テキスト:「カラーで学ぶ解剖生理学」ティボドー他著（コメディカルサポート研究会訳）・医学書院・2007 年・5,880 円 教科書に沿って授業を行う。特に、カラーの図を参照することによって、複雑な人体の構造と機能についての理解を深める。 2.参考書:診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第8版・日本病院会		

1	講義内容	人体の構造と機能の概観		
	該当する到達目標	予習	テキストの序文と第 1 章 1-12 ページに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	人体の構成を理解する。また身体の主要部分の解剖学的名称を正しく覚える。	1 時間
2	講義内容	細胞		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 2 章 16-27 ページに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	細胞の構成要素、細胞膜を介する物質輸送のメカニズムを理解する。	1.5 時間
3	講義内容	組織・器官・器官系		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 2 章 31-40 ページと第 3 章 48-59 ページに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	4 つの組織、および 11 の器官系の名称を覚える。	1 時間
4	講義内容	遺伝子のはたらき		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 2 章 27-31 ページと配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	DNA の複製とタンパク質合成の分子メカニズムを理解する。	1.5 時間
5	講義内容	骨格・骨格筋系の構造と機能		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 5 章 82-101 ページと第 6 章 112-130 ページに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	骨格系の区分、骨格筋の構造と機能を理解する。主要な骨の名称を覚える。	1 時間
6	講義内容	神経系の構造と機能（1）ニューロン、グリア、シナプス		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 7 章 138-149 ページに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	神経線維およびシナプスにおける情報伝達のノメカニズムを理解する。	1 時間
7	講義内容	神経系の構造と機能（2）中枢神経系（脳と脊髄）		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 7 章 149-160 ページに目を通す。	1 時間

	1,2	復習	脳と脊髄の構造、および脳の区分と各部位の機能の概要を理解する。	1 時間
8	講義内容	神経系の構造と機能 （3）末梢神経系（体性神経系、自律神経系）		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 7 章 160-167 ページに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	体性神経系と自律神経系の区分、およびそれらの構造と機能を理解する。	1 時間
9	講義内容	内分泌系とホルモン		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 9 章 192-210 ページに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	内分泌の定義を理解し、主要なホルモンの名称、化学構造、機能を覚える。	1 時間
10	講義内容	血液・体液		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 10 章 218-228 ページと第 17 章 362-371 ページに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	血液組成、血液凝固、血液型、体液区分、体液の恒常性について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	循環器系の構造と機能		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 11 章 232-255 ページに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	心臓と血管の構造と機能を理解する。特に、心臓弁の名称と機能、興奮伝導系、心電図、冠循環について時間をかけて復習する。	1.5 時間
12	講義内容	呼吸器系の構造と機能		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 13 章 282-303 ページに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	呼吸器の構造、換気とガス交換のメカニズム、呼吸調節について理解する。	1 時間
13	講義内容	消化器系の構造と機能		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 14 章 308-327 ページに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	消化器系の構造、および胃、小腸、大腸、肝臓、膵臓、胆嚢の機能を理解する。	1 時間
14	講義内容	泌尿器系の構造と機能		
	該当する到達目標	予習	テキストの第 16 章 344-358 ページに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	泌尿器系の構造、および腎臓において尿が生成される過程を理解する。	1 時間
15	講義内容	まとめ、重要事項の解説		
	該当する到達目標	予習	テキスト、講義のノート、配布されたプリント等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点については理解を深める。	3 時間
	1,2	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1 時間
備考	オフィスアワー：水曜日の3時限と4時限 メールアドレス「sozawa@takasaki-u.ac.jp」 研究室：1号館6階606 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	臨床医学総論（専門基幹科目）	HIB202	講義
担当教員	尾形 敏郎		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	病気の原因および診断・検査と治療の概要について理解する。また、先天奇形・染色体異常、および損傷・中毒・その他の外因が人体にもたらす影響を理解する。		
到達目標	1. 病気の主な原因とその際に起こる人体の組織・器官の変化の概要を説明できる。 2. 病気の診断と治療がどのように行われるか、および病気の診断と治療の過程で行われる多種類の検査のもつ意義を説明できる。 3. 先天奇形、主な染色体異常症候群、および損傷･中毒･その他の外因が人体にもたらす影響を説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
		問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	期末試験 80%、授業への参加度・貢献度（授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること）20%とし、合計 60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	期末試験については、実施直後に出題の意図、配点、問題に対する模範解答を解説する。		
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第8版・日本病院会		

1	講義内容	健康と疾病、病気の原因（1）		
	該当する到達目標	予習	テキストの 111-112 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	健康と疾病の言葉の定義、病気の原因を理解する。	1 時間
2	講義内容	病気の原因（2）		
	該当する到達目標	予習	テキストの 112-117 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	病気の原因を理解する。	1 時間
3	講義内容	臓器の病理学的変化、病気の診断、治療の方針		
	該当する到達目標	予習	テキストの 119-120 ページと 132-134 ページに目を通す。	0.5 時間
	1,2	復習	臓器の病理学的変化、病気の診断方法および治療方針を理解する。	1 時間
4	講義内容	検査（検査技師による検体検査など）		
	該当する到達目標	予習	テキストの 121-124 ページと 127-132 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	検査技師による検体検査などの概要を理解する。	1 時間
5	講義内容	検査（放射線技師による画像検査など）		
	該当する到達目標	予習	テキストの 124-126 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	放射線技師による画像検査を理解する。	1 時間
6	講義内容	先天奇形（1）神経系、眼、耳、顔面、頚部の奇形		
	該当する到達目標	予習	テキストの 135-141 ページに目を通す。	0.5 時間
	3	復習	神経系、眼、耳、顔面、頚部の先天奇形を理解する。	1 時間
7	講義内容	先天奇形（2）呼吸器系、消化器系の奇形		
	該当する到達目標	予習	テキストの 142-144 ページに目を通す。	0.5 時間
	3	復習	呼吸器系、消化器系の先天奇形を理解する。	1 時間
8	講義内容	先天奇形（3）生殖器、腎・尿路系、筋骨格系の奇形		
	該当する到達目標	予習	テキストの 145-148 ページに目を通す。	0.5 時間

	3	復習	生殖器、腎・尿路系、筋骨格系の先天奇形を理解する。	1 時間
9	講義内容	染色体異常		
	該当する到達目標	予習	テキストの 149-150 ページに目を通す。	0.5 時間
	3	復習	染色体異常の定義、疾患について理解する。	1 時間
10	講義内容	損傷(1)皮膚、筋・腱、血管、靱帯など軟部の損傷		
	該当する到達目標	予習	テキストの 151-153 ページに目を通す。	0.5 時間
	3	復習	皮膚、筋・腱、血管、靱帯など軟部組織の損傷の概要を理解する。	1 時間
11	講義内容	損傷(2)頭部、頚部、胸部の損傷		
	該当する到達目標	予習	テキストの 154-158 ページに目を通す。	1 時間
	3	復習	頭部、頚部、胸部の損傷の概要を理解する。	1 時間
12	講義内容	損傷(3)腹部、下背部、腰椎、骨盤部の損傷		
	該当する到達目標	予習	テキストの 159-163 ページに目を通す。	0.5 時間
	3	復習	腹部、下背部、腰椎、骨盤部の損傷の概念について理解する。	1 時間
13	講義内容	損傷(4)肩、四肢の損傷		
	該当する到達目標	予習	テキストの 163-176 ページに目を通す。	0.5 時間
	3	復習	肩、四肢の損傷の概念について理解する。	1 時間
14	講義内容	薬物による中毒、物質の毒作用(アルコール、農薬、生物由来の毒物などの作用)		
	該当する到達目標	予習	テキストの 176-191 ページに目を通す。	0.5 時間
	3	復習	薬物による中毒、物質の毒作用などの概要を理解する。	1 時間
15	講義内容	まとめ、重要事項の解説		
	該当する到達目標	予習	テキスト、講義のノート、配布さプリント等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点については理解を深める。	3 時間
	1,2,3	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1 時間
備考	質問等はメールで受け付ける。 メールアドレス「尾形 敏郎 <togata45@gmail.com>」 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	臨床医学各論Ⅰ（感染症・寄生虫、血液）（専門基幹科目）	HIB203	講義
担当教員	坂本 輝彦		
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	選択 2単位
講義目標	病原微生物による疾患、および血液疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などについて、医療内容を理解するために必要な知識を習得する。		
到達目標	1.病原微生物による疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 2.血液疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
		問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	期末試験 80%、授業への参加度・貢献度（授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること）20%とし、合計 60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	各講義の際に毎回出題する復習問題については、最終講義の際にまとめて解説し、講義の再復習および期末試験の対策をおこなう。		
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第8版・日本病院会		

1	講義内容	感染症総論 （1）病原微生物の種類		
	該当する到達目標	予習	テキストの 197-198 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	感染症の発生するメカニズムを理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
2	講義内容	感染症総論 （2）感染経路、症状、診断、検査		
	該当する到達目標	予習	テキストの 198-199 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	感染症の経路、診断、症状、検査を理解する。	1 時間
3	講義内容	感染症総論 （3）治療と予防		
	該当する到達目標	予習	テキストの 199-201 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	感染症の治療と予防を理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
4	講義内容	腸管感染症		
	該当する到達目標	予習	テキストの 202-206 ページ目を通す。	0.5 時間
	1	復習	腸管感染症の概要を理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
5	講義内容	呼吸器感染症、人獣共通感染症		
	該当する到達目標	予習	テキストの 207-221 ページ目を通す。	0.5 時間
	1	復習	呼吸器および人獣共通感染症の概略を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
6	講義内容	性感染症、スピロヘータなど		
	該当する到達目標	予習	テキストの 225-233 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	性感染症、スピロヘータの概略を理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
7	講義内容	さまざまなウイルス感染症		
	該当する到達目標	予習	テキストの 234-243 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	ウイルス感染症を理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
8	講義内容	ウイルス肝炎、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)および HIV 関連病など		
	該当する到達目標	予習	テキストの 244-252 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	ウイルス肝炎、HIV 関連感染症を理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
9	講義内容	その他の感染症 真菌症、原虫疾患、寄生虫病など		
	該当する到達目標	予習	テキストの 253-262 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	真菌症、原虫疾患、寄生虫症などを理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間

10	講義内容	血液疾患 （1）血液の組成、造血のメカニズム		
	該当する到達目標	予習	テキストの 319-320 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	血液の組成、造血メカニズムを理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
11	講義内容	血液疾患 （2）血液疾患の症状、検査		
	該当する到達目標	予習	テキストの 321-325 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	血液疾患の主要症状や検査について理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
12	講義内容	血液疾患 （3）貧血		
	該当する到達目標	予習	テキストの 328-337 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	さまざまな貧血疾患につき理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
13	講義内容	血液疾患 （4）凝固障害		
	該当する到達目標	予習	テキストの 337-343 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	凝固障害をきたす疾患について理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
14	講義内容	血液疾患 （5）免疫機構の障害		
	該当する到達目標	予習	テキストの 344-345 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	免疫機構および免疫関連疾患を理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
15	講義内容	まとめ、重要事項の解説		
	該当する到達目標	予習	テキスト、講義のノート、配布プリント等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点については理解を深める。	3 時間
	1,2	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1 時間
備考	質問等は電子メールで受け付ける。 メールアドレス「tsaka.20121006@gmail.com」 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	臨床医学各論Ⅱ（新生物、代謝・内分泌）（専門基幹科目）	HIB204	講義
担当教員	坂本 輝彦		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	腫瘍（新生物）による疾患、および内分泌・代謝系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などについて、医療内容を理解するために必要な知識を習得する。		
到達目標	1.腫瘍（新生物）による疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 2.内分泌・代謝系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
		問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	期末試験 80%、授業への参加度・貢献度（授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること）20%とし、合計 60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	各講義の際に毎回出題する復習問題については、最終講義の際にまとめて解説し、講義の再復習および期末試験の対策をおこなう。		
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第8版・日本病院会		

1	講義内容	腫瘍（新生物）総論 腫瘍の定義、分類		
	該当する到達目標	予習	テキストの 265-266 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	腫瘍の総論につき理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
2	講義内容	消化管（食道・胃）の悪性新生物		
	該当する到達目標	予習	テキストの 270-276 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	食道・胃疾患の悪性新生物につき理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
3	講義内容	消化管（大腸）および肝・胆の悪性新生物		
	該当する到達目標	予習	テキストの 277-285 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	大腸および肝胆道系の悪性新生物を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
4	講義内容	膵臓および呼吸器系の悪性新生物		
	該当する到達目標	予習	テキストの 286-291 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	膵臓および呼吸器系の悪性新生物を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
5	講義内容	口唇、口腔、咽頭、骨の悪性新生物		
	該当する到達目標	予習	テキストの 266-270、291-292 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	口唇、口腔、咽頭、骨の悪性新生物を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
6	講義内容	皮膚、乳房、子宮、卵巣の新生物		
	該当する到達目標	予習	テキストの 292-298 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	皮膚、乳房、子宮、卵巣の新生物を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
7	講義内容	前立腺、泌尿器、脳の新生物		
	該当する到達目標	予習	テキストの 298-302 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	前立腺、泌尿器、脳の新生物を理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
8	講義内容	内分泌腺の新生物		
	該当する到達目標	予習	テキストの 302-303 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	内分泌腺の新生物を理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
9	講義内容	リンパ組織、造血組織の悪性新生物		

	該当する到達目標	予習	テキストの 303-307 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	リンパ組織、造血組織の悪性新生物の概要を理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
10	講義内容	上皮内癌、良性腫瘍		
	該当する到達目標	予習	テキストの 308-313 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	上皮内癌、良性腫瘍を理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
11	講義内容	内分泌・代謝系疾患（1）内分泌疾患総論、甲状腺の障害		
	該当する到達目標 2	予習	テキストの 347-354 ページに目を通す。	0.5 時間
		復習	内分泌疾患総論、甲状腺の障害を理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
12	講義内容	内分泌・代謝系疾患（2）糖尿病とその他の膵内分泌、副甲状腺障害		
	該当する到達目標 2	予習	テキストの 355-361 ページに目を通す。	0.5 時間
		復習	糖尿病とその他の膵内分泌、副甲状腺障害について理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
13	講義内容	内分泌・代謝系疾患（3）下垂体・副腎の障害		
	該当する到達目標 2	予習	テキストの 362-370 ページに目を通す。	0.5 時間
		復習	下垂体・副腎の障害について理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
14	講義内容	内分泌・代謝系疾患（5）栄養欠乏症、肥満、代謝障害、体液・電解質の異常、酸塩基平衡障害		
	該当する到達目標 2	予習	テキストの 370-384 ページに目を通す。	0.5 時間
		復習	栄養欠乏症、肥満、代謝障害、体液・電解質の異常、酸塩基平衡障害を理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
15	講義内容	まとめ、重要事項の解説		
	該当する到達目標 2	予習	テキスト、講義のノート、配布さプリント等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点については理解を深める。	3 時間
		復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1 時間
備考	質問等はメールで受け付ける。 メールアドレス「tsaka.20121006@gmail.com」 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	臨床医学各論Ⅲ（循環器・呼吸器）（専門基幹科目）	HIB205	講義
担当教員	小澤 瀞司		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	循環器、呼吸器系の疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などについて、医療内容を理解するために必要な知識を習得する。		
到達目標	1.循環器系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 2.呼吸器系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
		問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	期末試験 80%、授業への参加度・貢献度（授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること）20%とし、合計 60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	期末試験については、実施直後に出題の意図、配点、問題に対する模範解答を解説する。		
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第8版・日本病院会		

1	講義内容	循環器疾患 （1）循環器疾患総論 ①主要症候		
	該当する到達目標 1	予習	人体構造・機能論のテキスト 11 章 循環器系と講義のノート、およびテキストの 473-474 ページに目を通す。	1 時間
		復習	循環器疾患の主要症候の発生するメカニズムを理解する。	1 時間
2	講義内容	循環器疾患 （2）循環器疾患総論 ②心不全		
	該当する到達目標 1	予習	テキストの 519-523 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
		復習	左心不全と右心不全の発生メカニズムと症状を理解する。	1 時間
3	講義内容	循環器疾患 （3）循環器疾患総論 ③検査（ⅰ）心音、血液生化学、心電図		
	該当する到達目標 1	予習	テキストの 474-476 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
		復習	循環器疾患の際に、心音、血液生化学、心電図で検出される代表的変化を理解する。	1 時間
4	講義内容	循環器疾患 （4）循環器疾患総論 ④検査（ⅱ）心エコー、心カテーテルなど		
	該当する到達目標 1	予習	テキストの 476-478 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
		復習	心エコー、心カテーテル検査の概要を理解する。	1 時間
5	講義内容	循環器疾患 （5）リウマチ性心疾患、弁膜症		
	該当する到達目標 1	予習	テキストの 479-486 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
		復習	僧房弁と大動脈弁の異常に重点をおいて、それらの原因、症状、検査、治療法を理解する。	1 時間
6	講義内容	循環器疾患 （6）先天性心疾患		
	該当する到達目標 1	予習	テキストの 487-495 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
		復習	先天性心疾患の種類、症状、検査、治療法を理解する。	1 時間
7	講義内容	循環器疾患 （7）高血圧性疾患		
	該当する到達目標 1	予習	テキストの 495-500 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
		復習	高血圧の定義、原因、治療の目的、高血圧による臓器障害を理解する。	1 時間
8	講義内容	循環器疾患 （8）虚血性心疾患		
	該当する到達目標 1	予習	テキストの 501-506 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
		復習	狭心症と急性心筋梗塞の原因、症状、検査、治療法を理解する。	1 時間

9	講義内容	循環器疾患 （9）肺性心疾患、その他の心疾患（心膜炎、心筋症など）		
	該当する到達目標	予習	テキストの 507-519 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	肺性心疾患、心膜疾患、急性心筋炎、心筋症の概要を理解する。	1 時間
10	講義内容	循環器疾患 （10）動脈と静脈の疾患		
	該当する到達目標	予習	テキストの 532-542 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	動脈硬化、大動脈瘤、大動脈解離、動脈血栓・塞栓、静脈血栓、下肢静脈瘤、痔核、食道静脈瘤などの概要を理解する。	1 時間
11	講義内容	呼吸器疾患 （1）呼吸器疾患総論、呼吸不全		
	該当する到達目標	予習	人体構造・機能論のテキスト 13 章 呼吸器系と講義のノート、およびテキストの 545-546 ページと 578-579 ページに目を通す。	1 時間
	2	復習	呼吸器疾患の主要症候の発生するメカニズムと呼吸不全の定義を理解する。	1 時間
12	講義内容	呼吸器疾患 （2）上気道感染症、インフルエンザ		
	該当する到達目標	予習	テキストの 548-550 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	普通感冒とインフルエンザの区別、インフルエンザウイルスの多型性について理解する。	1 時間
13	講義内容	呼吸器疾患 （3）肺炎		
	該当する到達目標	予習	テキストの 550-558 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	肺炎の分類、原因、症状、検査、治療法について理解する。	1 時間
14	講義内容	呼吸器疾患 （4）慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、胸膜疾患		
	該当する到達目標	予習	テキストの 561-564、565、576-578 ページ、および配布プリントに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	慢性閉塞性肺疾患の原因、症状、検査、治療法を十分に復習して理解する。気管支喘息、胸膜疾患についてはそれらの概要を理解する。	1 時間
15	講義内容	まとめ、重要事項の解説		
	該当する到達目標	予習	テキスト、講義のノート、配布さプリント等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点については理解を深める。	3 時間
	1,2	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1 時間
備考	オフィスアワー：水曜日の3時限と4時限 メールアドレス「sozawa@takasaki-u.ac.jp」 研究室：1号館6階606 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	臨床医学各論Ⅳ（消化器・腎泌尿器、皮膚）（専門基幹科目）	HIB206	講義
担当教員	坂本 輝彦		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	消化器系、腎・泌尿器系の疾患、および皮膚疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などについて、医療内容を理解するために必要な知識を習得する。		
到達目標	1. 消化器系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 2. 腎・泌尿器系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 3. 皮膚疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
		問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	期末試験 80%、授業への参加度・貢献度（授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること）20%とし、合計 60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	各講義の際に毎回出題する復習問題については、最終講義の際にまとめて解説し、講義の再復習および期末試験の対策をおこなう。		
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第8版・日本病院会		

1	講義内容	消化器疾患 （1）消化器疾患総論		
	該当する到達目標	予習	テキストの 585-588、608-611、623-627 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	消化器疾患の主要症候・検査などを理解する。配布プリントに目を通す。	1 時間
2	講義内容	消化器疾患 （2）食道、胃・十二指腸の疾患		
	該当する到達目標	予習	テキストの 588-596 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	食道、胃・十二指腸の疾患の検査・症状・治療を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
3	講義内容	消化器疾患 （3）小腸、大腸の疾患		
	該当する到達目標	予習	テキストの 596-608 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	小腸、大腸の疾患の検査・症状・治療を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
4	講義内容	消化器疾患 （4）肝臓疾患		
	該当する到達目標	予習	テキストの 612-622 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	肝臓疾患の特徴・症状・検査・治療を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
5	講義内容	消化器疾患 （5）胆嚢、胆管、膵臓の疾患		
	該当する到達目標	予習	テキストの 628-638-ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	胆嚢、胆管、膵臓の特徴・症状・検査・治療を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
6	講義内容	腎・泌尿器疾患 （1）腎疾患総論		
	該当する到達目標	予習	テキストの 639-642 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	腎疾患の症状・検査などを理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
7	講義内容	腎・泌尿器疾患 （2）腎糸球体疾患		
	該当する到達目標	予習	テキストの 643-652 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	腎糸球体疾患の症状・検査・治療などを理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
8	講義内容	腎・泌尿器疾患 （3）全身疾患と腎、腎尿細管間質性疾患		

	該当する到達目標	予習	テキストの 653-659 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	全身疾患と腎、腎尿細管間質性疾患の症状、検査、治療法を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
9	講義内容	腎・泌尿器疾患 （4）腎不全、尿管結石、尿細管疾患		
	該当する到達目標	予習	テキストの 659-668 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	腎不全、尿路系、尿細管疾患を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
10	講義内容	腎・泌尿器疾患 （5）尿路系疾患、生殖器疾患		
	該当する到達目標	予習	テキストの 669-683 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	尿路系疾患、生殖器疾患の概要を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
11	講義内容	皮膚疾患 （1）皮膚疾患総論		
	該当する到達目標	予習	テキストの 735-740 ページに目を通す。	0.5 時間
	3	復習	皮膚疾患の主症状・治療を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
12	講義内容	皮膚疾患 （2）皮膚および皮下組織の感染症、皮膚炎、湿疹、真菌症		
	該当する到達目標	予習	テキストの 740-749、760-763 ページに目を通す。	0.5 時間
	3	復習	皮膚および皮下組織の感染症、皮膚炎、湿疹、真菌症を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
13	講義内容	皮膚疾患 （3）蕁麻疹、紅斑		
	該当する到達目標	予習	テキストの 749-757、763-766 ページに目を通す。	0.5 時間
	3	復習	蕁麻疹、紅斑の症状、検査、治療法について理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
14	講義内容	皮膚疾患 （4）皮膚の結合織病（膠原病）、悪性腫瘍		
	該当する到達目標	予習	テキストの 757-760、766-768 ページに目を通す。	0.5 時間
	3	復習	皮膚の結合織病（膠原病）、悪性腫瘍を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
15	講義内容	まとめ、重要事項の解説		
	該当する到達目標	予習	テキスト、講義のノート、配布プリント等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点については理解を深める。	3 時間
	1,2,3	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1 時間
備考	質問等はメールで受け付ける。 メールアドレス「tsaka.20121006@gmail.com」 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	臨床医学各論Ⅴ（周産期、筋骨格）（専門基幹科目）		HIB207	講義
担当教員	坂本 輝彦			
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	妊娠、周産期における疾患、および筋・骨格系の疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などについて、医療内容を理解するために必要な知識を習得する。			
到達目標	1.妊娠、周産期における疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 2.骨格系の疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。			
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		
		問題解決力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	期末試験 80%、授業への参加度・貢献度（授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること）20%とし、合計 60%以上を合格とする。			
課題に対するフィードバック	各講義の際に毎回出題する復習問題については、最終講義の際にまとめて解説し、講義の再復習および期末試験の対策をおこなう。			
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第8版・日本病院会			

1	講義内容	生殖器の構造と機能、性周期		
	該当する到達目標	予習	テキストの 689 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	生殖器の構造と機能、性周期を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
2	講義内容	妊娠の成立と維持		
	該当する到達目標	予習	テキストの 689-691 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	妊娠の成立と維持を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
3	講義内容	正常の妊娠と分娩		
	該当する到達目標	予習	テキストの 691-692 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	正常の妊娠と分娩を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
4	講義内容	流産		
	該当する到達目標	予習	テキストの 692-701 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	流産の概要を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
5	講義内容	妊娠高血圧症候群、妊娠悪阻		
	該当する到達目標	予習	テキストの 701-704 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	妊娠高血圧症候群、妊娠悪阻の症状・検査などを理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
6	講義内容	予想される分娩の諸問題 （1）胎位異常など		
	該当する到達目標	予習	テキストの 705-713 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	胎位異常などの概念を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
7	講義内容	予想される分娩の諸問題 （2）前置胎盤など		
	該当する到達目標	予習	テキストの 714-718 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	前置胎盤などの症状・治療などを理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
8	講義内容	分娩・産褥における合併症		
	該当する到達目標	予習	テキストの 719-726 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	分娩・産褥における合併症を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
9	講義内容	周産期の児に発生する病態		

	該当する到達目標	予習	テキストの 727-732 ページに目を通す。	0.5 時間
	1	復習	周産期の児に発生する病態概要を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
10	講義内容	筋・骨格系疾患 （1）関節障害		
	該当する到達目標	予習	テキストの 769-776 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	関節障害をきたす疾患を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
11	講義内容	筋・骨格系疾患 （2）全身性結合組織障害		
	該当する到達目標	予習	テキストの 776-787 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	全身性結合組織障害の特徴を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
12	講義内容	筋・骨格系疾患 （3）脊柱障害		
	該当する到達目標	予習	テキストの 787-798 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	脊柱障害の特徴を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
13	講義内容	筋・骨格系疾患 （4）軟部組織障害		
	該当する到達目標	予習	テキストの 798-806 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	軟部組織障害の特徴を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
14	講義内容	筋・骨格系疾患 （5）骨・軟骨障害		
	該当する到達目標	予習	テキストの 806-810 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	骨・軟骨障害の特徴を理解し、配布プリントに目を通す。	1 時間
15	講義内容	まとめ、重要事項の解説		
	該当する到達目標	予習	テキスト、講義のノート、配布プリント等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点については理解を深める。	3 時間
	1,2	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1 時間
備考	質問等はメールで受け付ける。 メールアドレス「tsaka.20121006@gmail.com」 予習・復習については、試験前の学習で補完すること			

科目名	**臨床医学各論Ⅵ（精神・脳神経・感覚器、医学英語Ⅱ）（専門基幹科目）**	HIB208	講義
担当教員	小澤 瀞司、上原 徹		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	精神・神経系、感覚器の疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などについて、医療内容を理解するために必要な知識を習得する。また、多様な疾患の症状・検査・診断・治療に関する英語表現法を習得する。		
到達目標	1.神経系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 2.精神疾患の基本的事項を理解する。 3.感覚器疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 4.多様な疾患の症状・検査・診断・治療に関する英語表現を日本語に訳すことができる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
		問題解決力	
	✓	コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	期末試験 80%、授業への参加度・貢献度（授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること）20%とし、合計 60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	期末試験については、実施直後に出題の意図、配点、問題に対する模範解答を解説する。		
使用教材	①診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第8版・日本病院会 ②診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅱ（基礎・医学用語編）」第8版・日本病院会 ③診療情報管理士教育問題集 2016 基礎医学編・日本病院会 使用教材の②と③は医学英語Ⅱの講義で使用する。		

1	講義内容	神経系疾患（1）神経疾患を理解するための基礎的事項		
	該当する到達目標 1	予習	人体構造・機能論のテキスト 7 章 神経系と講義のノート、およびテキスト①の 425-427 ページに目を通す。	1.5 時間
		復習	神経系の構造と機能に関する知識に基づき、主要症状の発生メカニズムを理解する。また、配布プリントを見直してその内容を完全に理解する。	1.5 時間
2	講義内容	神経系疾患（2）脳血管疾患		
	該当する到達目標 1	予習	テキスト①の 527-532 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
		復習	脳血管疾患の種類、原因、症状、検査、治療法を理解する。	1 時間
3	講義内容	神経系疾患（3）中枢神経系の炎症性疾患		
	該当する到達目標 1	予習	テキスト①の 427-429 ページに目を通す。	0.5 時間
		復習	中枢神経系の炎症性疾患の種類、原因、症状、検査、治療法を理解する。	1 時間
4	講義内容	神経系疾患（4）神経変性疾患		
	該当する到達目標 1	予習	テキスト①の 429-433 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
		復習	神経変性疾患の種類、原因、症状、検査、治療法を理解する。	1 時間
5	講義内容	神経系疾患（5）脱髄疾患、末梢神経系疾患		
	該当する到達目標 1	予習	テキスト①の 433-441 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
		復習	脱髄疾患、末梢神経系疾患の種類、原因、症状、検査、治療法を理解する。	1 時間
6	講義内容	神経系疾患（6）神経･筋接合部、骨格筋の疾患、その他の神経系の障害		
	該当する到達目標 1	予習	テキスト①の 441-446 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
		復習	重症筋無力症、筋ジストロフィー、脳性麻痺、水頭症の原因、症状、検査、治療法を理解する。	1 時間
7	講義内容	眼科疾患：眼瞼、結膜、涙器、水晶体、硝子体、脈絡膜・網膜、視神経、眼筋の障害		

	該当する到達目標	予習	テキスト①の 447-463 ページと配布プリントに目を通す。	0.5 時間
	3	復習	主要な眼疾患の原因、症状、検査、治療法を理解する。	1 時間
8	講義内容	医学英語Ⅱ（1）造語法の基本（医学英語Ⅰの復習）		
	該当する到達目標	予習	テキスト②の 1-10 ページを再読する。	1 時間
	4	復習	テキスト③の 12 章 問題 12-1 から 12-9 を解き直す。	1 時間
9	講義内容	医学英語Ⅱ（2）循環器・呼吸器・消化器疾患の症状・検査・診断・治療の用語		
	該当する到達目標	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	1 時間
	4	復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。	1 時間
10	講義内容	医学英語Ⅱ（3）泌尿生殖器・血液・代謝・内分泌疾患等の症状・検査・診断・治療の用語		
	該当する到達目標	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	1 時間
	4	復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。	1 時間
11	講義内容	医学英語Ⅱ（4）精神神経・感覚器・骨格系・皮膚疾患等の症状・検査・診断・治療の用語		
	該当する到達目標	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	1 時間
	4	復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。	1 時間
12	講義内容	医学英語Ⅱ（5）特に難解な医学用語についての解説		
	該当する到達目標	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	1 時間
	4	復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。	1 時間
13	講義内容	1-12 回の講義のまとめ、重要事項の解説		
	該当する到達目標	予習	テキスト、講義のノート、配布されたプリント等を利用して 1-12 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点については理解を深める。	3 時間
	1,3,4	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1 時間
14	講義内容	精神と行動の障害（1）精神疾患総論、器質性精神障害、精神作用物質など		
	該当する到達目標	予習	テキスト①の 391-396 ページに目を通す。	0.5 時間
	2	復習	講義ノートに基づき、テキスト対応箇所を再読する。	1 時間
15	講義内容	精神と行動の障害（2）統合失調症、気分障害、神経症性障害、広汎性発達障害など		
	該当する到達目標	予習	テキスト①の 397-422 ページに目を通す。	1 時間
	2	復習	講義ノートに基づき、テキスト対応箇所を再読する。	1 時間
備考	講義 1-13 回は小澤、14, 15 回は上原が担当する。 オフィスアワー：水曜日の3時限と4時限 メールアドレス「sozawa@takasaki-u.ac.jp」 研究室：1号館6階606 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	**保健医療情報学(専門基幹科目)**	HIB209	講義
担当教員	松尾 仁司		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位
講義目標	保健医療情報学は、情報技術を応用し、医療の質的向上・安全性向上と医療サービスの効率化などを実践的に達成することを目的とする分野である。本講義では、医療情報の特徴、医療情報化に関連する政策、医療情報システム、医療情報の標準化、情報セキュリティなどを全般的に学ぶ。		
到達目標	1.日本病院会が認定する診療情報管理士認定試験の該当専門分野で合格点が取れる。 2.診療情報管理上特に重要な標準化とセキュリティに関する実践力をつける。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
		問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	期末試験の成績80%、授業中の小テスト20%で、総合評価60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	合計8回の小テストはその都度採点し、次回の授業で解説を行う。		
使用教材	診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲ第 8 版(専門・情報管理編)(社)日本病院会発行		

1	講義内容	導入・医療情報学とは		
	該当する到達目標	予習	教科書の p279~283 に目を通す。	1 時間
	1	復習	医療情報学の概念について理解する。	1.5 時間
2	講義内容	医療情報の特徴と種類		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.284~288 に目を通す。	1 時間
	1	復習	医療情報の特徴と種類、利活用について理解する。	1.5 時間
3	講義内容	保健医療の情報化政策の歴史と関連法令		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.288~295 に目を通す。	1 時間
	1	復習	医療の情報化には行政が深く関わっていることを理解する。	1.5 時間
4	講義内容	保健医療情報化政策の今後の方向性		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.295~296 に目を通す。	1 時間
	1	復習	行政による医療の情報化推進策の方向性を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	病院情報システム概論		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.297~299 に目を通す。	1 時間
	1	復習	病院情報システムの特徴、歴史について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	医事会計システム		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.300 ~302 に目を通す。	1 時間
	1	復習	医事会計システムについて理解する。	1.5 時間
7	講義内容	病院の部門情報システム		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.302~306 に目を通す。	1 時間
	1	復習	臨床検査システム、放射線部門システムなどについて理解する。	1.5 時間
8	講義内容	オーダエントリシステムと電子カルテシステム		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.306~313 に目を通す。	1 時間
	1	復習	オーダエントリシステムと電子カルテシステムの役割・特徴について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	地域医療情報システム		

	該当する到達目標	予習	教科書の p.314~321 に目を通す。	1 時間
	1	復習	遠隔医療システム、地域医療情報ネットワークシステムについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	診療情報の二次利用		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.322~325 に目を通す。	1 時間
	1	復習	データウェアハウス、医療ビッグデータ処理について概念を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	個人が管理する保健医療記録		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.326~328 に目を通す。	1 時間
	1	復習	EHR,PHR など個人健康情報の概念を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	医療情報の標準化		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.329~335 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	用語・コードの標準化、伝送規格などの重要性を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	情報セキュリティ		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.335~343 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	セキュリティポリシーや安全管理について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	保健医療の情報化のこれから		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.344 に目を通す。	1 時間
	1	復習	保健医療情報分野の将来について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	全体まとめ		
	該当する到達目標	予習	講義全体を通して重要なポイントを確認する。	1 時間
	1,2	復習	保健医療情報学の重要なポイントを整理する。	1.5 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー:水曜日の 3 限目、質問はメールでも可。メールアドレス:matsuo@takasaki-u.ac.jp 研究室:1号館6階607室			

科目名	生体情報学Ⅰ（専門基幹科目）	HIB210	講義
担当教員	髙橋 大志		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位
講義目標	生体は多くの優れた機能を有しており、これらの優れた機能を測定・解析して応用することにより、医学的価値の高い医療機器を開発することが可能である。そのためには生体信号（血圧、体温など生体からの信号）を感度良く検出し、解析する必要がある。本講義では、血圧計、心電図、脳波など、医療現場で使用されている機器の測定原理、検出原理を理解することを目的とする。		
到達目標	1.生体情報の取得方法及び解析方法を理解する。 2.医療機器の測定原理について理解する。		

学位授与方針との対応		
		豊かな人間性と幅広い教養
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能
		問題解決力
		コミュニケーションスキル
		生涯学習力

評価方法	期末試験の成績にて評価。60%以上で合格。
課題に対するフィードバック	3年後期の「生体情報学Ⅱ」（必修）において実験実習を行うので、そこで講義の理解度のチェックを行う。
使用教材	「医用工学入門」木村雄治著（コロナ社） ISBN978-4-339-07075-0

1	講義内容	導入・心電計		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.1~6 に目を通す。	1 時間
	1	復習	生体情報学で何を学ぶのか理解する。	1.5 時間
2	講義内容	刺激伝導系と心電図の発生		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.7~24 に目を通す。	1 時間
	1	復習	心電図の発生とその検出法について理解する。	1.5 時間
3	講義内容	脳波計		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.25~36 に目を通す。	1 時間
	1	復習	脳波の発生とその検出法について理解する。	1.5 時間
4	講義内容	血圧計		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.36~41 に目を通す。	1 時間
	1	復習	血圧とその測定法について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	筋電計		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.81~84 に目を通す。	1 時間
	1	復習	筋電図の発生とその検出法について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	サーモグラフィ		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.49~51 に目を通す。	1 時間
	1	復習	生体から発生する体表温度情報について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	パルスオキシメータと光の吸収特性		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.87~90 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	動脈血酸素飽和度とパルスオキシメータの原理について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	呼吸流量計（スパイロメータ）		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.84~87 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	呼吸流量とスパイロメータの原理について理解する。	1.5 時間

9	講義内容	画像診断装置Ⅰ—CT—		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.115~118 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	X 線 CT の原理について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	画像診断装置Ⅱ—MRI—		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.122~126 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	MRI の原理について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	画像診断装置Ⅲ—PET・SPECT—		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.119~122 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	PET・SPECT の原理について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	超音波診断装置		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.105~111 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	超音波診断装置の原理について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	内視鏡装置		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.127~128 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	内視鏡の原理と応用について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	患者監視システム		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.94~104 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	患者監視システムの種類と用途について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	安全対策（電撃の安全対策）		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.162~170 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	医療機器の電気的安全対策について理解する。	1.5 時間
備考	単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 質問はメールでも受け付ける。			

科目名	**診療情報演習Ⅰ（専門基幹科目）**		HIB211	演習
担当教員	木村 憲洋			
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	診療情報管理を行う上で必要な基礎的な知識の習得と実践的な能力を養う。			
到達目標	1.診療情報管理をスムーズに行うことができるようにするため、習得した知識が実践できる。			
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		
		問題解決力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	授業中に出される課題を提出することにより、それを基に評価する。			
課題に対するフィードバック	課題については、全体の状況について授業中に報告する。			
使用教材	診療情報管理士の受験科目において購入した教科書と問題集			

1	講義内容	診療情報管理士に関する医学知識について		
	該当する到達目標 1	予習	診療情報管理士に関する医学知識について、臨床医学総論・各論で習ったことまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
2	講義内容	医学と医療		
	該当する到達目標 1	予習	医学と医療について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
3	講義内容	医療概論		
	該当する到達目標 1	予習	医療概論について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
4	講義内容	人体構造・機能論		
	該当する到達目標 1	予習	人体構造・機能論について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
5	講義内容	外傷学		
	該当する到達目標 1	予習	外傷学について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
6	講義内容	先天異常		
	該当する到達目標 1	予習	先天異常について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
7	講義内容	中毒		
	該当する到達目標 1	予習	中毒について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
8	講義内容	感染症および寄生虫症		
	該当する到達目標 1	予習	感染症および寄生虫症について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
9	講義内容	新生物		
	該当する到達目標 1	予習	新生物について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
10	講義内容	血液・代謝・内分泌		

	該当する到達目標	予習	血液・代謝・内分泌について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
11	講義内容	精神		
	該当する到達目標	予習	精神について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
12	講義内容	脳神経・神経		
	該当する到達目標	予習	脳神経・神経について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
13	講義内容	循環器・呼吸器		
	該当する到達目標	予習	循環器・呼吸器について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
14	講義内容	消化器・泌尿器		
	該当する到達目標	予習	消化器・泌尿器について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
15	講義内容	皮膚・筋骨		
	該当する到達目標	予習	皮膚・筋骨について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
備考	オフィスアワー：月曜日 1 限			

科目名	**診療情報演習Ⅱ(専門基幹科目)**		HIB211	演習
担当教員	木村 憲洋			
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	診療情報管理を行う上で必要な基礎的な知識の習得と実践的な能力を養う。			
到達目標	1.診療情報を管理し病院管理に生かすための知識と実践できる。			
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		
		問題解決力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	授業中に出される課題を提出することにより、それを基に評価する。			
課題に対するフィードバック	課題については、全体の状況について授業中に報告する。			
使用教材	診療情報管理士の受験科目において購入した教科書と問題集			

1	講義内容	診療情報管理士に関する医療管理について		
	該当する到達目標 1	予習	診療情報管理士に関する医療管理について、専門・診療情報管理で習ったことまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
2	講義内容	医療管理総論		
	該当する到達目標 1	予習	医療管理総論について、専門・診療情報管理で習ったことまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
3	講義内容	病院管理		
	該当する到達目標 1	予習	病院管理について、専門・診療情報管理で習ったことまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
4	講義内容	診療報酬制度と評価指標		
	該当する到達目標 1	予習	診療報酬制度と評価指標について、専門・診療情報管理で習ったことまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
5	講義内容	医療情報学		
	該当する到達目標 1	予習	医療情報学について、専門・診療情報管理で習ったことまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
6	講義内容	医療統計学		
	該当する到達目標 1	予習	医療統計学について、専門・診療情報管理で習ったことまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
7	講義内容	診療情報管理論		
	該当する到達目標 1	予習	診療情報管理論について、専門・診療情報管理で習ったことまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
8	講義内容	診療記録の管理		
	該当する到達目標 1	予習	診療記録の管理について、専門・診療情報管理で習ったことまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
9	講義内容	国際疾病分類概論		
	該当する到達目標 1	予習	国際疾病分類概論について、国際疾病分類で習ったことまとめる。	2 時間
		復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
10	講義内容	分類法		

	該当する到達目標	予習	分類法について、国際疾病分類で習ったことまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
11	講義内容	ICD−10によるコーディング方法		
	該当する到達目標	予習	ICD−10によるコーディングについて、国際疾病分類で習ったことまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
12	講義内容	ICD−10によるコーディング演習 1		
	該当する到達目標	予習	ICD−10によるコーディング演習	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
13	講義内容	ICD−10によるコーディング演習2		
	該当する到達目標	予習	ICD−10によるコーディング演習	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
14	講義内容	ICD−10によるコーディング演習3		
	該当する到達目標	予習	ICD−10によるコーディング演習	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
15	講義内容	ICD−10によるコーディング演習4		
	該当する到達目標	予習	ICD−10によるコーディング演習	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
備考	オフィスアワー: 月曜日 1 限 実習におけるテストも授業中に行う。			

科目名	**情報数学基礎(専門基幹科目)**		HIB213	講義
担当教員	東福寺 幾夫			
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位	
講義目標	コンピュータやデジタル機器の原理を理解する上で必須となる基数変換、数の表現方法、論理演算、集合、関係などについて、その基礎知識を習得する。			
到達目標	1. 情報学を学ぶ基礎である、数と量についてその特徴や表現方法を理解する。 2. 位取り記数法の意味を理解し、基数変換ができる。 3. 論理値を対象とする論理演算の基礎を理解し、真理値表から論理式を作成ができる。 4. 論理演算法則を理解し、論理式の変換や簡略化ができきる。 5. 論理演算と論理回路の対応を理解し、簡単な論理式と論理回路図の相互変換ができる。 6. 集合の基礎を理解し、集合の演算ができる。			
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	✓	問題解決力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	授業への参加と貢献 20%、単元毎の小テスト 20%、期末試験 60%で評価し、60 点以上を合格とする。			
課題に対するフィードバック	単元ごとに小テスト・演習を行い、理解度を確認し、必要に応じて補充の説明を実施する。			
使用教材	自作のプリントを配布する。			

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読む	1 時間
	1,2	復習	演習問題 1-1 を解く	1.5 時間
2	講義内容	数の表現方法(整数)、r進法、基数変換		
	該当する到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
3	講義内容	2 進数の加減演算、乗算、負数の表現方法		
	該当する到達目標	予習	プリントを読む	1時間
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
4	講義内容	数と量、小数(実数)の表現法、誤差		
	該当する到達目標	予習	プリントを読む	1時間
	1,2	復習	プリントの練習問題を解く	1.5 時間
5	講義内容	小数の表現・固定小数点、不動小数点		
	該当する到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
6	講義内容	2 進化 10 進数		
	該当する到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
7	講義内容	命題と論理演算		
	該当する到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	3,4	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
8	講義内容	ブール代数・論理演算		
	該当する到達目標	予習	プリントを読む	1 時間

	3,4	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
9	講義内容	論理式と論理演算、論理式の簡略化		
	該当する到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	3,4	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
10	講義内容	論理式と論理回路		
	該当する到達目標	予習	プリントを読む	1 時間
	5	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
11	講義内容	組み合わせ回路 半加算器		
	該当する到達目標	予習	プリントを読む	1時間
	5	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
12	講義内容	組み合わせ回路 全加算器		
	該当する到達目標	予習	プリントを読む	1時間
	5	復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間
13	講義内容	組み合わせ回路 エンコーダ		
	該当する到達目標	予習	プリントを読む	1.5 時間
	5	復習	プリントの練習問題を解く	1 時間
14	講義内容	組み合わせ回路 デコーダ		
	該当する到達目標	予習	プリントの第 4 章を読む	1 時間
	6	復習	プリントの練習問題を解く	1.5 時間
15	講義内容	まとめ 総復習		
	該当する到達目標	予習	演習問題を解く	1 時間
	1～5	復習	演習問題を解き直す	1.5 時間
備考	単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワー：月曜日の4時限と水曜日3時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「tofukuji@takasaki-u.ac.jp」 研究室：1号館6階605			

科目名	情報システム各論(専門基幹科目)	HIB214	講義
担当教員	中村 賢治		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位
講義目標	Iot 技術の発展とともに、情報システムはネットワーク化が必要となっている。その上でセキュリティ技術や暗号化技術の知識は欠かせない。これらの基本的な知識を取得し、運用方法についても学ぶ。		
到達目標	1.情報セキュリティの基本的な知識を取得する 2.情報セキュリティと法規に関する知識を取得する 3.情報セキュリティとネットワークに関する知識を取得する 4.情報セキュリティとセキュアシステムに関する知識を取得する		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	期末試験 70 点と授業毎の小テスト 30 点で評価する。		
課題に対するフィードバック	レポートは複数回に分けて実施し、結果はコメントを付けて返却する。 期末試験は解答を渡すので、自己採点と見直しをする。		
使用教材	情報セキュリティマネジメント合格教本 (技術評論社) ISBN-10: 4774193291 最新版を使用する。		

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	教科書の目次とシラバスを熟読し、理解する	1.5 時間
		復習	講義の概要、目的、評価方法を理解する。	1 時間
2	講義内容	CIA 特性と脅威		
	該当する到達目標	予習	テキスト 1-1,2,3 を予習してくる	1.5 時間
	1	復習	テキスト 1-1,2,3 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
3	講義内容	暗号化と認証		
	該当する到達目標	予習	テキスト 1-4,5 を予習してくる	1.5 時間
	1	復習	テキスト 1-14,5 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
4	講義内容	リスク分析とセキュリティポリシ		
	該当する到達目標	予習	テキスト 2-1,2 を予習してくる	1.5 時間
	1	復習	テキスト 2-1,2 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
5	講義内容	CSIRT とガイドライン		
	該当する到達目標	予習	テキスト 2-3,4 を予習してくる	1.5 時間
	1	復習	テキスト 2-3,4 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
6	講義内容	マルウェアと不正対策		
	該当する到達目標	予習	テキスト 3-1,2 を予習してくる	1.5 時間
	1	復習	テキスト 3-1,2 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
7	講義内容	情報漏洩とアクセス管理		
	該当する到達目標	予習	テキスト 3-3,4 を予習してくる	1.5 時間
	1	復習	テキスト 3-3,4 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
8	講義内容	知的財産権		
	該当する到達目標	予習	テキスト 4-1 を予習してくる	1.5 時間
	2	復習	テキスト 4-1 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間

9	講義内容	セキュリティ対策と法規		
	該当する到達目標	予習	テキスト 4-2,3 を予習してくる	1.5 時間
	2	復習	テキスト 4-2,3 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
10	講義内容	ネットワーク		
	該当する到達目標	予習	テキスト 5-1 を予習してくる	1.5 時間
	3	復習	テキスト 5-1 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
11	講義内容	データベース		
	該当する到達目標	予習	テキスト 5-2 を予習してくる	1.5 時間
	3	復習	テキスト 5-2 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
12	講義内容	システム戦略		
	該当する到達目標	予習	テキスト 6-1 を予習してくる	1.5 時間
	4	復習	テキスト 6-1 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
13	講義内容	セキュアシステム		
	該当する到達目標	予習	テキスト 6-2 を予習してくる	1.5 時間
	4	復習	テキスト 6-2 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
14	講義内容	プロジェクトマネジメント		
	該当する到達目標	予習	テキスト 6-3 を予習してくる	1.5 時間
	4	復習	テキスト 6-3 の演習問題を解き、知識を定着させる	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	今期のプリントと使用したテキストを理解する	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	配布プリントを復習して、知識を定着させる	2 時間
備考	担当教員は医療情報学科の中村です。 オフィスアワーは水曜 2 限、木曜 2 限です。 連絡先:nakamura-k@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 612 研究室			

科目名	**ネットワークⅠ（専門基幹科目）**			HIB215	講義
担当教員	長澤 亨				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	移動体通信とインターネットにより、ユビキタスの情報通信の環境が整いつつある。このような情報基盤を作る情報通信ネットワークに関する基本的な知識と技術を習得することによって、現状と今後の方向について効果的な活用をめざす。 情報通信ネットワークの歴史的な変遷を踏まえて、通信工学の基本的な考え方、ネットワークの構築・管理側に必要となるネットワークの基礎知識を学ぶ。本講義のみでネットワークやインターネットに公開するサーバの構築は難しいが、構築・運営をする上で知っておくべきネットワーク全体の知識を習得する。				
到達目標	1.ネットワーク通信の基礎技術を説明できる。 2.インターネットの仕組みを説明できる。 3.OSI の参照モデルと TCP/IP の階層モデルを説明できる。 4.無線 LAN の仕組みを説明できる。 5.ネットワークセキュリティを説明できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			
	✓	問題解決能力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	定期試験 70%、レポート（3 回）30%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付けて返却する。 定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。				
使用教材	教科書「図解ネットワーク仕事で使える基本の知識」増田若菜著（技術評論社） ISBN978-4-7741-3880-0C3055 講義のスライドを随時プリントして配布する。				

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。	1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。	1.5 時間
2	講義内容	ネットワークの基礎知識		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 1-1～1-5 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	ネットワークのプロトコルやレイヤ構造を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	LAN とインターネット		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 1-6～1-10 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	インターネットの接続、回線事業者、ISP の役割 ADSL などを理解する。	1.5 時間
4	講義内容	OSI 参照モデル		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 2-1～2-5 に目を通す。	1 時間
	1,3	復習	OSI 参照モデルとネットワーク標準プロトコル TCP/IP を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	TCP/IP モデル		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 2-6～2-10 に目を通す。	1 時間
	1,3	復習	OSI 参照モデルのレイヤと TCP/IP レイヤの役割を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	TCP/IP でネットワーク接続機器を識別する		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 3-1～3-5 に目を通す。	1 時間
	1,3	復習	TCP/IP の仕組みとポート番号について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	TCP/IP と IP アドレス		

	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 3-6～3-9 に目を通す。	1 時間
	2,3	復習	IP アドレスのクラス、サブネットマスク、VLSM と CIDR について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	IP アドレスと MAC アドレス		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 3-10～3-13 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	MAC アドレス、ブロードキャストや ARP 要求について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	LAN で使われる技術		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 4-1～4-5 目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	ネットワークトポロジ、LAN と WAN、ルーティングについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	LAN で使われるサービス		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 4-6～4-10 目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	ルーティングプロトコル、DHCP、NAT と NAPT について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	VPN の仕組み		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 4-11 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	VPN を実現する（SSL-VPN、IPsec－VPN、IP-VPN）について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	無線 LAN の仕組み		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 4-12～4-13 に目を通す。	1 時間
	1,2,4	復習	無線 LAN の仕組みと CSMA/CD、CSMA・CA について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	ネットワークセキュリティ		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 6-2～6-5 に目を通す。	1 時間
	1,2,5	復習	ネットワークのセキュリティとファイアウォールについて理解する。	1.5 時間
14	講義内容	コンピュータウイルス		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 6 章 6-6～6-12 に目を通す。	1 時間
	1,2,5	復習	ネットワークのセキュリティとファイアウォールについて理解する。	1.5 時間
15	講義内容	ネットワークの構築と管理		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 7 章 7-1～7-5 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	ネットワークの構成、ネットワーク機器、冗長化について理解する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：月曜日の 1 時限と 3 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「nagasawa@takasaki-u.ac.jp」 研究室：1 号館 6 階 608 予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	データベース概論(専門基幹科目)	HIB216	講義
担当教員	石川 雅弘		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位
講義目標	様々な分野で電子化・ネットワーク化が進み、ますます大量のデータが蓄積されるようなり、その管理・活用の基盤としてデータベースの重要性は一層高まっている。本講義では、表計算ソフトとデータベース管理システムの違いを理解するところから始め、関係(リレーショナル)データベースについて学ぶ。 前半は主に関係モデルと正規化の理論について学び、後半は関係データベース管理システムの標準的問い合わせ言語である SQL について学ぶ。		
到達目標	1. 表計算ソフトとデータベース管理システムの違いを理解し、データベース技術の重要性を説明できる。 2. トランザクション管理、同時実行制御、障害復旧、セキュリティ管理など、データベース管理システムの役割について説明できる。 3. リレーションの正規化の目的と手順を説明できる。 4. SQL で問い合わせ文を作成できる。 5. データベース技術が、社会の中でどのように利用されているかを説明することができる。		

学位授与方針との対応		
		豊かな人間性と幅広い教養
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能
	✓	問題解決力
		コミュニケーションスキル
		生涯学習力

評価方法	小テスト(20%)＋期末試験(80%)で評価する。
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。
使用教材	「[改訂新版] これだけはおさえたい データベース基礎の基礎」、谷尻かおり著、技術評論社 ISBN-13: 978-4774139937

1	講義内容	暮らしの中のデータベース		
	該当する到達目標 5	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
		復習	講義の内容をまとめる。	1.5 時間
2	講義内容	ファイル、表計算ソフト、関係データベース		
	該当する到達目標 1	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
		復習	ファイルや表計算ソフトによるデータ管理とデータベース管理システムによるデータ管理の違いを理解する。	1.5 時間
3	講義内容	関係データベースの基礎概念		
	該当する到達目標 2	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
		復習	テーブル、レコード、フィールド、主キーの意味を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	リレーションシップと参照性制約		
	該当する到達目標 2	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
		復習	テーブル間のリレーションシップと参照制約の意味を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	索引、関係演算、ビュー		
	該当する到達目標 2	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
		復習	索引やビューを利用する目的と関係演算について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	データベース設計の流れ		
	該当する到達目標 2	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
		復習	データベース設計の流れの各ステップを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	第 1 正規形		

	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	データベース設計における第1正規形の意義を理解し、テーブルを第1正規形に分解する手順を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	第 2 正規形		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	部分関数従属性、完全関数従属性、第 2 正規形を理解し、テーブルを第2正規形に分解する手順を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	第 3 正規形		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	推移的関数従属性、第3正規形を理解し、テーブルを第 3 正規形に分解する手順を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	主キー、外部キー、参照性制約		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	3	復習	主キー、外部キー、参照性制約を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	SQL(1): DDL(データ定義言語)		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	4	復習	SQL の書き方の基本を理解し、簡単なスキーマ定義ができるようにする。	1.5 時間
12	講義内容	SQL(2): DML(データ操作言語)その1		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	4	復習	SELECT 文と WHERE 句を用いた基本的な問い合わせ方法とテーブルの結合方法を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	SQL(3): DML(データ操作言語)その2		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	4	復習	副問合せ、集約関数、レコードの挿入・削除・更新方法を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	SQL(4): DCL(データ制御言語)		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	4	復習	ユーザー権限やトランザクション管理の意味と SQL での実現方法を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	テキスト全体に目を通し、疑問点などをピックアップしておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	疑問点についての理解を深める。	1.5 時間
備考	単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 数回に一度程度小テストを行い、評価に反映します。 基本情報技術者試験に対応。 オフィスアワー:前期月曜 2 限、後期火曜 4 限			

科目名	プログラミングⅡ（Cプログラミング実用）（専門基幹科目）	HIB217	演習
担当教員	坂本 孝		
学年・開講期	1年 後期	必選・単位数	必修 2単位
講義目標	「プログラミングⅠ」で学習した C 言語の基本的なプログラミング技法を基に、主にデータ処理技法を習得することを目的とする。毎回 5～10 題程度の小課題に取り組み、ステップアップ学習方式で多くの課題をこなすことにより、プログラミングにおける様々な手法を身につける。		
到達目標	1 応用的な繰り返し処理について理解できる。 2 実数型データを使った適切なデータ処理ができる。 3 文字型データを使った適切なデータ処理ができる。 4 配列を使った集計・探索等、様々なデータ処理ができる。 5 文字型データ配列と文字列の関連について理解できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	課題提出状況(70%)、学習姿勢(30%)により評価する。		
課題に対するフィードバック	課題の解答例を提示し、解説する。		
使用教材	自作のプリント		

1	講義内容	二重ループ処理		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2時間
2	講義内容	long 型変数と float 型変数		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間
	2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2時間
3	講義内容	double 型変数と数値演算関数		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間
	2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2時間
4	講義内容	配列の基本		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2時間
5	講義内容	配列の基本 初期化		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2時間
6	講義内容	配列を利用した計算		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2時間
7	講義内容	配列を利用した計算（テーブル集計）		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2時間
8	講義内容	二次元配列		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間

	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	講義内容	配列の応用 テーブルサーチ		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	講義内容	配列の初期化		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	講義内容	文字型データ ① 文字コードの扱い		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	講義内容	文字型データ ② 文字範囲の判定		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	講義内容	文字型データ ③ 文字定数表記と文字の判定・変換		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	講義内容	文字型データの配列		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	講義内容	文字型データの配列 文字列		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定期日までに提出する。	2 時間
備考	毎回課題を出題するので、次回授業までに仕上げて提出する。 基本情報技術者試験に対応。 オフィスアワー：月曜 5 限、金曜 5 限 メールアドレス：sakamoto@takasaki-u.ac.jp			

科目名	プログラミングⅢ（Cプログラミング応用）（専門基幹科目）	HIB218	演習
担当教員	坂本 孝		
学年・開講期	2年 前期	必選・単位数	選択 2単位
講義目標	C 言語プログラミングの最も特徴的な機能であるポインタを中心に、応用的なプログラミング技法を習得することを目的とする。毎回 5～10 題程度の小課題に取り組み、ステップアップ学習方式で多くの課題をこなすことにより、プログラミングにおける様々な手法を身につける。		
到達目標	1 文字列について適切に処理ができる。 2 自作の関数が作れる。 3 構造体を使ったデータ処理ができる。 4 ポインタのメリット・デメリットを理解し、ポインタ操作を駆使したデータ処理ができる。 5 ファイルからデータを取込んで処理し、ファイルに書き出すことができる。 6 2 進数のビット操作ができる。 7 資料を参照しながら、再帰プログラムを自分自身で作成することができる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	課題提出状況(60%)、試験(20%)、学習姿勢(20%)により評価する。		
課題に対するフィードバック	課題の解答例を提示し、解説する。		
使用教材	自作のプリント		

1	講義内容	文字列の入力と編集		
	該当する到達目標 1	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2時間
2	講義内容	関数（引数がない場合）		
	該当する到達目標 2	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2時間
3	講義内容	関数（引数がある場合）		
	該当する到達目標 2	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2時間
4	講義内容	構造体		
	該当する到達目標 3	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2時間
5	講義内容	構造体配列		
	該当する到達目標 3	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2時間
6	講義内容	構造体と関数		
	該当する到達目標 3	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2時間
7	講義内容	ポインタ		
	該当する到達目標 4	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2時間

8	講義内容	ポインタと関数 ① 変数、配列を関数に渡す		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	講義内容	ポインタと関数 ② 文字列を関数に渡す		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	講義内容	構造体ポインタ		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	講義内容	ファイル処理 ① 書式指定入出力		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	講義内容	ファイル処理 ② 行単位・文字単位入出力		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	講義内容	ビット演算 ① 基本演算		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	6	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	講義内容	ビット演算 ② 指定ビットの ON/OFF		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	6	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	講義内容	再帰呼出し		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	7	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定期日までに提出する。	2 時間
備考	毎回課題を出題するので、次回授業までに仕上げて提出する。 基本情報技術者試験に対応。 オフィスアワー：月曜 5 限、金曜 5 限 メールアドレス：sakamoto@takasaki-u.ac.jp			

科目名	プログラミングⅣ（Windowsプログラミング）（専門基幹科目）	HIB219	演習
担当教員	坂本 孝		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	プログラミング言語として Visual C#を用い、ボタン、メニュー、テキストボックス等の部品やグラフィックスを使った Windows アプリケーションの作成方法を習得する。		
到達目標	1. プログラミングに必要な PC 環境と操作方法について理解できる。 2. 各種コントロールを利用したプログラムの作成ができる。 3. タイマーを利用した定期更新プログラムの作成ができる。 4. 画像を利用したアニメーションプログラムの作成ができる。 5. 乱数を利用した簡単なゲームプログラムの作成ができる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	課題提出状況(70%)、学習姿勢(30%)により評価する。		
課題に対するフィードバック	課題の解答例を提示し、解説する。		
使用教材	自作のプリント		

1	講義内容	環境設定とプロジェクト作成		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、基本操作の復讐をしておく。	3 時間
2	講義内容	テキストボックス、ボタン、ラベル		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
3	講義内容	ラジオボタン、チェックボックス、ピクチャーボックス		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
4	講義内容	グループボックス、リストボックス		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
5	講義内容	コンボボックス、ローカル変数とグローバル変数		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
6	講義内容	メニューバー		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
7	講義内容	日時取得、文字列操作		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	講義内容	タイマー		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間

9	講義内容	コントロール有効化と無効化		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	講義内容	イメージリスト		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	講義内容	乱数		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	講義内容	画像の移動アニメと座標制御		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	講義内容	簡易ゲームプログラム制作 ① じゃんけんゲーム		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	講義内容	簡易ゲームプログラム制作 ② 画像当てゲーム		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	講義内容	簡易ゲームプログラム制作 ③ スロットゲーム		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定期日までに提出する。	2 時間
備考	毎回課題を出題するので、次回授業までに仕上げて提出する。 オフィスアワー：月曜 5 限、金曜 5 限 メールアドレス：sakamoto@takasaki-u.ac.jp			

科目名	**情報演習Ⅰ（専門基幹科目）**			HIB220	演習
担当教員	石川 雅弘				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	基本情報技術者試験の午前試験に合格する程度を目標として、情報処理技術やシステム開発、業務知識に関する基本的な知識を身に着ける。				
到達目標	1. 基本情報技術者試験におけるテクノロジ系の基本的な知識を身に着ける 2. 基本情報技術者試験におけるストラテジ系の基本的な知識を身に着ける 3. 基本情報技術者試験におけるマネジメント系の基本的な知識を身に着ける				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			
	✓	問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	適宜行う内容確認のための小テストにより評価する。				
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。				
使用教材	基本情報技術者試験の過去問題および授業で配布するプリント。				

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
		復習	講義の概要、目的、評価方法を理解する	1.5 時間
2	講義内容	基礎理論		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
3	講義内容	アルゴリズム		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
4	講義内容	プログラミング		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
5	講義内容	システム構成要素		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
6	講義内容	ハードウェア		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
7	講義内容	ソフトウェア		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
8	講義内容	ネットワーク		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
9	講義内容	セキュリティ		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間

	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
10	講義内容	データベース		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
11	講義内容	C 言語		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
12	講義内容	PM		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
13	講義内容	SM		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
14	講義内容	経営戦略		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
15	講義内容	企業と法務		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
備考	単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワー：月曜 2 限			

科目名	**情報演習Ⅱ（専門基幹科目）**		HIB221	演習
担当教員	石川 雅弘			
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	基本情報技術者試験に合格する程度を目標として、情報処理技術やシステム開発、業務知識に関する知識と応用力を身に着ける。			
到達目標	1. 基本情報技術者試験におけるテクノロジ系の知識と応用力を身に着ける 2. 基本情報技術者試験におけるストラテジ系の知識と応用力を身に着ける 3. 基本情報技術者試験におけるマネジメント系の知識と応用力を身に着ける			
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	✓	問題解決力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	適宜行う内容確認のための小テストにより評価する。			
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。			
使用教材	基本情報技術者試験の過去問題および授業で配布するプリント。			

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
		復習	講義の概要、目的、評価方法を理解する	1.5 時間
2	講義内容	基礎理論と応用		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
3	講義内容	アルゴリズムと応用		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
4	講義内容	プログラミングと応用		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
5	講義内容	システム構成要素と応用		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
6	講義内容	ハードウェアと応用		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
7	講義内容	ソフトウェアと応用		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
8	講義内容	ネットワークと応用		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
9	講義内容	セキュリティと応用		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間

	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
10	講義内容	データベースと応用		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
11	講義内容	C 言語と応用		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
12	講義内容	PM と応用		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
13	講義内容	SM と応用		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	2	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
14	講義内容	経営戦略と応用		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
15	講義内容	企業と法務と応用		
	該当する到達目標	予習	教材の該当範囲を読んでおく。	1 時間
	3	復習	授業中に間違った部分を中心に読み直し・解き直しをする。	2 時間
備考	情報演習Ⅰを履修していることが望ましい(情報演習Ⅰと範囲は同じであるが、本講義では主に発展的問題を扱う)。 オフィスアワー:火曜4限			

科目名	Webデザイン Ⅱ（専門基幹科目）	HIB222	演習
担当教員	長澤 亨、田村 拓郎		
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	Web デザイン Ⅰ では HTML と CSS について学んだ。ホームページを作成する場合 HTML と CSS だけでは十分ではなく、動きのあるページホームを作成できない。たとえば、マウスでボタンをクリックしたとき画像表示を変更や入力データをチェックしたり、マップを表示して拡大縮小や移動するときなどは Ajax という技術を利用する必要がある。その際、JavaScript とサーバ側の CGI との間で連携処理が必要である。 このような、動的な処理を行うホームページを作成できるスキルを身につけることを目標とする。		
到達目標	1.JavaScript の概要と記述ルールを説明できる。 2.JavaScript の基本的な文法を説明できる。 3.HTML、CSS（Cascading Style Sheets)と JavaScript の連携を説明できる。 4.JavaScript で利用されるライブラリを説明できる。 5.JavaScript と CGI（Common Gateway Interface)に連携を説明できる。		

学位授与方針との対応		
		豊かな人間性と幅広い教養
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能
	✓	問題解決能力
		コミュニケーションスキル
		生涯学習力

評価方法	定期試験50%、課題提出40%、授業の参加度10%で評価する。総合評価60%以上を合格とする。
課題に対するフィードバック	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。
使用教材	情報演習5 ステップ30 JavaScript ワークブック ISBN4-87783-818-x c3004

1	講義内容	Step01JavaScript の概要と記述ルール、Step02 イベントハンドラの利用		
	該当する到達目標	予習	予め Step01 と Step02 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3	復習	Step01 と Step02 の演習の復習	1 時間
2	講義内容	Step03 関数の基本、Step04 変数の宣言		
	該当する到達目標	予習	予め Step03 と Step04 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3	復習	Step03 と Step04 の演習の復習	1 時間
3	講義内容	Step05 変数の演算、Step06 配列		
	該当する到達目標	予習	予め Step05 と Step06 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3	復習	Step05 と Step06 の演習の復習	1 時間
4	講義内容	Step07 関数の引数、Step08 繰り返し処理		
	該当する到達目標	予習	予め Step07 と Step08 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4	復習	Step07 と Step08 の演習の復習	1 時間
5	講義内容	Step09 繰り返し処理と文字の表示、Step10 条件分岐1		
	該当する到達目標	予習	予め Step09 と Step10 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4	復習	Step09 と Step10 の演習の復習	1 時間
6	講義内容	Step11 条件分岐2、Step12break と continue		
	該当する到達目標	予習	予め Step11 と Step12 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4	復習	Step11 と Step12 の演習の復習	1 時間
7	講義内容	Step13 関数の戻り値、Step14 文字入力とエラー処理		
	該当する到達目標	予習	予め Step13 と Step14 を読んでおくこと	1 時間

	1,2,3,4	復習	Step13 と Step14 の演習の復習	1 時間
8	講義内容	Step15 オブジェクト、Step16 ウィンドの操作		
	該当する到達目標	予習	予め Step15 と Step16 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,45	復習	Step15 と Step16 の演習の復習	1 時間
9	講義内容	Step17 スクロール処理、Step18 文字色、背景色の操作		
	該当する到達目標	予習	予め Step17 と Step18 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,45	復習	Step17 と Step18 の演習の復習	1 時間
10	講義内容	Step19 画像の操作1、Setp20 画像の操作2		
	該当する到達目標	予習	予め Step19 と Step20 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,45	復習	Step19 と Step20 の演習の復習	1 時間
11	講義内容	Step21 日付、時刻の操作1、Step22 日付、時刻の操作2		
	該当する到達目標	予習	予め Step21 と Step22 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,45	復習	Step21 と Step22 の演習の復習	1 時間
12	講義内容	Step23 フォームの操作1、Step24 フォームの操作2		
	該当する到達目標	予習	予め Step23 と Step24 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,45	復習	Step23 と Step24 の演習の復習	1 時間
13	講義内容	Step25URL と履歴の操作、Step26Math オブジェクト		
	該当する到達目標	予習	予め Step25 と Step26 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,45	復習	Step25 と Step26 の演習の復習	1 時間
14	講義内容	Step27string オブジェクト、Step28 一定間隔で処理を繰り返し実行する		
	該当する到達目標	予習	予め Step27 と Step28 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,45	復習	Step27 と Step28 の演習の復習	1 時間
15	講義内容	Step29 クッキーの操作1、Step30 クッキーの操作2		
	該当する到達目標	予習	予め Step29 と Step30 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,45	復習	Step29 と Step30 の演習の復習	1 時間
備考	オフィスアワー：月曜日の 1 時限、3 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス：nagasawa@takasaki-u.ac.jp 研究室：1 号館 6 階608 予習復習の不足分は、試験前の学習で補うこと。			

科目名	**情報処理演習Ⅰ（専門基幹科目）**	HIB223	演習
担当教員	中村賢治、坂本孝		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	現代社会において、様々なデータ処理を行える Excel はなくてはならない存在となっている。本講義では、Excel の標準機能を使いこなすだけでなく、VBA の技法を学ぶことにより、Excel の機能を強化したり定型業務を自動化したりするノウハウを習得する。		
到達目標	1. マクロと VBA について理解し、VBA の操作方法について理解できる。 2. ブック、シート、セルに対して値・書式の設定やコピー・移動等の操作ができる。 3. 用途に適したフロー制御を行うことができる。 4. 各種コントロールを利用した対話型プログラムを作成できる。 5. 自作の関数を作成できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	課題提出状況(70%)、学習姿勢(30%)により評価する。		
課題に対するフィードバック	課題の解答例を提示し、解説する。		
使用教材	自作のプリント		

1	講義内容	マクロと VBA		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、基本操作の復讐をしておく。	3 時間
2	講義内容	セルの操作 ① 値入力		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
3	講義内容	セルの操作 ② 書式設定		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
4	講義内容	条件分岐処理		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
5	講義内容	反復処理 ① 基本		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
6	講義内容	反復処理 ② 発展		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
7	講義内容	コントロール		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	講義内容	メッセージボックス		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間

	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	講義内容	インプットボックス		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	講義内容	文字列操作		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	講義内容	ユーザフォーム ① 基本		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	講義内容	ユーザフォーム ② 発展		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	講義内容	ユーザ定義関数		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	講義内容	エラー処理		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	講義内容	総合演習		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定期日までに提出する。	2 時間
備考	毎回課題を出題するので、次回授業までに仕上げて提出する。 【中村】 オフィスアワーは水曜 2 限、木曜 2 限 メールアドレス:nakamura-k@takasaki-u.ac.jp 【坂本】 オフィスアワー:月曜 5 限、金曜 5 限 メールアドレス:sakamoto@takasaki-u.ac.jp			

科目名	アルゴリズムとデータ構造(専門基幹科目)	HIB224	講義
担当教員	坂本 孝		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	データが加工されやすいように格納しておく形態をデータ構造といい、加工手順のことをアルゴリズムという。本講義では、情報処理技術者として必須となるデータ構造とアルゴリズムの代表的な知識を習得する。		
到達目標	1 基本情報技術者試験で使用される疑似言語が理解できる。 2 探索処理、整列処理の基本的なアルゴリズムが理解できる。 3 文字列操作の応用アルゴリズムが理解できる。 4 スタック構造、木構造等のデータ構造が理解でき、これを処理するアルゴリズムが理解できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	課題提出状況(50%)、確認テスト(30%)、学習姿勢(20%)により評価する。		
課題に対するフィードバック	課題の解答を提示し、解説する。		
使用教材	自作のプリント		

1	講義内容	1 次元配列の基本操作		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
2	講義内容	順位付け処理		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
3	講義内容	2 次元配列の基本操作		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
4	講義内容	配列を利用した図形処理		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
5	講義内容	データ探索		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
6	講義内容	整列 基本選択法、隣接交換法		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
7	講義内容	整列 基本挿入法、クイックソート		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	講義内容	文字列の比較		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	講義内容	文字列の転記		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間

	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	講義内容	文字列の圧縮/復元		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	講義内容	ボイヤ・ムーア法		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	講義内容	スタック		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	講義内容	木構造		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	講義内容	ハッシュ法		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	講義内容	数学的アルゴリズム		
	該当する到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、指定期日までに提出する。	2 時間
備考	毎回課題を出題するので、次回授業までに仕上げて提出する。 基本情報技術者試験に対応。 オフィスアワー：月曜 5 限、金曜 5 限 メールアドレス：sakamoto@takasaki-u.ac.jp			

科目名	マルチメディアⅠ（専門基幹科目）	HIB225	演習
担当教員	木幡 直樹、田村 拓郎		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	本講義では、受講者がマルチメディアに関連する基礎的な事項を理解するとともに、CG やアニメーション作成の演習を通じて、マルチメディアコンテンツを作成するための基礎的な能力を身につけることを目標とする。		
到達目標	1. マルチメディアに関連する基礎的な事項に関して、その概要を説明できる。 2. レイトレーシングソフトウェアを用いた CG を作成することができる。 3. 作成した CG を用いてアニメーションを作成することができる。 4. 画像を素材として、加工して利用することができる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	課題の提出状況とその出来栄え 90%、授業への参加態度 10% で評価する。		
課題に対するフィードバック	提出物（ファイル）の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。		
使用教材	自作教材		

1	講義内容	講義全体のガイダンス		
	該当する到達目標	予習	シラバスを確認しておく。	1 時間
		復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・成績評価方法などを理解する。	1.5 時間
2	講義内容	マルチメディアと情報化社会		
	該当する到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
	1	復習	専門用語の意味を再確認し、理解しておく。	1.5 時間
3	講義内容	情報のディジタル化		
	該当する到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
	1	復習	専門用語の意味を再確認し、理解しておく。	1.5 時間
4	講義内容	マルチメディアの構成要素とその取り扱い		
	該当する到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
	1	復習	専門用語の意味を再確認し、理解しておく。	1.5 時間
5	講義内容	CG 作成演習(1)基本操作		
	該当する到達目標	予習	CG 作成ソフトの機能について調べておく。	1 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1.5 時間
6	講義内容	CG 作成演習(2)基本図形		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1.5 時間
7	講義内容	CG 作成演習(3)物体の移動、回転		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1.5 時間
8	講義内容	CG 作成演習(4)物体の組み合わせ		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1.5 時間

9	講義内容	CG 作成演習(5)回転体、テクスチャー		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1.5 時間
10	講義内容	CG 作成演習(6)アニメーション制作		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	2, 3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1.5 時間
11	講義内容	Photoshop(1) 画像サイズ、解像度、フォーマットの変換		
	該当する到達目標	予習	画像処理ソフトの機能について調べておく。	1 時間
	4	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	Photoshop(2) 範囲選択、写真合成		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	4	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1.5 時間
13	講義内容	Photoshop(3) ノイズ除去、色補正		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	4	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1.5 時間
14	講義内容	Photoshop(4) 透明化、グラデーション		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	4	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	課題作品制作		
	該当する到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	1 時間
	2, 3, 4	復習	授業外の時間も用いて、課題作品を完成させる。	5 時間
備考	オフィスアワー: 水 4 限(木幡, 1 号館 602 研究室)。 予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

科目名	**医療管理総論(専門展開科目)**		HID301	講義
担当教員	木村 憲洋			
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位	
講義目標	医療業界を理解するにあたり、医療の管理について知る必要がある。そこで、医療業界における医療資源を中心に医療管理について知識を習得する。			
到達目標	1.医療資源に関する理解をする。 2.医療における法律の理解をする。 3.診療情報管理士と医療業界の位置づけについて理解する。			
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	✓	問題解決力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	定期試験100%			
課題に対するフィードバック	講義中にディスカッションを行う。			
使用教材	診療情報管理 III(日本病院会) 病院のしくみ(日本実業出版社) 病院経営の仕組み(日本医療企画)			

1	講義内容	医療資源について		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療資源についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療資源について理解する。	2 時間
2	講義内容	医療における物的資源		
	該当する到達目標	予習	教科書で物的資源についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	物的資源について理解する。	2 時間
3	講義内容	医療における人的資源		
	該当する到達目標	予習	教科書で人的資源についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	物的資源について理解する。	2 時間
4	講義内容	医療における財的資源		
	該当する到達目標	予習	教科書で財的資源についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	財的資源についてまとめる。	2 時間
5	講義内容	医療における情報資源		
	該当する到達目標	予習	教科書で情報資源についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	情報資源について理解する。	2 時間
6	講義内容	日本の医療制度		
	該当する到達目標	予習	教科書で日本の医療制度についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	日本の医療制度について理解する。	2 時間
7	講義内容	医療保障		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療保障についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療保障について理解する。	2 時間
8	講義内容	医療制度の特徴		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療制度の特徴についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療制度の特徴について理解する。	2 時間

9	講義内容	医療制度の成り立ち		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療制度の成り立ちについてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療制度の成り立ちについて理解する。	2 時間
10	講義内容	国民医療費の現状と将来		
	該当する到達目標	予習	教科書で国民医療費の現状と将来についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	国民医療費の現状と将来について理解する。	2 時間
11	講義内容	医療の需要と供給		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療の需要と供給についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療の需要と供給について理解する。	2 時間
12	講義内容	人口の推移		
	該当する到達目標	予習	教科書で人口の推移についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	人口の推移について理解する。	2 時間
13	講義内容	地域医療		
	該当する到達目標	予習	教科書で地域医療についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	地域医療について理解する。	2 時間
14	講義内容	医療の提供構造		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療の提供構造についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療の提供構造について理解する。	2 時間
15	講義内容	医療計画		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療計画の提供構造についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療計画について理解する。	2 時間
備考	オフィスアワー月曜日1時限			

科目名	**医療管理各論Ⅰ（専門展開科目）**	HID302	講義
担当教員	木村 憲洋		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	病院を的確に維持、運営していく上で重要な、病院の経営管理をはじめとする基礎的な知識を見につけることを目標する。		
到達目標	1.病院経営における経営資源の理解 2.病院経営の基本の理解		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	定期試験100%		
課題に対するフィードバック	授業においてフィードバック		
使用教材	診療情報管理 III（日本病院会） 病院のしくみ（日本実業出版社） 病院経営の仕組み（日本医療企画）		

1	講義内容	病院経営管理		
	該当する到達目標	予習	教科書で病院経営管理についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	病院経営管理について理解する。	2 時間
2	講義内容	プロセス（工程）とは		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療のプロセスについてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	医療のプロセスについて理解する。	2 時間
3	講義内容	組織と機能		
	該当する到達目標	予習	教科書で組織と機能についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	組織と機能について理解する。	2 時間
4	講義内容	管理と組織		
	該当する到達目標	予習	教科書で病院の管理と組織についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	病院の管理と組織についてまとめる。	2 時間
5	講義内容	財務・経営管理		
	該当する到達目標	予習	教科書で財務・経営管理についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	財務・経営管理について理解する。	2 時間
6	講義内容	人事・労務管理		
	該当する到達目標	予習	教科書で人事・労務管理についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	人事・労務管理について理解する。	2 時間
7	講義内容	施設管理		
	該当する到達目標	予習	教科書で施設管理についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	施設管理について理解する。	2 時間
8	講義内容	医療管理		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療管理についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	医療管理について理解する。	2 時間
9	講義内容	診療部門		

	該当する到達目標	予習	教科書で診療部門についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	診療部門について理解する。	2 時間
10	講義内容	看護部門		
	該当する到達目標	予習	教科書で看護部門についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	看護部門について理解する。	2 時間
11	講義内容	医療技術部門・診療協力部門・メディカルスタッフ部門		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書で医療技術部門・診療協力部門・メディカルスタッフ部門についてまとめる。	1 時間
		復習	医療技術部門・診療協力部門・メディカルスタッフ部門について理解する。	2 時間
12	講義内容	教育研究部門		
	該当する到達目標	予習	教科書で教育研究部門についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	教育研究部門について理解する。	2 時間
13	講義内容	チーム医療		
	該当する到達目標	予習	教科書でチーム医療についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	チーム医療について理解する。	2 時間
14	講義内容	チーム医療の主な活動		
	該当する到達目標	予習	教科書でチーム医療の主な活動についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	チーム医療の主な活動について理解する。	2 時間
15	講義内容	チーム医療の推進		
	該当する到達目標	予習	教科書でチーム医療の推進についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	チーム医療の推進について理解する。	2 時間
備考	オフィスアワー月曜日1時限			

科目名	**医療管理各論Ⅱ（専門展開科目）**	HID303	講義
担当教員	木村 憲洋		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	日本における医療制度について理解と DPC 制度の成立と DPC による請求について理解することを目的とする。		
到達目標	1.日本の医療制度の理解 2.DPC 制度の理解		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	定期試験100%		
課題に対するフィードバック	講義中にディスカッションを行う。		
使用教材	診療情報管理 III（日本病院会） 病院のしくみ（日本実業出版社） 病院経営の仕組み（日本医療企画）		

1	講義内容	わが国の医療保険制度		
	該当する到達目標	予習	教科書で我が国の医療保険制度についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	我が国の医療保険制度について理解する。	2 時間
2	講義内容	保険診療と医療費の支払いの仕組み		
	該当する到達目標	予習	教科書で保険診療と医療費の支払いの仕組みについてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	保険診療と医療費の支払いの仕組みについて理解する。	2 時間
3	講義内容	診療報酬制度の概要		
	該当する到達目標	予習	教科書で診療報酬制度の概要についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	診療報酬制度の概要について理解する。	2 時間
4	講義内容	診療報酬請求業務		
	該当する到達目標	予習	教科書で診療報酬請求業務についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	診療報酬請求業務についてまとめる。	2 時間
5	講義内容	ケースミックス区分法		
	該当する到達目標	予習	教科書でケースミックス区分法についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	ケースミックス区分法について理解する。	2 時間
6	講義内容	診断群分類		
	該当する到達目標	予習	教科書で診断群分類についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	診断群分類について理解する。	2 時間
7	講義内容	わが国の診断群分類誕生の背景		
	該当する到達目標	予習	教科書でわが国の診断群分類誕生の背景についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	わが国の診断群分類誕生の背景について理解する。	2 時間
8	講義内容	DPC の成り立ち		
	該当する到達目標	予習	教科書で DPC の成り立ちについてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	DPC の成り立ちについて理解する。	2 時間
9	講義内容	DPC のコーディング		

	該当する到達目標	予習	教科書で DPC のコーディングについてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	DPC のコーディングについて理解する。	2 時間
10	講義内容	DPC とコーディング		
	該当する到達目標	予習	教科書で DPC とコーディングについてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	DPC とコーディングについて理解する。	2 時間
11	講義内容	DPC と経営分析		
	該当する到達目標	予習	教科書で DPC と経営分析についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	DPC と経営分析について理解する。	2 時間
12	講義内容	DPC と診療報酬点数		
	該当する到達目標	予習	教科書で DPC と診療報酬点数についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	DPC と診療報酬点数について理解する。	2 時間
13	講義内容	DPC と包括評価		
	該当する到達目標	予習	教科書で DPC と包括評価についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	DPC と包括評価について理解する。	2 時間
14	講義内容	介護保険制度		
	該当する到達目標	予習	教科書で介護保険制度についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	介護保険制度について理解する。	2 時間
15	講義内容	病院経営と診療報酬と介護報酬		
	該当する到達目標	予習	教科書で病院経営と診療報酬と介護報酬についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	病院経営と診療報酬と介護報酬について理解する。	2 時間
備考	オフィスアワー月曜日1時限			

科目名	**医療管理各論Ⅲ（専門展開科目）**	HID304	講義
担当教員	木村 憲洋		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	質の高い医療を提供するための診療情報管理士に役割と医療安全や医療の質に関する基本について理解することを目標とする。		
到達目標	1.医療の質と診療情報管理士の役割について理解する。 2.医療安全の基本を理解する。 3.医療安全の基本を理解する。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	定期試験100%		
課題に対するフィードバック	講義中にディスカッションを行う。		
使用教材	診療情報管理 III（日本病院会） 病院のしくみ（日本実業出版社） 病院経営の仕組み（日本医療企画）		

1	講義内容	医療安全概論		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療安全概論についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療安全概論について理解する。	2 時間
2	講義内容	医療におけるリスクマネジメント		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療におけるリスクマネジメントについてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療におけるリスクマネジメントについて理解する。	2 時間
3	講義内容	ヒューマンエラー		
	該当する到達目標	予習	教科書でヒューマンエラーについてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	ヒューマンエラーについて理解する。	2 時間
4	講義内容	医療事故		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療事故についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療事故についてまとめる。	2 時間
5	講義内容	医事紛争		
	該当する到達目標	予習	教科書で医事紛争についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医事紛争について理解する。	2 時間
6	講義内容	医療事故調査制度		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療事故調査制度についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療事故調査制度について理解する。	2 時間
7	講義内容	医療の質と保障		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療の質と保証についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療の質と保証について理解する。	2 時間
8	講義内容	チーム医療における診療情報共有		
	該当する到達目標	予習	教科書でチーム医療における診療情報共有についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	チーム医療における診療情報共有について理解する。	2 時間

9	講義内容	医療の質マネジメント		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療の質マネジメントについてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療の質マネジメントについて理解する。	2 時間
10	講義内容	医療の質の評価		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療の質の評価についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療の質の評価について理解する。	2 時間
11	講義内容	医療の質の公表		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療の質の公表についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療の質の公表について理解する。	2 時間
12	講義内容	医療マーケティング		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療マーケティングについてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	医療マーケティングについて理解する。	2 時間
13	講義内容	診療情報管理におけるデータの活用		
	該当する到達目標	予習	教科書で診療情報管理におけるデータの活用についてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	診療情報管理におけるデータの活用について理解する。	2 時間
14	講義内容	電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データ		
	該当する到達目標	予習	教科書で電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データについてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データについて理解する。	2 時間
15	講義内容	診療情報管理データと医事会計データ		
	該当する到達目標	予習	教科書で診療情報管理データと医事会計データについてまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	診療情報管理データと医事会計データについて理解する。	2 時間
備考	オフィスアワー月曜日1時限			

科目名	診療情報管理Ⅰ（専門展開科目）	HID305	講義
担当教員	大川 喜代美		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	診療情報管理の意義と役割について系統的に学習する。診療情報管理に関わる法令や諸規則、診療情報の機能的な記録方法やルール、構成を学ぶ。診療情報管理を実施するための基礎として診療情報の重要性を理解する。診療情報を適切に取り扱い、責任ある情報管理を行う能力を身に付ける。		
到達目標	1.診療情報管理の意義と役割を理解する 2.診療情報管理の歴史について知識を深める 3.診療情報管理と法規等を理解する 4.診療情報管理に関するガイドラインを理解する 5.診療情報の記載方式を理解する 6.診療情報の記載について知識を深める		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	定期試験（100%）		
課題に対するフィードバック	授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。		
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ 診療情報管理士教育問題集（専門・8章～12章）		

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士テキストⅣ第8章「診療情報管理Ⅰ－法令・諸規則－」を読み、講義の目標を理解する。	1.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、評価方法を確認し、診療情報管理士に必要な知識を認識する。	1 時間
2	講義内容	診療情報管理に関する用語の定義		
	該当する到達目標 1	予習	診療録（カルテ）に記載されている用語の定義に目を通す。	1.5 時間
		復習	診療情報管理に関する用語の定義を理解する。	1 時間
3	講義内容	診療記録の価値		
	該当する到達目標 1	予習	診療記録の価値に目を通す	1.5 時間
		復習	診療記録の価値を理解する	1 時間
4	講義内容	診療情報管理の役割		
	該当する到達目標 1	予習	診療情報管理の役割に目を通す	1.5 時間
		復習	診療教法管理の役割を理解する	1 時間
5	講義内容	診療記録のルーツと諸外国における診療情報管理		
	該当する到達目標 1	予習	診療記録のルーツと諸外国における診療情報管理に目を通す	1.5 時間
		復習	診療記録のルーツと諸外国における診療情報管理を理解する	1 時間
6	講義内容	わが国における診療情報管理		
	該当する到達目標 2	予習	診療情報管理士テキストⅣ第8章「診療情報管理Ⅰ」の日本における診療情報管理に目を通す	1.5 時間
		復習	日本における診療情報管理を理解する	1 時間
7	講義内容	診療情報管理と法規等 1		

	該当する到達目標	予習	診療記録の記載と保存についての法規および、電子化に関する法規に目を通す	1.5 時間
	2	復習	診療記録の記載と保存についての法規および、電子化に関する法規を理解する	1 時間
8	講義内容	診療情報管理と法規等 2		
	該当する到達目標	予習	診療記録の提示に関する法規および、医療事故にともなう法的責任に目を通す	1.5 時間
	3	復習	診療記録の提示に関する法規および、医療事故にともなう法的責任を理解する	1 時間
9	講義内容	診療情報管理と法規等 3		
	該当する到達目標	予習	診療情報の守秘に関する法規および、個人情報の保護に関する法律に目を通す	1.5 時間
	3	復習	診療情報の守秘に関する法規および、個人情報の保護に関する法律を理解する	1 時間
10	講義内容	診療情報管理と法規等 4		
	該当する到達目標 4	予習	医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンスおよび、個人情報保護法と厚生労働省のガイダンスに基づく病院の対応に目を通す	1.5 時間
		復習	医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンスおよび、個人情報保護法と厚生労働省のガイダンスに基づく病院の対応を理解する	1 時間
11	講義内容	診療情報管理と法規等 5		
	該当する到達目標	予習	診療情報の提供に関する指針に目を通す	1.5 時間
	4	復習	診療情報の提供に関する指針	1 時間
12	講義内容	診療記録の記載方式		
	該当する到達目標 4	予習	診療記録の記載方式である POS とフォーカスチャーティング、クリニカルパスに目を通す	1.5 時間
		復習	診療記録の記載方式である POS とフォーカスチャーティング、クリニカルパスを理解する	1 時間
13	講義内容	診療情報の記載		
	該当する到達目標	予習	診療情報の記載方法および、診療録の基本的な記載事項に目を通す	1.5 時間
	5	復習	診療情報の記載方法および、診療録の基本的な記載事項を理解する	1 時間
14	講義内容	診療記録の種類		
	該当する到達目標	予習	診療記録の種類に目を通す	1.5 時間
	6	復習	診療記録の種類を理解する	1 時間
15	講義内容	診療情報管理の意義と役割まとめ		
	該当する到達目標 6	予習	診療録、診療記録に関する法律や法規を踏まえて診療情報管理の意義と診療情報管理士の役割を考える	1.5 時間
		復習	診療録、診療記録に関する法律や法規を踏まえて診療情報管理の意義と診療情報管理士の役割を理解する	1 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 オフィスアワー: 月曜と水曜の3限。質問はメールでも可能。 E-mail:okawa-ki@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1号館6階 609 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	診療情報管理Ⅱ（専門展開科目）	HID306	講義
担当教員	大川 喜代美		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	診療情報管理士の専門性について理解し、医療に貢献する診療情報管理を実践していくための能力の基礎を身に付ける。診療情報管理を実施する場で容易に想起され、応用可能な基礎知識を習得する		
到達目標	1.診療情報管理士について理解する。 2.診療情報管理士に求められる資質について知識を深める。 3.診療情報管理士の基本業務について理解する。 4.紙カルテ運用における診療情報管理について知識を深め理解する。 5.電子カルテ運用における診療情報管理を理解する。 6.診療情報管理士による改善への取り組みについて知識を深め実務に生かせるようにする。 7.診療情報管理士の活動組織について知識を深め、実務に活用できるようにする。		

学位授与方針との対応		
		豊かな人間性と幅広い教養
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能
	✓	問題解決力
		コミュニケーションスキル
		生涯学習力

評価方法	定期テスト（100%）
課題に対するフィードバック	授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ 診療情報管理士教育問題集（専門・8章～12章）

1	講義内容		診療情報管理士について	
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士とは何かおよび、診療情報管理士の業務指針に目を通す	1.5 時間
	1	復習	診療情報管理士とは何かおよび、診療情報管理士の業務指針	1 時間
2	講義内容		診療情報管理士に求められる資質	
	該当する到達目標	予習	知識と技能、視点に目を通す	1.5 時間
	2	復習	知識と技能、視点を理解する	1 時間
3	講義内容		診療情報管理士の基本業務１	
	該当する到達目標	予習	診療情報を体系的・一元的に管理する業務、安全に管理する業務に目を通す	1.5 時間
	3	復習	診療情報を体系的・一元的に管理する業務、安全に管理する業務を理解する	1 時間
4	講義内容		診療情報管理士の基本業務２	
	該当する到達目標	予習	診療情報を点検する業務、有効に活用する業務に目を通す	1.5 時間
	3	復習	診療情報を点検する業務、有効に活用する業務を理解する	1 時間
5	講義内容		診療情報を提供する業務	
	該当する到達目標	予習	診療情報を提供する業務に目を通す	1.5 時間
	3	復習	診療情報を提供する業務を理解する	1 時間
6	講義内容		個人情報保護と診療情報管理	
	該当する到達目標	予習	個人情報保護の視点からの保管管理に目を通す	1.5 時間
	4	復習	個人情報保護の視点からの保管管理を理解する	1 時間
7	講義内容		紙カルテ運用における診療情報管理１	
	該当する到達目標	予習	ナンバリング、ファイリングに目を通す	1.5 時間
	4	復習	ナンバリング、ファイリングを理解する	1 時間

8	講義内容	紙カルテ運用における診療情報管理 2		
	該当する到達目標 4	予習	診療記録の保存期間と保存方法、パージングに目を通す	1.5 時間
		復習	診療記録の保存期間と保存方法、パージングを理解する	1 時間
9	講義内容	紙カルテ運用における診療情報管理 3		
	該当する到達目標 5	予習	紙カルテの管理方式および貸出管理に目を通す	1.5 時間
		復習	紙カルテの管理方式および貸出管理を理解する	1 時間
10	講義内容	紙カルテ運用における診療情報管理 4		
	該当する到達目標 5	予習	紙カルテの管理方式および貸出管理に目を通す	1.5 時間
		復習	紙カルテの管理方式および貸出管理を理解する	1 時間
11	講義内容	電子カルテ運用における診療情報管理 1		
	該当する到達目標 5	予習	電子カルテの運用、記載する場所の明確化、紙媒体情報の保存に目を通す	1.5 時間
		復習	電子カルテの運用、記載する場所の明確化、紙媒体情報の保存を理解する	1 時間
12	講義内容	電子カルテ運用における診療情報管理 2		
	該当する到達目標 6	予習	診療情報の点検および、個人情報保護への対応に目を通す	1.5 時間
		復習	診療情報の点検および、個人情報保護への対応を理解する	1 時間
13	講義内容	診療情報の提供に係る業務		
	該当する到達目標 6	予習	院内職員および院外と、医療機能情報の提供制度、患者への診療情報提供に目を通す	1.5 時間
		復習	院内職員および院外と、医療機能情報の提供制度、患者への診療情報提供を理解する	1 時間
14	講義内容	診療情報管理士による改善への取り組み		
	該当する到達目標 7	予習	医療の質の評価、医療安全管理、チーム医療、病院経営に目を通す	1.5 時間
		復習	医療の質の評価、医療安全管理、チーム医療、病院経営を理解する	1 時間
15	講義内容	診療情報管理士の活動組織		
	該当する到達目標 7	予習	診療情報管理室、診療情報管理委員会、適切なコーディングに関する委員会に目を通す	1.5 時間
		復習	診療情報管理室、診療情報管理委員会、適切なコーディングに関する委員会について理解する	1 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 オフィスアワー：月曜と水曜の3限。質問はメールでも可能。 E-mail:okawa-ki@takasaki-u.ac.jp 研究室：1号館6階 609 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	**診療情報管理Ⅲ（専門展開科目）**	HID307	講義
担当教員	大川 喜代美		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	診療情報管理士の実務で重要な DPC、医師事務作業補助、がん登録について理解を深める		
到達目標	1.DPC 業務について、実務上求められることを踏まえて実務者の視点から学習する。 2.医師事務作業補助者業務について、実務上求められることを踏まえて実務者の視点から学習する。 3.がん登録業務について、実務上求められることを踏まえて実務者の視点から学習する。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	定期テスト 100%		
課題に対するフィードバック	授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。		
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ 診療情報管理士教育問題集（専門・診療情報管理編）		

1	講義内容	DPC 制度と実務 1		
	該当する到達目標	予習	DPC と診療情報管理士（診療情報管理部門）との関わりに目を通す	1.5 時間
	1	復習	DPC と診療情報管理士（診療情報管理部門）との関わりを理解する	1 時間
2	講義内容	DPC 制度と実務 2		
	該当する到達目標	予習	影響調査（基礎調査）と診療情報管理士に目を通す	1.5 時間
	1	復習	影響調査（基礎調査）と診療情報管理士を理解する	1 時間
3	講義内容	DPC 制度と実務 3		
	該当する到達目標	予習	DPC と影響調査（基礎調査）に目を通す	1.5 時間
	1	復習	DPC と影響調査（基礎調査）を理解する	1 時間
4	講義内容	DPC 制度と実務 4		
	該当する到達目標	予習	病院指標の公開と診療情報管理士に目を通す	1.5 時間
	1	復習	病院指標の公開と診療情報管理士を理解する	1 時間
5	講義内容	DPC 制度と実務 5		
	該当する到達目標	予習	データ精度と診療情報管理士に目を通す	1.5 時間
	1	復習	データ精度と診療情報管理士を理解する	1 時間
6	講義内容	DPC 制度と実務 6		
	該当する到達目標	予習	DPC データの活用に目を通す	1.5 時間
	2	復習	DPC データの活用を理解する	1 時間
7	講義内容	医師事務作業補助者業務について 1		
	該当する到達目標	予習	医師事務作業補助者の業務と体制に目を通す	1.5 時間
	2	復習	医師事務作業補助者の業務と体制を理解する	1 時間
8	講義内容	医師事務作業補助者業務について 2		
	該当する到達目標	予習	医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わりに目を通す	1.5 時間
	3	復習	医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わりを理解する	1 時間
9	講義内容	がん登録の実務について 1		
	該当する到達目標	予習	わが国のがん対策とがん登録に目を通す	1.5 時間

	3	復習	わが国のがん対策とがん登録を理解する	1 時間
10	講義内容	がん登録の実務について 2		
	該当する到達目標	予習	がん登録に目を通す	1.5 時間
	3	復習	がん登録を理解する	1 時間
11	講義内容	レセプト情報・特定健診等データベース(NDB)について		
	該当する到達目標	予習	レセプト情報・特定健診等データベース(NDB)に目を通す	1.5 時間
	3	復習	レセプト情報・特定健診等データベース(NDB)を理解する	1 時間
12	講義内容	診療情報管理 まとめ 1		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集 専門の 8 章の問題を解いておく	1.5 時間
	3	復習	診療情報管理士教育問題集 専門の 8 章の全問の正解をテキストで確認する	1 時間
13	講義内容	診療情報管理 まとめ 2		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集 専門の 9 章の問題を解いておく	1.5 時間
	4	復習	診療情報管理士教育問題集 専門の 9 章の全問の正解をテキストで確認する	1 時間
14	講義内容	診療情報管理 まとめ 3		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集 専門の 10 章の問題を解いておく	1.5 時間
	4	復習	診療情報管理士教育問題集 専門の 10 章の全問の正解をテキストで確認する	1 時間
15	講義内容	診療情報管理総まとめ		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士として、実務ではどうあるべきか、答えられるようにまとめておく	1.5 時間
		復習	診療情報管理士として病院実務のあるべき姿を理解する	1 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 オフィスアワー:月曜と水曜の3限。質問はメールでも可能。 E-mail:okawa-ki@takasaki-u.ac.jp 研究室:1号館6階 609 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	**医療統計学Ⅰ（専門展開科目）**	HID308	講義
担当教員	石川 雅弘		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位
講義目標	今日の社会では、多種多様なデータが絶え間なく生成・蓄積されている。医療の現場においても、患者や医療従事者の状態、ケアの内容や程度、病院の経理状況などの様々なデータが存在しており、それらを適切に処理し意思決定に結びつける必要があるが、データの適切な分析とその結果の解釈には統計的知識が必須である。本講義では、統計的推定・検定の考え方を理解することを目標とし、記述統計学および推測統計学の基本的な考え方を学ぶ。		
到達目標	1. データの尺度を説明できる。 2. 基本統計量を説明できる。 3. 箱ひげ図、ヒストグラム、散布図を作成できる。 4. 点推定と区間推定を説明できる。 5. 統計学的検定を説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決能力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	期末試験で評価する。		
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。		
使用教材	「プレステップ統計学Ⅰ 記述統計学」、稲葉由之、弘文堂 ISBN-13: 978-4335000843 (参考図書: 診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅲ」 一般社団法人日本病院会)		

1	講義内容	記述統計学と推測統計学、データの尺度		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1	復習	参考文献の該当範囲を読んでデータ尺度について理解を定着させる。	1.5 時間
2	講義内容	統計データの集計		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1,2	復習	例題を解き直し、質的データと量的データの統計表を作成できるようにする。	1.5 時間
3	講義内容	統計表のグラフ表現		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	2,3	復習	例題を解き直し、棒グラフとヒストグラムの違いを確認し、正しいヒストグラムを作成できるようにする。	1.5 時間
4	講義内容	中心位置の統計量、散らばりの統計量		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	2,3	復習	例題を解き直し、平均と中央値、分散と標準偏差の意味と違いを確認する。	1.5 時間
5	講義内容	散らばりのグラフ表現		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	2,3	復習	例題を解き直し、四分位数・四分位範囲の求め方を確認し、箱ひげ図を作成できるようにする。	1.5 時間
6	講義内容	2 変数の関連性		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	2,3	復習	散布図、共分散、相関係数に関する例題を解き直し、理解を深める。	1.5 時間

7	講義内容	ここまで(記述統計)のまとめ		
	該当する到達目標	予習	ここまでの内容で疑問点を明らかにしておく。	1 時間
	1,2,3	復習	課題の問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容	母集団と標本		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4	復習	講義内容をまとめ直し、理解を深める。	1.5 時間
9	講義内容	確率変数と確率分布、二項分布		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4	復習	講義内容をまとめ直し、経験確率と先験確率、確率変数と確率分布の概念の理解を深める。また、例題を解き直し、二項分布に基づく確率計算ができるようにする。	1.5 時間
10	講義内容	大数の法則、中心極限定理		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4,5	復習	例題を解き直し、経験確率と大数の法則、中心極限定理の意味の理解を深める。	1.5 時間
11	講義内容	正規分布、χ 二乗分布		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4,5	復習	例題を解き直し、正規分布と標準正規分布の性質の理解を深める。	1.5 時間
12	講義内容	母平均の点推定		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4	復習	例題を解き直し、点推定の考え方を説明できる程度まで理解を深める。	1.5 時間
13	講義内容	母平均・母分散の区間推定		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	5	復習	例題を解き直し、区間推定の考え方を説明できる程度まで理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	統計的仮説検定		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	5	復習	例題を解き直し、帰無仮説、対立仮説、確率分布、有意水準、第Ⅰ種の過誤、第Ⅱ種の過誤など、統計的仮説検定における重要な概念と検定の流れの理解を深める。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	ここまでの疑問点を明らかにしておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	疑問だった点についての理解を深める。	1.5 時間
備考	診療情報管理士試験に対応。 (診療情報管理士試験受験者は医療統計学Ⅱも履修することを強く勧める) オフィスアワー:前期月曜 2 限、後期火曜 4 限			

科目名	**医療統計学Ⅱ（専門基幹科目）**	HID309	講義
担当教員	石川 雅弘		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	医療分野において用いられる様々な統計的手法を学ぶ。また、病院において重要な医療評価指標、経営管理指標についても理解する。		
到達目標	1. 記述統計学と推測統計学の違いを説明できる。 2. 適切なグラフ表現を選択し、作成できる。 3. 病院における各種指標の意味を理解し、計算できる。 4. 様々な検定手法を適用すべき状況と前提条件を理解する。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	期末試験で評価する。		
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。		
使用教材	「プレステップ統計学Ⅱ 推測統計学」、稲葉由之、弘文堂 ISBN-13: 978-4335000874 （参考図書: 診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅲ」 一般社団法人日本病院会）		

1	講義内容	記述統計学と推測統計学		
	該当する到達目標	予習	前期のテキストに目を通しておく。	1 時間
	1,	復習	記述統計学と推測統計学の違いについて理解し、医療における推測統計学の役割への理解を深める。	2 時間
2	講義内容	記述統計学のまとめ		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1,	復習	例題を解き直し、分散・標準偏差・変動係数・相関係数などの意味を理解し、実際に計算できるようにする。	2 時間
3	講義内容	データのグラフ表現		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1,2	復習	例題を解き直し、目的に応じた適切なグラフ選択ができるように各種グラフの特徴の理解を深める。	2 時間
4	講義内容	主な医療評価指標		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	2,3	復習	例題を解き直し、各種指標の意味を理解し、実際に計算できるようにする。	2 時間
5	講義内容	病院の経営管理指標		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	2,3	復習	例題を解き直し、各種指標の意味を理解し、実際に計算できるようにする。	2 時間
6	講義内容	臨床研究の主な指標と倫理指針		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4	復習	例題を解き直し、ケースコントロールとコホート研究の違いを理解し、また、人を対象とした研究に関する倫理指針への理解を深める。	2 時間
7	講義内容	母平均の点推定と区間推定		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間

	4	復習	例題を解き直し、点推定と区間推定の考え方の違いと推定方法の理解を深める。	2 時間
8	講義内容	確率分布と確率計算		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4	復習	例題を解き直し、正規分布、t分布、χ 二乗分布、二項分布、F 分布について理解を深める。また、標準正規分布とt分布の関係と役割について理解する。	2 時間
9	講義内容	統計的仮説検定の考え方、 母平均に対する検定(Z 検定、t検定)		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4	復習	例題を解き直し、統計的仮説検定の基本的な流れ、片側検定と両側検定の使い分け方、Z 検定とt検定の考え方とその関係への理解を深める。	2 時間
10	講義内容	二項検定と Z 検定(母比率の検定)		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4	復習	例題を解き直し、母比率の検定における二項検定と、近似計算としての Z 検定への理解を深める。	2 時間
11	講義内容	対応のない2組の平均値の差の検定(Z 検定、student の t 検定)		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4	復習	例題を解き直し、Z 検定、student の t 検定それぞれの前提をよく理解する。	2 時間
12	講義内容	対応のない2組の平均値の差の検定(ウェルチの t 検定)、対応のある2組の平均値の差の検定		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4	復習	例題を解き直し、それぞれの検定法の考え方と適用されるべき状況の理解を深める。特に、student の t 検定と異なり、ウェルチの t 検定は前提無しに適用可能であることを理解する。	2 時間
13	講義内容	χ 二乗検定(適合度の検定、独立性の検定)		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4	復習	例題を解き直し、適合度の検定・独立性の検定の考え方への理解を深める。	2 時間
14	講義内容	χ 二乗検定(マクネマー検定)		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4	復習	例題を解き直し、マクネマー検定の考え方への理解を深める。	2 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	ここまでの疑問点を明らかにしておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	疑問だった点についての理解を深める。	2 時間
備考	診療情報管理士試験に対応。 オフィスアワー:前期月曜 2 限、後期火曜 4 限			

科目名	**医療統計学演習（専門展開科目）**	HID310	演習
担当教員	石川 雅弘		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	医療の現場は、日々様々なデータが発生・蓄積されており、医療診断や病院経営の改善などに役立つ可能性を秘めている。しかし、データを客観的に評価し適切に利用するには統計学的知識が必須であり、また、必要な計算を実際に行える必要がある。本演習では、医療統計学に関する様々な手法について、Excel を用いて実際に計算しその結果を評価できるようになることを目標とする。		
到達目標	1. Excel で、基本統計量を計算できる。 2. Excel で、棒グラフ、折れ線グラフ、ヒストグラムなどが作成できる。 3. Excel で、散布図の作成、相関係数の計算、回帰直線による予測などができる。 4. Excel で、二項分布、Z 分布、t 分布などの確率計算ができる。 5. Excel で、点推定と区間推定ができる。 6. Excel で、基本的な検定手法の計算ができる。		

学位授与方針との対応		
		豊かな人間性と幅広い教養
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能
	✓	問題解決能力
		コミュニケーションスキル
		生涯学習力

評価方法	課題達成状況（30%）＋期末試験（70%）で評価する。
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。
使用教材	「Excel で学ぶ統計解析入門 Excel2013/2010 対応版」、菅民郎、オーム社 ISBN-13: 978-4274069277

1	講義内容	基本統計量の計算		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1,2	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
2	講義内容	度数分布表の作成		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1,2	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
3	講義内容	クロス集計表の作成		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	1,2	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
4	講義内容	誤差グラフ・パレート図の作成		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	2	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
5	講義内容	相関係数の計算、散布図の作成		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	3	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
6	講義内容	散布図と回帰直線		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	3	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
7	講義内容	確率分布		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間

	4	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
8	講義内容	二項分布・ポワソン分布に基づく確率計算		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
9	講義内容	正規分布に基づく確率計算		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
10	講義内容	標準正規分布に基づく確率計算、正規確率プロットの作成		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	4	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
11	講義内容	母平均の推定、母比率の推定、サンプルサイズの決定法		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	5	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	母平均の検定		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	6	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
13	講義内容	Student の t 検定と Welch の t 検定		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	6	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
14	講義内容	マクネマー検定		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1 時間
	6	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習		1 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
備考	オフィスアワー:前期月曜 2 限、後期火曜 4 限			

科目名	**医療情報学各論(専門展開科目)**		HID311	講義
担当教員	松尾 仁司			
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	本講義では、少子高齢化が進展する社会での医療機関において今後必要となる医療機器・情報システムの具体例を挙げ、その機能・役割を考えることを通して保健医療情報学で学んだことの肉付けを行う。			
到達目標	1.少子高齢化社会を展望し、今後のあるべき医療機関像とそれに相応しい新たな医療機器・情報システムとは何かを考える力をつける。 2.最先端の医療機器・情報システムの特徴を理解する。			
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	✓	問題解決力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	期末試験70%、レポート課題30%で、総合評価60%以上を合格とする。			
課題に対するフィードバック	レポート課題におけるそれぞれ学生の解答を集計し、その結果を参照しながら次回の授業を行う。			
使用教材	講義資料を随時プリントして配布する			

1	講義内容	導入・社会の潮流と展望		
	該当する到達目標	予習	シラバスを読む。	1 時間
	1	復習	講義全体の目標を理解する。	1.5 時間
2	講義内容	少子高齢化社会		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1	復習	少子高齢化を意識して21世紀のあるべき社会について考えを整理する。	1.5 時間
3	講義内容	健康寿命の延伸		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1	復習	21世紀における健康・医療・介護の在り方について考えを整理する。	1.5 時間
4	講義内容	基盤技術の動向		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1	復習	医療機器・情報システムの基盤技術の動向について整理する。	1.5 時間
5	講義内容	医療分野のデータ利活用(I)		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2	復習	健康・医療・介護分野でのデータ利活用の現状を把握する。	1.5 時間
6	講義内容	医療分野のデータ利活用(II)		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2	復習	健康・医療・介護分野でのデータ利活用の将来について整理する。	1.5 時間
7	講義内容	健康支援システム		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2	復習	健康支援システムの動向について整理する。	1.5 時間
8	講義内容	遠隔医療システム		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2	復習	遠隔医療システムの動向について整理する。	1.5 時間
9	講義内容	AI 技術の活用		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間

	1,2	復習	医療情報分野における AI 技術の現状を把握する。	1.5 時間
10	講義内容	地域包括ケアシステム		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2	復習	地域包括ケアシステムの現状と動向について整理する。	1.5 時間
11	講義内容	高度医療機器(I)－地域医療―		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2	復習	地域医療機関での活用が期待される高度医療機器について整理する。	1.5 時間
12	講義内容	高度医療機器(II)－高度先端医療―		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2	復習	高度先端医療機関での活用が期待される高度医療機器について整理する。	1.5 時間
13	講義内容	介護支援システム		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2	復習	介護支援システムの現状と展望についてまとめ理解する。	1.5 時間
14	講義内容	医療機関の将来像		
	該当する到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1	復習	ICT 技術の発展による医療機関の将来像を整理する。	1.5 時間
15	講義内容	全体まとめ		
	該当する到達目標	予習	講義全体を通しての重要なポイントに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	今後必要となる医療機器・情報システムについて整理する。	1.5 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー:火曜日と水曜日の3限目、質問はメールでも可。 メールアドレス:matsuo@takasaki-u.ac.jp 研究室:1号館6階607室			

科目名	**生体情報学Ⅱ（専門展開科目）**			HID312	演習
担当教員	東福寺幾夫、長澤亨、髙橋大志、田村拓郎、中村賢治、				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	必修 2 単位		
講義目標	生体情報学Ⅱでは、生体情報学Ⅰで学んだ知識をもとに、1 号館 6 階の生体情報実験室にある生体計測機器および電子機器を用いて実験し、その原理と仕組みについて理解するとともに、報告書（レポート）の作成方法について学ぶ。実験は班単位で実施するが、報告書（レポート）は個人毎に作成する。				
到達目標	1.医療に利用されている機器の原理や操作方法を説明できる。 2.電子回路・サーモグラフィー、心電・筋電などのデータの取得と解析ができる。 3.人体の構造を理解し、目的部位の超音波画像をプローブで表示できる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			
	✓	問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	評価は提出された報告書（100%）により行う。特に報告書に記載されている考察・課題の項目を重点的に評価する。報告書は実験終了後1週間以内に担当教員まで提出する。報告書未提出は不合格となる。				
課題に対するフィードバック	1週間後に提出された報告書に不備がある場合はその個所を明示して再提出とする。再提出は2回までで、それ以上は不合格となる。				
使用教材	学科で作成した実験書を使用する。				

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	特になし	0 時間
	1	復習	配布された実験書の実験レポート作成要領を熟読する。	0.5 時間
2	講義内容	電流計の原理とテスタによる直流電圧、抵抗の測定		
	該当する到達目標	予習	実験書の p.7~18 を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間
3	講義内容	レポート指導		
	該当する到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
4	講義内容	オシロスコープを用いた CR 回路定数の測定		
	該当する到達目標	予習	実験書の p.19~37 を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間
5	講義内容	レポート指導		
	該当する到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
6	講義内容	血圧計、サーモグラフィー		
	該当する到達目標	予習	実験書の p.38~66 を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間
7	講義内容	レポート指導		
	該当する到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
8	講義内容	筋電図、心電図		
	該当する到達目標	予習	実験書の p.67~81 を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間

9	講義内容	レポート指導		
	該当する到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
10	講義内容	脳波、眼球運動		
	該当する到達目標	予習	実験書の p.82~95 を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間
11	講義内容	レポート指導		
	該当する到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
12	講義内容	超音波診断(腹部)		
	該当する到達目標	予習	実験書の p.96~100 を熟読する。	2 時間
	1,3	復習	レポート作成	5 時間
13	講義内容	レポート指導		
	該当する到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,3	復習	レポート修正	1.5 時間
14	講義内容	レポート指導総括:全6回の実験レポート作成のポイントの解説		
	該当する到達目標	予習	提出したレポートを見直しておく。	1.5 時間
	1-3	復習	レポート作成のポイントを理解。	1 時間
15	講義内容	全体まとめ:実験に用いた電子機器、生体計測機器の原理と仕組みを総括		
	該当する到達目標	予習	実験書全体にもう一度目を通す。	1.5 時間
	1-3	復習	特になし	0 時間
備考	3 年前期配当の「電子情報工学基礎」を履修していることが望ましい。 単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。			

科目名	国際統計分類Ⅰ（専門展開科目）	HID313	講義
担当教員	大川 喜代美		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	診療情報管理士に必要とされるコーディングの能力は、医学に対する広い知識と、死因・疾病に係る国際的な統計の知識である。医学・医療の知識と共に日々研鑽し、新しい知識を習得するとともに、医療に対する社会のニーズをいち早く受け止め、診療情報を利活用できるようにする。		
到達目標	1.日本の人口動態統計のしくみと意義を理解する。 2.人口動態統計に用いられる国際疾病分類(ICD)についての理解を深め、その歴史と現在の譲許を理解する。 3.国際統計分類群(ファミリー)に属するその他の分類体系についての理解を深め、健康情報に関する幅広いコード体系についての意義と問題点を理解する。 4.日本に導入されている DPC/PDPS（Diagnosis Procedure Commbination/Per-Diem Payment System)制度における ICD の利用について理解する。		

学位授与方針との対応		
		豊かな人間性と幅広い教養
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能
	✓	問題解決力
		コミュニケーションスキル
		生涯学習力

評価方法	定期テスト 100%
課題に対するフィードバック	期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 診療情報管理士教育問題集(専門・診療情報管理編) ICD-10 簡易版 ICD-10 第1巻「内容例示表」(2013 年版) ICD-10 第2巻「総論」(2013 年版) ICD-10 第3巻「索引表」(2013 年版) ICD-O「腫瘍学」第3版 ICF「国際生活機能分類」

1	講義内容	国際疾病分類論 1		
	該当する到達目標	予習	わが国の人口動態統計に目を通す	1.5 時間
	1	復習	わが国の人口動態統計を理解する	1 時間
2	講義内容	国際疾病分類論 2		
	該当する到達目標	予習	国際疾病分類(ICD)の歴史に目を通す	1.5 時間
	1	復習	国際疾病分類(ICD)の歴史を理解する	1 時間
3	講義内容	国際疾病分類論 3		
	該当する到達目標	予習	国際疾病分類(ICD)の現状に目を通す	1.5 時間
	1	復習	国際疾病分類(ICD)の現状を理解する	1 時間
4	講義内容	国際疾病分類論 4		
	該当する到達目標	予習	国際疾病分類(ICD)の構造に目を通す	1.5 時間
	1	復習	国際疾病分類(ICD)の構造を理解する	1 時間
5	講義内容	国際疾病分類群ファミリー論 1		
	該当する到達目標	予習	国際疾病分類群ファミリー(WHO-EIC)の概念と構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	国際疾病分類群ファミリー(WHO-EIC)の概念と構造を理解する	1 時間

6	講義内容	国際疾病分類群ファミリー論 2		
	該当する到達目標	予習	国際疾病分類群ファミリーに含まれる分類、国際生活機能分類(ICF)に目を通す	1.5 時間
	2	復習	国際疾病分類群ファミリーに含まれる分類、国際生活機能分類(ICF)を理解する	1 時間
7	講義内容	国際疾病分類群ファミリー論 3		
	該当する到達目標	予習	国際疾病分類-腫瘍学(ICD-O)に目を通す	1.5 時間
	2	復習	国際疾病分類-腫瘍学(ICD-O)を理解する	1 時間
8	講義内容	国際疾病分類の利用 1 原死因選択ルール 1		
	該当する到達目標	予習	死因の定義と死亡診断書に目を通す	1.5 時間
	2	復習	死因の定義と死亡診断書を理解する	1 時間
9	講義内容	国際疾病分類の利用 2 原死因選択ルール 2		
	該当する到達目標	予習	原死因の選択ルールに目を通す	1.5 時間
	3	復習	原死因の選択ルールを理解する	1 時間
10	講義内容	国際疾病分類の利用 3 原死因選択ルール 3		
	該当する到達目標	予習	各原則・ルールの内容「一般原則」「選択ルール 1～3」に目を通す	1.5 時間
	3	復習	各原則・ルールの内容「一般原則」「選択ルール 1～3」の例題に回答し理解する	1 時間
11	講義内容	国際疾病分類の利用 4 原死因選択ルール 4		
	該当する到達目標	予習	各原則・ルールの内容「修正ルール A~F」に目を通す	1.5 時間
	3	復習	各原則・ルールの内容「修正ルール A~F」の例題に回答し理解する	1 時間
12	講義内容	国際疾病分類の利用 5		
	該当する到達目標	予習	周産期死亡に目を通す	1.5 時間
	3	復習	周産期死亡について理解する	1 時間
13	講義内容	主要病態のコーディングと再選択ルール		
	該当する到達目標	予習	主要病態のコーディングと再選択ルールに目を通す	1.5 時間
	3	復習	主要病態のコーディングと再選択ルールを理解する	1 時間
14	講義内容	診断群分類(DPC)における国際疾病分類(ICD)の利用		
	該当する到達目標	予習	診断群分類(DPC)における国際疾病分類(ICD)の利用に目を通す	1.5 時間
	3	復習	診断群分類(DPC)における国際疾病分類(ICD)の利用を理解する	1 時間
15	講義内容	ICD を用いるうえでの注意点		
	該当する到達目標	予習	ICD を用いるうえでの注意点に目を通す	1.5 時間
	4	復習	ICD を用いるうえでの注意点を理解する	1 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 オフィスアワー：月曜と水曜の3限。質問はメールでも可能。 E-mail:okawa-ki@takasaki-u.ac.jp 研究室：1号館6階 609 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	国際統計分類Ⅱ（専門展開科目）	HID314	講義
担当教員	大川 喜代美		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	人体構造（解剖生理）、医学各論等で学習した知識を生かし、国際統計分類Ⅰの学習と関連付けながら、ICD-10 の各章に沿った疾病分類体系を学習し、その特徴を踏まえて統計として正しい分類ができるよう理解を深める。退院時要約や死亡診断書等を用いて診療記録の記載内容を把握し、主傷病名等の診断名および原死因の統計上必要な分類コードを正確に選択できる知識を習得する。		
到達目標	1.ICD-10 各章の分類体系およびその特徴と留意事項の理解 2.分類コードの演習を含めた総合学習		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	定期テスト 100%		
課題に対するフィードバック	期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。		
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 診療情報管理士教育問題集（専門・診療情報管理編） ICD-10 簡易版 ICD-10 第1巻「内容例示表」（2013 年版） ICD-10 第2巻「総論」（2013 年版） ICD-10 第3巻「索引表」（2013 年版） ICD-O「腫瘍学」第3版 ICF「国際生活機能分類」		

1	講義内容	国際疾病分類の基本 1		
	該当する到達目標	予習	コーディングの目的および注意事項、ICD-10(2013 年版)準拠の概説に目を通す	1.5 時間
	1	復習	コーディングの目的および注意事項、ICD-10(2013 年版)準拠の概説を理解する	1 時間
2	講義内容	国際疾病分類の基本 2		
	該当する到達目標	予習	用語の定義および、傷病名の索引方法の解説に目を通す	1.5 時間
	2	復習	用語の定義および、傷病名の索引方法の解説を理解する	1 時間
3	講義内容	第 1 章・第 3 章・第 4 章の疾病分類体系の理解		
	該当する到達目標	予習	第 1 章・第 3 章・第 4 章の特徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第 1 章・第 3 章・第 4 章の疾病コーディングを理解する	1 時間
4	講義内容	第 5 章～第 7 章の疾病分類体系の理解		
	該当する到達目標	予習	第 5 章～第 7 章の特徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第 5 章～第 7 章の疾病コーディングを理解する	1 時間
5	講義内容	第 8 章～第 10 章の疾病分類体系の理解		
	該当する到達目標	予習	第 8 章～第 10 章特徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第 8 章～第 10 章の疾病コーディングを理解する	1 時間
6	講義内容	第 11 章～第 13 章の疾病分類体系の理解		
	該当する到達目標	予習	第 11 章～第 13 章特徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第 11 章～第 13 章疾病コーディングを理解する	1 時間
7	講義内容	第 2 章新生物 疾病分類体系の理解 1		

	該当する到達目標	予習	第 2 章新生物のこの章の特徴に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第 2 章新生物のこの章の特徴を理解する	1 時間
8	講義内容	第 2 章新生物 疾病分類体系の理解 2		
	該当する到達目標	予習	新生物の分類を理解するための基本事項に目を通す	1.5 時間
	2	復習	新生物の分類を理解するための基本事項を理解する	1 時間
9	講義内容	第 2 章新生物 疾病分類体系の理解 3		
	該当する到達目標	予習	新生物の分類に際しての注意事項 1)原発部位等に目を通す	1.5 時間
	2	復習	新生物の分類に際しての注意事項 1)原発部位等を理解する	1 時間
10	講義内容	第 2 章新生物 疾病分類体系の理解 4		
	該当する到達目標	予習	2)機能的活性および、異所性組織に目を通す	1.5 時間
	2	復習	2)機能的活性および、異所性組織を理解する	1 時間
11	講義内容	第 2 章新生物 疾病分類体系の理解 5		
	該当する到達目標	予習	新生物における主傷病名の選択に目を通す	1.5 時間
	2	復習	新生物における主傷病名の選択を理解する	1 時間
12	講義内容	第 2 章新生物 疾病分類体系の理解 6		
	該当する到達目標	予習	第 2 章新生物の疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第 2 章新生物疾病コーディングを理解する	1 時間
13	講義内容	第 14 章～第 16 章の疾病分類体系の理解		
	該当する到達目標	予習	特第 14 章～第 16 章徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
		復習	第 14 章～第 16 章疾病コーディングを理解する	1 時間
14	講義内容	第 17 章～第 19 章の疾病分類体系の理解		
	該当する到達目標	予習	第 17 章～第 19 章特徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
		復習	第 17 章～第 19 章疾病コーディングを理解する	1 時間
15	講義内容	第 20 章・第 21 章の疾病分類体系の理解		
	該当する到達目標	予習	第 20 章・第 21 章の疾病分類体系と、原死因コーディングに目を通す	1.5 時間
		復習	第 20 章・第 21 章疾病コーディングと原死因コーディングを理解する	1 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 オフィスアワー：月曜と水曜の3限。質問はメールでも可能。 E-mail:okawa-ki@takasaki-u.ac.jp 研究室：1号館6階 609 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	医療事務論Ⅰ（医療事務の基礎知識）（専門展開科目）	HID315	講義
担当教員	大川喜代美		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	診療報酬に関する基礎知識を学び、病院勤務に必要な知識を身に付ける。		
到達目標	1.病院概論を理解する。 2.医療保障制度を理解する。 3.請求事務の基本を知り、上書きをかけるようにする。 4.診察料について理解し、計算・請求できるようにする。 5.医学管理料について理解し、計算・請求できるようにする。 6.在宅医療について理解し、計算。請求できるようにする。 7.投薬料について理解し、計算・請求できるようにする。 8.注射料について理解し、計算・請求できるようにする。 9.処置料を理解し、計算・請求できるようにする。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	レポート提出 10%・定期テスト 90%		
課題に対するフィードバック	宿題を出した翌週の授業にて答え合わせを行い、回収後コメントを付けて翌週返却する。		
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、サポートブック、レポート集、レセプト用紙、診療報酬点数表。		

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「医療機関の概要・医療保険のしくみ」に目を通す	1 時間
		復習	テキストの使い方、予習復習方法を理解し、実践する。	1.5 時間
2	講義内容	病院概論		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「1 章 医療機関薬局」に目を通す	1 時間
	1	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
3	講義内容	医療保障制度について		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「2章 医療保障制度、3章保険給付、4章医療事務の仕事」に目を通す	1 時間
	2	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
4	講義内容	診療報酬請求事務の基本と上書き		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2章 レセプトの基礎知識」に目を通す	1 時間
	3	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
5	講義内容	診察料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4部 1章初・再診料」に目を通す	1 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
6	講義内容	診察料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4部 1章初・再診料」の例題を解く	1 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 間
7	講義内容	医学管理料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2章 医学管理等 B」に目を通す	1 時間

	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	医学管理料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2章　医学管理等 B」の例題を解く	1 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	在宅医療料		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「3章　在宅医療 C」に目を通す	1 時間
	6	復習	宿題レポートを作成する	時間
10	講義内容	投薬料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4章　投薬 F」に目を通す	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	時間
11	講義内容	投薬料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4章　投薬 F」の例題を解く	1 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	注射料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「5章　注射 G」に目を通す	1 時間
	8	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	注射料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「5章　注射 G」の例題を解く	1 時間
	8	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	処置料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「6章　処置 J」に目を通す	1 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
15	講義内容	処置料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「6章　処置 J」の例題を解く	1 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必修科目。 医療事務論Ⅱとセットで受講すること。 オフィスアワー：月曜と水曜の3限。質問はメールでも可能。 E-mail:okawa-ki@takasaki-u.ac.jp 研究室：1号館6階 609 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	医療事務論Ⅱ（点数計算とレセプトの書き方Ⅰ）（専門展開科目）	HID316	演習
担当教員	大川 喜代美		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	診療報酬に関する基礎知識を学び、病院勤務に必要な知識を身に付ける。		
到達目標	1.病院概論を理解する。 2.医療保障制度を理解する。 3.請求事務の基本を知り、上書きをかけるようにする。 4.診察料について理解し、計算・請求できるようにする。 5.医学管理料について理解し、計算・請求できるようにする。 6.在宅医療について理解し、計算。請求できるようにする。 7.投薬料について理解し、計算・請求できるようにする。 8.注射料について理解し、計算・請求できるようにする。 9.処置料を理解し、計算・請求できるようにする。		

学位授与方針との対応		
		豊かな人間性と幅広い教養
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能
	✓	問題解決力
		コミュニケーションスキル
		生涯学習力

評価方法	レポート提出 10%・定期テスト 90%
課題に対するフィードバック	宿題を出した翌週の授業にて答え合わせを行い、回収後コメントを付けて翌週返却する。
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、サポートブック、レポート集、レセプト用紙、診療報酬点数表。

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「医療機関の概要・医療保険のしくみ」に目を通す	1 時間
		復習	テキストの使い方、予習復習方法を理解し、実践する。	1.5 時間
2	講義内容	病院概論		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「1 章 医療機関薬局」に目を通す	1 時間
	1	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
3	講義内容	医療保障制度について		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「2章 医療保障制度、3章保険給付、4章医療事務の仕事」に目を通す	1 時間
	2	復習		1.5 時間
4	講義内容	診療報酬請求事務の基本と上書き		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「2章 レセプトの基礎知識」に目を通す	1 時間
	3	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
5	講義内容	診察料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4部 1章初・再診料」に目を通す	1 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
6	講義内容	診察料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4部 1章初・再診料」の例題を解く	1 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	医学管理料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2章 医学管理等 B」に目を通す	1 時間

	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	医学管理料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2章　医学管理等 B」の例題を解く	1 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	在宅医療料		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「3章　在宅医療 C」に目を通す	1 時間
	6	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	講義内容	投薬料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4章　投薬 F」に目を通す	1 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	講義内容	投薬料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4章　投薬 F」の例題を解く	1 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	注射料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「5章　注射 G」に目を通す	1 時間
	8	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	注射料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「5章　注射 G」の例題を解く	1 時間
	8	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	処置料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「6章　処置 J」に目を通す	1 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
15	講義内容	処置料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「6章　処置 J」の例題を解く	1 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必修科目。 医療事務論 I とセットで受講すること。 オフィスアワー：月曜と水曜の3限。質問はメールでも可能。 E-mail:okawa-ki@takasaki-u.ac.jp 研究室：1号館6階 609 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	医療事務論Ⅲ（点数計算とレセプトの書き方Ⅱ）（専門展開科目）	HID317	演習
担当教員	大川 喜代美		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	診療報酬に関する基礎知識を学び、病院勤務に必要な知識を身に付ける。		
到達目標	1.検査料を理解し、計算・請求できるようにする。 2.手術料を理解し、計算・請求できるようにする。 3.麻酔料を理解し、計算・請求できるようにする。 4.画像診断料を理解し、計算・請求できるようにする。 5.入院料について理解し、計算・請求できるようにする。 6.公費負担医療について理解する。 7.点検作業について理解し、総括とまとめができるようにする。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	レポート提出 10%・定期テスト 90%		
課題に対するフィードバック	宿題を出した翌週の授業にて答え合わせを行い、回収後コメントを付けて翌週返却する。		
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、サポートブック、レポート集、レセプト用紙、診療報酬点数表。		

1	講義内容	検査料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「8章 検査 D」に目を通す	1 時間
	1	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
2	講義内容	検査料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「8章 検査 D」の例題を解く	1 時間
	1	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
3	講義内容	検査料③		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「9 章 病理診断 N」に目を通す	1 時間
	1	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
4	講義内容	手術料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「10 章 手術 K」に目を通す	1 時間
	2	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
5	講義内容	手術料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「10 章 手術 K」の例題を解く	1 時間
	2	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
6	講義内容	麻酔料		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「11 章 麻酔 L」に目を通す	1 時間
	3	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	画像診断料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「12 章 画像診断 E」に目を通す	1 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	画像診断料②		

	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「12 章 画像診断 E」の例題を解く	1 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	入院料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「14 章 入院 A」に目を通す	1 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	講義内容	入院料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「14 章 入院 A」の例題を解く	1 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	講義内容	入院料③		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「14 章 入院 A」の例題を解く	1 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	公費負担医療		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「1 章 公費負担医療」に目を通す	1 時間
	6	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	その他の制度		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「2 章 その他の医療制度」に目を通す	1 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	点検・総括・まとめ		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「5部 レセプトノ点検」に目を通す	1 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
15	講義内容	模擬試験		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 4 トレーニングブックのレセプト1枚作成する	1 時間
		復習	模擬テストの解答を見直し、本試験に備える	1.5 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必修科目。 医療事務論Ⅳとセットで受講すること。 オフィスアワー: 月曜と水曜の3限。質問はメールでも可能。 E-mail:okawa-ki@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1号館6階 609 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	医療事務論Ⅳ（点数計算とレセプトの書き方Ⅲ）（専門展開科目）	HID318	演習
担当教員	大川 喜代美		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	診療報酬に関する基礎知識を学び、病院勤務に必要な知識を身に付ける。		
到達目標	1.検査料を理解し、計算・請求できるようにする。 2.手術料を理解し、計算・請求できるようにする。 3.麻酔料を理解し、計算・請求できるようにする。 4.画像診断料を理解し、計算・請求できるようにする。 5.入院料について理解し、計算・請求できるようにする。 6.公費負担医療について理解する。 7.点検作業について理解し、総括とまとめができるようにする。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	レポート提出 10%・定期テスト 90%		
課題に対するフィードバック	宿題を出した翌週の授業にて答え合わせを行い、回収後コメントを付けて翌週返却する。		
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、サポートブック、レポート集、レセプト用紙、診療報酬点数表。		

1	講義内容	検査料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「8章 検査 D」に目を通す	1 時間
	1	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
2	講義内容	検査料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「8章 検査 D」の例題を解く	1 時間
	1	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
3	講義内容	検査料③		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「9 章 病理診断 N」に目を通す	1 時間
	1	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
4	講義内容	手術料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「10 章 手術 K」に目を通す	1 時間
	2	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
5	講義内容	手術料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「10 章 手術 K」の例題を解く	1 時間
	2	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
6	講義内容	麻酔料		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「11 章 麻酔 L」に目を通す	1 時間
	3	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	画像診断料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「12 章 画像診断 E」に目を通す	1 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	画像診断料②		

	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「12 章 画像診断 E」の例題を解く	1 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	入院料①		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「14 章 入院 A」に目を通す	1 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	講義内容	入院料②		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「14 章 入院 A」の例題を解く	1 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	講義内容	入院料③		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「14 章 入院 A」の例題を解く	1 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	公費負担医療		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「1 章 公費負担医療」に目を通す	1 時間
	6	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	その他の制度		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「2 章 その他の医療制度」に目を通す	1 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	点検・総括・まとめ		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「5部 レセプトノ点検」に目を通す	1 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
15	講義内容	模擬試験		
	該当する到達目標	予習	医科医療事務テキスト 4 トレーニングブックのレセプト1枚作成する	1 時間
		復習	模擬テストの解答を見直し、本試験に備える	1.5 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必修科目。 医療事務論Ⅲとセットで受講すること。 オフィスアワー: 月曜と水曜の3限。質問はメールでも可能。 E-mail:okawa-ki@takasaki-u.ac.jp 研究室: 1号館6階 609 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	診療報酬請求事務論Ⅰ（専門展開科目）	HID319	講義
担当教員	大川 喜代美		
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	診療報酬請求事務能力認定試験合格を目標とし、診療報酬のスペシャリストとしてのスキルを習得する。		
到達目標	1.医療保険制度、公費負担医療制度の理解を深める。 2.保健医療機関と保険医等について理解を深める。 3.保険医療養担当規則について理解を深める。 4.診療報酬請求と審査制度を理解する。 5.医療関係法規について理解する。 6.介護保険制度について理解する。 7.初診料・再診料、入院料の算定と理解を深める。 8.在宅医療料の算定と、理解を深める。 9.注射料の算定と、理解を深める 10.手術料の算定と、理解を深める。 11.検査料の算定と理解を深める。 12.リハビリテーション料の算定と理解を深める。 13.画像診断の算定と理解を深める。		

学位授与方針との対応		
		豊かな人間性と幅広い教養
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能
	✓	問題解決力
		コミュニケーションスキル
		生涯学習力

評価方法	平常点、課題提出、定期試験等を総合的に評価する。 出席率8割未満の場合、単位取得不可。全課題提出を必須とする。
課題に対するフィードバック	毎回「受験対策と予想問題集」および、「最新問題と受験対策」の過去問を課題とし、次回に解説する。
使用教材	診療報酬請求事務能力認定試験関係テキスト一式（テキストⅠ・Ⅱ、受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策、保険診療基本法令テキストブック、診療点数早見表

1	講義内容	医療保険制度		
	該当する到達目標 1	予習	テキスト「最新問題と受験対策」の診療報請求事務能力認定試験実施要綱、認定試験ガイドライン、傾向と対策に目を通す。 保険診療基本法令テキストブック第1章「医療保険制度の概要」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
2	講義内容	公費負担医療制度		
	該当する到達目標 1	予習	保険診療基本法令テキストブック第2章「公費負担医療制度の概要」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
3	講義内容	保健医療機関等		
	該当する到達目標 2	予習	保険診療基本法令テキストブック第 3 章「保健医療機関と保険医」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
4	講義内容	療養担当規則		
	該当する到達目標 3	予習	保険診療基本法令テキストブック第 4 章「療養担当規則」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
5	講義内容	診療報酬請求と審査制度		

	該当する到達目標 4	予習	保険診療基本法令テキストブック第5章「診療報酬請求と審査制度」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
6	講義内容	医療関係法規		
	該当する到達目標 5	予習	保険診療基本法令テキストブック第6章「医療関係法規」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
7	講義内容	介護保険制度		
	該当する到達目標 6	予習	保険診療基本法令テキストブック参考「介護保険制度」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
8	講義内容	初診料・再診料、入院料等の算定と理解		
	該当する到達目標 7	予習	診療点数早見表第1部「初・再診」、「第2部入院料等」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
9	講義内容	在宅医療料の算定と理解		
	該当する到達目標 8	予習	診療点数早見表第2部「在宅医療」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
10	講義内容	注射料の算定と理解		
	該当する到達目標 9	予習	診療点数早見表第6部「注射」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
11	講義内容	手術料の算定と理解		
	該当する到達目標 10	予習	診療点数早見表第10部「手術」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
12	講義内容	検査料の算定と理解		
	該当する到達目標 11	予習	診療点数早見表第3部「検査」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
13	講義内容	リハビリテーション料の算定と理解		
	該当する到達目標 12	予習	診療点数早見表第7部「リハビリテーション」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
14	講義内容	画像診断の算定と理解		
	該当する到達目標 13	予習	診療点数早見表第4部「画像診断」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
15	講義内容	模擬試験		
	該当する到達目標	予習	模擬試験を実施と解答・解説	1 時間
		復習	模擬試験の解説をもう一度確認し、理解する。	1.5 時間
備考	診療報酬請求事務論Ⅱとセットで受講すること。 オフィスアワー：月曜と水曜の3限。質問はメールでも可能。 E-mail:okawa-ki@takasaki-u.ac.jp 研究室：1号館6階 609 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	診療報酬請求事務論Ⅱ（専門展開科目）	HID320	講義
担当教員	大川 喜代美		
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	診療報酬請求事務能力認定試験合格を目標とし、診療報酬のスペシャリストとしてのスキルを習得する。		
到達目標	1.医療保険制度、公費負担医療制度を理解を深める。 2.保健医療機関等について理解を深める。 3.保険医療養担当規則について理解を深める。 4.診療報酬請求と審査制度.を理解する。 5.医療関係法規について理解する。 6.介護保険制度について理解する。 7.初診料・再診料、入院料の算定と理解を深める。 8.在宅医療料の算定と、理解を深める。 9.注射料の算定と、理解を深める 10.手術料の算定と、理解を深める。 11.検査料の算定と理解を深める。 12.リハビリテーション料の算定と、理解を深める。 13.画像診断の算定と理解を深める。		

学位授与方針との対応		
		豊かな人間性と幅広い教養
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能
	✓	問題解決力
		コミュニケーションスキル
		生涯学習力

評価方法	平常点、課題提出、定期試験等を総合的に評価する。 出席率8割未満の場合、単位取得不可。全課題提出を必須とする。
課題に対するフィードバック	毎回「受験対策と予想問題集」および、「最新問題と受験対策」の過去問を課題とし、次回に解説する。
使用教材	診療報酬請求事務能力認定試験関係テキスト一式（テキストⅠ・Ⅱ、受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策、保険診療基本法令テキストブック、診療点数早見表

1	講義内容	医療保険制度		
	該当する到達目標 1	予習	テキスト「最新問題と受験対策」の診療報請求事務能力認定試験実施要綱、認定試験ガイドライン、傾向と対策に目を通す。 保険診療基本法令テキストブック第1章「医療保険制度の概要」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
2	講義内容	公費負担医療制度		
	該当する到達目標 1	予習	保険診療基本法令テキストブック第2章「公費負担医療制度の概要」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
3	講義内容	保健医療機関等		
	該当する到達目標 2	予習	保険診療基本法令テキストブック第 3 章「保健医療機関と保険医」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
4	講義内容	療養担当規則		
	該当する到達目標 3	予習	保険診療基本法令テキストブック第 4 章「療養担当規則」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
5	講義内容	診療報酬請求と審査制度		

	該当する到達目標 4	予習	保険診療基本法令テキストブック第5章「診療報酬請求と審査制度」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
6	講義内容	医療関係法規		
	該当する到達目標 5	予習	保険診療基本法令テキストブック第6章「医療関係法規」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
7	講義内容	介護保険制度		
	該当する到達目標 6	予習	保険診療基本法令テキストブック参考「介護保険制度」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
8	講義内容	初診料・再診料、入院料等の算定と理解		
	該当する到達目標 7	予習	診療点数早見表第1部「初・再診」、「第2部入院料等」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
9	講義内容	在宅医療料の算定と理解		
	該当する到達目標 8	予習	診療点数早見表第2部「在宅医療」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
10	講義内容	注射料の算定と理解		
	該当する到達目標 9	予習	診療点数早見表第6部「注射」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
11	講義内容	手術料の算定と理解		
	該当する到達目標 10	予習	診療点数早見表第10部「手術」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
12	講義内容	検査料の算定と理解		
	該当する到達目標 11	予習	診療点数早見表第3部「検査」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
13	講義内容	リハビリテーション料の算定と理解		
	該当する到達目標 12	予習	診療点数早見表第7部「リハビリテーション」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
14	講義内容	画像診断の算定と理解		
	該当する到達目標 13	予習	診療点数早見表第4部「画像診断」を読み理解する。	1 時間
		復習	受験対策と予想問題集、最新問題と受験対策の過去問 1 回分を解く。	1.5 時間
15	講義内容	模擬試験		
	該当する到達目標	予習	模擬試験を実施と解答・解説	1 時間
		復習	模擬試験の解説をもう一度確認し、理解する。	1.5 時間
備考	診療報酬請求事務論 I とセットで受講すること。 オフィスアワー：月曜と水曜の3限。質問はメールでも可能。 E-mail:okawa-ki@takasaki-u.ac.jp 研究室：1号館6階 609 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	**医療経済学(専門展開科目)**	HID321	講義
担当教員	町田 修三		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	将来、医療関連の現場で働く可能性のある学生が、医療経済関連の知識や医療の実態を学び、専門家としての基礎知識を身につけることを目標としている。講義では、日本の医療の特性や現状を理解することに主眼を置くが、医療の国際化をにらんで海外諸国との比較を導入することで更に理解度を深めてゆく。また、新しい学問領域である薬剤経済学のエッセンスも一部紹介する。		
到達目標	1. 経済財としての医療の特徴を説明できる。 2. 医療の供給体制の構築、医療スタッフそれぞれの役割、連携について説明できる。 3. 国民医療費の推移・動向と国民医療費の増大要因について理解し、他者に説明できる。 4. 診療報酬の基礎を理解したうえで、日本の薬価基準制度について他国との比較もふまえて説明できる。 5. 日本の社会保障制度の枠組みと特徴、特に医療制度、医療保険制度について説明できる。 6. これまで実施されてきた医療改革の事例を理解し、今後必要となる改革(混合診療や高齢者医療など)について自分の意見を持ち、他者に説明できる。 7. アメリカやヨーロッパ諸国の医療制度について、日本との違いを列挙し個々に説明できる。 8. 発展途上国の医療制度について、日本との違いを列挙し個々に説明できる。 9. 日本の病医院経営の現状分析ができ、医療経営や医療マネジメントの理論と実践手法を身につけている。また、薬剤師をとりまく医療マネジメントの実際について理解している。 10. 製薬企業や医薬品市場の特徴と、医薬品流通の仕組みや特性について概説できる。 11. 薬剤経済学の一分野として、薬物療法の経済評価手法について、そのエッセンスを理解し概説できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	定期試験 80%、講義評価(コメントペーパー、クイズ、小レポート)20%で評価する。		
課題に対するフィードバック	コメントペーパーに記載された学生からの質問事項、疑問点については、次回の講義で解説する。クイズについても次回の講義で解説する。小レポートについては、後日出題意図を解説するとともに、コメントを付して返却する。		
使用教材	必修テキストはないが、推薦テキストは多数ある。講義の中で紹介する。講義に使用する教材や資料、データは毎回授業中に配布する。		

1	講義内容	イントロダクション、日本の医療の基礎知識		
	該当する到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要と目標を理解しておく	1 時間
		復習	クイズ形式で学習した日本の医療の特徴について確認する	1 時間
2	講義内容	医療需要(医療需要の特徴)		
	該当する到達目標 1	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容についての理解を深める	1 時間
3	講義内容	医療の供給体制(医療労働市場、医療の質)(一部AL[アクティブラーニング])実施)		
	該当する到達目標 2	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1 時間
4	講義内容	国民医療費の分析		
	該当する到達目標 3	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
		復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1 時間
5	講義内容	診療報酬と薬価制度(医療と薬剤の価格の決まり方)		

	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	4	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
6	講義内容	日本の医療制度と医療改革（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	5,6	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
7	講義内容	世界の医療制度Ⅰ（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	7	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
8	講義内容	世界に医療制度Ⅱ（途上国と新興国）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	8	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
9	講義内容	医療マネジメントⅠ（病院の経営分析）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	9	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
10	講義内容	医療マネジメントⅡ（選ばれる病院になるための戦略）（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	9	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
11	講義内容	医薬品産業の分析Ⅰ（製薬企業の行動と産業構造）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	10	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
12	講義内容	医薬品産業の分析Ⅱ（医薬品卸企業の行動と産業構造）（一部AL実施）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	10	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
13	講義内容	薬剤経済学Ⅰ（薬剤療法の費用-効果分析、モデル分析）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	11	復習	講義内容の再理解、特に解答方法の再確認	1.5 時間
14	講義内容	薬剤経済学Ⅱ（演習）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておくとともに、練習問題を解いておく	1.5 時間
	11	復習	講義内容の再理解、特に解答方法の再確認	1.5 時間
15	講義内容	全体のまとめと確認テスト		
	該当する到達目標	予習	これまで学習した事項について目を通し、理解を深めておく	3 時間
	1~11	復習	試験の出題意図、講義の理解度の再確認と今後の学習の方向性を考える	1.5 時間
備考	オフィスアワー：月曜日 4 限目と金曜日 2 限目　研究室：1 号館 6 階 603 メールアドレス：machida@takasaki-u.aac.jp 予習・復習については、期末試験前の学習で補完すること。			

科目名	**医療経営論（専門展開科目）**	HID322	講義
担当教員	木村 憲洋		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	病院経営における経営のエッセンスについて、ディスカッションを通して学ぶ。グループごとの発表も行なっていく。最終的に、群馬イノベーションアワードへの参加を目指す。		
到達目標	1.病院経営における経営資源の理解をする。 2.病院経営における経営手法について理解する。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	定期試験100%		
課題に対するフィードバック	授業においてフィードバック 群馬イノベーションアワードへ参加するための企画を考え、ディスカッションする。		
使用教材	1からの病院経営（碩学舎） 病院のしくみ（日本実業出版社） 病院経営の仕組み（日本医療企画）		

1	講義内容	病院と経営資源		
	該当する到達目標	予習	教科書で「病院とは」についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	「病院とは」について理解する。	2 時間
2	講義内容	病院の質		
	該当する到達目標	予習	教科書で病院の質についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	病院の質について理解する。	2 時間
3	講義内容	経営基盤の安定		
	該当する到達目標	予習	教科書で経営基盤の安定についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	経営基盤の安定について理解する。	2 時間
4	講義内容	戦略的マネジメント		
	該当する到達目標	予習	教科書で戦略的マネジメントについてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	戦略的マネジメントについてまとめる。	2 時間
5	講義内容	機能分化とグループ経営		
	該当する到達目標	予習	教科書で機能分化とグループ経営についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	機能分化とグループ経営について理解する。	2 時間
6	講義内容	マーケディング戦略		
	該当する到達目標	予習	教科書でマーケディング戦略についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	マーケディング戦略について理解する。	2 時間
7	講義内容	人的資源の活用		
	該当する到達目標	予習	教科書で人的資源の活用についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	人的資源の活用について理解する。	2 時間
8	講義内容	人材育成と教育研修		
	該当する到達目標	予習	教科書で人材育成と教育研修についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	人材育成と教育研修について理解する。	2 時間
9	講義内容	チーム医療		

	該当する到達目標	予習	教科書でチーム医療についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	チーム医療について理解する。	2 時間
10	講義内容	DPC の導入と活用		
	該当する到達目標	予習	教科書で DPC の導入と活用についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	DPC の導入と活用について理解する。	2 時間
11	講義内容	バランストスコアカード		
	該当する到達目標	予習	教科書でバランストスコアカードについてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	バランストスコアカードについて理解する。	2 時間
12	講義内容	TQM と TPS による業務改善		
	該当する到達目標	予習	教科書で TQM と TPS による業務改善についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	TQM と TPS による業務改善について理解する。	2 時間
13	講義内容	組織変革		
	該当する到達目標	予習	教科書で組織変革についてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	組織変革について理解する。	2 時間
14	講義内容	医療のイノベーション		
	該当する到達目標	予習	教科書で医療のイノベーションについてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	医療のイノベーションについて理解する。	2 時間
15	講義内容	介護・福祉のイノベーション		
	該当する到達目標	予習	教科書で介護・福祉のイノベーションについてまとめる。	1 時間
	1,2	復習	介護・福祉のイノベーションについて理解する。	2 時間
備考	オフィスアワー月曜日1時限			

科目名	ソフトウェア工学(専門展開科目)	HID323	講義
担当教員	東福寺 幾夫		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	ソフトウェアの規模は拡大の一途をたどっており、大規模なソフトウェアを効率的に正しく作成するためには適切な方法論が必要である。本講義では、大規模ソフトウェア開発のための基本的な方法論を学ぶ。		
到達目標	1.大規模ソフトウェア開発に係る様々な課題を理解し、課題解決への取り組みについて説明できる。 2.ソフトウェアの開発工程を説明できる。 3.要求分析についてしっかりと理解して説明することができる。 4.ソフトウェアの設計や開発について説明できる。 5.開発したソフトウェアの品質管理、保守・再利用について説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	期末試験 70%, 授業参加度 30%		
課題に対するフィードバック	授業内で適宜コメントする。		
使用教材	「情報工学レクチャーシリーズ ソフトウェア工学」、高橋直久・丸山勝久共著、森北出版株式会社、2010 年、3000 円、ISBN978-4-627-81061-7 必要に応じて資料を配布する。		

1	講義内容	講義全体のガイダンス		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する	1 時間
		復習	講義内容、到達目標、成績評価法などを確認する	1.5 時間
2	講義内容	大規模ソフトウェア開発の課題		
	該当する到達目標 1	予習	教科書第1章に目を通す	1 時間
		復習	ソフトウェア危機、大規模ソフトウェアがもたらす問題、問題解決への取り組みについて理解する。	1.5 時間
3	講義内容	ソフトウェアの開発工程		
	該当する到達目標 2	予習	教科書第2章に目を通す	1 時間
		復習	ソフトウェアの開発工程、ウォーターフォールモデル、進化型プロセスモデルについて理解する。	1.5 時間
4	講義内容	プロジェクト管理		
	該当する到達目標 2	予習	教科書第3章に目を通す	1 時間
		復習	プロジェクト管理、開発工数の見積、品質管理について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	要求分析(1)		
	該当する到達目標 3	予習	教科書第4章に目を通す	1 時間
		復習	要求分析、要求獲得について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	要求分析(2)		
	該当する到達目標 3	予習	教科書第4章に目を通す	1 時間
		復習	要求仕様化、要求確認について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	構造化分析		
	該当する到達目標	予習	教科書第5章に目を通す	1 時間

	3	復習	構造化分析、DFD、実体関連図、状態遷移図について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	オブジェクト指向分析		
	該当する到達目標	予習	教科書第6章に目を通す	1 時間
	3	復習	オブジェクト指向開発方法論、オブジェクト指向分析の手順について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	アーキテクチャ設計		
	該当する到達目標	予習	教科書第7章に目を通す	1 時間
	4	復習	アーキテクチャ設計、アーキテクチャ設計のプロセス、アーキテクチャスタイルについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	ユーザインタフェース設計		
	該当する到達目標	予習	教科書第8章に目を通す	1 時間
	4	復習	ユーザインタフェース設計、対話方式、画面設計について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	モジュール設計		
	該当する到達目標	予習	教科書第9章に目を通す	1 時間
	4	復習	モジュール設計、モジュール分割の評価基準、構造化システム設計について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	プログラミング		
	該当する到達目標	予習	教科書第10章に目を通す	1 時間
	4	復習	プログラミング、構造化プログラミング、データ中心アプローチについて理解する。	1.5 時間
13	講義内容	テストと検証		
	該当する到達目標	予習	教科書第11章に目を通す	1 時間
	5	復習	ソフトウェアテスト、テスト技法、ソフトウェア検証、検証技法について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	保守と再利用		
	該当する到達目標	予習	教科書第12章に目を通す	1 時間
	5	復習	ソフトウェア保守、保守技法、ソフトウェア再利用、再利用技法について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書全体に目を通す	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	教科書全体に目を通す	1.5 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー：月曜日の4時限と水曜日3時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「tofukuji@takasaki-u.ac.jp」 研究室：1号館6階605			

科目名	ネットワークⅡ（専門展開科目）	HID324	講義
担当教員	長澤 亨		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	ネットワーク技術は日々発展進化し、高速化がなされると同時に身の回りの機器がすべてネットワークに接続する時代になってきた。また、PC 以外にも様々なスマートメディアの利用が進む中で、セキュリティ技術の重要性が増すとともに、ネットワークの技術が大きく変わってきた。特に高速化技術と常時接続性、そして冗長化技術である。本講義では、実際のケーブル、PC はもちろん実際のルータやスイッチの設定を通して、ネットワーク技術を身に付けることを目的とする。		
到達目標	1.ネットワークの基礎知識を復習しておく。 2.プロトコルを説明できる。 3.サブネットと VLAN を説明できる。 4.ルータの機能を説明できる。 5.ルーティングプロトコルを説明できる。 6.L2 スイッチの機能を説明できる。 7.ネットワークの管理、アクセスリストの管理を説明できる。 8.WAN プロトコルを説明できる。		

学位授与方針との対応		
		豊かな人間性と幅広い教養
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能
	✓	問題解決能力
		コミュニケーションスキル
		生涯学習力

評価方法	定期試験 60%、課題提出 30%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。
課題に対するフィードバック	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。
使用教材	教科書：Cisco CCNA 認定 guideTodd Lammle 著生田りえ子/井早優子訳 ISBN4-8222-8188-4 C3055

1	講義内容	第 1 章インターネットワーキング		
	該当する到達目標	予習	第 1 章インターネットワーキングを読んでおく	1 時間
	1	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
2	講義内容	第 2 章インターネットプロトコル		
	該当する到達目標	予習	第 2 章インターネットプロトコルを読んでおく	1 時間
	2	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
3	講義内容	第 3 章サブネット化と VLSM		
	該当する到達目標	予習	第 3 章サブネット化と VLSM を読んでおく	1 時間
	3	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
4	講義内容	第 4 章 CiscoIOS の概要①		
	該当する到達目標	予習	第 4 章 CiscoIOS の概要の前半を読んでおく	1 時間
	4	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
5	講義内容	第 4 章 CiscoIOS の概要②		
	該当する到達目標	予習	第 4 章 CiscoIOS の概要の後半を読んでおく	1 時間
	4	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
6	講義内容	第 5 章 IP ルーティング①		
	該当する到達目標	予習	ルーティング処理、IP ルーティング処理を読んでおく	1 時間
	4,5	復習	学修内容を復習する	1.5 時間

7	講義内容	第 5 章 IP ルーティング②		
	該当する到達目標	予習	IP ルーティングの設定を読んでおく	1 時間
	4,5	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
8	講義内容	第 5 章 IP ルーティング③		
	該当する到達目標	予習	RIP,EIGRP を読んでおく	1 時間
	4,5	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
9	講義内容	EIGRP と OSPF		
	該当する到達目標	予習	EIGRP と OSPF を読んでおく	1 時間
	4,5	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
10	講義内容	第 7 章レイヤ2スイッチング		
	該当する到達目標	予習	第 7 章レイヤ2スイッチングを読んでおく	1 時間
	6	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
11	講義内容	第 8 章バーチャル LAN(VLAN)①		
	該当する到達目標	予習	第 8 章バーチャル LAN(VLAN)の前半を読んでおく	1 時間
	6	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
12	講義内容	第 8 章バーチャル LAN(VLAN)②		
	該当する到達目標	予習	第 8 章バーチャル LAN(VLAN)の後半を読んでおく	1 時間
	6	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
13	講義内容	第 9 章 Cisco インターネットワークを管理する		
	該当する到達目標	予習	第 9 章 Cisco インターネットワークを管理を読んでおく	1 時間
	7	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
14	講義内容	第 10 章アクセスリストでトラフィックを管理する		
	該当する到達目標	予習	第 10 章アクセスリストでトラフィックを管理するを読んでおく	1 時間
	7	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
15	講義内容	第 11 章 WAN プロトコルとまとめ		
	該当する到達目標	予習	第 11 章 WAN プロトコルを読んでおく	1 時間
	8	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
備考	オフィスアワー:月曜日の 1 時限、3 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス:nagasawa@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 6 階608 予習復習の不足分は、試験前の学習で補うこと			

科目名	コンピュータアーキテクチャ（専門展開科目）	HID325	講義
担当教員	東福寺 幾夫		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	情報技術を学んでいくうえではコンピュータの基本的な知識を押さえておく必要がある。プログラミングを学ぶ上でも、コンピュータの仕組みや動作の原理を知っておくことは有用である。コンピュータシステムの設計原理であるコンピュータアーキテクチャを理解することで、効率のよいプログラム作成の基礎力を養成することを目標とする。		
到達目標	1.「コンピュータアーキテクチャ」という用語を説明できる。 2.命令の形式とアドレス指定の方式について説明できる。 3.命令の実行サイクルと、割り込み制御について説明できる。 4.コンピュータの演算の仕組みを説明できる。 5.記憶装置の階層化・高速化と仮想記憶方式について説明できる。 6.システムの構成方法と信頼性について説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	授業への参加と貢献 10%、授業毎のドリル 20%、期末試験 70%で評価し、60 点以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	毎回の授業の冒頭でドリルを実施し、前回授業の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。		
使用教材	教科書「わかりやすく図で学ぶコンピュータアーキテクチャ」 野地保著 共立出版		

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	シラバスおよび教科書のまえがきを読み、講義の目標を理解する。	1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価法などを確認する。	1.5 時間
2	講義内容	コンピュータアーキテクチャの基本－1 コンピュータアーキテクチャとは・コンピュータ発達の歴史		
	該当する到達目標	予習	教科書第 1 章 1.1, 1.2 を読む	1 時間
	1	復習	教科書第 1 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
3	講義内容	コンピュータアーキテクチャの基本－2 コンピュータアーキテクチャの概要		
	該当する到達目標	予習	教科書第 1 章 1.3 を読む	1 時間
	1	復習	教科書第 1 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
4	講義内容	情報の表現と単位－1 情報の単位・数値の表現		
	該当する到達目標	予習	教科書第 2 章 2.1, 2.2 を読む	1 時間
	1	復習	教科書第 2 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
5	講義内容	情報の表現と単位－2 文字の表現・誤り検出と訂正・論理演算		
	該当する到達目標	予習	教科書第 2 章 2.3～2.5 を読む	1 時間
	1	復習	教科書第 2 章の演習問題を及びドリル解く	1.5 時間
6	講義内容	命令セットアーキテクチャー1 命令の形式		
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章 3.1 を読む	1 時間
	2,3	復習	教科書第 3 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
7	講義内容	命令セットアーキテクチャー2 アドレス方式・命令の種類		
	該当する到達目標	予習	教科書第 3 章 3.2, 3.2 を読む	1 時間
	2,3	復習	教科書第 3 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間

8	講義内容	制御アーキテクチャー1 命令実行制御・マイクロプログラム制御		
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章 4.1, 4.2 を読む	1 時間
	2,3	復習	教科書第 4 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
9	講義内容	制御アーキテクチャー2 高速化アーキテクチャ・割込み制御		
	該当する到達目標	予習	教科書第 4 章 4.3, 4.4 を読む	1 時間
	2,3	復習	教科書第 4 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
10	講義内容	演算アーキテクチャー1 演算の基本		
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 章 5.1 を読む	1 時間
	4	復習	教科書第 5 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
11	講義内容	演算アーキテクチャー2 演算アルゴリズム		
	該当する到達目標	予習	教科書第 5 章 5.2 を読む	1 時間
	4	復習	教科書第 5 章の演習問題を解く	1.5 時間
12	講義内容	メモリアーキテクチャー1 記憶階層・仮想記憶		
	該当する到達目標	予習	教科書第 6 章 6.1 を読む	1 時間
	5	復習	教科書第 6 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
13	講義内容	メモリアーキテクチャー2 高速化手法		
	該当する到達目標	予習	教科書第 6 章 6.2 を読む	1 時間
	5	復習	教科書第 6 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
14	講義内容	システムアーキテクチャ 性能評価・信頼性		
	該当する到達目標	予習	教科書第 10 章 10.1, 10.2 を読む	1 時間
	6	復習	教科書第 10 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
15	講義内容	まとめと演習		
	該当する到達目標	予習	教科書を読み直す	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	演習問題を見直す	1.5 時間
備考	単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワー：月曜日の4時限と水曜日3時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「tofukuji@takasaki-u.ac.jp」 研究室：1号館6階605			

科目名	ディジタル信号処理(専門展開科目)			HID326	講義
担当教員	田村 拓朗				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	情報通信技術の発展によって、アナログ信号はデジタル信号に変換されて、我々の生活に劇的な変化をもたらした。本講義では、デジタル信号処理の基礎を理解し、信号のスペクトル解析の学修を通して、信号処理の実用を身近に感じられるように授業を進める。				
到達目標	1.信号、アナログ信号、デジタル信号について説明できる。 2.アナログ信号からデジタル信号への変換処理について説明できる。 3.周波数、振幅、サンプリング定理などのデジタル信号処理における基本用語について説明することができる。 4.デジタル信号処理を用いた技術について説明することができる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			
	✓	問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	課題 60%、授業参加度 40%				
課題に対するフィードバック	全体講評と個別指導を行う				
使用教材	必要に応じて資料を配布する。				

1	講義内容	講義全体のガイダンス		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する	1 時間
		復習	講義内容、到達目標、成績評価法などを確認する	1.5 時間
2	講義内容	デジタル信号、AD 変換		
	該当する到達目標 1,2	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
		復習	信号、アナログ信号、離散時間信号、サンプリング、デジタル信号、量子化、デジタル信号処理について理解する。	1.5 時間
3	講義内容	デジタル信号処理の目的		
	該当する到達目標 1,4	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
		復習	フィルタリング、スペクトル解析、情報圧縮、音声信号処理について理解する。	1.5 時間
4	講義内容	単位信号		
	該当する到達目標 1,3	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
		復習	単位インパルス信号、単位ステップ信号について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	正弦波信号		
	該当する到達目標 1,3	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
		復習	正弦波信号、正弦波信号の性質、信号のエネルギーについて理解する。	1.5 時間
6	講義内容	システム		
	該当する到達目標 1,3	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
		復習	連続時間信号および離散時間システムの基本演算について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	連続時間信号のフーリエ解析(1)		
	該当する到達目標 3,	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
		復習	直流信号、フーリエ級数について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	連続時間信号のフーリエ解析(2)		

	該当する到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
	3,	復習	フーリエ級数、スペクトルについて理解する。	1.5 時間
9	講義内容	連続時間信号のフーリエ解析(3)		
	該当する到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
	3	復習	フーリエ級数、スペクトルについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	フーリエ解析とスペクトログラム		
	該当する到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
	3	復習	周波数成分、スペクトログラム、時間窓について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	サンプリング定理、時間分解能と周波数分解能(1)		
	該当する到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
	3,4	復習	サンプリング定理、時間分解能と周波数分解能	1.5 時間
12	講義内容	サンプリング定理、時間分解能と周波数分解能(2)		
	該当する到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
	3,4	復習	サンプリング定理、時間分解能と周波数分解能	1.5 時間
13	講義内容	フィルタ		
	該当する到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
	3,4	復習	様々なフィルタについて理解する。	1.5 時間
14	講義内容	ノイズ		
	該当する到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
	3,4	復習	ランダム信号、白色ノイズ、様々なノイズについて理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書については参照した部分、配布資料については全体に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	教科書については参照した部分、配布資料については全体に目を通す。	1.5 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィアワー:月曜日 4 限、金曜日 3 限			

科目名	**画像情報処理(専門展開科目)**	HID327	講義
担当教員	髙橋 大志		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	情報通信技術の急速な発展により、画像処理技術は多くの産業分野で使用されるようになった。このため、画像処理のアルゴリズムを理解し、プログラミングできる能力を身につける必要がある。本講義ではデジタル画像の概念、画像処理技術を学ぶとともに、画像処理プログラミングも行なう。		
到達目標	1.画像処理のアルゴリズムについて説明できる。 2.画像情報について説明できる。 3.画像情報の特性について理解できる。 4.画像処理に関するプログラミングを作成できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	定期試験の成績(50%)およびレポート課題(50%)により総合的に評価する。なお、総合評価 60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	レポート課題についてはコメントを付して返却する。定期試験については定期試験の後に出題の意図を掲示によって示す。		
使用教材	「デジタル画像処理入門」(CQ 出版社)を使用する		

1	講義内容	アナログ画像とデジタル画像		
	該当する到達目標	予習	教科書(7-22 頁)に目を通す。	1 時間
	2,3	復習	アナログ画像とデジタル画像、AD変換について理解する。	1.5 時間
2	講義内容	標本化と量子化		
	該当する到達目標	予習	教科書(21-37 頁)に目を通す。	1 時間
	2,3	復習	標本化定理、解像度について理解する。	1.5 時間
3	講義内容	ヒストグラムと線形濃度変換		
	該当する到達目標	予習	教科書(38-40 頁)に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	線形な濃度変換について理解する。	1.5 時間
4	講義内容	非線形濃度変換とヒストグラム平坦化		
	該当する到達目標	予習	教科書(40-49 頁)に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	非線形な濃度変換、ガンマ補正、ヒストグラム平坦化について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	平滑化フィルタ		
	該当する到達目標	予習	教科書(50-53 頁)に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	平均値フィルタ、メディアンフィルタについて理解する。	1.5 時間
6	講義内容	画像の微分		
	該当する到達目標	予習	教科書(54-56 頁)に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	Prewittフィルタ、Sobelフィルタ、線検出フィルタについて理解する。	1.5 時間
7	講義内容	ラプラシアンと鮮鋭化		
	該当する到達目標	予習	教科書(56-62 頁)に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	ラプラシアフィルタと鮮鋭化フィルタについて理解する。	1.5 時間
8	講義内容	2 値化処理と膨張・収縮		
	該当する到達目標	予習	教科書(63-68 頁)に目を通す。	1 時間

	1,2,3	復習	2 値化処理、膨張処理、収縮処理について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	画像処理演習 I（画像の表示）		
	該当する到達目標	予習	教科書(7-37 頁)に目を通す。	1 時間
	1,4	復習	画像表示についてのプログラミングを作成する。	1.5 時間
10	講義内容	画像処理演習 II（濃度変換）		
	該当する到達目標	予習	教科書(38-49 頁)に目を通す。	1 時間
	1,4	復習	濃度変換についてのプログラミングを作成する。	1.5 時間
11	講義内容	画像処理演習 III（平滑化フィルタ）		
	該当する到達目標	予習	教科書(50-53 頁)に目を通す。	1 時間
	1,4	復習	平滑化フィルタについてのプログラミングを作成する。	1.5 時間
12	講義内容	画像処理演習 IV（微分処理）		
	該当する到達目標	予習	教科書(54-56 頁)に目を通す。	1 時間
	1,4	復習	1 次微分フィルタについてのプログラミングを作成する。	1.5 時間
13	講義内容	画像処理演習 V（ラプラシアンと鮮鋭化）		
	該当する到達目標	予習	教科書(56-62 頁)に目を通す。	1 時間
	1,4	復習	ラプラシアンフィルタと鮮鋭化フィルタについてのプログラミングを作成する。	1.5 時間
14	講義内容	画像処理演習 VI（2 値化処理と膨張・収縮）		
	該当する到達目標	予習	教科書(63-68 頁)に目を通す。	1 時間
	1,4	復習	2 値化処理、膨張処理、収縮処理についてのプログラミングを作成する。	1.5 時間
15	講義内容	画像処理演習 VII（総合演習）		
	該当する到達目標	予習	教科書(7-68 頁)に目を通す。	3 時間
	1,4	復習	画像処理のプログラミングを作成する。	1.5 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 質問はメールでも受け付ける。			

科目名	電子情報工学基礎(専門展開科目)	HID328	講義
担当教員	東福寺 幾夫		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	情報通信システムの構築に、電子情報機器は必須の構成要素である。こうした電子情報機器の動作原理や仕組みを理解するため、電気回路の基礎理論と半導体の基礎知識を習得する。		
到達目標	1.オームの法則・キルヒホッフの法則を理解し、簡単な直流回路の解析ができる。 2.電流計の原理と、その使用方法、測定範囲を拡大するための方策について理解し、分流器や倍率器の抵抗値の計算ができる。 3.抵抗とコンデンサの直列回路の、過渡現象を理解し、電圧電流の変化を説明できる。 4.交流回路の特徴を理解し、変圧器の応用回路の電圧電流を計算できる。 5.半導体の原理を理解し、ダイオードおよびトランジスタの簡単な応用回路の動作を説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	授業への参加と貢献 10%、単元毎の小テスト 20%、期末試験 70%で評価し、60 点以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。		
使用教材	独自作成したプリントを初回に配布、必要に応じて補足のプリントを提供する。		

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	特になし	0 時間
	1	復習	特になし	0 時間
2	講義内容	直流回路の原理 電圧・電流・抵抗の関係、抵抗の直列接続・並列接続		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読む	1.5 時間
	1	復習	練習問題を解く	1.5 時間
3	講義内容	直流回路の解析 オームの法則・キルヒホッフの法則と応用		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読む	1.5 時間
	1	復習	練習問題を解く	1.5 時間
4	講義内容	直流電流計の原理と応用 分流器・倍率器、直流回路の小テスト		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読む	1.5 時間
	2	復習	練習問題を解く	1.5 時間
5	講義内容	コンデンサの原理 構造・電荷・電圧、直列接続・並列接続		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読む	1.5 時間
	3	復習	練習問題を解く	1.5 時間
6	講義内容	CR 直列回路と過渡現象 コンデンサの充電・放電と回路の電圧電流 過渡現象の小テスト		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読む	1.5 時間
	3	復習	練習問題を解く	1.5 時間
7	講義内容	電流と磁界 電磁誘導とコイル		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読む	1.5 時間
	4	復習	練習問題を解く	1.5 時間
8	講義内容	交流回路の電圧・電流と変圧器		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読む	1.5 時間

	4	復習	練習問題を解く	1.5 時間
9	講義内容	交流回路の抵抗・コイル・コンデンサとインピーダンス 交流回路の小テスト		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読む	1.5 時間
	4	復習	練習問題を解く	1.5 時間
10	講義内容	半導体の原理 P 型半導体・N 型半導体		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読む	1.5 時間
	5	復習	練習問題を解く	1.5 時間
11	講義内容	ダイオードの原理 PN 接続・空乏層・整流回路		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読む	1.5 時間
	5	復習	練習問題を解く	1.5 時間
12	講義内容	トランジスタの原理 PNP トランジスタ・NPN トランジスタ		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読む	1.5 時間
	5	復習	練習問題を解く	1.5 時間
13	講義内容	トランジスタの応用 増幅回路・スイッチ回路		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読む	1.5 時間
	5	復習	練習問題を解く	1.5 時間
14	講義内容	半導体の応用 LED・太陽電池・光センサ 半導体の小テスト		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読む	1.5 時間
	5	復習	練習問題を解く	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	配布されたプリントを読み返す	1.5 時間
	1～5	復習	小テスト・練習問題を解きなおす	1.5 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー：月曜日の4時限と水曜日3時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「tofukuji@takasaki-u.ac.jp」 研究室：1号館6階605			

科目名	**情報処理演習Ⅱ(専門展開科目)**		HID329	演習
担当教員	田村 拓郎			
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	ネットワークシステムのコンテンツとして今やデータベースは情報システムの要となっている。本講義では、リレーショナル型データベースである ACCESS の基礎から実際の活用までを学ぶことを目的とする。			
到達目標	1.データベースシステムの機能を理解する。 2.ACCESS を用いて基本的な業務をデータベース化できる。			
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	✓	問題解決力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	課題提出状況(80%)、学習姿勢(20%)で評価する。			
課題に対するフィードバック	提出後講義にて解答、解説を行なう。課題の出来によっては、問題点を指摘し再提出を求める。			
使用教材	Access マスター演習問題集			

1	講義内容	講義全体のガイダンス、データベースの基本		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
	1	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
2	講義内容	テーブル機能 テーブルの作成		
	該当する到達目標	予習	講義資料、該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
3	講義内容	テーブル機能 レコードの追加、インポート、エクスポート		
	該当する到達目標	予習	講義資料、該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
4	講義内容	テーブル機能 データシート		
	該当する到達目標	予習	講義資料、該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
5	講義内容	リレーションシップ		
	該当する到達目標	予習	講義資料、該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	3 時間
6	講義内容	クエリ機能 選択クエリ		
	該当する到達目標	予習	講義資料、該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	3 時間
7	講義内容	クエリ機能 抽出条件		
	該当する到達目標	予習	講義資料、該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
8	講義内容	クエリ機能 演算子を用いた抽出		
	該当する到達目標	予習	講義資料、該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
9	講義内容	クエリ機能 並べ替え		
	該当する到達目標	予習	講義資料、該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間

10	講義内容	クエリ機能 集計クエリ		
	該当する到達目標	予習	講義資料、該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	3 時間
11	講義内容	クエリ機能 クロス集計クエリ、パラメータクエリ		
	該当する到達目標	予習	講義資料、該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	3 時間
12	講義内容	クエリ機能 演習フィールド		
	該当する到達目標	予習	講義資料、該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	6 時間
13	講義内容	フォーム機能 フォームの作成		
	該当する到達目標	予習	講義資料、該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	1、2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
14	講義内容	フォーム機能 デザイン編集		
	該当する到達目標	予習	講義資料、該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
15	講義内容	レポート機能 レポートの作成		
	該当する到達目標	予習	講義資料、該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0.5 時間
	1、2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	3 時間
備考	毎回演習課題を出すため、授業時間外に PC 室を積極的に利用すること。自宅の PC を用いて仕上げて来ても良い。オフィスアワー:月曜日 4 限、金曜日 3 限			

科目名	**情報処理演習Ⅲ（専門展開科目）**		HID330	演習
担当教員	坂本 孝			
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	情報処理演習Ⅱで学習したAccessの基本知識を基に、本講義では、実際の業務を想定したシステムの構築に取り組むことにより、業務をデータベース化して活用するノウハウを習得する。			
到達目標	1 必要とされる要件からテーブルを設計、正規化できる。 2 正規化されたテーブルを基に、必要な機能を実現するためのクエリを作成できる。 3 必要とされる入力仕様を実現するための各種フォームを作成できる。 4 必要とされる出力仕様を実現するための各種レポートを作成できる。 5 必要によりExcelとのデータ連携を実現できる。			
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	✓	問題解決力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	課題提出状況(70%)、学習姿勢(30%)により評価する。			
課題に対するフィードバック	課題の解答例を提示し、解説する。			
使用教材	教科書「Accessによるシステム構築問題集」（ムゲンダイ出版）			

1	講義内容	住所管理システムの開発 ① テーブル、フォームの作成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 Lesson01～03 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間
2	講義内容	住所管理システムの開発 ② レコードの操作、レポートの作成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 1 章 Lesson04～06 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間
3	講義内容	メディア管理システムの開発 ① テーブル、フォームの作成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 Lesson01～05 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間
4	講義内容	メディア管理システムの開発 ② 外部データお取込み、フォームの作成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 Lesson06～10 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間
5	講義内容	メディア管理システムの開発 ③ レポートの作成、フォームの作成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 2 章 Lesson11～16 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間
6	講義内容	売上管理システムの開発 ① テーブル、フォームの作成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 Lesson01～03 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間
7	講義内容	売上管理システムの開発 ② クエリの作成、フォームの作成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 Lesson04～07 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間
8	講義内容	売上管理システムの開発 ③ レポートの作成、フォームの作成、メインメニューの作成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 3 章 Lesson08～11 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間

9	講義内容	成績管理システムの開発 ① テーブル、フォームの作成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 Lesson01～03 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間
10	講義内容	成績管理システムの開発 ② クエリの作成、フォームの作成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 Lesson04～10 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間
11	講義内容	成績管理システムの開発 ③ レポートの作成、メインメニューの作成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 4 章 Lesson11～14 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間
12	講義内容	レンタル DVD システムの開発 ① テーブル、メインメニューの作成、フォームの作成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 Lesson01～4 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間
13	講義内容	レンタル DVD システムの開発 ② クエリの作成、フォームの作成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 Lesson05～08 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間
14	講義内容	レンタル DVD システムの開発 ③ レポートの作成、フォームの作成、メインメニューの作成		
	該当する到達目標	予習	教科書の第 5 章 Lesson09～13 に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間
15	講義内容	Access VBA		
	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	1 時間
	5	復習	講義での説明内容を理解し、課題を作成する。	2 時間
備考	受講条件:情報処理演習Ⅱを履修していること。 オフィスアワー:月曜 5 限、金曜 5 限 メールアドレス:sakamoto@takasaki-u.ac.jp			

科目名	マルチメディアII（専門展開科目）	HID331	演習
担当教員	田村 拓郎		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	本講義では、動画やアニメーション作成の演習を通じて、マルチメディアコンテンツを作成するための基礎的な能力を身につけることを目的とする。		
到達目標	1.コンピュータによる動画の編集と制作の基礎を身につける。 2.編集作業等に用いるソフトウェアの適切な活用法を身につける。 3.グループで企画立案、動画制作を行なうことができる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	課題提出状況(40%)、提出された課題成果物の出来栄え(40%)、学習姿勢(20%)で評価する。		
課題に対するフィードバック	提出後講義にて解答、解説を行なう。課題の出来によっては、問題点を指摘し再提出を求める。		
使用教材	特になし		

1	講義内容	講義全体のガイダンス		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
		復習	不要	0 時間
2	講義内容	個人制作 動画の原理		
	該当する到達目標	予習	講義資料を事前に読んでおくこと。	0 時間
	1	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
3	講義内容	個人制作 映像の制作、撮影の基本		
	該当する到達目標	予習	講義資料を事前に読んでおくこと。	0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
4	講義内容	個人制作 映像の編集		
	該当する到達目標	予習	講義資料を事前に読んでおくこと。	0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
5	講義内容	個人制作 音声の処理		
	該当する到達目標	予習	講義資料を事前に読んでおくこと。	0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
6	講義内容	個人制作 映像演出		
	該当する到達目標	予習	講義資料を事前に読んでおくこと。	0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
7	講義内容	個人制作 動画編集		
	該当する到達目標	予習	講義資料を事前に読んでおくこと。	0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
8	講義内容	グループ編成、企画立案		
	該当する到達目標	予習	講義資料を事前に読んでおくこと。動画企画を考える。	1 時間
	3	復習	動画企画を立案する。	1 時間
9	講義内容	グループ制作 企画、絵コンテ		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間

	3	復習	それぞれの課題制作を行なう。	3 時間
10	講義内容	グループ制作 撮影、音声の制作		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
	3	復習	それぞれの課題制作を行なう。	3 時間
11	講義内容	グループ制作 撮影、音声の制作2		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
	3	復習	それぞれの課題制作を行なう。	3 時間
12	講義内容	グループ制作 画像合成、動画編集		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
	3	復習	それぞれの課題制作を行なう。	3 時間
13	講義内容	グループ制作 動画編集、内容構成		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
	3	復習	それぞれの課題制作を行なう。	3 時間
14	講義内容	グループ制作 動画編集、修正		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
	3	復習	それぞれの課題制作を行なう。	3 時間
15	講義内容	制作物発表		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
		復習	不要	0 時間
備考	演習課題を出すため、授業時間外に PC 室を積極的に利用すること。自宅の PC を用いて仕上げて来ても良い。後半の課題作成では課外時間でのグループ活動が必要となる。オフィスアワー: 月曜日 4 限、金曜日 3 限			

科目名	Webデザイン Ⅲ（専門展開科目）	HID332	演習
担当教員	長澤 亨		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	レスポンシブ Web デザインは、これからのウェブ制作を支える重要な制作手法の一つである。本講義の目標は、レシポンシブ Web デザインの理念、Web デザイン Ⅱ の HTML5 と JavaScript をベースにして、基本的な制作手法、必要とされるワークフローの考え方から制作の実践を通じて、レスポンシブ Web デザイン技術を修得することにある。		
到達目標	1.レスポンシブ Web デザインの必要性や考え方を説明できる。 2.レスポンシブ Web デザインの基礎知識を理解している。 3.レスポンシブ Web デザインに必要なワークフローを説明できる。 4.ブラウザ・端末対応の仕様やブレイクポイントとレファレンスポイントの仕様を決めることができる。 5.レスポンシブなコンテンツを作成することができる。		

学位授与方針との対応		
		豊かな人間性と幅広い教養
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能
	✓	問題解決能力
		コミュニケーションスキル
		生涯学習力

評価方法	定期試験50%、課題提出40%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価60%以上を合格とする。
課題に対するフィードバック	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。
使用教材	教科書:「レスポンシブ Web デザイン　制作の実践的ワークフローとテクニック」渡辺竜、ソシム ISBN978-4-88337-857-9 C2055

1	講義内容	ガイダンス、第 1 章いまレスポンシブ Web デザインなのか？		
	該当する到達目標	予習	第 1 章を読んでおくこと	1 時間
	1	復習	第 1 章の復習	1 時間
2	講義内容	第 2 章レスポンシブ Web デザインの基礎知識①		
	該当する到達目標	予習	2.1 から 2.3 を読んでおくこと	1 時間
	2	復習	2.1 から 2.3 の復習	1 時間
3	講義内容	第 2 章レスポンシブ Web デザインの基礎知識②		
	該当する到達目標	予習	2.4 から 2.6 を読んでおくこと	1 時間
	2	復習	2.4 から 2.6 の復習	1 時間
4	講義内容	第 3 章レスポンシブな制作に必要なこと①		
	該当する到達目標	予習	3.1 から 3.4 を読んでおくこと	1 時間
	2	復習	3.1 から 3.4 の復習	1 時間
5	講義内容	第 3 章レスポンシブな制作に必要なこと②		
	該当する到達目標	予習	3.5 から 3.9 を読んでおくこと	1 時間
	2	復習	3.5 から 3.9 の復習	1 時間
6	講義内容	第 4 章レスポンシブなワークフロー①		
	該当する到達目標	予習	4.1 から 4.3 を読んでおくこと	1 時間
	3	復習	4.1 から 4.3 の復習	1 時間
7	講義内容	第 4 章レスポンシブなワークフロー②		
	該当する到達目標	予習	4.4 から 4.6 を読んでおくこと	1 時間
	3	復習	4.4 から 4.6 の復習	1 時間
8	講義内容	第 4 章レスポンシブなワークフロー③		

	該当する到達目標	予習	4.7 から 4.9 を読んでおくこと	1 時間
	3	復習	4.7 から 4.9 の復習	1 時間
9	講義内容	第 4 章レスポンシブなワークフロー④		
	該当する到達目標	予習	4.10 から 4.12 を読んでおくこと	1 時間
	3	復習	4.10 から 4.12 の復習	1 時間
10	講義内容	第 5 章レスポンシブ Web デザインの基礎の実践①		
	該当する到達目標	予習	5.1 から 5.2 を読んでおくこと	1 時間
	2,3,4	復習	5.1 から 5.2 の復習	1 時間
11	講義内容	第 5 章レスポンシブ Web デザインの基礎の実践②		
	該当する到達目標	予習	5.3 から 5.4 を読んでおくこと	1 時間
	2,3,4	復習	5.3 から 5.4 の復習	1 時間
12	講義内容	第 5 章レスポンシブ Web でダインの基礎の実践③		
	該当する到達目標	予習	5.5 から 5.7 を読んでおくこと	1 時間
	4,5	復習	5.5 から 5.7 の復習	1 時間
13	講義内容	第 6 章レスポンシブ Web デザインでサイトを構築する①		
	該当する到達目標	予習	6.1 から 6.2 を読んでおくこと	1 時間
	4,5	復習	6.1 から 6.2 の復習	1 時間
14	講義内容	第 6 章レスポンシブ Web デザインでサイトを構築する②		
	該当する到達目標	予習	6.3 から 6.4 を読んでおくこと	1 時間
	4,5	復習	6.3 から 6.4 の復習	1 時間
15	講義内容	第 6 章レスポンシブ Web デザインでサイトを構築する③		
	該当する到達目標	予習	6.5 を読んでおくこと	1 時間
	5	復習	6.5 の復習	1 時間
備考	オフィスアワー：月曜日の 1 時限、3 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス：nagasawa@takasaki-u.ac.jp 研究室：1 号館 6 階 608 予習復習の不足分は、試験前の学習で補うこと。			

科目名	**Webプログラミング Ⅰ（専門展開科目）**	HID333	演習
担当教員	長澤 亨		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	現在、データベースでは関係データベースが使われている。膨大なデータを効率よく管理することを目的としている。一般にデータベースに追加、削除、検索などの管理機能を含めてデータベースシステムという。RDBMS の起源は、1970 年に IBM 社の EdgarF.Codd 氏が関係 DB に関する理論が基になっている。MySQL は Michael Widenius 氏が開発し、1995年に誕生した RDBMS である。また、MySQL はオープンソースであるが、世界で 1000 万以上のサーバにインストールされて実際に動作している。本講義では、MySQL の基本と本質を理解することにある。		
到達目標	1.関係データベースを簡潔に説明することができる。 2.MySQL データベースをインストールすることができる。 3.データベース、テーブルの作成、削除、変更ができる。 4.SQL 文でデータベースのデータを検索・登録・削除することができる。 5.PHP と MySQL を連携する方法を説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決能力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	定期試験50%、課題提出40%、授業の参加度10%で評価する。総合評価60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。		
使用教材	教科書:基礎からの MySQL SoftBankCreative 西沢夢路 ISBN978-4-7973-6945-8 C0055		

1	講義内容	ガイダンス、Chapter1MySQL の概要		
	該当する到達目標	予習	MySQL の概要を読んでおく	1 時間
	1	復習	MySQL の概要を復習する	1 時間
2	講義内容	Chapter2MySQL の環境設定		
	該当する到達目標	予習	MySQL の環境設定を読んでおく	1 時間
	1,2	復習	MySQL の環境設定を復習する	1 時間
3	講義内容	Chapter3MySQL の基礎知識		
	該当する到達目標	予習	MySQL の基礎知識を読んでおく	1 時間
	1,2	復習	MySQL の基礎知識を復習する	1 時間
4	講義内容	Chapter4データベースの作成		
	該当する到達目標	予習	データベースの作成を読んでおく	1 時間
	1,2	復習	課題を完成させる	1.5 時間
5	講義内容	Chapter5データ型とデータの入力		
	該当する到達目標	予習	データ型とデータの入力を読んでおく	1 時間
	1,3	復習	課題を完成させる	1.5 時間
6	講義内容	Chapter6テーブルを改造する		
	該当する到達目標	予習	テーブルを改造するを読んでおく	1 時間
	1,3	復習	課題を完成させる	1.5 時間
7	講義内容	Chapter7テーブルやレコードをコピー・削除する		
	該当する到達目標	予習	テーブルやレコードをコピー・削除するを読んでおく	1 時間

	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
8	講義内容	Chapter8MySQL を使いこなす		
	該当する到達目標	予習	MySQL を使いこなすを読んでおく	1 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
9	講義内容	Chapter9データを編集する		
	該当する到達目標	予習	データを編集するを読んでおく	1 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
10	講義内容	Chapter10 複数のテーブルを利用する		
	該当する到達目標	予習	複数のテーブルを利用するを読んでおく	1 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
11	講義内容	Chapter11 ビューを使いこなす		
	該当する到達目標	予習	ビューを使いこなすを読んでおく	1 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
12	講義内容	Chapter12 ストアドプロシージャを使いこなす		
	該当する到達目標	予習	ストアドプロシージャを使いこなすを読んでおく	1 時間
	1,3,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
13	講義内容	Chapter13 トランザクションを使いこなす		
	該当する到達目標	予習	トランザクションを使いこなすを読んでおく	1 時間
	1,3,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
14	講義内容	Chapter14 ファイルを使ったやり取り		
	該当する到達目標	予習	ファイルを使ったやり取り読んでおく	1 時間
	1,3,4,5	復習	課題を完成させる	1.5 時間
15	講義内容	総合演習、まとめ		
	該当する到達目標	予習	理解できていなかった部分を明確にする	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	最終的な課題を完成させる	1.5 時間
備考	オフィスアワー：月曜日の 1 時限、3 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス：nagasawa@takasaki-u.ac.jp 研究室：1 号館 6 階608 予習復習の不足分は、試験前の学習で補うこと。			

科目名	Webプログラミング Ⅱ（専門展開科目）	HID334	演習
担当教員	長澤 亨		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	PHP は 1995 年ごろ「Personal Home Page Tools」として作られ、Web アプリケーションに特化したサーバサイドスクリプト言語である。PHP の特徴は関数が大量にあり、それらは高速に動作する。また、オブジェクト指向的な手法をとることもでき、UNIX や Windows のいずれのプラットホームでも開発し、動作する。本講義では、PHP の基本を理解し、PHP とデータベースを連携した Web アプリケーション開発するための技能の習得を目指す。		
到達目標	1.PHP の基本を説明できる。 2.HTML,CSS,JavaScript、PHP の関係を説明できる。 3.HTML と PHP の連携プログラムを作成できる。 4.PHP と MySQL の連携プログラムを作成できる。 5.インターネットに公開するときの対策を説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決能力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	定期試験 60%、課題提出 30%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。		
使用教材	教科書:基礎からの MySQL SoftBankCreative 西沢夢路 ISBN978-4-7973-6945-8 C0055		

1	講義内容	ガイダンス、MySQL＋PHP の基礎		
	該当する到達目標	予習	Chapter15MySQL を利用するための PHP を読んでおくこと	1 時間
	1	復習	授業の復習	1.5 時間
2	講義内容	Chapter16PHP の基礎知識1		
	該当する到達目標	予習	PHP の変数、文字列、関数の部分を読んでおくこと	1 時間
	1	復習	PHP の変数、文字列、関数に関する課題を仕上げる	1.5 時間
3	講義内容	Chapter16PHP の基礎知識2		
	該当する到達目標	予習	比較演算子、繰り返し処理を読んでおくこと	1 時間
	1	復習	比較演算子、繰り返し処理の課題を仕上げる	1.5 時間
4	講義内容	Chapter16PHP の基礎知識3		
	該当する到達目標	予習	条件分岐、配列を読んでおくこと	1 時間
	1	復習	条件分岐、配列の課題を仕上げる	1.5 時間
5	講義内容	Chapter17PHP スクリプトと HTML1		
	該当する到達目標	予習	HTML の復習と HTML ファイルを PHP スクリプトで書き出す	1 時間
	1,2	復習	HTML ファイルを PHP スクリプトで書き出す課題を仕上げる	1.5 時間
6	講義内容	Chapter17PHP スクリプトと HTML2		
	該当する到達目標	予習	POST と GET によるデータ送信を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3	復習	POST と GET によるデータ送信の課題を仕上げる	1.5 時間
7	講義内容	Chapter18PHP スクリプトで MySQL を操作する1		
	該当する到達目標	予習	PHP スクリプトで MySQL サーバに接続する。」	1 時間

	1,2,4	復習	PHP スクリプトで MySQL サーバに接続の課題を仕上げる	1.5 時間
8	講義内容	Chapter18PHP スクリプトで MySQL を操作する2		
	該当する到達目標	予習	PHP スクリプトでクエリを発行する。	1 時間
	1,2,4	復習	PHP スクリプトでクエリを発行の課題を仕上げる	1.5 時間
9	講義内容	Chapter19MySQL＋PHP の実践1		
	該当する到達目標	予習	簡単掲示板を作るを読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	簡単掲示板を作る課題を仕上げる	1.5 時間
10	講義内容	Chapter19MySQL＋PHP の実践2		
	該当する到達目標	予習	トップページの作成を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	トップページの作成の課題を仕上げる	1.5 時間
11	講義内容	Chapter19MySQL＋PHP の実践2		
	該当する到達目標	予習	表示・挿入・削除・検索機能の作成を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	表示・挿入・削除・検索機能の作成の課題を仕上げる	1.5 時間
12	講義内容	Chapter20 インターネットに公開するときの対策1		
	該当する到達目標	予習	「公開されるフォルダに重要な情報を置かない」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	学修した内容を復習する	1.5 時間
13	講義内容	Chapter20 インターネットに公開するときの対策2		
	該当する到達目標	予習	正規表現を意図しないタグを実行させないを読んでおく	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	正規表現の課題を仕上げる	1.5 時間
14	講義内容	実用掲示板の作成		
	該当する到達目標	予習	実用になる掲示板を作るを読んでおく	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	実用になる掲示板の課題を仕上げる	1.5 時間
15	講義内容	環境設定		
	該当する到達目標	予習	Windows サービス、MySQL のパスワード変更を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	学修した内容を仕上げる	1.5 時間
備考	オフィスアワー：月曜日の 1 時限、3 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス：nagasawa@takasaki-u.ac.jp 研究室：1 号館 6 階608 予習復習の不足分は、試験前の学習で補うこと。			

科目名	オブジェクトプログラミングⅠ（専門展開科目）	HID335	演習
担当教員	石川 雅弘		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	プログラミング言語 Java を用い、構造化プログラミングの基礎スキルを身に着け、オブジェクト指向プログラミングの基本的考え方を理解する。		
到達目標	1. 構造化プログラミングの基礎的な要素を理解し、簡単なプログラムを作成できる。 2. Java 言語の基本的な文法を理解して利用できる。 3. オブジェクト指向における基本概念である、カプセル化、継承、多態性を説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	課題達成状況(50%)＋試験 (50%)で評価する。		
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。		
使用教材	「やさしい Java 第6版」、高橋麻奈著、SB クリエイティブ ISBN-13: 978-4797388268		

1	講義内容	開発環境の準備と基本操作		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、基本操作を憶える。	3 時間
2	講義内容	Java の基本		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,2	復習	プログラムの作成・実行の手順と Java プログラムの基本的な構成を確認する。	2 時間
3	講義内容	定数、変数、データ型、式と演算子		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,2	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成する。	2 時間
4	講義内容	条件分岐(if 文と switch 文)		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,2	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成する。	2 時間
5	講義内容	繰り返し(for 文と while 文)		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,2	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成する。	2 時間
6	講義内容	1 次元配列、2 次元配列		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,2,3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成する。	2 時間
7	講義内容	クラス定義の基本、フィールド、メソッド、インスタンスの生成		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,2,3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成する。	2 時間
8	講義内容	アクセス制限、オーバーロード、コンストラクタ、クラス変数、クラスメソッド		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,2,3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成する。	2 時間
9	講義内容	既存クラスの利用(String, StringBuffer, Integer, Math)、オブジェクトの配列		

	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,2,3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成する。	2 時間
10	講義内容	継承、オーバーライド、Object クラス		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,2,3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成する。	2 時間
11	講義内容	抽象クラス、インターフェイス		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,2,3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成する。	2 時間
12	講義内容	パッケージの作成と利用		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,2,3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成する。	2 時間
13	講義内容	例外処理		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,2,3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成する。	2 時間
14	講義内容	標準入出力とファイル入出力		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1 時間
	1,2,3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成する。	2 時間
15	講義内容	総合演習		
	該当する到達目標	予習	テキストを全体的に見直し、理解の不十分な点をチェックしておく。	1 時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
備考	基本情報技術者試験に対応。 オフィスアワー:前期月曜 2 限、後期火曜 4 限			

科目名	オブジェクトプログラミングⅡ（専門展開科目）	HID336	演習
担当教員	石川 雅弘		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	プログラミング言語 Java を用い、GUI プログラムなどを作成しながらカプセル化、継承、多態性への理解を深め、オブジェクト指向プログラミングのスキルを身に着ける。		
到達目標	1. Java 言語におけるオブジェクト指向の実際を理解する。 2. Java でオブジェクト指向スタイルのプログラムを作成できる。 3. Java 言語で簡単な GUI プログラム、ファイル処理プログラム、ネットワークプログラムなどを作成できる。		

学位授与方針との対応		
		豊かな人間性と幅広い教養
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能
	✓	問題解決力
		コミュニケーションスキル
		生涯学習力

評価方法	課題達成状況(50%)＋試験 (50%)で評価する。
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。
使用教材	「やさしい Java 活用編 第5版」、高橋麻奈著、SB クリエイティブ ISBN-13: 978-4797388275

1	講義内容	Java のクラス、継承、インターフェイス		
	該当する到達目標	予習	オブジェクトプログラミング Ⅰ のテキストを全体的に読み返しておく。	2 時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	1 時間
2	講義内容	スレッド、マルチスレッド、同期		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
3	講義内容	GUI プログラミングの基礎(AWT コンポーネントとイベント処理)		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
4	講義内容	JavaFX による GUI プログラムの基礎(コンポーネントとイベント処理)		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
5	講義内容	マウスイベントとキーイベント、レイアウト、ラベル		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
6	講義内容	ボタン、チェックボックス、ラジオボタン、テキストフィールド		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
7	講義内容	コンボボックス、リストビュー		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
8	講義内容	テーブルビュー		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
9	講義内容	メニューバーとツールバー		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.時間

	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
10	講義内容	アラート、キャンパス		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
11	講義内容	ファイル情報、ファイルチューザー		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
12	講義内容	テキストファイル、バイナリファイル、ランダムアクセス		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
13	講義内容	正規表現		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
14	講義内容	Web ページの読み込みと表示		
	該当する到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
15	講義内容	総合演習		
	該当する到達目標	予習	テキストを全体的に見直し、理解の不十分な点をチェックしておく。	1.時間
	1,2,3	復習	課題プログラムを作成する。	2 時間
備考	基本情報技術者試験に対応。 オブジェクトプログラミング 1を履修済みであることが望ましい。 オフィスアワー:前期月曜 2 限、後期火曜 4 限			

科目名	**病院実習（応用展開科目）**		HIA351	演習
担当教員	木村憲洋、大川喜代美			
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	病院の基本的機能の理解、入院および外来診療録の具体的管理状況の理解、診療録管理部門の病院内で果たしている機能の理解、疾病統計・サマリー等がどのようなものかを学習する。			
到達目標	実習内容は以下のとおりである。 1.病院の基本機能を理解する。 2.入院および外来診療録の具体的管理状況を理解する。 3.診療録管理部門が病院内で果たしている機能を理解する。 4.疾病統計・サマリー等がどのようなものかを具体的に理解する。 5.診療録の量的・質的点検の方法および編綴を実習する。 6.診療録の収納、検索、貸出業務を理解する。 7.傷病名、手術、処置等のコーディングの補助業務を実習する。			
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		
		健康・医療および情報に関する知識・技能		
		問題解決力		
	✓	コミュニケーションスキル		
	✓	生涯学習力		
評価方法	実習報告書の提出（10%）および、実習先病院から返送される診療情報管理病院実習個人評価票（90%）に基づいて評価する。			
課題に対するフィードバック	実習ノートの提出後に実習先病院の担当者よりコメントが記入されて実習生に返却される。			
使用教材	ICD-10 第2巻・第3巻 診療情報管理士テキストⅢ・Ⅳ			
講義内容	各病院の実習担当より、事前訪問時の打ち合わせおよび実習当日に説明がある。			
	予習	診療情報管理士テキストⅢ 6章・7章を読み、病院に必要な法律、実務の知識を再確認しておく。		1 時間
	復習	実習中に担当者から受けた注意や、実習中に質問した事を実習ノートに書く。 最終日に実習ノート10日分を推敲し報告書をまとめる		1 時間
備考	予習復習は毎日行うこと。 実習終了後、コメントを頂いた実習ノート、推敲した内容の印刷したもの、推敲した原稿の電子媒体を提出する。 オフィスアワー 木村：月曜日1時限 大川：月曜と水曜の3限			

科目名	**インターンシップ（応用展開科目）**			HIA352	演習
担当教員	田村 拓郎				
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	社会人としての仕事の取り組み方や就職活動への心構えなどを学び、キャリアデザイン力を向上させることを目的とする。				
到達目標	1. 業界研究等、資料をまとめることができる。 2. 企業人として真摯に職業に取り組む姿についてレポートできる。 3. 自らの職業選択についてデザインできる。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
		問題解決力			
	✓	コミュニケーションスキル			
	✓	生涯学習力			
評価方法	事前学習と事後研修（課題提出、報告会への参加ならびに発表を含む）50%、実地研修（研修先の評価結果を含む）50%で評価する。				
課題に対するフィードバック	事前学習の課題は、授業担当者からのコメントを付して返却する。研修報告会に向けて作成した資料は資料集として当日配布を予定している。				
使用教材	必要に応じて配布。				
講義内容	4 月中旬 概要説明ガイダンス 5 月初旬～7 月中旬 事前研修 夏休み 実地研修（1~2 週間） 10 月中旬 事後研修(研修報告会)				
	予習	実習先に関する予習、実習指導で準備した資料の確認			期間中適宜
	復習	実習先で教わったことの再確認、現場で得た実体験のまとめ、報告会用資料準備			期間中適宜
備考	自力で調査、研究する意欲、粘り強さが必要とされる。 オフィスアワー：月曜日 4 限、金曜日 3 限				

科目名	Web制作演習(応用展開科目)	HIA353	演習
担当教員	長澤 亨、田村 拓郎		
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	ネットワークを通して情報発信する場合、Web 管理システムが用いられる。近年、Web 制作技術を持たない多くの組織が社内で Web サイトの運営をするのが一般的になった。本演習では制作のしやすさ、拡張性の高さからWordPressを用いてWebサイトの制作技術を修得し、企画段階から制作後の運営方法を身に付けることを目的とする。		
到達目標	1.CMS(Contents Management System)について説明できる。 2.Web サイト制作に必要な、企画、制作、運営について説明できる。 3.WordPress のインストールと設定について説明できる。 4.WordPress の基本操作について説明できる。 5.Web サイト制作の基本フローについて説明できる。 6.Web サイトのカスタマイズについて説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決能力	
	✓	コミュニケーションスキル	
	✓	生涯学習力	
評価方法	定期試験50%、課題提出40%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。		
使用教材	小さな会社の WordPress サイト制作・運営ガイド 田中勇輔 翔泳社 ISBN978-4-7981-3229-7 C3055		

1	講義内容	Chapter1 WordPress のすすめ		
	該当する到達目標	予習	Chapter1 WordPress のすすめ	1 時間
	1,2	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
2	講義内容	Chapter2 サイト制作の準備		
	該当する到達目標	予習	Chapter2 サイト制作の準備	1 時間
	1,2	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
3	講義内容	Chapter3 WordPress のインストール		
	該当する到達目標	予習	Chapter3 WordPress のインストール	1 時間
	3	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
4	講義内容	Chapter4 WordPress の基本操作①		
	該当する到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1 時間
	4	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
5	講義内容	Chapter4 WordPress の基本操作②		
	該当する到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1 時間
	4	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
6	講義内容	Chapter4 WordPress の基本操作③		
	該当する到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1 時間
	4	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
7	講義内容	Chapter5 サイト制作の基本フロー		
	該当する到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1 時間

	5	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
8	講義内容	Chapter5 サイト制作の基本フロー		
	該当する到達目標	予習	Chapter5 サイト制作の基本フロー	1 時間
	5	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
9	講義内容	Chapter6 カスタマイズの基本知識		
	該当する到達目標	予習	基本操作を熟読	1 時間
	6	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
10	講義内容	サイト制作演習①		
	該当する到達目標	予習	企画書の作成	1 時間
	3,4,5,6	復習	企画書の完成	1.5 時間
11	講義内容	サイト制作演習②		
	該当する到達目標	予習	制作編①	1 時間
	3,4,5,6	復習	制作作業	1.5 時間
12	講義内容	サイト制作演習③		
	該当する到達目標	予習	制作編②	1 時間
	3,4,5,6	復習	制作作業	1.5 時間
13	講義内容	サイト制作演習④		
	該当する到達目標	予習	制作編③	1 時間
	3,4,5,6	復習	制作作業	1.5 時間
14	講義内容	サイト制作演習⑤		
	該当する到達目標	予習	運営編	1 時間
	3,4,5,6	復習	運営カスタマイズ作業	1.5 時間
15	講義内容	Web 制作演習の総合復習		
	該当する到達目標	予習	全体を見直しておく	1 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	総合的に復習する	1.5 時間
備考	オフィスアワー：月曜日の 1 時限、3 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス：nagasawa@takasaki-u.ac.jp 研究室：1 号館 6 階608 予習復習の不足分は、試験前の学習で補うこと。			

科目名	**特別ゼミ(応用展開科目)**			HIA354	演習
担当教員	医療情報学科全教員				
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	これまで培ってきた専門的な知識を生かし、先進的なテーマに積極的に取り組み、チーム学習や共同研究、開発を行い、コミュニケーション力を付けるとともに、応用力や論理的な思考能力を養い、社会への適応性、人間力としての生きる力を涵養し、継続的に学修する習慣を身につける。				
到達目標	1.コミュニケーション力を身につけている。 2.論理的な思考を身につけている。 3.チームをまとめ、調整する能力を身につけている。 4.資料を収集し、まとめ、プレゼンテーションする能力を身につけている。 5.継続的に学修する習慣を身につけている。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			
	✓	問題解決能力			
	✓	コミュニケーションスキル			
	✓	生涯学習力			
評価方法	テーマの達成度、テーマへの参加度などで総合的に評価する。(詳細は各教員がガイダンスで説明する)				
課題に対するフィードバック	レポートや課題には、返却時にコメントを付けて返却する。				
使用教材	使用教材は、テーマにより異なるため、開講期のテーマ掲示時に指定する。				
講義内容	医療情報教員により、提案される様々なテーマに対して、学生が選択して、積極的に学んでいくワークショップ型の学修形態である。テーマの例として、「深層学習の応用、ロボットの活用、スマートフォン用アプリケーション開発、VR の活用、応用情報の試験対策、ネットワーク技術(CCNA)の修得、医療情報技師の学習、安全確保支援士の学修、ポケットコンピュータラズベリーの応用、Web サーバの構築、ビッグデータ解析、人工知能の応用」など様々である。				
	予習	各テーマ内容によって、課される内容が異なるため、指導教員の指示に従って予習を行うこと。			合計 15 時間
	復習	各テーマの指導教員が課題を課するため、その指示に従って復習する。			合計 22.5 時間
備考	オフィスアワー、連絡先、研究室等は、各指導教員がガイダンス時に説明する。				

科目名	**情報演習Ⅲ（応用展開科目）**	HIA355	演習
担当教員	長澤 亨、中村 賢治		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	わが国では医療情報システムの導入が進み、医療政策の上でも情報化の重要性が明文化され、医療情報化には専門的人材の養成が必須である。保健医療分野の情報化にむけてのグランドデザインにそのことが記されている。本演習では医療情報技師の資格を取るために必要な医療情報システムに関する知識を修得する。		
到達目標	1.医療情報の特性と医療情報システムを説明できる。 2.医療を支える情報システムの構成を説明できる。 3.病院情報システムの機能を説明できる。 4.病院情報システムの導入を説明できる。 5.病院情報システムの運用を説明できる。 6.病院情報システムの評価と改善で説明できる。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決能力	
		コミュニケーションスキル	
	✓	生涯学習力	
評価方法	定期試験50%、課題提出40%、授業の参加度10%で評価する。総合評価60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。		
使用教材	教科書:医療情報第 5 班医療情報システム編 篠原出版 ISBN978-4-88412-387-1 C3047		

1	講義内容	ガイダンス 第 1 章医療情報の特性と医療情報システム 1.1 医療情報の特性		
	該当する到達目標	予習	1.1 医療情報の特性を熟読する。	1 時間
	1	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
2	講義内容	第 1 章医療情報の特性と医療情報システム 1.2 医療情報化の目的とその変遷		
	該当する到達目標	予習	1.2 医療情報化の目的とその変遷を熟得する。	1 時間
	1	復習	演習問題の解答を作成する	1.5 時間
3	講義内容	第 1 章医療情報の特性と医療情報システム 1.3 医療情報倫理		
	該当する到達目標	予習	1.3 医療情報倫理を熟得する。	1 時間
	1	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
4	講義内容	第 2 章医療を支える情報システムの構成 2.1 医療情報化の基礎 2.2 診療所の情報システム		
	該当する到達目標	予習	2.1 医療情報化の基礎と 2.2 診療所の情報システムを熟読する。	1 時間
	2	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
5	講義内容	第 2 章医療を支える情報システムの構成 2.3 病院情報システム 2.4 遠隔医療システム		

	該当する到達目標 2	予習	2.3 病院情報システムと 2.4 遠隔医療システムを熟読する。	1 時間
		復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
6	講義内容	第 2 章医療を支える情報システムの構成 2.5 医療を支える情報システムの構成 2.6 地域医療連携情報システム		
	該当する到達目標 2	予習	2.5 医療を支える情報システムの構成と 2.6 地域医療連携情報システムを熟読する。	1 時間
		復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
7	講義内容	第 3 章病院情報システムの機能 3.1 病院管理系の情報システム 3.2 中央診療部門系の情報システム		
	該当する到達目標 3	予習	3.1 病院管理系の情報システムと 3.2 中央診療部門系の情報システムを熟読する。	1 時間
		復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
8	講義内容	第 3 章病院情報システムの機能 3.3 歯科・口腔領域の情報システムの特集 3.4 各科で行う検査・処置に関する情報システム 3.5 入院運用系の情報システム		
	該当する到達目標 3	予習	3.3 歯科・口腔領域の情報システムの特集、3.4 各科で行う検査・処置に関する情報システムと 3.5 入院運用系の情報システムを熟読する。	1 時間
		復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
9	講義内容	第 4 章病院情報システムの導入 4.1 病院情報システムの導入戦略 4.2 病院情報システムの導入プロジェクシクト		
	該当する到達目標 4	予習	4.1 病院情報システムの導入戦略と 4.2 病院情報システムの導入プロジェクシクトを熟読する。	1 時間
		復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
10	講義内容	第 4 章病院情報システムの導入 4.3 病院情報システム導入に関わる組織体制 4.4 組織間の調整		
	該当する到達目標 4	予習	4.3 病院情報システム導入に関わる組織体制と 4.4 組織間の調整を熟読する。	1 時間
		復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
11	講義内容	第 5 章病院情報システムの運用 5.1 運用のための組織体制 5.2 医療情報システムの安全管理に関するガイドライン		
	該当する到達目標 5	予習	5.1 運用のための組織体制と 5.2 医療情報システムの安全管理に関するガイドラインを熟読する。	1 時間
		復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
12	講義内容	第 5 章病院情報システムの運用 5.3 医療情報に関するその他のガイドライン 5.4 病院情報システム運用管理規程		
	該当する到達目標 5	予習	5.3 医療情報に関するその他のガイドラインと 5.4 病院情報システム運用管理規程を熟読する。	1 時間
		復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
13	講義内容	第 5 章病院情報システムの運用		

		5.5 病院情報システムの運用管理 5.6 利用者教育		
	該当する到達目標	予習	5.5 病院情報システムの運用管理と 5.6 利用者教育を熟読する。	1 時間
	5	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
14	講義内容	第 6 章病院情報システムの評価と改善 6.1 病院情報システム評価 6.2 病院情報システムの監査 6.3 継続的な病院情報システム改善		
	該当する到達目標	予習	6.1 病院情報システム評価、6.2 病院情報システムの監査と 6.3 継続的な病院情報システム改善を熟読する。	1 時間
	6	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
15	講義内容	第 1 章～第 6 章までの復習		
	該当する到達目標	予習	第 1 章～第 6 章までを再度熟度する。	1 時間
	6	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー：月曜日の 1 時限、3 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス：nagasawa@takasaki-u.ac.jp 研究室：1 号館 6 階608 予習復習の不足分は、試験前の学習で補うこと。			

科目名	**情報演習Ⅳ（応用展開科目）**			HIA356	演習
担当教員	長澤 亨、中村 賢治				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	わが国では医療情報システムの導入が進み、医療政策の上でも情報化の重要性が明文化され、医療情報化には専門的人材の養成が必須である。保健医療分野の情報化にむけてのグランドデザインにそのことが記されている。本演習では医療情報技師の資格を取るために必要な医療情報システムに関する知識を修得する。				
到達目標	1.医療情報の特性と医療情報システムを説明できる。 2.医療を支える情報システムの構成を説明できる。 3.病院情報システムの機能を説明できる。 4.病院情報システムの導入を説明できる。 5.病院情報システムの運用を説明できる。 6.病院情報システムの評価と改善で説明できる 7.医療情報の標準化 8.医療情報技師の 3C を支える手法・スキル 9 医療情報分野の将来.				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			
	✓	問題解決能力			
		コミュニケーションスキル			
	✓	生涯学習力			
評価方法	定期試験50%、課題提出40%、授業の参加度10%で評価する。総合評価60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。				
使用教材	教科書:医療情報第 5 班医療情報システム編 篠原出版 ISBN978-4-88412-387-1 C3047				
1	講義内容	ガイダンス 第 7 章医療情報の標準化 7.1 標準化の目的と意義 7.2 標準の統一に関わる団体とその役割			
	該当する到達目標 7	予習	7.1 標準化の目的と意義と 7.2 標準の統一に関わる団体とその役割を熟読する。		1 時間
		復習	演習問題の解答を作成する。		1.5 時間
2	講義内容	第 7 章医療情報の標準化 7.3 医療情報のコンテンツに関わる標準化 7.4 医療情報交換規約の標準化			
	該当する到達目標 7	予習	7.3 医療情報のコンテンツに関わる標準化と 7.4 医療情報交換規約の標準化を熟読する。		1 時間
		復習	演習問題の解答を作成する。		1.5 時間
3	講義内容	第 7 章医療情報の標準化 7.5 相互運用性確保のための標準化 7.6 国が推奨する標準化			
	該当する到達目標 7	予習	7.5 相互運用性確保のための標準化と 7.6 国が推奨する標準化を熟読する。		1 時間
		復習	演習問題の解答を作成する。		1.5 時間
4	講義内容	第 8 章医療情報技師の3C を支える手法・スキル			

		8.1 医療情報技師の3C		
	該当する到達目標	予習	8.1 医療情報技師の3C を熟読する。	1 時間
	8	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
5	講義内容	第 8 章医療情報技師の3C を支える手法・スキル 8.2(発展)リーダシップ		
	該当する到達目標	予習	8.2 発展)リーダシップを熟読する。	1 時間
	8	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
6	講義内容	第 8 章医療情報技師の3C を支える手法・スキル 8.3(発展)マネージメント		
	該当する到達目標	予習	8.3(発展)マネージメントを熟読する。	1 時間
	8	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
7	講義内容	第 9 章医療情報分野の将来 9.1 海外の動向		
	該当する到達目標	予習	9.1 海外の動向を熟読する。	1 時間
	9	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
8	講義内容	第 9 章医療情報分野の将来 9.2 我が国の医療分野における情報政策と動向		
	該当する到達目標	予習	9.2 我が国の医療分野における情報政策と動向を熟読する。	1 時間
	9	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
9	講義内容	医療情報技師試験対策①		
	該当する到達目標	予習	第 1 章・第 2 章を再読する。	1 時間
	1,2	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
10	講義内容	医療情報技師試験対策②		
	該当する到達目標	予習	第 3 章・第 4 章を再読する。	1 時間
	3,4	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
11	講義内容	医療情報技師試験対策③		
	該当する到達目標	予習	第 5 章・第 6 章を再読する。	1 時間
	5,6	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
12	講義内容	医療情報技師試験対策④		
	該当する到達目標	予習	第 7 章・第 8 章を再読する。	1 時間
	7,8	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
13	講義内容	医療情報技師試験対策⑤		
	該当する到達目標	予習	第 9 章を再読する。	1 時間
	9	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
14	講義内容	医療情報技師試験対策⑥		
	該当する到達目標	予習	知識が十分でない部分を再度学修する。	1 時間
	1～9	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
15	講義内容	総合問題対策		
	該当する到達目標	予習	苦手な部分を再度学修する。	1 時間
	1～9	復習	演習問題の解答を作成する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー:月曜日の 1 時限、3 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス:nagasawa@takasaki-u.ac.jp 研究室:1 号館 6 階608 予習復習の不足分は、試験前の学習で補うこと。			

科目名	診療情報演習Ⅲ（応用展開科目）	HIA357	演習
担当教員	大川 喜代美		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	診療情報管理士認定試験合格のため、分類法およびコーディングについてより深い知識を習得する。 診療情報『管理士テキストの『専門・診療情報管理』について良く理解し、問題集を全て正解する。		
到達目標	1. テキスト診療情報管理（専門課程編）分類法 要約症例（サマリー）の主要病態の正しい選択、および正確なコーディング 2. 模擬試験		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	授業への参加度 90%（原則欠席不可）、課題完成 10%		
課題に対するフィードバック	次回の課題プリントを配布する。翌週課題の解答および解説をする。 模擬テストの実施により、不得意問題を把握し、個別に指導する。		
使用教材	診療情報管理士テキスト診療情報管理（専門課程編）下巻、診療情報管理士教育問題集専門・分類法編、ICD-10(2013 年版)第1巻・第3巻		

1	講義内容	第Ⅰ章、第Ⅲ章		
	該当する到達目標 1	予習	診療情報管理士テキスト（専門課程編）分類法の症例を読み、主傷病名を選択する方法を予習する。	1 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
2	講義内容	第Ⅳ章、第Ⅴ章		
	該当する到達目標 1	予習	配布した第Ⅳ章、第Ⅴ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
3	講義内容	第Ⅵ章、第Ⅶ章		
	該当する到達目標 1	予習	配布した第Ⅵ章、第Ⅶ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
4	講義内容	第Ⅷ章、第Ⅸ章		
	該当する到達目標 1	予習	配布した第Ⅷ章、第Ⅸ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
5	講義内容	第Ⅹ章、第Ⅺ章		
	該当する到達目標 1	予習	配布した第Ⅹ章、第Ⅺ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
6	講義内容	第Ⅻ章、第Ⅱ①章		
	該当する到達目標 1	予習	配布した第Ⅻ章、第Ⅱ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
7	講義内容	第Ⅱ章②		
	該当する到達目標	予習	配布した第Ⅱ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間

	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
8	講義内容	第Ⅹ Ⅲ章、第Ⅹ Ⅳ章		
	該当する到達目標 1	予習	配布した第Ⅹ Ⅲ章、第Ⅹ Ⅳ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
		復習	第Ⅹ Ⅲ章、第Ⅹ Ⅳ章の授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
9	講義内容	第Ⅹ Ⅴ章、第Ⅹ Ⅵ章		
	該当する到達目標 1	予習	配布した第Ⅹ Ⅴ章、第Ⅹ Ⅵ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
10	講義内容	第Ⅹ Ⅶ章、第Ⅹ Ⅷ章		
	該当する到達目標 1	予習	配布した第Ⅹ Ⅶ章、第Ⅹ Ⅷ の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
11	講義内容	第Ⅹ Ⅸ章、 第ⅩⅩ章		
	該当する到達目標 1	予習	配布した第Ⅹ Ⅸ章、 第ⅩⅩ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
12	講義内容	第Ⅹ Ⅺ章 原死因		
	該当する到達目標 1	予習	配布した第Ⅹ Ⅺ章 原死因の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
13	講義内容	原死因		
	該当する到達目標 1	予習	配布した原死因要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
14	講義内容	過去問模擬試験		
	該当する到達目標 1	予習	前回までの問題と解説を読み返し模擬試験に備える。	1 時間
		復習	授業での模試の解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
15	講義内容	第1回業者模試		
	該当する到達目標 2	予習	分類法コーディングで不得意な章の解答・解説を読み返し模擬試験に備える。	1 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1.5 時間
備考	授業の欠席は原則として不可。病院実務に備えて健康管理を徹底する。 オフィスアワー：月曜と水曜の3限。質問はメールでも可能。 E-mail:okawa-ki@takasaki-u.ac.jp 研究室：1号館6階 609 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	診療情報演習Ⅳ（応用展開科目）	HIA358	演習
担当教員	大川 喜代美		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	診療情報管理士認定試験合格のため、国際疾病分類の理解とサマリー問題の演習を行い、コーディングの精度を上げることを目標とする。		
到達目標	1.診療情報管理士教育問題集 分類法第 1 章～第21章解答および理解。 2.診療情報管理士教育問題集 国際疾病分類概論の解答および理解。 3.模擬試験		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
		コミュニケーションスキル	
		生涯学習力	
評価方法	授業への参加度 90%（原則欠席不可）、課題完成 10%		
課題に対するフィードバック	問題集の次回授業予定を課題とし、授業時間に解答の解説をする。 模擬テストの実施により、不得意問題を把握し、個別に指導する。		
使用教材	診療情報管理士テキスト診療情報管理（専門課程編）下巻、診療情報管理士教育問題集専門・分類法編、ICD-10(2013 年版)第1巻・第3巻		

1	講義内容	第Ⅰ章、第Ⅲ章		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅰ章、第Ⅲ章の問題を解く。	1 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
2	講義内容	第Ⅳ章、第Ⅴ章		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅳ章、第Ⅴ章の問題を解く。	1 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
3	講義内容	第Ⅵ章、第Ⅶ章		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅵ章、第Ⅶ章の問題を解く。	1 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
4	講義内容	第Ⅷ章、第Ⅸ章		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅷ章、第Ⅸ章の問題を解く。	1 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
5	講義内容	第Ⅹ章、第Ⅺ章		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅹ章、第Ⅺ章の問題を解く。	1 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
6	講義内容	第Ⅻ章、第Ⅱ章①		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅻ章、第Ⅱ章の問題を解く。	1 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
7	講義内容	第Ⅱ章②		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅱ章の問題を解く。	1 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
8	講義内容	第ⅩⅢ章、第ⅩⅣ章		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第ⅩⅢ章、第ⅩⅣ章の問題を解く。	1 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
9	講義内容	第ⅩⅤ章、第ⅩⅥ章		

	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第ＸⅤ章、第ＸⅥ章の問題を解く。	1 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
10	講義内容	第ＸⅦ章、第ＸⅧ章		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第ＸⅦ章、第ＸⅧ章の問題を解く。	1 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
11	講義内容	第ＸⅨ章、 第ＸＸ章		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第ＸⅨ章、第ＸＸ章の問題を解く。	1 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
12	講義内容	第ＸＸⅠ章 原死因		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第ＸＸⅠ章の問題を解く。	1 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
13	講義内容	原死因		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編原死因の問題を解く。	1 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
14	講義内容	第7章 国際疾病分類概論		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第 1 章国際疾病分類概論の問題を解く。	1 時間
	2	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
15	講義内容	第1回業者模試		
	該当する到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編のポイントを振り返り理解する	1 時間
	3	復習	授業での解答・解説を良く読理解する。	1.5 時間
備考	授業の欠席は原則として不可。病院実務を考えて健康管理を徹底する オフィスアワー：月曜と水曜の3限。質問はメールでも可能。 E-mail:okawa-ki@takasaki-u.ac.jp 研究室：1号館6階 609 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	**チーム医療アプローチ演習（応用展開科目）**		HIA359	演習
担当教員	各学科担当教員			
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 1 単位	
講義目標	チーム医療が必要な事例を用いて、福祉・医療系の各専門職の役割・活動および患者、家族に必要な福祉・医療活動について検討する。さらにチーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性、および専門職の連携の課題について学ぶ。			
到達目標	1.各専門職の役割と活動について理解できる。 2.患者・家族に必要な福祉・医療活動が理解できる。 3.チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性が理解できる。 4.チーム医療における専門職の連携を促進するための課題を考察できる。			
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	✓	問題解決力		
	✓	コミュニケーションスキル		
	✓	生涯学習力		
評価方法	演習参加への積極性 20%、レポート 50% 、グループ発表の内容 30%の総合評価			
課題に対するフィードバック	模擬症例検討を行う際には教員がファシリテートし、グループごとに結果をまとめて発表させ、それに対して教員と他チームの学生による検討を行いフィードバックする。			
使用教材	関連する資料を随時プリントして配布する。			

1	講義内容	ガイダンス / チーム医療アプローチについて		
	該当する到達目標	予習	チーム医療について調べておく。	1 時間
	1.2.3.4.	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。	1 時間
2	講義内容	チームビルディング		
	該当する到達目標	予習	専門職について調べておく	1 時間
	1.2.3.4..	復習	チーム内の他職種について学習しておく	1 時間
3	講義内容	模擬症例検討・報告書作成①		
	該当する到達目標	予習	症例解析について学んでおく。	1 時間
	1.2.3.4.	復習	模擬症例について学習する。	1 時間
4	講義内容	模擬症例検討・報告書作成②		
	該当する到達目標	予習	疾病と治療について学習し、専門職としてのかかわり方を学習する。	1 時間
	1.2.3.4.	復習	グループ内で各専門職の観点から模擬症例を読み合わせておく。	1 時間
5	講義内容	模擬症例検討・報告書作成③		
	該当する到達目標	予習	疾病と治療について学習し、各専門職のかかわり方を学習する。	1 時間
	1.2.3.4.	復習	グループ内で専門職の役割と活動について意見交換をし学習を深める。	1 時間
6	講義内容	発表・フィードバック①		
	該当する到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1 時間
	1.2.3.4.	復習	発表された各症例について復習しておく。	1 時間
7	講義内容	発表・フィードバック②		
	該当する到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1 時間
	1.2.3.4.	復習	発表された各症例について復習しておく。	1 時間
8	講義内容	発表・フィードバック③		
	該当する到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1 時間
	1.2.3.4.	復習	発表された各症例について復習しておく。	1 時間

備考	・オフィスアワー: 担当教員がガイダンスで知らせる。

科目名	SPI講座Ⅰ（非言語能力Ⅰ）（応用展開科目）	HIA360	演習
担当教員	石田 正史		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	必修 1 単位
講義目標	SPIは、あらゆる職業に共通して求められる潜在的な業務遂行能力、職業適性や性格等の検査である。これらの能力が人材の能力適性検査の基準とされている。能力適性検査は「言語能力」と「非言語能力」から成るが、本講座では後者を扱う。非言語能力に関する領域において、企業との能力適性検査に円滑かつスピーディーに解答ができる力を修得する。		
到達目標	1.演習を通して、数理的な思考能力を身につける。 2.演習を通して、数理的な処理能力を身につける。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	✓ 健康・医療および情報に関する知識・技能		
	✓ 問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	授業への参加・貢献 10%、自宅学習の状況 10%、授業中に実施する小テスト 20%、期末試験 60%で総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。		
使用教材	講師作成テキスト		

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	シラバスに目を通しておく	1 時間
	1,2	復習	テキストに目を通す。	1 時間
2	講義内容	基礎計算①分数、正負の加減乗除、公約数、公倍数		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
3	講義内容	基礎計算②方程式、不等式等の計算		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
4	講義内容	鶴亀算、年齢算、植木算		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1.時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
5	講義内容	速さ①速さ、平均の速さ、旅人算		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1.時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
6	講義内容	速さ②流水算、通過算、時計算		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
7	講義内容	仕事算・給排水算		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
8	講義内容	濃度		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
9	講義内容	歩合算、割合		

	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
10	講義内容	図形①平面図形と計量		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
11	講義内容	図形②立体図形と計量		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
12	講義内容	空間把握（軌跡、折り紙、展開図など）		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
13	講義内容	場合の数・確率①場合の数、順列、組合せ		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
14	講義内容	場合の数・確率②確率		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
15	講義内容	規則性の発見（数列、魔方陣）		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー：木曜日の4時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「ishida1206@hb.tp1.jp」 1号館一階非常勤講師控室			

科目名	SPI講座Ⅱ（非言語能力Ⅱ）（応用展開科目）		HIA361	演習
担当教員	石田 正史			
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位	
講義目標	SPIは、あらゆる職業に共通して求められる潜在的な業務遂行能力、職業適性や性格等の検査である。これらの能力が人材の能力適性検査の基準とされている。能力適性検査は「言語能力」と「非言語能力」から成るが、本講座では後者を扱う。非言語能力に関する領域において、企業との能力適性検査に円滑かつスピーディーに解答ができる力を修得する。			
到達目標	1.演習を通して、数理的な思考能力を身につける。 2.演習を通して、数理的な処理能力を身につける。			
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	✓	問題解決力		
		コミュニケーションスキル		
		生涯学習力		
評価方法	授業への参加・貢献 10%、自宅学習の状況 10%、授業中に実施する小テスト 20%、期末試験 60%で総合的に評価する。			
課題に対するフィードバック	単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。			
使用教材	講師作成テキスト			

1	講義内容	記数法		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1, 2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
2	講義内容	演算、虫食い算		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1, 2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
3	講義内容	矢印問題（PERT法、ブラックボックス、物流と比率）		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1, 2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
4	講義内容	グラフとその領域（一次関数、二次関数、分数関数）		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1, 2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
5	講義内容	判断推理①論理		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1, 2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
6	講義内容	判断推理②集合		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1, 2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
7	講義内容	判断推理③文章推理		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1, 2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
8	講義内容	判断推理④順序、位置・方位		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1, 2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間

9	講義内容	資料①分布図、構成比		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1, 2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
10	講義内容	資料②指数、増加率		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1, 2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
11	講義内容	物理①電気回路		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1, 2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
12	講義内容	物理②運動力学		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1, 2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
13	講義内容	物理③てこ、滑車		
	該当する到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1, 2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
14	講義内容	SPI非言語分野模擬試験		
	該当する到達目標	予習	テキスト全体を見直す。	1 時間
	1, 2	復習	模擬試験を見直す。	1 時間
15	講義内容	総まとめ		
	該当する到達目標	予習	テキスト全体を見直す	1 時間
	1, 2	復習	テキストで不得意分野を見直す。	1 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 オフィスアワー：木曜日の 4 時限、質問はメールでも受け付ける。 メールアドレス「ishida1206@hb.tp1.jp」 1号館一階非常勤講師控室			

科目名	SPI講座Ⅲ（言語能力Ⅰ）（応用展開科目）	HIA362	演習
担当教員	根本 敬彦		
学年・開講期	3年 前期	必選・単位数	必修 1単位
講義目標	SPI の言語能力の各分野を網羅的に学習し、言語能力検査の出題傾向に即した問題演習を反復することによって、「就職力」の向上を図ることを目的とする。SPI の能力適性検査の成績による「足切り」の増加という事態を踏まえ、年々SPI のスコアが上昇傾向にあるだけに、80%以上の正答率をあげることによる言語分野の攻略のために、実践的な知識・問題対応力の修得を目標とする。		
到達目標	1. 語句の意味に関する多様な出題を検討し、理解できる。 2. 語句の知識に関する多様な出題を検討し、理解できる。 3. 文章読解に関する多様な出題を検討し、理解できる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	定期試験70%、小テスト（3回）30%で評価する。 総合評価60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	小テストについては、実施後出題内容の重要ポイントについて解説する。		
使用教材	毎回事前に、要点整理および問題演習のための自己作成プリントを配布する。		

1	講義内容	言語能力の向上 ― ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読み、言語分野克服のための要点を理解する。	0.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法について確認する。	0.5 時間
2	講義内容	同義語・類義語		
	該当する到達目標 1	予習	事前配布プリントによって、同義語・類義語の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	同義語・類義語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
3	講義内容	対義語・反対語		
	該当する到達目標 1	予習	事前配布プリントによって、対義語・反対語の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	対義語・反対語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
4	講義内容	言葉の対応関係 (1) ― 包含関係・行為関係		
	該当する到達目標 1	予習	事前配布プリントにより、包含関係・行為関係の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	包含関係・行為関係の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
5	講義内容	言葉の対応関係 (2) ― 原料関係・用途関係		
	該当する到達目標 1	予習	事前配布プリントにより、原料関係・用途関係の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	原料関係・用途関係の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
6	講義内容	同音異義語・同訓異字		
	該当する到達目標 2	予習	事前配布プリントにより、同音異義語・同訓異字の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	同音異義語・同訓異字の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
7	講義内容	同音異字・同訓異義語		
	該当する到達目標 2	予習	事前配布プリントにより、同音異字・同訓異義語の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	同音異字・同訓異義語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
8	講義内容	ことわざ・慣用句・故事成語		

	該当する到達目標 2	予習	事前配布プリントにより、ことわざ・慣用句・故事成語の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	ことわざ・慣用句・故事成語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
9	講義内容	三字熟語・四字熟語		
	該当する到達目標 2	予習	事前配布プリントにより、三字熟語・四字熟語の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	三字熟語・四字熟語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
10	講義内容	その他・語句の知識(敬語・難解語句・文法・誤記しやすい字)		
	該当する到達目標 2	予習	事前配布プリントにより、その他・語句の知識の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	その他・語句の知識の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
11	講義内容	文章読解 (1) ー 要旨把握・内容合致		
	該当する到達目標 3	予習	事前配布プリントにより、要旨把握・内容合致問題の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	要旨把握・内容合致問題の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
12	講義内容	文章読解 (2) ー 文章整序		
	該当する到達目標 3	予習	事前配布プリントにより、文章整序問題の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	文章整序問題の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
13	講義内容	文章読解 (3) ー 空欄補充		
	該当する到達目標 3	予習	事前配布プリントにより、空欄補充問題の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	空欄補充問題の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
14	講義内容	文章読解 (4) ー 特定語理解		
	該当する到達目標 3	予習	事前配布プリントにより、特定語理解の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	特定語理解の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
15	講義内容	総合問題演習・解説		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	当該科目の既習内容の確認をする。	0.5 時間
		復習	総合問題演習の解説を踏まえ、要点を確認する。	0.5 時間
備考	実践的な「就職力」の向上を目的とする科目であることを十二分に自覚し、授業には積極的に取り組み、また授業内容の定着度を高めるため、とくに復習は重要視すること。 授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。			

科目名	SPI講座Ⅳ（言語能力Ⅱ）（応用展開科目）	HIA363	演習
担当教員	根本 敬彦		
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	必修 1 単位
講義目標	SPI の一般常識問題のうち、主に人文科学分野の各科目の頻出テーマの出題傾向に即した問題演習を反復することによって、「就職力」の向上を図ることを目的とする。SPI の能力適性検査の成績による「足切り」の増加という事態を踏まえ、年々SPI のスコアが上昇傾向にあるだけに、80%以上の正答率をあげるために、実践的な知識・問題対応力の修得を目標とする。		
到達目標	1. 日本史に関する多様な出題を検討し、理解できる。 2. 世界史に関する多様な出題を検討し、理解できる。 3. 地 理に関する多様な出題を検討し、理解できる。		
学位授与方針との対応	✓ 豊かな人間性と幅広い教養		
	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	問題解決力		
	コミュニケーションスキル		
	生涯学習力		
評価方法	定期試験70%、小テスト（3回）30%で評価する。 総合評価60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	小テストについては、実施後出題内容の重要ポイントについて解説する。		
使用教材	毎回事前に、要点整理および問題演習のための自己作成プリントを配布する。		

1	講義内容	日本史 （1） ― 律令国家の形成と衰退		
	該当する到達目標 1	予習	事前配布プリントにより、律令国家の形成と衰退についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	律令国家の形成と衰退についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
2	講義内容	日本史 （2） ― 中世の政治と経済		
	該当する到達目標 1	予習	事前配布プリントにより、中世の政治と経済についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	中世の政治と経済についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
3	講義内容	日本史 （3） ― 近世の政治と経済		
	該当する到達目標 1	予習	事前配布プリントにより、近世の政治と経済についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	近世の政治と経済についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
4	講義内容	日本史 （4） ― 近現代の政治と社会		
	該当する到達目標 1	予習	事前配布プリントにより、近現代の政治と社会についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	近現代の政治と社会についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
5	講義内容	世界史 (1) ― ヨーロッパ世界の形成		
	該当する到達目標 2	予習	事前配布プリントにより、ヨーロッパ世界の形成についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	ヨーロッパ世界の形成についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
6	講義内容	世界史 (2) ― 近代ヨーロッパ世界の成立		
	該当する到達目標 2	予習	事前配布プリントにより、近代ヨーロッパ世界の成立についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	近代ヨーロッパ世界の成立についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
7	講義内容	世界史 (3) ― 市民社会の成長		
	該当する到達目標	予習	事前配布プリントにより、市民社会の成長についての出題形式を認識し、概要を	0.5 時間

	2		知る。	
		復習	市民社会の成長についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
8	講義内容	世界史 (4) 中国史二つの世界大戦		
	該当する到達目標 2	予習	事前配布プリントにより、二つの世界大戦についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	二つの世界大戦についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
9	講義内容	世界史 (5) ー 中国史		
	該当する到達目標 2	予習	事前配布プリントにより、中国史についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	中国史についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
10	講義内容	地理 (1) ー 気候・植生・土壌		
	該当する到達目標 3	予習	事前配布プリントにより、気候・植生・土壌についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	気候・植生・土壌についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
11	講義内容	地理 (2) ー 農牧業		
	該当する到達目標 3	予習	事前配布プリントにより、農牧業についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	農牧業についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
12	講義内容	地理 (3) ー エネルギー資源・鉱物資源		
	該当する到達目標 3	予習	事前配布プリントにより、エネルギー資源・鉱物資源についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	エネルギー資源・鉱物資源についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
13	講義内容	地理 (4) ー 世界各国地誌		
	該当する到達目標 3	予習	事前配布プリントにより、世界各国地誌についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	世界各国地誌についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
14	講義内容	地理 (5) ー 環境問題		
	該当する到達目標 3	予習	事前配布プリントにより、環境問題についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
		復習	環境問題についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
15	講義内容	総合問題演習・解説		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	当該科目の既習内容の確認をする。	0.5 時間
		復習	総合問題演習の解説を踏まえ、要点を確認する。	0.5 時間
備考	実践的な「就職力」の向上を目的とする科目であることを十二分に自覚し、授業には積極的に取り組み、また授業内容の定着度を高めるため、とくに復習は重要視すること。 授業日の授業開始前もしくは終了後に教室等で質問に応じます。			

科目名	**医療情報ゼミ（応用展開科目）**			HIA364	講義
担当教員	学科全教員				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	必修 2単位		
講義目標	専門導入科目、専門基幹科目、専門展開科目を踏まえて、実践的な応用を通じで、医療と情報に関する理解を深めることを講義目標とする。				
到達目標	医療系資格を優先的に取得する学び方をする学生には、医療現場における基礎的な知識として、「医療事務管理士」に合格できるレベルであること。情報系資格を優先的に取得する学び方をする学生には、情報現場における基礎的な知識として、「IT パスポート」に合格できるレベルであること、すでに合格している学生にとっては、上位の資格を目指す。また、四年次の卒業研究に繋ぐための各テーマに沿った基礎的な知識を修得する。さらに、就職活動を通じて、企業研究、自己鍛錬など、エントリーにおける文書化、自己アピールなどができる素養を身に付けること。				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			
		健康・医療および情報に関する知識・技能			
	✓	問題解決力			
		コミュニケーションスキル			
		生涯学習力			
評価方法	参加度（30%）、期末試験（40%）、外部試験（30%）により総合的に評価する。 医療系資格を優先的に取得する学び方の学生は「医療事務管理士」、情報系資格を優先的に取得する学び方の学生は「IT パスポート」の試験に合格すること。				
課題に対するフィードバック	模擬試験に関しては答案を返却し解説する。卒論テーマに関するレポートでは、内容を精査し訂正やアドバイスを付加して返却する。また、就活に関する自己アピール等の文章に関しては、添削指導を行う。				
使用教材	教員が、必要に応じて作成し配布する。				
講義内容	各学生が希望するゼミに分かれ、到達目標に沿って、様々な知識を修得するとともに、卒業研究に必要な基礎的な知識の修得、就活に必要な知識を学び、円滑な卒業研究と就活ができるように研鑽する。進め方は、各教員が学生の状況と卒業研究のテーマを勘案して、適切な時間配分で講義を進める。				
	予習	各教員が必要に応じて予習内容を知らせる			期間中適宜
	復習	各教員が必要に応じて予習内容を知らせる			期間中適宜
備考	アフィスアワーや連絡先は、各教員が最初のゼミにて示す。				

科目名	**医療情報学総合演習（応用展開科目）**	HIA365	演習
担当教員	医療情報学科教員全員		
学年・開講期	4 年 前期	必選・単位数	必修 2 単位
講義目標	これまでに学んできた健康医療の専門知識と情報のスキルをベースに、本演習では健康医療分野での現実の課題と情報技術を有機的に結び付け問題解決能力を養い、社会の一員として活躍できる力を身に付ける。		
到達目標	1.我が国の健康医療を取り巻く状況や課題を理解し、それら課題の有力な解決手段の1つとしてこれまでに学んできた情報技術を捉える。 2.健康医療分野に情報技術が活かされている具体的事例を理解する。		
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	✓	問題解決力	
	✓	コミュニケーションスキル	
	✓	生涯学習力	
評価方法	期末レポート課題により評価する。60%以上で合格。		
課題に対するフィードバック	オムニバス形式の演習科目なので、その都度担当教員が課題を出しフィードバックを行う。		
使用教材	各担当教員自作資料		

1	講義内容	最先端医療（小澤）		
	該当する到達目標	予習	幹細胞とはどのようなものかについて基礎的知識を得ておくこと。	0.5 時間
	1,2	復習	日本発の最先端医療として、iPS 細胞の活用の展望と重粒子線がん治療の成果の概要を理解する。	1 時間
2	講義内容	医療経営（木村憲）		
	該当する到達目標	予習	病院経営について基本的な事項について調べてみる。	0.5 時間
	1	復習	病院経営における経営資源と特徴について講義で聞いたことを整理する。	1 時間
3	講義内容	医療経済（町田）		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布する資料・データに目を通し理解しておく。	1 時間
	1	復習	日本の医療政策について理解を深め、海外との比較ができるようにする。	1.5 時間
4	講義内容	医療倫理（大石）		
	該当する到達目標	予習	「医療倫理の四原則」について調べておく。	1 時間
	1	復習	配布資料を読み返し、ケーススタディについてさらに考察する。	1.5 時間
5	講義内容	医療の情報化（松尾）		
	該当する到達目標	予習	参照フォルダのパワーポイント資料に目を通しておく。	1 時間
	1,2	復習	健康医療ビッグデータの処理例について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	医療情報の標準化（東福寺）		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
	1,2	復習	当日配布した課題についてレポートを作成し、教務課に提出する。	2.5 時間
7	講義内容	災害時における事務職の役割（大川）		
	該当する到達目標	予習	チーム医療での診療情報管理士の役割と病院事務職について調べておく。	1 時間
	1	復習	配布資料を読み返し、理解を深める。	1 時間
8	講義内容	医療統計の実際（石川）		
	該当する到達目標	予習	3 年生までに学習した基礎的な統計学を復習しておく。	1 時間
	1,2	復習	授業で提示された例題を理解する。	1.5 時間

9	講義内容	データベース（石川）		
	該当する到達目標	予習	データベース概論（2年後期必修）で配布した資料を復習しておく。	1.5 時間
	1	復習	配布資料を読み返したり、web で情報収集するなどして、理解を深める。	1 時間
10	講義内容	ネットワーク（長澤）		
	該当する到達目標	予習	ネットワークに関する資料を参照フォルダで配布するので事前に熟読する。	1 時間
	1,2	復習	講義時に配布したレポート課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	機械学習と画像処理（中村）		
	該当する到達目標	予習	授業用資料を参照フォルダに入れておくので、それを熟読する。	1 時間
	1,2	復習	授業で配布した資料・問題演習を行う。	1.5 時間
12	講義内容	マルチメディアⅠ（木幡）		
	該当する到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
	1	復習	講義をふまえたレポート課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	マルチメディアⅡ（田村）		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
	1	復習	講義で行ったことをまとめ、課題を作成する。	2.5 時間
14	講義内容	情報ビジネス（坂本）		
	該当する到達目標	予習	講義用資料をあらかじめ各自で印刷し、内容について事前に調べておく。	1 時間
	1	復習	講義内容をまとめてレポート作成する。	2 時間
15	講義内容	全体まとめ（東福寺）		
	該当する到達目標	予習	参照フォルダのレポート課題に目を通し理解しておく。	1 時間
	1,2	復習	課題の実施	3 時間
備考				

科目名	**卒業研究(卒業研究)**		HIG401	演習
担当教員	学科全教員			
学年・開講期	4 年 通年	必選・単位数	必修 4 単位	
講義目標	医療情報学についての勉学の総仕上げと位置付けられる。これまで、修得した知識・技能に基づいて、教員の指導のもとに、特定のテーマの研究(調査・実験など)を自主的に行い、企画・データ収集・整理・討論・発表・卒業論文作成などの能力を涵養する。			
到達目標	卒業研究を通じて、未知なるものを探究する考え方やその方法を身に付ける。また、研究の成果を整理まとめ、発表(プレゼンテーション)する技術を身に付ける。さらに、卒業論文としてまとめる。			
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	✓	問題解決力		
	✓	コミュニケーションスキル		
	✓	生涯学習力		
評価方法	参加度(30%)、卒論発表 2 回(30%)、卒業論文(40%)により総合的に評価する。			
課題に対するフィードバック	卒業論文のテーマに関する資料や論文検索し、その内容をまとめ報告し、内容を討論する。プレゼンテーション内容や卒業論文の内容は、その都度教員が精査し、適切にアドバイスする。			
使用教材	教員が、必要に応じて作成し配布する。			
講義内容	各学生が希望するテーマに分かれ、到達目標に沿って下記のように研究を進める。 1.研究テーマの設定 2.研究テーマに沿った文献 資料の収集と整理 3.研究内容の適切な設定と研究 4.研究内容の中間発表 5.研究内容の本発表 6.卒業研究を卒業論文としてまとめる。			
	予習	各教員が必要に応じて指示する。		期間中適宜
	復習	各教員が必要に応じて指示する。		期間中適宜
備考	アフィスアワーと連絡先は、各教員が最初の授業で提示する。			

科目名	生涯学習社会と図書館（司書）	―	講義
担当教員	斎藤 順二		
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	生涯学習及び社会教育の本質と意義の理解を図り、学校教育・家庭教育等との関連、並びに社会教育施設、専門的職員の役割、学習活動への支援等の基本について理解できる。		
到達目標	1.高齢社会の到来で、従来の学歴社会から生涯学習社会への移行が進展している現況を理解できる。 2.図書館は社会生活で「知の拠点」として大きな役割を果たすことが求められていると認識している。 3.図書館にあって、地域住民の課題解決と学習支援サービスに対応できる司書を目指す。		
学位授与方針との対応	―	豊かな人間性と幅広い教養	
	―	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	―	問題解決力	
	―	コミュニケーションスキル	
	―	生涯学習力	
評価方法	まとめのミニレポート（各UNITの要約と朗読CDの感想）		
課題に対するフィードバック	まとめのミニレポートは毎回提出してもらい、次回採点・評価して返却する。		
使用教材	朝比奈大作編著『図書館員のための生涯学習概論』（日本図書館協会）定価（1900 円＋税）		

1	講義内容	生涯学習と社会教育		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT1 に目を通す。	1 時間
	1	復習	生涯学習へのアプローチ	1.5 時間
2	講義内容	〈社会〉と（教育）		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT2に目を通す。	1 時間
	1	復習	生涯学習の展開と学習の実際を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	〈社会教育〉の始まり		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT3に目を通す。	1 時間
	1	復習	生涯学習社会の役割と連携を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	誰のための教育か？		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT4に目を通す。	1 時間
	1	復習	生涯学習振興施策の立案と推進を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	誰が〈教育する〉のか？		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT5に目を通す。	1 時間
	1	復習	社会教育の意義・発展・特質を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	公教育とは何か？		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT6に目を通す。	1 時間
	1	復習	社会教育行政の意義・役割を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	戦後日本の教育政策		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT7に目を通す。	1 時間
	1	復習	自治体の制度と教育関連法規を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	教育の自由		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT8に目を通す。	1 時間
	1	復習	社会教育の内容・方法・形態を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ユネスコの生涯教育論		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT9に目を通す。	1 時間

	1	復習	学習への支援と学習成果の評価と活用を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	学校教育と生涯教育。		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT10 に目を通す。	1 時間
	3	復習	社会教育施設・生涯学習関連施設の管理・運営を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	社会教育と生涯教育		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT11 に目を通す。	1 時間
	3	復習	社会教育指導者の役割を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	生涯教育理念の普及と変質		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT12 に目を通す。	1 時間
	3	復習	生涯学習の実際(群馬県生涯学習センター・指導者バンク)を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	わが国における生涯学習論の展開		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT13 に目を通す。	1 時間
	3	復習	生涯学習の実際(高崎市生涯学習推進本部の学習推進計画)を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	わが国における生涯学習理念の普及と変質		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT14 に目を通す。	1 時間
	3	復習	生涯学習の実際(講演会・放送大学・フィールドワーク等)を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	生涯学習体験報告会		
	該当する到達目標	予習	まとめのレポート	1 時間
	1,2,3	復習	私の生涯学習計画をまとめて発表する。	1.5 時間
備考	司書資格科目 予習復習時間の不足時間は各自補完すること。 質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じます。			

科目名	**図書館概論(司書)**			ー	講義
担当教員	井ノ口 雄久				
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	図書館の機能・意義・役割を理解し、図書館の歴史や現状、図書館職員、図書館の自由、各種及び各国の図書館や類縁機関について学び、今後の図書館を巡る課題や展望を考察する				
到達目標	1. 図書館とは何かまた図書館の理論や諸制度の基本を習得する 2. 図書館を知的関心の対象として、図書館について深く考える 3. 図書館という機関をもつ社会的意味を広い視野から説明できるようになる				
学位授与方針との対応	ー	豊かな人間性と幅広い教養			
	ー	健康・医療および情報に関する知識・技能			
	ー	問題解決力			
	ー	コミュニケーションスキル			
	ー	生涯学習力			
評価方法	毎回の課題提出 40%、レポート2回 60%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	毎回の課題と授業の振り返りの提出を受けて、次回の授業で学生の疑問点やさらに解説が必要な事項について解説する。レポートは課題に対して評価できる点、不足している点のコメントを付けて返却する。				
使用教材	教科書「図書館の基礎と展望」二村 健著(学文社) ISBN978-4-7620-2191-6 次回の課題、および必要に応じて資料を配布する				

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標 1	予習	シラバス、教科書の諸言・巻頭言を読んで、講義の目標などを理解する。 第 1 章第 1～4 節に目を通す。	1 時間
		復習	講義内容、到達目標、成績評価方法などを確認する。図書館の現状を確認する。	1 時間
2	講義内容	図書館の構成要素と機能および図書館サービス		
	該当する到達目標 1,2	予習	第 2 章第 1～3 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
		復習	図書館の要素および機能、さらに図書館サービスの概要を理解する。	1 時間
3	講義内容	図書館の業務モデル		
	該当する到達目標 1,2	予習	第 3 章第 1～3 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
		復習	図書館システムと図書館業務のモデルについて理解する。	1 時間
4	講義内容	図書館の社会的意義		
	該当する到達目標 1,3	予習	第 4 章第 1～3 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
		復習	図書館の社会における存在価値について理解する。	1 時間
5	講義内容	文化を伝承し保存する図書館」		
	該当する到達目標 1,2	予習	第 5 章第 1～3 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
		復習	図書館の歴史を通して、図書館の社会的使命について理解する。	1 時間
6	講義内容	公共図書館の成立と展開		
	該当する到達目標 1,2	予習	第 6 章第 1～3 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
		復習	公共図書館が生まれた背景やその後の展開について理解する。	1 時間
7	講義内容	わが国における公共図書館の成立と発展		
	該当する到達目標 1,2	予習	第 7 章第 1～2 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
		復習	日本の公共図書館の生まれた背景とその後の発展について理解する。	1 時間
8	講義内容	わが国における公共図書館の展開		
	該当する到達目標 1,2	予習	第 8 章第 1～2 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
		復習	日本の公共図書館が質量ともに大きく飛躍し多方面にわたって展開したこと、ま	1 時間

			た社会生活における科学技術の進歩との関係で図書館も変化してきていることを理解する。	
9	講義内容	図書館の種類と利用者(1)		
	該当する到達目標	予習	第 9 章第 1～3 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	1,2	復習	社会には様々な種類の図書館が存在していること、また、この章では国立図書館と公立図書館の任務と活動について理解する。	1 時間
10	講義内容	図書館の種類と利用者(2)		
	該当する到達目標	予習	第 10 章第 1～3 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	1,2	復習	様々な図書館のうち、この章では大学図書館、学校図書館、専門図書館について理解する。	1 時間
11	講義内容	図書館の類縁機関と図書館関連団体		
	該当する到達目標	予習	第 11 章第 1～3 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	1,2	復習	図書館と似た施設の存在、また図書館と行政との関わり、さらに図書館の関連団体について理解する。	1 時間
12	講義内容	図書館員とライブラリアンシップ		
	該当する到達目標	予習	第 12 章第 1～4 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	1,2	復習	図書館員の実態とその役割について理解する。	1 時間
13	講義内容	知的自由と図書館		
	該当する到達目標	予習	第 13 章第 1～3 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	1,2	復習	民主主義社会において、図書館は必要な存在であり、その存在意義の重要な視点である「図書館の自由」について理解する。	1 時間
14	講義内容	図書館の課題		
	該当する到達目標	予習	第 14 章第 1～4 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	2,3	復習	公共図書館をはじめ、様々な図書館が存在しているが、それぞれ多くの課題を抱えている。その課題について考える。	1 時間
15	講義内容	展望		
	該当する到達目標	予習	第 15 章第 1～3 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	2,3	復習	図書館界の歴史や流れを踏まえて、合理的な予見を考える。	1 時間
備考	オフィスアワー:適宜受け付ける。メールでの予約する。　　メールアドレス:katsuino1949@gmail.com 復習については、講師からのコメント回答により補完すること。			

科目名	**図書館制度・経営論(司書)**			ー	講義
担当教員	井ノ口 雄久				
学年・開講期	2 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	図書館の関係法規、図書館政策のもと図書館計画、図書館経営、サービス計画、図書館評価、図書館形態について課題や展望を考察する。				
到達目標	1. 生涯学習社会における図書館という視点を重視して、図書館経営や制度に関わる組織、管理・運営、各種図書館計画について学ぶ 2. 図書館マネジメントや制度的背景について説明できるようになる				
学位授与方針との対応	ー	豊かな人間性と幅広い教養			
	ー	健康・医療および情報に関する知識・技能			
	ー	問題解決力			
	ー	コミュニケーションスキル			
	ー	生涯学習力			
評価方法	毎回の課題提出 40%、レポート 2 回 60%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
課題に対するフィードバック	毎回の課題と授業の振り返りの提出を受けて、次回の授業で学生の疑問点やさらに解説が必要な事項について解説する。レポートは課題に対して評価できる点、不足している点のコメントを付けて返却する。				
使用教材	教科書「図書館制度・経営論」手嶋 孝典編著(学文社) ISBN978-4-7620-2195-4 次回の課題、および必要に応じて資料を配布する。				

1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標 1	予習	シラバス、教科書の諸言・巻頭言を読んで、講義の目標などを理解する。 第 1 章第 1～4 節に目を通す。	1 時間
		復習	講義内容、到達目標、成績評価方法などを確認する。図書館の上位法である憲法、教育基本法、社会教育法、公立図書館の根拠法である図書館法について理解する。	1 時間
2	講義内容	図書館法逐条解説 (1) 総則		
	該当する到達目標 1	予習	第 2 章第 1～4 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
		復習	図書館法の総則について理解する。	1 時間
3	講義内容	図書館法逐条解説 (2) 公立図書館および私立図書館		
	該当する到達目標 1	予習	第 3 章第 1～7 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
		復習	図書館法の公立図書館と私立図書館について理解する。	1 時間
4	講義内容	地方自治体の図書館関連条例など		
	該当する到達目標 1	予習	第 4 章第 1～3 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
		復習	近代公共図書館の5原則や日本の公立図書館に関連する法令・例規、さらに内規・要綱・マニュアル等について理解する。	1 時間
5	講義内容	他館種の図書館に関する法律など		
	該当する到達目標 1	予習	第 5 章第 1～5 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
		復習	公共図書館以外の日本の学校図書館、国立国会図書館、大学図書館、その他の図書館に関連する根拠法等について理解する。	1 時間
6	講義内容	図書館サービス関連法規		
	該当する到達目標 1	予習	第 6 章第 1～5 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
		復習	日本の図書館サービスに関連する法令について理解する。	1 時間
7	講義内容	図書館政策(国、地方自治体)		
	該当する到達目標	予習	第 7 章第 1～3 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間

	1	復習	日本の国及び地方自治体の図書館政策について理解する。	1 時間
8	講義内容	公共機関・施設の経営方法と図書館経営		
	該当する到達目標	予習	第 8 章第 1～3 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	1	復習	経営全般、公的機関の組織・経営方法について考え、その上で公立図書館の経営と運営について理解する。	1 時間
9	講義内容	図書館の組織・職員 (1)		
	該当する到達目標	予習	第 9 章第 1～4 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	1	復習	日本の教育委員会や公立図書館の組織構成、、図書館長の役割及び図書館員の人事管理、さらには図書館の在り方について理解する。	1 時間
10	講義内容	図書館の組織・職員 (2)		
	該当する到達目標	予習	第 10 章第 1～3 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	1	復習	図書館は図書館員だけでなく、図書館外部の協力なくして運営はできない。図書館の諮問機関としての図書館協議会や図書館を支える団体さらに図書館ボランティアについて理解する。	1 時間
11	講義内容	図書館の施設・設備		
	該当する到達目標	予習	第 11 章第 1～4 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	1	復習	システムとしての図書館の施設・設備について理解する。	1 時間
12	講義内容	図書館のサービス計画と予算の確保		
	該当する到達目標	予習	第 12 章第 1～2 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	1	復習	図書館サービス・図書館財政の定義を確認し、図書館サービス計画の策定と実際、さらに図書館の予算編成について理解する。	1 時間
13	講義内容	図書館業務／サービスの調査と評価		
	該当する到達目標	予習	第 13 章第 1～2 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	1	復習	図書館業務が図書館の目的を効率的に達成するために、調査および評価が必要である。その調査と評価について理解する。	1.時間
14	講義内容	図書館の管理形態の多様化		
	該当する到達目標	予習	第 14 章第 1～5 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	1・2	復習	近年、図書館の管理運営や業務を外部に委ねる動きが多くなってきた。外部化（アウトソーシング）の形態である業務委託、指定管理者制度、PFI の問題点について理解する。	1 時間
15	講義内容	展望		
	該当する到達目標	予習	第 15 章第 1～2 節に目を通して、課題を整理する。	1 時間
	2	復習	これまで、図書館法とその関連法規、制度、政策、経営等を学んできたが、まとめとして、図書館が抱えている課題と今後の展望について考える。	1 時間
備考	オフィスアワー：適宜受け付ける。メールでの予約する。　　メールアドレス：katsuino1949@gmail.com 復習については、講師からのコメント回答により補完すること。			

科目名	図書館情報技術論(司書)	ー	講義
担当教員	田村 拓郎		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	近年の情報機器の多様化や進歩には目覚しいものがある。図書館においても CD、DVD、コンピュータソフトなどの多様なメディアやコンピュータに代表される各種の情報機器が整備されてきている。また、これらの図書館資料にネットワーク情報資源を加えて、図書館情報資源としてとらえる必要がある。図書館業務に必要な基礎的な情報技術を修得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子資料、コンピュータシステム等について解説し、利用法について学修する。		
到達目標	1.図書館業務やサービスに必要な、情報機器やコンピュータシステムの知識を習得できる。 2.実際にコンピュータ等を利用し検索などができる。		
学位授与方針との対応	ー	豊かな人間性と幅広い教養	
	ー	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	ー	問題解決力	
	ー	コミュニケーションスキル	
	ー	生涯学習力	
評価方法	課題提出状況(70%)、学習姿勢(30%)で評価する。		
課題に対するフィードバック	課題発表を行い、受講生同士の質疑応答を行なう。		
使用教材	図書館情報技術論		

1	講義内容	講義全体のガイダンス		
	該当する到達目標	予習	不要	0 時間
	1	復習	不要	0 時間
2	講義内容	コンピュータとネットワークの基礎		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1 時間
	1	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
3	講義内容	LAN の構成、プロトコル		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1 時間
	1	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
4	講義内容	コンピュータシステムの管理		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1 時間
	1	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
5	講義内容	データベースの仕組み		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1 時間
	1	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
6	講義内容	図書館業務システムの仕組み		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
7	講義内容	図書館における情報技術活用の現状		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
8	講義内容	電子資料		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1 時間
	1	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間

9	講義内容	電子資料の管理技術		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1 時間
	1	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
10	講義内容	電子図書館とデジタルアーカイブ		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1 時間
	1	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
11	講義内容	情報技術と社会		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1 時間
	1	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
12	講義内容	インターネットと図書館		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
13	講義内容	最新の情報技術と図書館		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
14	講義内容	Web2.0 と Library2.0		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
15	講義内容	展望、まとめ		
	該当する到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	2 時間
備考	毎回課題を出すため、授業時間外に PC 室を積極的に利用すること。自宅の PC を用いて仕上げて来ても良い。長期休暇中に復習の補完となる課題を行なう。 オフィスアワー: 月曜日 4 限、金曜日 3 限			

科目名	図書館サービス概論(司書)	ー	講義
担当教員	太田 克子		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	図書館サービスの考え方を理解し、様々なサービスを展開する上での知識と技術を学ぶ		
到達目標	1.公共図書館が行っている様々なサービスの意義を理解する 2.住民を支援するサービス展開ができる知識と技術を習得する		
学位授与方針との対応	ー	豊かな人間性と幅広い教養	
	ー	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	ー	問題解決力	
	ー	コミュニケーションスキル	
	ー	生涯学習力	
評価方法	筆記試験60% 課題等提出物・小テスト25% 授業貢献度15% 総合評価60%以上を合格とする		
課題に対するフィードバック	提出課題はコメントを付けて返却する。		
使用教材	『図書館サービス概論』宮部頼子編(樹村房)		

1	講義内容	オリエンテーション 図書館サービスの概要		
	該当する到達目標	予習	教科書p1～p9を読んでおくこと	1.5 時間
	1	復習	図書館で自分の受けたサービスを書くこと	1 時間
2	講義内容	図書館サービスの意義		
	該当する到達目標	予習	教科書p10～p22を読んでおくこと	1.5 時間
	1	復習	図書館サービスの要素・機能を書き出すこと	1 時間
3	講義内容	図書館サービスの変遷(1)		
	該当する到達目標	予習	教科書p23～p32を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	p.30を要約すること	1 時間
4	講義内容	図書館サービスの変遷(2)		
	該当する到達目標	予習	教科書p33～p43を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	p.40を要約すること	1 時間
5	講義内容	図書館サービスの種類と方法		
	該当する到達目標	予習	教科書p44～p56を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	各自近隣の図書館に出向き、利用者対象別サービスの具体例を見学しレポートすること	4 時間
6	講義内容	資料提供サービス		
	該当する到達目標	予習	教科書p58～p79を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	相互貸借のしくみを図にすること	1 時間
7	講義内容	情報提供サービス		
	該当する到達目標	予習	教科書p80～p95を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	各自近隣の図書館に出向き、利用案内と利用者教育のリーフレットをもらってきて、感想を提出すること。	1 時間
8	講義内容	利用対象別サービス(1)		
	該当する到達目標	予習	教科書p96～p117を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	高齢者支援の企画を立て実現するためのレポートを書く	1 時間
9	講義内容	利用対象別サービス(2)		
	該当する到達目標	予習	教科書p96～p117を読んでおくこと	1.5 時間

	1,2	復習	多文化サービスの企画を立て実現するためのレポートを書く	1 時間
10	講義内容	図書館サービスとコミュニケーション（1）		
	該当する到達目標	予習	教科書p118～p127を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	各自近隣の図書館と書店に出向き、掲示やサインについてレポートすること	1 時間
11	講義内容	図書館サービスとコミュニケーション（2）		
	該当する到達目標	予習	教科書p128～p133を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	コミュニケーションをとるべき図書館関係機関、類縁機関等との関係図を書くこと	1 時間
12	講義内容	図書館サービスと著作権		
	該当する到達目標	予習	教科書p134～p151を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	自由利用マーク利用の実例を探して報告する	1 時間
13	講義内容	図書館サービスの協力と連携		
	該当する到達目標	予習	教科書p152～p174を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	学校支援の企画を立て実現するためのレポートを書く	1 時間
14	講義内容	図書館サービスの課題と展望		
	該当する到達目標	予習	教科書p175～186を読んでおくこと	1 時間
	1,2	復習	住民にとって図書館が情報基盤として機能するためのコレクションを考えてくる	1.5 時間
15	講義内容	図書館サービス論のまとめと評価		
	該当する到達目標	予習	住民にとって図書館が情報基盤として機能する職員スキルアップについて考えてくる	1.5 時間
	1	復習	「アメリカ社会に役立つ図書館の12か条」（アメリカ図書館協会）をよむこと（『図書館のめざすもの』に収録）	1 時間
備考	オフィスアワー：水曜日2限（図書館本館） 質問はメールでも受け付けます。 e-mail：ota-y@takasaki-u.ac.jp 『図書館のめざすもの』竹内さとる著（日本図書館協会）（本学図書館所蔵）			

科目名	情報サービス論(司書)	ー	講義
担当教員	太田 克子		
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	図書館における情報サービスの意義を理解し、情報検索とレファレンスのサービス方法を学習する		
到達目標	1.図書館における情報サービスの意義を理解する 2.情報サービスの種類と内容を理解する 3.各種情報源の特徴と利用法を理解する 4.レファレンスサービスにおける回答の方法を学び、実践的に対応できるようになる 5.発信型情報サービスの意義を理解する		
学位授与方針との対応	ー	豊かな人間性と幅広い教養	
	ー	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	ー	問題解決力	
	ー	コミュニケーションスキル	
	ー	生涯学習力	
評価方法	試験70% ミニレポート15% 授業貢献度15% 総合評価60%以上で合格とする		
課題に対するフィードバック	ミニレポートにはコメントをつけて返却する		
使用教材	『情報サービス論』(学文社)		

1	講義内容	オリエンテーション 情報サービスの意義		
	該当する到達目標	予習	教科書p6～p11を読んでおくこと	1 時間
	1	復習	各自図書館に出向き、どのような情報提供がなされているかを見る	1.5 時間
2	講義内容	図書館における情報サービス		
	該当する到達目標	予習	教科書p12～p17を読んでおくこと	1 時間
	1,2	復習	情報サービスの種類をまとめる	1.5 時間
3	講義内容	図書館における情報サービスの理論的展開		
	該当する到達目標	予習	教科書p18～p23を読んでおくこと	1.5 時間
	2	復習	図書館の種類と重視される情報サービスについてまとめる	1 時間
4	講義内容	レファレンスサービスの理論と実践		
	該当する到達目標	予習	教科書p24～p31を読んでおくこと	1.5 時間
	3,4	復習	レファレンスプロセスを図にまとめる	1 時間
5	講義内容	レファレンスサービスの実際		
	該当する到達目標	予習	教科書P32～p37を読んでおくこと	1.5 時間
	3,4	復習	教科書p33のレファレンスインタビューについてまとめること	1 時間
6	講義内容	情報検索サービスの理論と方法		
	該当する到達目標	予習	教科書p38～p43を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3,4	復習	論理演算についてまとめること	1 時間
7	講義内容	各種情報源の特質と利用法(1)		
	該当する到達目標	予習	教科書p44～p51を読んでおくこと	1.5 時間
	3	復習	各自図書館や PC ルーム等を利用して特許検索すること	1 時間
8	講義内容	各種情報源の特質と利用法(2)		
	該当する到達目標	予習	教科書p52～p57を読んでおくこと	1.5 時間
	3	復習	各自図書館と PC ルーム等を利用して論文検索すること	1 時間
9	講義内容	各種情報源の特質と利用法(3)		

	該当する到達目標	予習	教科書p58～p63を読んでおくこと	1.5 時間
	3,4	復習	各自図書館やPCルーム等を利用して国会図書館デジタルデータ検索をすること	1 時間
10	講義内容	各種情報源の評価と解説		
	該当する到達目標	予習	教科書p64～p71を読んでおくこと	1 時間
	3,4	復習	レファレンスブック1冊を選んで POP を作成する	1.5 時間
11	講義内容	各種情報源の組織化		
	該当する到達目標	予習	教科書p72～p77を読んでおくこと	1.5 時間
	3,4,5	復習	あなたがカナダに留学するとして、必要な本を検索してリストにすること	1 時間
12	講義内容	発信型情報サービスの意義と方法		
	該当する到達目標	予習	教科書p78～p85を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,5	復習	あなたが図書館員として発信型サービスをするとする。企画を一つだけミニレポートにしてみること	1 時間
13	講義内容	情報サービスにかかわる知的財産権の基礎知識		
	該当する到達目標	予習	教科書p86～p91を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,5	復習	著作権侵害について意見の分かれるものがある。それについて意見を書いて提出	1 時間
14	講義内容	図書館利用教育と情報リテラシーの育成		
	該当する到達目標	予習	教科書p92～p97を読んでおくこと	1 時間
	1,5	復習	自分の読書体験をパワーポイント5枚で制作してくる	1.5 時間
15	講義内容	展望（制作物発表を含む）		
	該当する到達目標	予習	教科書p98～p104を読んでおくこと	1.5 時間
	1	復習	p103を読んで、情報の専門家として目標を考えてみる	1 時間
備考	オフィスアワー：水曜日2限（図書館本館） 質問はメールでも受け付けます。 e-mail：ota-y@takasaki-u.ac.jp 『夜明けの図書館』垈納タオ著（双葉社）（本学図書館所蔵）			

科目名	**児童サービス論(司書)**			-	講義
担当教員	小柳 聡美				
学年・開講期	2 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位		
講義目標	児童サービス(対象は乳幼児からヤングアダルトまで)の概要と意義、担当者の専門的職務、歴史的変遷と発展内容、児童資料の特色と選択、発達と学習への「読書」の役割、児童コレクションの形成と管理、さらにヤングアダルトサービスの概要と資料の特色を認識する。				
到達目標	1.公共図書館における児童サービスの重要性を理解する。 2.児童資料の類型について理解し、選択・評価できる。 3.公共図書館を利用する児童のニーズを理解し、対応できる能力を身につける。 4.子どもと本を結びつけることの重要性を理解し、援助できる。				
学位授与方針との対応	-	豊かな人間性と教養			
	-	専門的知識			
	-	問題発見・解決力			
	-	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)			
	-	自律的・意欲的に学習する力			
評価方法	筆記試験70%、オリジナル図書館案内(児童向け)の作成20%、授業参加度10%で評価する。 総合評価60%以上を合格とする。なお詳しい評価基準は、初回講義時に提示する。				
課題に対するフィードバック	提出物は講義内で発表時間を設け、講評する。 筆記試験の意図は、第1回の講義で説明する。				
使用教材	教科書『児童サービス論』JAL図書館情報学テキストシリーズⅢ6 堀川照代 編著(日本図書館協会) ISBN978－4－8204－1315－8				

1	講義内容	児童サービスの概要と意義		
	該当する到達目標 1	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。 なぜ司書資格を取得しようと考えたか、という点を交えて自己紹介が出来るようにしておく。	1.5 時間
		復習	教科書 p.9～p.18を読む。	1.5 時間
2	講義内容	児童サービス担当者の専門的職務		
	該当する到達目標 1	予習	教科書 p.19～p.39に目を通す。	1.5 時間
		復習	児童サービス担当者の専門性を理解する。 教科書 p.255～p.261を読む。	1.5 時間
3	講義内容	児童資料の類型		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 p.40～p.42に目を通す。	1.5 時間
		復習	児童資料の形態と内容を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	児童資料の特色と選択1 絵本の種類とグレード		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 p.43～p.48に目を通す。	1.5 時間
		復習	学んだ種類の絵本を、図書館等で探し、読む。	1.5 時間
5	講義内容	児童資料の特色と選択2 児童文学・創作児童文学、昔話・伝承文学、詩		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 p.49～p.58に目を通す。	1.5 時間
		復習	紹介された作品の中から1作品を選び、読む。	1.5 時間
6	講義内容	児童資料の特色と選択3 ノンフィクション、レファレンスブック		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書 p.59～p.79に目を通す。	1.5 時間
		復習	レファレンスブックとは何か理解する。 図書館においてレファレンスブックの位置を確認する。	1.5 時間
7	講義内容	児童資料の特色と選択4 児童資料の出版と流通		

	該当する到達目標	予習	児童資料に限らず、現在の出版と流通について調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	児童資料の出版と流通について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	児童資料の特色と選択5　児童コレクションの形成と評価		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.80～p.92に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	児童コレクションの形成について理解し、評価できるようにする。	1.5 時間
9	講義内容	児童サービスの業務1　資料提供サービス		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.93～p.98に目を通す。	1.5 時間
	1,3,4	復習	資料提供サービスについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	児童サービスの業務2　情報サービス		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.99～p.104に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	情報サービスについて理解する。	1.5 時間
11	講義内容	児童サービスの業務3　乳幼児サービス		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.174～p.188に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	乳幼児サービスについて理解する。	1.5 時間
12	講義内容	児童サービスの方法・技術(読み聞かせとストーリーテリング)		
	該当する到達目標	予習	教科書の p.155～p.173に目を通す。	1.5 時間
	1,3,4	復習	次週、読み聞かせの実践で使用する絵本(1～3冊)と、ストーリーテリングしてみたい作品を選ぶ。	1.5 時間
13	講義内容	絵本読み聞かせ指導		
	該当する到達目標	予習	選んだ絵本、作品を読む練習をする。	1.5 時間
	1,4	復習	読み聞かせの方法について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	ヤングアダルトサービスの概要と資料の特色		
	該当する到達目標	予習	教科書 p.189～p.207に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	ヤングアダルトサービスとは何か理解する。	1.5 時間
15	講義内容	児童サービス対象者向けオリジナル図書館案内の提出・発表		
	該当する到達目標	予習	図書館案内の作成。	1.5 時間
	1,3	復習	全講義の振り返り。	1.5 時間
備考	生涯学習の一環としての児童サービスの重要性を理解するとともに、どのようにすれば子ども達に読書の楽しさと喜びを伝えられるかについて学ぶ授業です。特に各自がオリジナルの図書館案内を作成することによって、児童サービスの内容を認識でき、キャリアプランへの構築へと繋がります。 近隣の公共図書館を来館し、現在の児童サービスの現状を実際に見聞して来てください。 質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じます。			

科目名	**情報サービス演習(司書)**	ー	講義
担当教員	太田 克子、田村 拓郎		
学年・開講期	3 年 通年	必選・単位数	選択 4 単位
講義目標	情報サービスの設計から評価までの各種の業務、質問回答、情報源の評価、情報検索の実際、発信型情報サービスの実際の演習を通して、実践的な能力を養成する		
到達目標	1.蓄積された大量の情報の中から必要な情報を迅速・的確に検索する技能を習得する 2.レファレンスインタビューの事例を体験し、利用者とのコミュニケーションを確立する		
学位授与方針との対応	ー	豊かな人間性と幅広い教養	
	ー	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	ー	問題解決力	
	ー	コミュニケーションスキル	
	ー	生涯学習力	
評価方法	毎回のレポート 80% 授業貢献度20%		
課題に対するフィードバック	レポートにコメントをつけて返却する。		
使用教材	『情報サービス論』(学文社)		

1	講義内容	オリエンテーション 情報検索の基礎知識		
	該当する到達目標	予習	レファレンスとは何か調べる	1.5 時間
	1	復習	レファレンスシートのフォームの回答項目に過不足はないか確認する	1 時間
2	講義内容	レファレンスプロセス		
	該当する到達目標	予習	前回の授業で与えられたレファレンス課題に回答の方針を立てる	1 時間
	1	復習	各々に与えられたレファレンス課題に回答のプロセスが分かるように回答する	1.5 時間
3	講義内容	特定事実を探す		
	該当する到達目標	予習	各自図書館で年鑑・クロニクル等を見ておくこと	1 時間
	1	復習	各々に与えられたレファレンス課題(特定事実を探す)に回答する	1.5 時間
4	講義内容	人物・団体情報を探す		
	該当する到達目標	予習	各自図書館で、人名辞典・名鑑等を見ておくこと	1 時間
	1	復習	各々に与えられたレファレンス課題(人物・団体情報)に回答する	1.5 時間
5	講義内容	地名・地理・地図を探す		
	該当する到達目標	予習	各自図書館で地名辞典・地図等を見ておくこと	1 時間
	1	復習	各々に与えられたレファレンス課題(地名・地理・地図)に回答する	1.5 時間
6	講義内容	法律・統計情報を探す		
	該当する到達目標	予習	各自図書館で六法全書・統計書等を見ておくこと	1 時間
	1	復習	各々に与えられたレファレンス課題(法律・統計情報)に回答する	1.5 時間
7	講義内容	政治・経済情報を探す		
	該当する到達目標	予習	各自図書館で全国市町村要覧・経済白書等を見ておくこと	1 時間
	1	復習	各々に与えられたレファレンス課題(政治・経済)に回答する	1.5 時間
8	講義内容	言葉・読み方の情報を探す		
	該当する到達目標	予習	各自図書館で辞典等見ておくこと	1 時間
	1	復習	各々に与えられたレファレンス課題(言葉・読み方)に回答する	1.5 時間
9	講義内容	新聞記事を探す		
	該当する到達目標	予習	各自図書館で、新聞や新聞縮刷版、CD-ROM 等を見ておくこと	1 時間
	1	復習	各々に与えられたレファレンス課題(新聞記事)に回答する	1.5 時間

10	講義内容	雑誌記事・論文を探す		
	該当する到達目標	予習	各自図書館で雑誌バックナンバー、紀要等を見ておくこと	1 時間
	1	復習	各々に与えられたレファレンス課題(雑誌記事・論文)に回答する	1.5 時間
11	講義内容	書誌情報を探す		
	該当する到達目標	予習	各自図書館でOPACを使ってみること	1 時間
	1	復習	各々に与えられたレファレンス課題(書誌情報)に回答する	1.5 時間
12	講義内容	郷土資料を探す		
	該当する到達目標	予習	各自図書館の郷土資料コーナーを見ておくこと	1 時間
	1	復習	各々に与えられたレファレンス課題(郷土資料)に回答する	1.5 時間
13	講義内容	レファレンスインタビュー		
	該当する到達目標	予習	レファレンスをするときの利用者の心理を想定してくること	1 時間
	2	復習	レファレンスを受ける図書館員の期待される姿をまとめること	1.5 時間
14	講義内容	情報サービス(レフェラルサービス・メールマガジン・パスファインダー等)		
	該当する到達目標	予習	利用者の立場でどのような発信型情報サービスを受けたいか考えてくること	1 時間
	1,2	復習	図書館で ILL の手続きを調べてミニレポートにする	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	自分に気に入ったレファレンスブックを1つ選んで、解題を書いてくること	1.5 時間
	1,2	復習	情報サービスを通して、利用者も図書館員も育つ図書館の姿を考えること	1 時間
16	講義内容	情報検索の概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当部分をよんでおくこと。	0 時間
	1	復習	課題を行ない提出すること。	0.5 時間
17	講義内容	情報検索システムの基本機能		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当部分をよんでおくこと。	0 時間
	1	復習	課題を行ない提出すること。	0.5 時間
18	講義内容	OPAC による検索の実際		
	該当する到達目標	予習	検索課題、資料の作成	2 時間
	2	復習	特になし	0 時間
19	講義内容	主要なサーチエンジンの概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当部分をよんでおくこと。	0 時間
	1	復習	課題を行ない提出すること。	0.5 時間
20	講義内容	サーチエンジンによる検索の実際		
	該当する到達目標	予習	検索課題、資料の作成	3 時間
	2	復習	特になし	0 時間
21	講義内容	情報検索の実際		
	該当する到達目標	予習	検索課題、資料の作成の作成	3 時間
	2	復習	特になし	0 時間
22	講義内容	シソーラスの利用		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当部分をよんでおくこと。	0 時間
	1	復習	課題を行ない提出すること。	1 時間
23	講義内容	検索システムの仕組み		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当部分をよんでおくこと。	0 時間
	1	復習	課題を行ない提出すること。	0.5 時間
24	講義内容	検索システムの仕組み2		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当部分をよんでおくこと。	0 時間

	1	復習	課題を行ない提出すること。	0.5 時間
25	講義内容	論文検索の概要		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当部分をよんでおくこと。	0 時間
	1	復習	課題を行ない提出すること。	0.5 時間
26	講義内容	論文検索		
	該当する到達目標	予習	教科書の該当部分をよんでおくこと。	0 時間
	1	復習	課題を行ない提出すること。	0.5 時間
27	講義内容	論文検索の実際		
	該当する到達目標	予習	検索課題、資料の作成	2 時間
	2	復習	特になし	0 時間
28	講義内容	論文検索の実際2		
	該当する到達目標	予習	検索課題、資料の作成	3 時間
	2	復習	特になし	0 時間
29	講義内容	発表資料作成		
	該当する到達目標	予習	発表課題の企画を考えてくること。	3 時間
	1,2	復習	特になし	0 時間
30	講義内容	課題発表、まとめ		
	該当する到達目標	予習	発表資料の作成、発表練習。	5 時間
	1,2	復習	特になし	0 時間
備考	オフィスアワー:(田村)月曜日 4 限、金曜日 3 限 (太田)水曜日2限(図書館本館) 質問はメールでも受け付けます。 e-mail:ota-y@takasaki-u.ac.jp			

科目名	**図書館情報資源概論(司書)**	ー	講義
担当教員	斎藤 順二		
学年・開講期	3 年 前期	必選・単位数	選択 2 単位
講義目標	高度情報化社会の進展に伴い、図書館環境も大きく変わりつつある。ここでは、印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源について、類型と特質、選択・収集・保存等、図書館業務に必要な情報資源に関する知識の基本について理解できることを目標にする。		
到達目標	1.多様化する図書館情報資源(印刷メディア)の有効活用を考えることができる。 2.多様化する図書館情報資源(非印刷メディア)の有効活用を考えることができる。 3.多様化する図書館情報資源(電子メディア)の有効活用を考えることができる。		
学位授与方針との対応	ー	豊かな人間性と幅広い教養	
	ー	健康・医療および情報に関する知識・技能	
	ー	問題解決力	
	ー	コミュニケーションスキル	
	ー	生涯学習力	
評価方法	まとめのミニレポート(各UNITの要約と朗読CDの感想)		
課題に対するフィードバック	まとめのミニレポートは毎回提出してもらい、次回採点・評価して返却する。		
使用教材	馬場俊明編著『図書館情報資源概論』(日本図書館協会)定価(1900 円+税)		

1	講義内容	図書館情報資源の意義		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT1に目を通す。	1時間
	1,2,3	復習	図書館情報資源の定義と類型について理解する。	1.5 時間
2	講義内容	図書館情報資源と図書館の自由		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT2に目を通す。	1時間
	1,2,3	復習	表現の自由と検閲の問題を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	印刷資料の類型と特質		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT3に目を通す。	1時間
	1	復習	図書・雑誌・新聞の特質を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	非印刷資料の類型と特質		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT4に目を通す。	1時間
	3	復習	映像・音声資料の特質を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	電子資料の類型と特質		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT5に目を通す。	1時間
	3	復習	電子メディアの特質を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	ネットワーク情報資源の類型と特質		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT6に目を通す。	1時間
	3	復習	通信メディアの特質を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	地域資料・行政資料		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT7に目を通す。	1時間
	1,2	復習	政府刊行物・灰色文献についても理解する。	
8	講義内容	情報資源の生産(出版)と流通		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT8に目を通す。	1時間
	1,2	復習	主な出版社の基本的な知識を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	図書館業務と情報資源に関する知識		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT9に目を通す。	1時間

	1,2	復習	主な著者の基本的な知識を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	コレクション形成の理論		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT10 に目を通す。	1時間
	1,2	復習	資料の選択・収集について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	コレクション形成の方法		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT11 に目を通す。	1時間
	3	復習	選択ツールの利用・選定を理解する	1.5 時間
12	講義内容	人文・社会科学分野の情報資源とその特性		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT12 に目を通す。	1時間
	1,2,3	復習	各分野の情報資源を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	科学技術・生活分野の情報資源とその特性		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT13 に目を通す。	1時間
	1,2,3	復習	各分野の情報資源を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	資料の受入・除籍・保存・管理		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT14 に目を通す。	1時間
	1,2,3	復習	資料の補修・配架・展示・点検等も理解する。	1.5 時間
15	講義内容	学習の整理と展望		
	該当する到達目標	予習	教科書のUNIT15 に目を通す。	1時間
	1,2,3	復習	近未来の図書館構想も視野に入れて理解を深める。	1.5 時間
備考	司書資格科目 予習復習の不足時間については、各自補完すること。 質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じます。			

科目名	**情報資源組織論(司書)**		ー	講義
担当教員	太田 克子			
学年・開講期	1 年 後期	必選・単位数	選択 2 単位	
講義目標	利用者が資料情報に迅速かつ的確にたどり着けるように多様な情報資源の組織化を行うための技術の意義・機能を理解する。			
到達目標	1.情報資源を組織化する意義を理解する 2.記述目録法を理解する 3.主題目録法(分類・件名)を理解する 4.その他、図書記号の付与排架等組織化に関する技術を理解する			
学位授与方針との対応	ー	豊かな人間性と幅広い教養		
	ー	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	ー	問題解決力		
	ー	コミュニケーションスキル		
	ー	生涯学習力		
評価方法	試験80% ミニレポート10% 授業貢献度10% 総合評価60%以上を合格とする			
課題に対するフィードバック	ミニレポートにコメントをつけて返却する			
使用教材	『情報資源組織法』志保田務ほか編著(第一法規)			

1	講義内容	オリエンテーション 情報資源組織化の意義		
	該当する到達目標	予習	教科書p1～p33を読んでおくこと	1.5 時間
	1	復習	教科書p7の受入の流れを理解すること	1 時間
2	講義内容	目録法総論・書誌コントロール		
	該当する到達目標	予習	教科書P35～p45を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	書誌コントロールを解説するミニレポートを作成する	1 時間
3	講義内容	和資料記入の作成(単行資料)		
	該当する到達目標	予習	教科書P47～p90を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	課題の単行レベルの記述をすること	1 時間
4	講義内容	和資料記入の作成(全集)		
	該当する到達目標	予習	教科書P47～p90を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	課題の単行レベル・集合レベル・構成レベルの記述すること	1 時間
5	講義内容	和資料記入の作成(復習)		
	該当する到達目標	予習	教科書P47～p90を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	復習課題の記述をすること	1 時間
6	講義内容	和資料記入の作成(逐次刊行物・その他の資料)		
	該当する到達目標	予習	教科書p91～118を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	本学紀要の記述をすること	1 時間
7	講義内容	アクセスポイント(著者)		
	該当する到達目標	予習	教科書p118～p131を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	アクセスポイント(著者)について整理すること	1 時間
8	講義内容	アクセスポイント(タイトル)		
	該当する到達目標	予習	教科書p118～p131を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	アクセスポイント(タイトル)について整理すること	1 時間
9	講義内容	洋資料記入の作成		

	該当する到達目標	予習	教科書p133～p161を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	課題(洋書)の出版社と注記を記述すること	1 時間
10	講義内容	主題目録法(件名と分類記号)		
	該当する到達目標	予習	教科書p163～p185を読33おくこと	1.5 時間
	1,2	復習	書架分類と書誌分類の特徴をまとめること	1 時間
11	講義内容	日本十進分類法		
	該当する到達目標	予習	教科書p186～p201を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	分類表第2次区分を覚えること	1 時間
12	講義内容	分類作業		
	該当する到達目標	予習	教科書p186～p201を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	分類表第2次区分を覚えること	1 時間
13	講義内容	分類規定		
	該当する到達目標	予習	教科書p202～pp257を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	分類表第2次区分を覚えること	1 時間
14	講義内容	図書記号の付与と排架並びに図書以外の資料の保存		
	該当する到達目標	予習	教科書p258～p269を読んでおくこと	1.5 時間
	1,4	復習	分類表第2次区分を覚えること	1 時間
15	講義内容	ネットワーク情報資源の組織化とネットワークとまとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書のp273～p277を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	利用者が求める情報を迅速・的確に取り出せるために、さらにできることを考える	1 時間
備考	オフィスアワー:水曜日2限(図書館本館) 質問はメールでも受け付けます。 e-mail:ota-y@takasaki-u.ac.jp			

科目名	**情報資源組織演習（司書）**		ー	講義
担当教員	太田　克子			
学年・開講期	2 年　通年	必選・単位数	選択　4 単位	
講義目標	図書館の実際の業務を想定して、情報資源の組織化に関する実習を行う。利用者が資料・情報に迅速かつ的確にたどりつけるように，多様な情報資源の組織化を行うための実践的なスキルを習得する。さらに、この過程を通して利用者の資料・情報探索のニーズを考え、図書館の対応のあり方を考える。			
到達目標	1.『日本目録規則』（NCR）に準拠し情報資源の目録記述ができる。 2.『日本十進分類法』（NDC）と『基本件名標目表』（BSH）に準拠し、情報資源の主題分析、分類作業、件名付与ができる。			
学位授与方針との対応	ー	豊かな人間性と幅広い教養		
	ー	健康・医療および情報に関する知識・技能		
	ー	問題解決力		
	ー	コミュニケーションスキル		
	ー	生涯学習力		
評価方法	試験70%　ミニレポート20%　授業貢献度10%　総合評価60%以上を合格			
課題に対するフィードバック	ミニレポートにコメントをつけて返却する			
使用教材	『目録法キイノート』『分類法キイノート』宮沢厚雄著（樹村房） （情報資源組織論で使用した『情報資源組織法』志保田務ほか編著（第一法規）も持参すること）			

1	講義内容	オリエンテーション		
	該当する到達目標	予習	教科書p1～p23までを読んでおくこと	1.5 時間
	1	復習	課題について集合レベル単行レベル構成レベルの書誌要素を整理すること	1 時間
2	講義内容	目録法の総則と図書の記述		
	該当する到達目標	予習	教科書p24～p32を読んでおくこと	1 時間
	1	復習	課題（タイトルの記述）を解くこと	1.5 時間
3	講義内容	図書の記述		
	該当する到達目標	予習	教科書p28～p46を読んでおくこと	1.5 時間
	1	復習	課題（形態、注記の記述）を解くこと	1 時間
4	講義内容	継続資料の記述		
	該当する到達目標	予習	教科書p47～p62を読んでおくこと	1.5 時間
	1	復習	各自図書館に出向き、継続資料を手にとり、記述すること	1 時間
5	講義内容	復習・予備		
	該当する到達目標	予習	教科書p1～p62を読んでおくこと	1.5 時間
	1	復習	課題（記述）を解くこと	1 時間
6	講義内容	各種資料の記述		
	該当する到達目標	予習	教科書p63～p76を読んでおくこと	1.5 時間
	1	復習	各自図書館に出向き、紙芝居、映像資料を手にとり、記述すること	1 時間
7	講義内容	標目、典拠及び排列（1）		
	該当する到達目標	予習	教科書p77～p80を読んでおくこと	1.5 時間
	1	復習	課題（アクセスポイント）を解くこと	1 時間
8	講義内容	標目、典拠及び排列（2）		
	該当する到達目標	予習	教科書p81～p95を読んでおくこと	1.5 時間
	1	復習	課題（アクセスポイント）を解くこと	1 時間

9	講義内容	MARCフォーマット、コンピュータ目録		
	該当する到達目標	予習	教科書p93～p103、p126～p139を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	課題に従ってOPAC操作をする	1 時間
10	講義内容	コンピュータ目録、メタデータ		
	該当する到達目標	予習	教科書p140～p149を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	教科書p149の問11を解答すること	1 時間
11	講義内容	主題組織法、日本十進法の概要（1）		
	該当する到達目標	予習	NDC10版　第2次区分表を覚えてくること。確認テストをします	1.5 時間
	2	復習	課題（形式区分）を解くこと	1 時間
12	講義内容	日本十進分類法の概要（2）		
	該当する到達目標	予習	NDC10版　第2次区分表を覚えてくること。確認テストをします	1.5 時間
	2	復習	課題（地理区分）を解くこと	1 時間
13	講義内容	日本十進分類法の概要（3）		
	該当する到達目標	予習	NDC10版　第2次区分表を覚えてくること。確認テストをします	1.5 時間
	2	復習	課題（言語区分、言語共通区分、文学共通区分）を解くこと	1 時間
14	講義内容	分類記号付与の実際（1）		
	該当する到達目標	予習	教科書p178～p189を読んでおくこと	1.5 時間
	2	復習	課題（分類規律）を解くこと	1 時間
15	講義内容	分類記号付与の実際（2）		
	該当する到達目標	予習	教科書p178～p189を読んでおくこと	1.5 時間
	2	復習	課題（分類規律）を解くこと	1 時間
16	講義内容	分類してみよう　1類		
	該当する到達目標	予習	教科書p193～p197を読んでおくこと、p197を解くこと	1.5 時間
	2	復習	教科書p198を解くこと	1 時間
17	講義内容	分類してみよう　2類		
	該当する到達目標	予習	教科書p199～p202を読んでおくこと、p202～203を解くこと	1.5 時間
	2	復習	教科書p204を解くこと	1 時間
18	講義内容	分類してみよう　7類		
	該当する到達目標	予習	教科書p205～p208を読んでおくこと、p208～209を解くこと	1.5 時間
	2	復習	教科書p210を解くこと	1 時間
19	講義内容	分類してみよう　8類　9類		
	該当する到達目標	予習	教科書p211～p213を読んでおくこと、p214～215を解くこと	1.5 時間
	2	復習	教科書p216を解くこと	1 時間
20	講義内容	分類してみよう　3類（1）		
	該当する到達目標	予習	教科書p217～p221読んでおくこと、p221を解くこと	1.5 時間
	2	復習	教科書p222を解くこと	1 時間
21	講義内容	分類してみよう　3類（2）		
	該当する到達目標	予習	教科書p223～p226を読んでおくこと、p227を解くこと	1.5 時間
	2	復習	教科書p228を解くこと	1 時間
22	講義内容	分類してみよう　4類		
	該当する到達目標	予習	教科書p229を読んでおくこと、p233を解くこと	1.5 時間
	2	復習	課題（4類）を解くこと	1 時間
23	講義内容	分類してみよう　5類		
	該当する到達目標	予習	教科書p229～p232を読んでおくこと、p234を解くこと	1.5 時間

	2	復習	課題(5類)を解くこと	1 時間
24	講義内容	分類してみよう 6類 0類		
	該当する到達目標	予習	教科書p235～p237を読んでおくこと、p237～p238を解くこと	1.5 時間
	2	復習	教科書p239を解くこと	1 時間
25	講義内容	分類してみよう 総合		
	該当する到達目標	予習	教科書p240～p243を解くこと	1.5 時間
	2	復習	教科書p244～p245を解くこと	1 時間
26	講義内容	所在記号		
	該当する到達目標	予習	教科書p246～p250を読んでおくこと	0.5 時間
	2	復習	公共図書館で所在記号を実際に見て報告すること	2 時間
27	講義内容	件名法		
	該当する到達目標	予習	教科書p251～p259を読んでおくこと	1 時間
	2	復習	課題(件名付与)を解くこと	1.5 時間
28	講義内容	件名付与してみよう		
	該当する到達目標	予習	図書館で BSH をみておくこと	1 時間
	2	復習	課題(件名付与)を解くこと	1.5 時間
29	講義内容	コンピュータで検索してみよう		
	該当する到達目標	予習	Cimii,NDL-OPAC など情報資源組織かの効果を見ておく	1 時間
	1,2,3	復習	PC ルーム室で操作したことを各自確認する	1.5 時間
30	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	教科書全般を見て疑問点を書いておく	1.5 時間
	1,2,3	復習	課題を解くこと	1 時間
備考	『日本十進分類法第10版』第2区分表を必ず覚えてから受講してください。 オフィスアワー:水曜日2限(図書館本館) 質問はメールでも受け付けます。 e-mail:ota-y@takasaki-u.ac.jp			

科目名	**図書館サービス特論(司書)**	-	講義
担当教員	小柳 聡美		
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位
講義目標	司書資格取得必修科目で学んだ内容を実際に司書業務の中に活かすには、カウンターサービス並びにフロアーワークに必要なコミュニケーション能力を伸ばすことが不可欠である。特に日本人に固有なノンバーバル・コミュニケーションの理解と将来の超高齢化・少子化を考慮しながらのコミュニケーション能力の育成により、生涯学習としての図書館利用を促せるサービス環境の構築を目指す。		
到達目標	1.対人業務に必要なコミュニケーション能力を学び、その能力を具体的に修得できる。 2.コミュニケーションの定義を正確に理解する。 3.多種多様な利用者に対し、円滑なコミュニケーションが実現できる対応力を身につける。		
学位授与方針との対応	-	豊かな人間性と教養	
	-	専門的知識	
	-	問題発見・解決力	
	-	多様な社会・背景を理解し対応する能力(多様性理解)	
	-	自律的・意欲的に学習する力	
評価方法	筆記試験70%、授業時間内提出物20%、授業参加度10%で評価する。 総合評価60%以上を合格とする。なお詳しい評価基準は、初回講義時に提示する。		
課題に対するフィードバック	提出物は講義内で発表時間を設け、講評する。 筆記試験の意図は、第1回の講義で説明する。		
使用教材	教科書『コミュニケーション学入門』大田信男(大修館書店) ISBN4－469－21186－9		

1	講義内容	コミュニケーションの必要性		
	該当する到達目標 1,2	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。 なぜ司書資格を取得しようと考えたか、という点を交えて自己紹介が出来るようにしておく。	2時間
		復習	教科書第1章を読み、コミュニケーションとは何かを理解する。	2時間
2	講義内容	ノンバーバル・コミュニケーションのメッセージ性		
	該当する到達目標 1,2	予習	教科書第3章に目を通す。	2時間
		復習	バーバル・コミュニケーション、ノンバーバル・コミュニケーションとは何か理解する。	2時間
3	講義内容	マス・コミュニケーションと社会		
	該当する到達目標 1	予習	教科書第5章に目を通す。	1.5 時間
		復習	マス・コミュニケーション、マス・メディアとは何か理解する。	2時間
4	講義内容	若者文化とコミュニケーション		
	該当する到達目標 1,3	予習	教科書第9章に目を通す。	1.5 時間
		復習	(現在「若者」である)自分にとっての若者文化とは何か考察する。	2時間
5	講義内容	図書館サービスとコミュニケーションの関係		
	該当する到達目標 1,4	予習	図書館における自身の「コミュニケーション」体験について発表できるように準備しておく。	1.5 時間
		復習	図書館において必要なコミュニケーションとは何か考察する。	1.5 時間
6	講義内容	カウンターサービスとフロアワークの目的と意義		
	該当する到達目標 1,4	予習	教科書第4章に目を通す。	1.5 時間
		復習	カウンターサービス、フロアワークとは何か、違いも含めて理解する。	1.5 時間
7	講義内容	情報化の進展と図書館サービス		
	該当する到達目標	予習	教科書11，12章に目を通す。	2時間

	1	復習	図書館における情報化の必要性について理解する。	2時間
8	講義内容	「モノ」と「コト」に付けられた「名前」		
	該当する到達目標	予習	教科書第2章に目を通す。	2時間
	1	復習	全講義の振り返り。	2時間
備考	第2回より、導入で、前回の講義内容を400字にまとめて発表してもらいます。 キーワード:「ノンバーバルコミュニケーション」「フロアワーク」「カウンターサービス」「生涯学習」 質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じます。			

科目名	**図書館情報資源特論(司書)**			ー	講義
担当教員	斎藤 順二				
学年・開講期	3 年 後期	必選・単位数	選択 1 単位		
講義目標	「図書館情報資源概論」で学んだ内容をさらに発展的に学習し理解を深める観点から、図書館情報資源に関する領域の課題を選択し、高度化・多様化する利用者のニーズに応えられることを目標にする。				
到達目標	1.各分野の情報資源の特性を知る。 2.各分野の情報資源にアクセスできる。				
学位授与方針との対応	ー	豊かな人間性と幅広い教養			
	ー	健康・医療および情報に関する知識・技能			
	ー	問題解決力			
	ー	コミュニケーションスキル			
	ー	生涯学習力			
評価方法	まとめのミニレポート(各UNITの要約と朗読CDの感想)				
課題に対するフィードバック	まとめのミニレポートは毎回提出してもらい、次回採点評価して返却する。				
使用教材	『図書館情報資源概論』(継続使用)				

1	講義内容	資料特論(灰色文献)		
	該当する到達目標	予習	教科書UNIT18 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	灰色文献にアクセスし、理解を深める。	1.5 時間
2	講義内容	資料特論(政府刊行物)		
	該当する到達目標	予習	教科書UNIT19 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	政府刊行物にアクセスし、理解を深める。	1.5 時間
3	講義内容	資料特論(地域資料)		
	該当する到達目標	予習	教科書UNIT20 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	地域社会分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。	1.5 時間
4	講義内容	人文科学分野の情報資源		
	該当する到達目標	予習	教科書UNIT21 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	人文科学分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。	1.5 時間
5	講義内容	社会科学分野の情報資源		
	該当する到達目標	予習	教科書UNIT22 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	社会科学分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。	1.5 時間
6	講義内容	科学技術分野の情報資源		
	該当する到達目標	予習	教科書UNIT28 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	科学技術分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。	1.5 時間
7	講義内容	生活分野の情報資源		
	該当する到達目標	予習	教科書UNIT29 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	生活分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	NIE(教育に新聞を！)の活動報告		
	該当する到達目標	予習	教科書UNIT38 に目を通す。	1 時間
	1	復習	NIE活動に参加し、新聞記事をスクラップにまとめる。	1.5 時間
備考	司書資格科目 質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で相談に応じます。			